熱唱!! 小川&橋本、大晦日は紅白出場!?
紙のプロレス
2001 44
RADICAL
その後のサクを直撃!!
立ち上がれ、サク!!
桜庭和志
猛爆!『PRIDE.17』大総括特集!!
驚愕の強さを発揮した
格闘芸術師弟、揃って登場!
アントニオ・R・ノゲイラ
&マリオ・スペーヒー
高田vsミルコ、
空前の賛否両論噴出!!
冬眠、玉砕、そしてその後の
石川雄規
『PRIDE』で馬鹿になった座談会
12/9大阪で遂に
小川とタッグ結成!
橋本真也
いよいよ猪木軍vsK-1迫る!!
ピンタディン怒りのトップギア!!
アントニオ猪木
治外法権! 怪物伝承対談スペシャル
高山善廣×杉浦貴
U-FILEが「真撃」に参戦!
田村潔司
リングス・リトアニア大会も詳報!
そしてまた格闘兵器が新たに登場!
E・ヴァラビーチェス
大日本12・2横アリ進出記念!
昭和プロレス伝説を語るダニ!!
グレート小鹿
前田日明と再深アクセス
シーザー武志
サクの連敗が語りかけるものとは何か?
『PRIDE』よ、どこへ行く!!
ノーモア
BADアングル!!
ブチ抜きカラー17ページ大特集
この面白さを伝えきるゾ!
闘龍門・『紙プロ』
プロジェクト2001
ウルティモ・ドラゴン
ミラノコレクションA・T
TARU&TARUシート
PRIDE
紙のプロレス RADICAL
2001 NO.44
あ〜つい心のま〜ま〜
発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社
定価：本体838円

ビンラディンは言った。
「テロにはよいテロと悪いテロがある」
山口日昇は言った。

「PRIDEにも、よいPRIDEと悪いPRIDEがある」

それでも、PRIDEを見続けることが「プロレス」を守ることである

サク勝てです!!

なんとでも言ってくれ!!

前号の表紙には「サクと『PRIDE』のケツに火がついた」というコピーを打った。いまは、こっちのケツに火がつきまくっている。

♪締め切りだ、鉄橋だ、嬉しいなぁ。というふうに字数稼ぎをしながら書き出すのは素人のやることだ。ああ、恥ずかしい。

そういえば、サクが再度シウバに負けたとき、「まぁ、しょうがないじゃん。アクシデントなんだから。ケガさえしなかったらなぁ。チェッ」なんてことを呟いてた人は、けっこう多いんじゃないだろうか。

ボクも何度かこの方向に持っていくことで、事を切り抜けようとしたのだが、どうもうまくいかない。

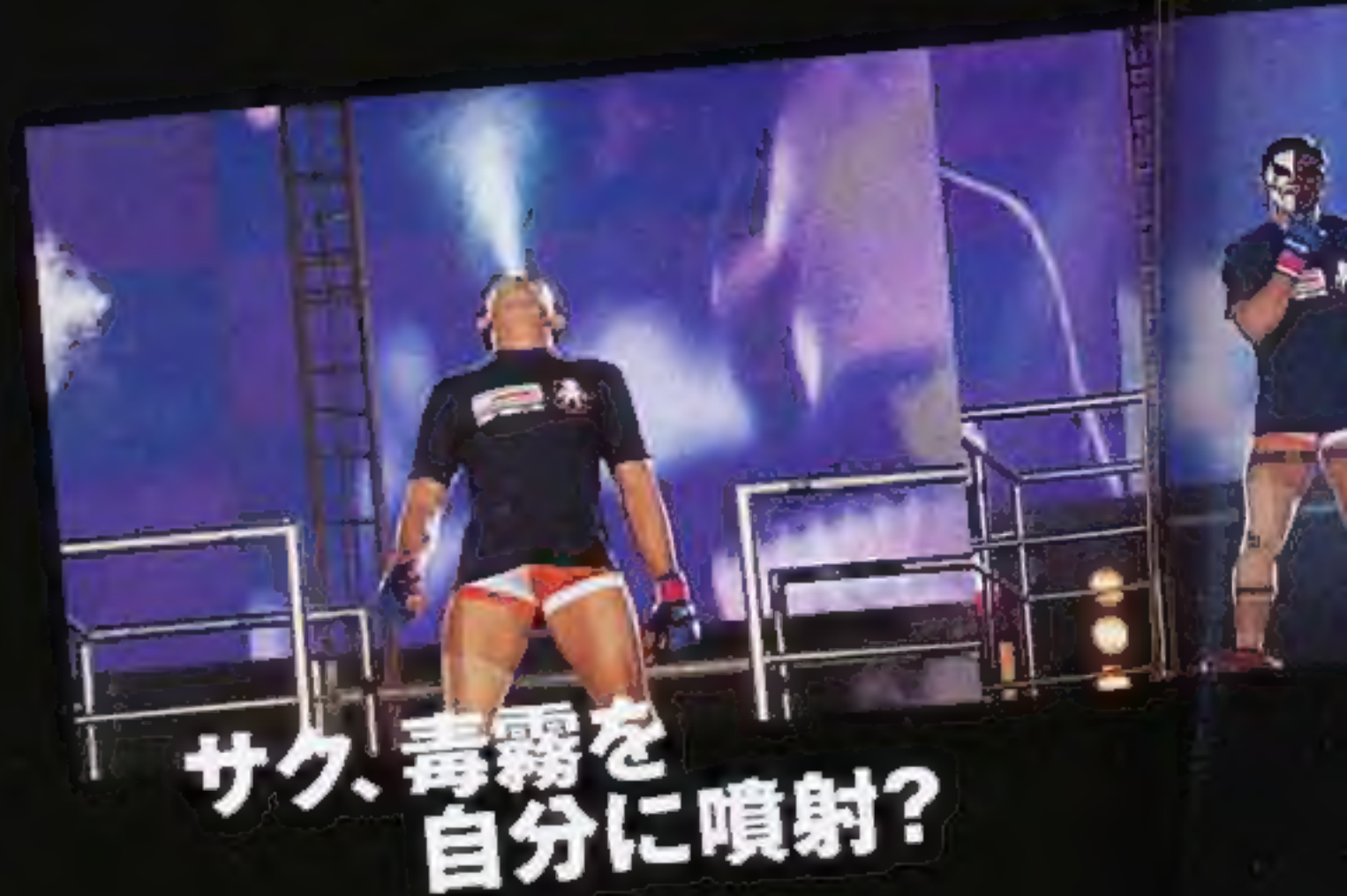
そんなとき、ささきぃという『紙プロ』読者の女の子がくれたメールに面白いことが書いてあった。

ささきぃはサクファンなのだが、サクファンの応援サイトを見ていると「私たちが落ち込んでいて、どうするの！」的なメッセージ

俺は落ち込む!!

サク、毒霧を自分に噴射?

サクの顔面を捕らえ、日本全国を恐怖のドン底に叩き落とした戦慄のヒザが、再度襲うが、この日のサクは的確にブロック。スタンドでもパンチ＆蹴りを出していった

3・25シウバに敗れた後、「殴りてぇ〜、あ〜、人を殴りてぇ〜」と拳を握りしめていたサク。そしてつい最近まで溜め込んでいた怒りを拳に込める！

の多さが異様に目につくんだという。

で、ささきぃはこう思ったそうだ。

「負けて辛いのはサクなんだから、私たちが元気を送るのよ的考え方でしょうが、逆に『私たちが落ち込んでいなくて、どうするの！』と言いたいです。好きな選手が大一番で負けたのにどうして元気でいなくてはいけないのか！　こっちがきちんと落ち込んでいなくては、サクの、カラ元気なメッセージも宙に浮いてしまうのではないでしょうか」

というわけで、ささきぃは、最後にビックリマークを付けるほど、力強く落ち込んでいるそうだ。

はっはー、こういう手法があったのかと、実に感心してしまった。

決めた。俺も落ち込む。ささきぃが「好き」というのとは違うものが、仕事だったりとなんだったりと、いろいろ絡んではいるけども、ボクもサクが好きなので、落ち込めばいいのである。

何とでも言ってくれ、俺は落ち込む!!

これをストレートに言えないばかりに、どうもドームの後は悶々としていたのだ。

ああ、スッキリした。サクが試合を始める前に、試合が終わってしまったことが、いかんせん悔しい。この「悔しい」ということを言えないばかりに悶々としていたわけである。

信用、信頼の「信」。

この「信」の貯金が減ることを、人は、異常なくらい恐れる。今回、サクが必ずリベン

これはアクシデントか？

これが悪夢再びの瞬間！　フロントチョークであと一歩のところで、最後の力を振り絞るように、シウバはパワースラム！　これでサクの左肩はブッ壊れた

パワースラムで投げたシウバも、かなりバテバテ。しかし、シウバに左肩が壊れていたことを気づかせずに１Ｒを闘い抜いたサクも、やっぱり凄ぇというか

ジしてくれると「信」じてきた人にしてみれば、一気にその「信」の貯金は減ってしまった気分になったことだろう。

『ＰＲＩＤＥ』に対してもそうだ。今回は解放感が得られないＢＡＤエンディングで終わり、高田vsミルコ戦にしても、一般的にはわかりにくい形の情念しか伝わってこなかった。『ＰＲＩＤＥ』への「信」の貯金が減ったと感じている人は、きっと多いはずだ。

「信」が減ると、「不信」がもの凄い勢いで連鎖していく。そういう気分が、高田バッシング、『ＰＲＩＤＥ』バッシングに繋がったりしているのだろう。

確かに人は「信」を前提として生きている。でも「信」は無限に広がっているわけではないし、いつかは「不信」を前提としなければならないことを学んだりするわけだ。

そりゃサクだって負けるよ。悔しいけどね。いまは、ふつうに仕事していて飛行機がぶつかってくる時代なのだ。

でも、ホントに一番怖いのは「不信」が連鎖していくことだ。

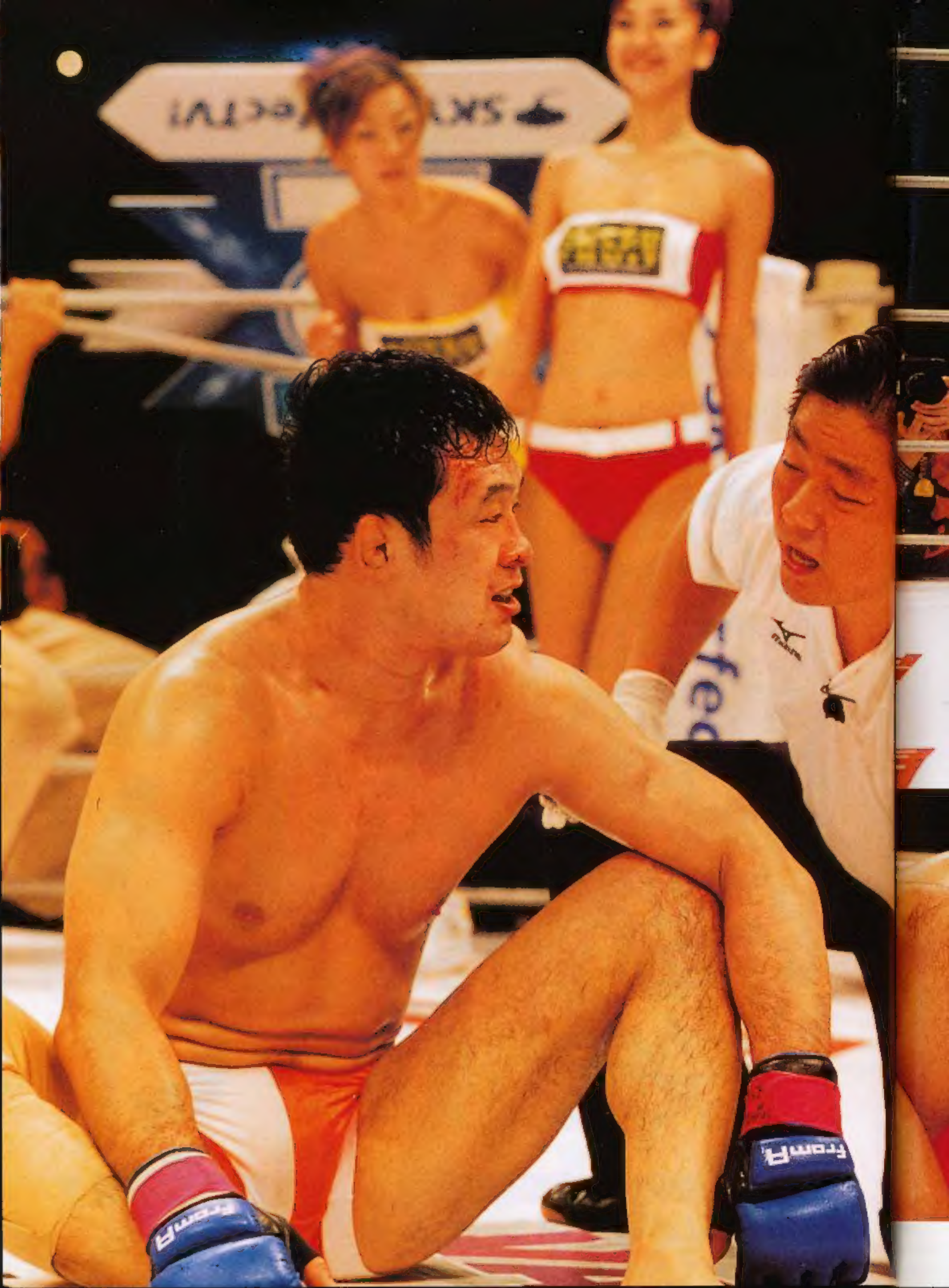
純プロレスの世界は、「信」を前提にして成り立っている。

その「信」と離れるのは嫌だから、みんな「プロレスＬＯＶＥ」にどっぷり浸かっていく。

「信」の貯金が減ったら、そりゃ嫌だろうが、貯金だけしてても、使わなければなんにもならない。

何に使うかが問題なのだ。

いま、『ＰＲＩＤＥ』が進まなければなら

勝利が告げられた瞬間に、祈るように泣き崩れるシウバ。神経戦&フロントチョークでかなりスタミナを消耗していただけに、その喜びようは凄かった

完敗か？

いま、『PRIDE』が進まなければならない道は、誰もまだ見ぬ〝命がけのエンターテインメント〟への道である。単なるバーリ・トゥードでも、単なるエンターテインメントでもないものだ。

「不信」を前提としながらも、最後には「信」がある世界と言い換えてもいい。

サクが負けようが、高田が寝ころぼうが、小原がヘッピリ腰になろうが、突き進むしかない。

ボクは、『PRIDE』を見続けることが「プロレス」を守ることだと思っている。

いや、見続けるなんて大上段に構えた物言いはいらない。

ただ、〝見る〟ということだけでいいのだ。

今回の『PRIDE』は、BADアングルだった。でも、この先もっと壮大なアングルがマット界を偶然襲ってくるだろう。

それはすべて〝命がけのエンターテインメント〟をどう確立していくかの実験だ。

ボクは、「プロレスLOVE」よりも、『PRIDE』の実験を選ぶ。実験なくして『PRIDE』なし、である。

そしてサクには、そんな『PRIDE』の実験をも軽くヒョイヒョイとクリアして、〝命がけのエンターテインメント〟の種を育てた先駆者として、後生に名を残してほしいものである。

【N・Y】

!!

復帰は来春!!

ばれ、サク!!

シウバ戦後のFAXインタビュー

11・3、東京ドーム。まるで悪魔に魅入られたかのように、またも悪夢を見てしまったサク。憎っくき相手、ヴァンダレイ・シウバとの満を持した一戦。1R残り2分のところでフロントチョークを極めかけた瞬間、シウバが最後の力を絞りきるように出した力で持ち上げられて、パワースラム気味に落とされてしまった。
このときに左肩を脱臼してしまったサクは、それでも下から三角絞めを狙うなど、残り時間2分を果敢に闘い抜いた。が、1R終了時にドクターストップ！ TKO負けの審判が下った。
試合後、病院に直行し、検査をした結果、首の横にある左肩肩鎖（けんさ）関節の脱臼であることが判明した。全治90日！ 当初は通院しながら、回復を待つことになる様子だったが、14日に緊急手術!! 左肩の一部ジン帯が切れていたためと、これから脱臼癖がつかないようにするために大事を取っての手術だ。無事手術は成功したものの、その後発熱してしまったサクだが、この号が出るころには退院してる見込みだ。
本誌は手術前のサクにFAXインタビューを敢行した。こんな状況のときに受けてくれたサクには感謝だが、この短い文面から、サクの無念さを感じてほしい。

Q ケガの具合はどうですか？

A 痛いです。

Q いつ頃復帰できそうですか？

A まだわからない。退院して練習を始めてから考えます。

Q シウバは相性の悪い相手ですか？ それともやりやすい相手ですか？

A 相性はいいと思います。試合が面白くなるんで。やりやすいかどうかはわからない。

Q シウバ戦でヤバいと思った場面は？

A ハイキックが入ったときヤバかったというか、何がくるかわからないから全体的に注意しなければ、と思いました。

緊急手術成功!! 立ち上が[れ]

すいません。旅行のスナップの写真ようになってしまいました（髙田道場広報・丸山氏）

ホントに温泉旅行に行ったときみたいなサク。な、なぜリヤカーの前で撮る？ サクはこの写真を撮った（撮られた）翌日に手術。無事成功した

Q もし試合が2～3Rまで行ったら？

Ⓐ極めれるかなと思いました。

Q シウバ戦を受けて、何か変わったことをしようという気持ちはありますか？

Ⓐはい、あります。それはシウバに限らず。

Q ウェイト差が気になりましたが、今後増やす気持ちはありますか？

Ⓐ少し、考えてます。

Q 最後に悔しさの思いのたけを読者にぶつけてください。

Ⓐ「悔しいーッ！」

退院後はリハビリに励むことになるサクだが、一刻も早く望まれる復帰は、来春以降になる模様だ。

「科学の結論は、常に暫定的なものだと私は考えている。暫定的であるからこそ、たえず経験によって、つまり実験や観察によって吟味し直され、それゆえに、まだるこしいが、進歩するのである。断定すれば、すっきりはするが、それでおしまいである。話はそれっきり進まない。断定したのだから、当然である。しかし、科学は本質的には正当化を求めない。むしろつねに訂正を求める。だからこそ、いつまで経ってもやっている、あるいはやっていけるのである」

というのは解剖学者・養老猛司さんの言葉だが、今度リングに上がるときには、ぜひともチューンナップされたサクを期待したい。「サクらしさ」とか「変わらない」ということにこだわらずに、持ち前の好奇心で、いろいろな実験や観察を繰りしていけば、きっと素晴らしいNEWサクができあがるに違いない。強さを求めるということは、つねに訂正を求める。だからこそ、いつまで経ってもやっている、あるいはやっていけるのである。

闘いに向かう好奇心を失うなサク！　立ち上がれ、サク!!（ニコニコ）

もう一丁、問題提起!!

はダメ!!"

のファイナルアンサー?

威風堂々?

非難轟々?

は

11・3 髙田延彦がもう

“髙田は

――それがキミの

11・3、ある意味でサクの敗戦以上に波紋を広げたのが、髙田vsミルコ戦だ。1R。ミルコが間合いを詰める。髙田は果敢にタックルを仕掛ける。ミルコが切る。緊迫感は高い。しかし、3R→EX・Rと、髙田は、まるで猪木vsアリ戦のように、マットに寝転がり続けた。ミルコも攻めない。場内は大ブーイングに包まれた。試合終了後、ネット上には髙田批判が連なりまくった。この試合を報じるマスコミも辛辣な記事が多かった。だが、今号の締め切り間際ではその反作用なのかなんなのか「髙田擁護」が増えてきている。はたして、髙田vsミルコ戦は何を語りかけたのか?

髙田はリアルだが、
髙田は偽物だ!!

こんな試合だったら、
負けたほうがいい

5万3千人が見ているなかで、
こんなことが「PRIDE」で
起こっていいのか?

タカダは臆病だ
サクラバは
タカダの道場に
いる必要はない

K-1には
あんな選手は
いない

高田は是だ!!

ゆる人間に対して彼は〝ザマァミロ〟と言ったのだ。痛快である。

私は彼のことを絶賛したい。ミルコが試合後、高田選手のことを「タカダはチキンだー」と言ったそうだが、おまえなんかにプロレス心は永久にわかりっこないんだよ。K−1でもやっていろと言いたい。

お前は警官なんだろう。だったら、でくの棒のように立ったままでいるなよ。そうなると寝ている高田選手より、立っているお前の方がはるかに間抜けに見えてきたぞ。

高田延彦はプロレスラーである。あの闘いぶりには、さすがの石井館長も真っ青になったはずである。勝った。高田選手はすべてに勝ったのだ。

【ターザン山本HP「マイナーパワー」より転載】

非難轟々とはこういうことだ!

あの試合、高田に声援を送った自分が恥ずかしい。いままで高田に思い入れを持っていた自分が恥ずかしい。

ビデオで見ました。同日の川田利明の講演会に行っていてよかったです。ありがとう、高田!

高田の試合を見て『PRIDE』が嫌いになった。

日が経つにつれて怒りがこみ上げてくるのはオレだけか!?

あんな試合してよくあんなこと言えるよな。誰か、あの口塞いでくれ!

ミルコに失礼! 藤田に失礼! 桜庭に失礼! お客に失礼! 島田レフェリーも失礼!
ミルコがなんでグランドにつきあうの? 頭悪いんじゃないの?

高田ァ! 桜庭が泣いてるぞ!

新日本の選手にアーダコーダ言ったのは一体なんだったのか?
ちょっとはあの発言をした者として違いを見せてほしかった。

高田は高田道場をやめるべき!

倒されても、男は前のめりになって背中を見せなきゃいけねえんですよ

高田さんは親分でしょ? だったらなおさら、親分っていうのは背中で語らなきゃいけねえ。あの日の高田さんは……寝そべっていてばかり。背中が見えない。これはダメだなあ。

オレらが見たかったのは勝ち負けじゃねぇんだよ! わかってるのか!

結局、世間に届いたのは高田のブザマな姿ではではなかったのか? いままでサクが、藤田が、小川らが必死になって再構築してきた格闘文化としてのプロレスを高田はぶち壊しにした。

試合を終えた高田は深々と観客席に向かい頭を下げた。ドームという空間には伝わりづらい試合だったが、高田の試合中の必死の形相がなにかを物語る

こういうことだ!!

試合後のネットの各ファンサイトを覗いてみると、とてつもない数の高田バッシングが吹き荒れていた。そしてマスコミもこの一戦を懐疑の目で報道。ここではそのなかから、敢えて批判的な声のみを集めてみた。ウシッ!!

ミルコ戦後のマスコミの声

『高田よ、負けなければ、それでいいのか?』（『ゴン格PLUS』）

『高田は“ファンの眼”を忘れていた』（『ゴン格PLUS』鈴木邦男）

『これが高田のやり方か! 無残な集大成』（『週刊ゴング』NO.893表紙コピー）

『冗談ではない。「ミスター・プロレス」とは、天龍源一郎であり、武藤敬司を指すのである』（『週刊ゴング』NO.893　金澤“GK”克彦編集長）

『高田のとった猪木アリ戦法は、逃げである。』（『週刊ゴング』NO.893　金澤“GK”克彦編集長）

『ヒンシュクをかった2年前の高田vsホイスと同じ。高田は同じ愚行を二度、繰り返したことになる』（『週刊ゴング』NO.893　金澤“GK”克彦編集長）

『「負けない作戦に切り替えた」という高田のコメントを聞いたとき、何とも寂しい思いがした』（『週刊ゴング』NO.893）

『こんな試合、しやがって!』（『週刊プロレス』NO.1062表紙コピー）

『そこからは、勝とうという姿勢が1ミリたりとも伝わってこなかった』（『週刊プロレス』NO.1062　佐藤正行編集長）

試合後、コメントルームに車イスで現れた高田。ミルコ戦の途中で負傷していた右足踵骨（しょうこつ）は骨折しており、全治70日と発表された。これは晴れ晴れしい姿か？　無惨な姿か？

『高田情けねぇぞ　ほとんど寝たままミルコから逃げる』（スポーツ報知11／4付）

『ミルコ・クロコップと“ゆるい”引き分け』（『週プロ』緊急増刊NO.1061）

『たしかに、高田の入場シーンはものすごい盛り上がった（中略）いや、アントニオ猪木を迎える大歓声と“同質”のような気がしてならない。ハッキリいえばその場の“ノリ”というやつである』（『週プロ』緊急増刊NO.1061　宍倉清則元次長）

『観客が期待していたのは、負けないファイトにエスケープする高田の姿ではない』（『週プロ』緊急増刊NO.1061　藤本かずまさ）

爆裂語録集!!

度重なるバッシングに対し、髙田は堂々と表舞台に出てきて、なにか憑き物が吹っ切れたかのように、
アントン総帥ばりの“元気”&“威風堂々”な態度でこれを受け止め、反論したのだった。

ミルコにも堂々反論!!

[東スポ11/8付]

**(ミルコが)怒ってるのはパフォーマンスでしょ。
自分が何もできなかったからね**

(ミルコは)怒ってるのなら堂々と上に乗っかって馬乗りでやればいい。
本当、ガッカリしたね、そういう態度には。女々しくて。

(髙田の闘いぶりに非難が上がっていることに対して)
そんなこといちいち気にしてたらリングに上がってない

(「骨折箇所以外は大丈夫か?」という問いに対して)
**あとはピンピンしてる。
向こう(ミルコ)は何もやってない**

勢いつけて小川にも噛みつく

[東スポ11/16付]

(小川がミルコ戦を批判しているのに対して)
言う前にオマエが出ろ。見本を見せてくれ

オマエ(小川)こそ何がやりたいのかハッキリしろ。信念も何も見えてこない。
“いつ何時、誰とやる時は、勝てるかどうかよ~く考えて勝てると思った時だけやります”とセリフを変えろ。やりもしない奴に言われたくない

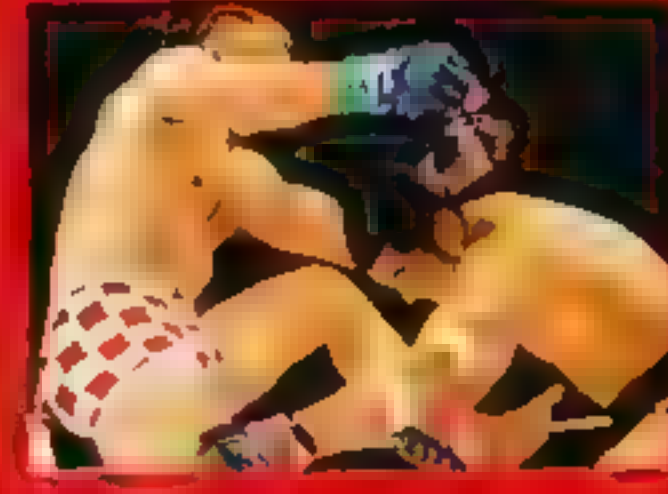
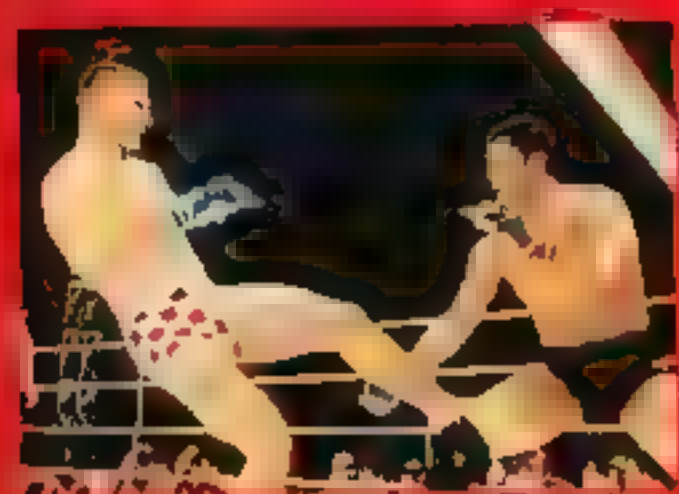
**オマエ(小川)の演技は何だ。よくあれでドラマとか出てられるな。
恥ずかしくないのか。あんな演技する奴とは試合したくないよ。格好悪くて**

それより藤田も(小川に)言ってるワケだから、藤田にもっとからめと。ビビるなと
本当、アイツ(小川)にはまいるよ。あの小心者には……。小心者協会会長だね

(猪木が「本当に命かければ足1本だって試合はできる」と猪木祭りへの出場を呼びかけたのに対して)おっしゃる通りです。猪木さんの一連の生き方からすればよく分かる。そこに目標を置いて今日から生活するよ。そうすれば足の治りも早い。12月31日を目標にすれば、治癒力もアップするでしょ

圧倒的とはこういうことだ!!

ミルコ戦後の髙田延彦

見よ!! 髙田延彦の必死の形相が語りかけるものとは何か?

[『週プロ』11/27号]

佐藤編集長をカワイがる

「『髙田はプロレスからいらない』って言っておいて週刊誌の表紙にするんだからね。
怖い世界だろ?」「確かにアナタたち(マスコミは)、俺達で商売してるんだから」
「そういいながら『こんな試合しやがって!』っていうのはワケわからん」

(佐藤編集長に対して) 都合のいいときばっかり取材に来てな(笑)

(3Rでの戦法に対して)もう理屈じゃないよ。本能だよ。寝たままってどこ見てるの?
ただ寝てたら夢見てる間にやられてるよ。相手が攻め入ってこないってことは、どういうことなんだよ。
五分五分なんだよ。寝てたの一言で片付けるな

(あの試合でファンから猛烈な批判を受けてることに対して)うれしいねぇ。だって無関心だったら、
なんにも言わないよ。これだけ言ってくれてるんなら、まだまだオレはみんなから求められてるんだよ。
そういう人にかぎってまた見に来てくれると思うんだけどね

一部の無責任なマスコミに触れられたくないんだよ。ファンに言われるのはいいわけよ。
だけど、週刊○○○にしたってトップ(表紙)に大ブーイングだよ。お前らに言われたくないんだよ。
なんでヒョコヒョコでてくるのかね。オレがプロレスラーだから、それを利用してるんだよな。
記事にするなよ

**あいつは蝶々だよ、ミルコは。オレの周りをチョロチョロしてる。
何もできない。蝶々でありヒヨッコだよ**

(ミルコから) 圧力?

ぜんぜん感じなかったね。

(ミルコに) 絶対に顔を腫らされると思ってたのにね(笑)

**やっぱり、タックル一本とるのに道場で何千本、
何万本とやらないととれないよ。とくにオレみたいな純プロはね**

明るい農村!
素朴すぎる顔を持つ男が
『PRIDE』の頂点に立つ!

最強師弟コンビ『PRIDE』完全制圧!

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ & マリオ・スペーヒ

ヒーリングに完勝!
PRODEヘビー級王者に!

ボブチャンチンを完封
衝撃のPRIDEデビュー!

［ブラジリアン・トップチーム］

そしてノゲイラがあの男の名前を口にした!
「小川との対戦はいつでもOK。彼の得意な“挑発”をしてきてほしい」

聞き手／堀江ガンツ　撮影／松本崇

designed by hisa (Two Three)

——なんだかインタビューする度に「おめでとう」と言っている気がするんですけど（笑）、PRIDE初代ヘビー級王座獲得&イゴール・ボブチャンチン撃破おめでとうございます！

ノゲイラ いつもながらありがとう（笑）。昨日はベルトを抱いて眠ろうかと思ったけれど、嬉しさと興奮でアドレナリンが出すぎて眠れなかったよ。

マリオ 我々ブラジリアン・トップチームにとって昨日は最高の夜になった。多くのファンに応援してもらえたおかげだよ。ファンに感謝したいね。

——では、早速昨日の試合を振り返ってください。まずはノゲイラ選手から。

ノゲイラ 一言で言うなら、ベリー・タフ・ファイト。一瞬も気の抜けないハードな闘いだったよ。ヒース・ヒーリングは力が強く、テクニックがあり、そして頭がよかった。最後の最後まで途切れない精神力にも驚いたよ。お互い死力を尽くしたいいファイトが出来たと思う。ファンは満足してくれたのかな？

——東京ドーム、5万人のファンがラウンドが終わる度に、お二人のテクニックに大きな拍手を送ってましたからね。試合内容だけで、人気のある日本人選手の試合以上に観客を盛り上げたのは凄いことですよ。

ノゲイラ ファンに喜んでもらえたならこんなに嬉しいことはないね。ヒーリングに勝って『PRIDE』のチャンピオンになれたのは凄く嬉しかったけど、ファンが望んでいる一本勝ちが出来なかったことは凄く悔しかったんだ。試合中に怪我さえしなければ、絶対に一本勝ちする自信はあったんだけどね。

——そういえば、会場を出る際にひとりでは歩けないような状態でしたけど、いつ怪我をしたんですか？

ノゲイラ 1ラウンドの7分経過したあたりで、ヒーリングのローキックをカットしたときに、左ヒザとスネを怪我してしまったんだ。特にヒザはトライアングル（三角絞め）を掛ける際に重要な役目を果たすから、怪我の影響は大きかったね。

——1ラウンドで怪我をしていたなんて、客席で見てるときは全然気づきませんでしたよ。

マリオ ノゲイラは戦士だから痛いそぶりも見せずに闘っていたけど、セコンドで見ていたらすぐに異変に気づいたよ。怪我をしてしまったのはしょうがないから、私はとにかく落ち着かせて、焦らないようにアドバイスを送ったんだ。

——12月31日に猪木軍vsK—1があります。ノゲイラ選手は以前からこの大会への出場を宣言していましたけど、怪我の回復は間に合いそうですか？

ノゲイラ 試合後、病院に行ったら「ヒザ靱帯損傷、全治15日～20日」と診断されたんだけど、ブラジルに帰って精密検査をしてその結果が出ないことには何とも言えないね。でもボク自身は出るつもりだ。ずっと出たいと思っていた大会だからね、怪我ぐらいで欠場はできないよ。あ、そういえば昨日は病院でサクラバと一緒になったよ。

——肩を脱臼した桜庭選手と同じ病院だったんですね。

ノゲイラ ちょうど通訳を連れていってたから、病室で1時間くらい話をしたんだけど、彼は想像していたとおりのナイスガイだね。今回は残念な結果に終わったみたいだけど、頑張ってほしいよ。

——桜庭選手とは病室でどんな話をしたんですか？

ノゲイラ 格闘技の話は少しだけで、いろんな話をしたよ。

——例えば？

ノゲイラ 子供の話とか家族の話とか……、あとは女の子の話が大半だったかな（笑）。

——ガハハハ！ 格闘技界のスター二人が病室でそんな話をしてましたか（笑）。

マリオ ノゲイラは今回のOFFに日本のスタッフから「ディズニーランドかストリップに連れていくけど、どっちがいい？」と聞かれて、迷わず「ストリップ！」と答えていたんだよ（笑）。

ノゲイラ そんなことバラさなくていいじゃないか！（笑）。

——ガハハハ！ ノゲイラ選手が車椅子でストリップに現れたら最高ですけどね（笑）。

マリオ まぁストリップはともかく、怪我さえ治れば次は誰が相手でもノゲイラは一本勝ちする実力があるから。ファンは次の試合を楽しみにしてほしいと思う。

——本調子ならノゲイラの足技はあんなもんじゃない、と。

マリオ そう。ノゲイラは我々が驚くほどの脚力と、とても長い足を持っている。だから彼にガードポジションを取らせるのは自殺行為だ。そこから逃げることはできないし、いずれトライアングルなどのサブミッションの餌食になってしまうんだ。

——恐ろしい（笑）。脚力といえば、ヒー

リングにバックから極めた胴締めもの凄い締め付けようでしたよね。ボディシザースがあんな恐ろしい技だなんて始めて知りました（笑）。

ノゲイラ　ヒーリングは筋肉が付いてガッチリした身体を持っているだろ？　あの身体には胴締めが極まり易いんだ。ヒーリングはぐったりしていたし、自分でもガッチリ極まっていたのはわかっていたんだけど、ファンは膠着を嫌がるから、ひとつのポジションに止まらずアームバー（腕ひしぎ十字固め）を狙いにいったんだ。残念ながらヒーリングに逃げられてしまったけどね（苦笑）。

Antonio Rodrigo Nogueira

——は～、あんな極限レベルの闘いをしながら、観客のことまで考えてたんですか。

ノゲイラ　うん。あともう一つ、ボクがガードポジションからトライアングルを狙っていたとき、ヒーリングが腕をクローズしながら、「どうだ、これで何もできねえだろ！」って言ってきたんだよ。だから意地でも極めて「どうだ極めただろ！」っていいたかったんだけどね（笑）。

——リング上でそんなやり取りが行われていたんですか（笑）。

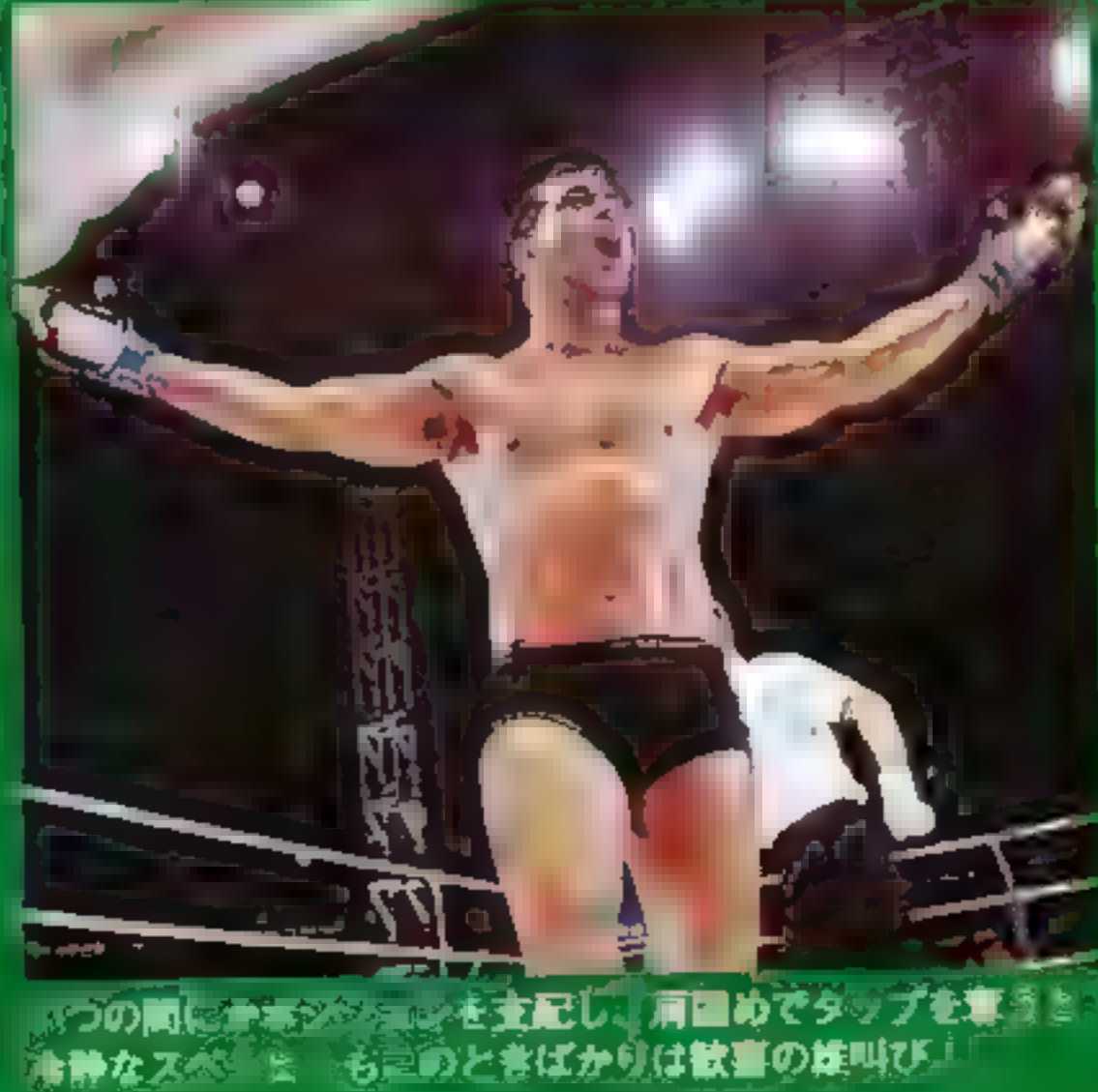
マリオ　ノゲイラは普段は大人しいけど、試合中は人が変わるんだよ。コールマンにトライアングルを極めたときなんか、極めた瞬間に「これからお前は地獄へ行くんだ！」って叫んでいたからね（笑）。

ノゲイラ　ハハハハ、あの時のコールマンの引きつった顔は忘れられないね（笑）。

——ノゲイラ選手にそんな一面があったんですね（笑）。今回はコールマン戦のように寝技で一本勝ちがなかったのは確かに残念でしたけど、その代わりノゲイラ選手の打撃の上達ぶりには感心しましたよ。打撃には定評があるヒーリングをパンチで圧倒していたのはビックリしましたね

ノゲイラ　ボクはもともと昔からボクシングをやっていたんだけど、最近はムエタイの練習をたくさんしているんだ。おかげで最近ようやく打撃にも自信が持てるようになってきて、自分でも打撃の才能があるんじゃないかと思う（笑）。

——また新たな才能に目覚めてしまいましたか（笑）。

ノゲイラ　トップチームは打撃はあまりやらない柔術のスペシャリスト集団だと思われている部分もあるけど、いまはどこよりもムエタイとレスリングの練習をしていて、みんなトータルファイターを目指している

いつの間に[illegible]を支配し、肩固めでタップを奪うと冷静なスペーヒー[illegible]もこのときばかりは歓喜の雄叫び！

■11.3東京ドーム「PRIDE17」

マリオ・スペーヒー（ブラジリアン・トップチーム）　1R2分52秒 肩固め　イゴール・ボブチャンチン（ウクライナ／フリー）

ボブの額が切れる[illegible]スペーヒーは[illegible]スガー[illegible]見事[illegible]攻撃だ

開始早々、ボブチャンチンに真っ向から向かっていったスペーヒーは、パンチを放つと見せかけて[illegible]タックル[illegible]テイクダウンに成功

●打撃のヒーリングか寝技のノゲイラか、と言われたこの試合だが、なんとノゲイラは打撃でもパンチを的確に出し圧倒。凄え！ ❷マウントパンチのバランスのよさもノゲイラの凄いところ。そして的確にパンチを振り下ろす！ ❸ヒーリングのバックを取ったノゲイラは胴締めスリーパー。しかし、胴締めがあまりにもキツク締まりすぎて胴締めだけでヒーリングは悶絶寸前に。こんなの初めて見た！ ❹伝家の宝刀、三角絞めを再三狙うノゲイラ。しかしヒーリングはその都度、見事に脱出。❺そしてすっかりお馴染みとなったノゲイラの「漁師の雄叫び」。アントニオ漁業組合長、今日も大漁！

■11.3東京ドーム〔PRIDE17〕
アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（ブラジリアン・トップチーム）　3R判定 3－0　ヒース・ヒーリング（ゴールデン・グローリー）

んだ。だからこの間のUFCでムリーロ・ブスタマンチはガイ・メッツアーをKOしたチャック・リデルと打撃で互角に渡りあった。もう寝技だけの集団じゃない。マリオだって、イゴールと打撃戦になってもいいくらい練習してきていたんだよ。

――ボブチャンチンと打ち合う覚悟だったんですか！

マリオ ああ、イゴールはタックルを切るのが上手いから、どうしてもスタンドでの勝負は避けられないと思ったんだ。それに彼は打撃が強くて、寝技も上手いトータルファイター。こちらもトータルファイターにならないと、トップレベルの選手には勝てないよ。

――それにしても、スペーヒー選手のまったく危なげない完勝ぶりには、ある意味ノゲイラ選手の試合以上に驚きましたよ。

マリオ ハハハ、そうかい？

ノゲイラ 驚くようなことではないですか？（笑）。マリオは今回の試合に備えてホントにハードなトレーニングを積んでいたし、調整も完璧だった。だから、一緒に練習しているボクらからすると、マリオの負けは想像できなかったよ。

――でも、ボクなんかはボブチャンチンはスペーヒー選手が一番苦手とするタイプなんじゃないかと思っていたんですけど。

マリオ 苦手なタイプだよ（アッサリ）。

――あ、ホントに苦手（笑）。でも昨日の試合を見る限り、とてもそうは見えませんでしたけど。

マリオ あれだけのパンチを持っていて、しかもテイクダウンが奪いにくいんだから、やはり嫌なタイプではあるよ。でも、ボブチャンチン戦が決まったときは非常に嬉しかったよ。

――どうしてですか？

マリオ 『PRIDE』のトップ選手といきなり組まれるというのは、それだけ私の実力が認められたということだからね。私はてっきり最初はゲーリー（グッドリッジ）が相手だと思っていたよ（笑）。

――ガハハハ、例によってお馴染み『PRIDEの門番』が相手だと（笑）。

マリオ だから相手がボブチャンチンと聞いたときは武者震いがしたよ。もちろん私と言えどもボブチャンチンと闘うのは怖い。しかし、だからこそ本気になってトレーニングに取り組み、ボブチャンチンのビデオを何本も見て研究したんだ。その結果が勝利につながったんだろう。

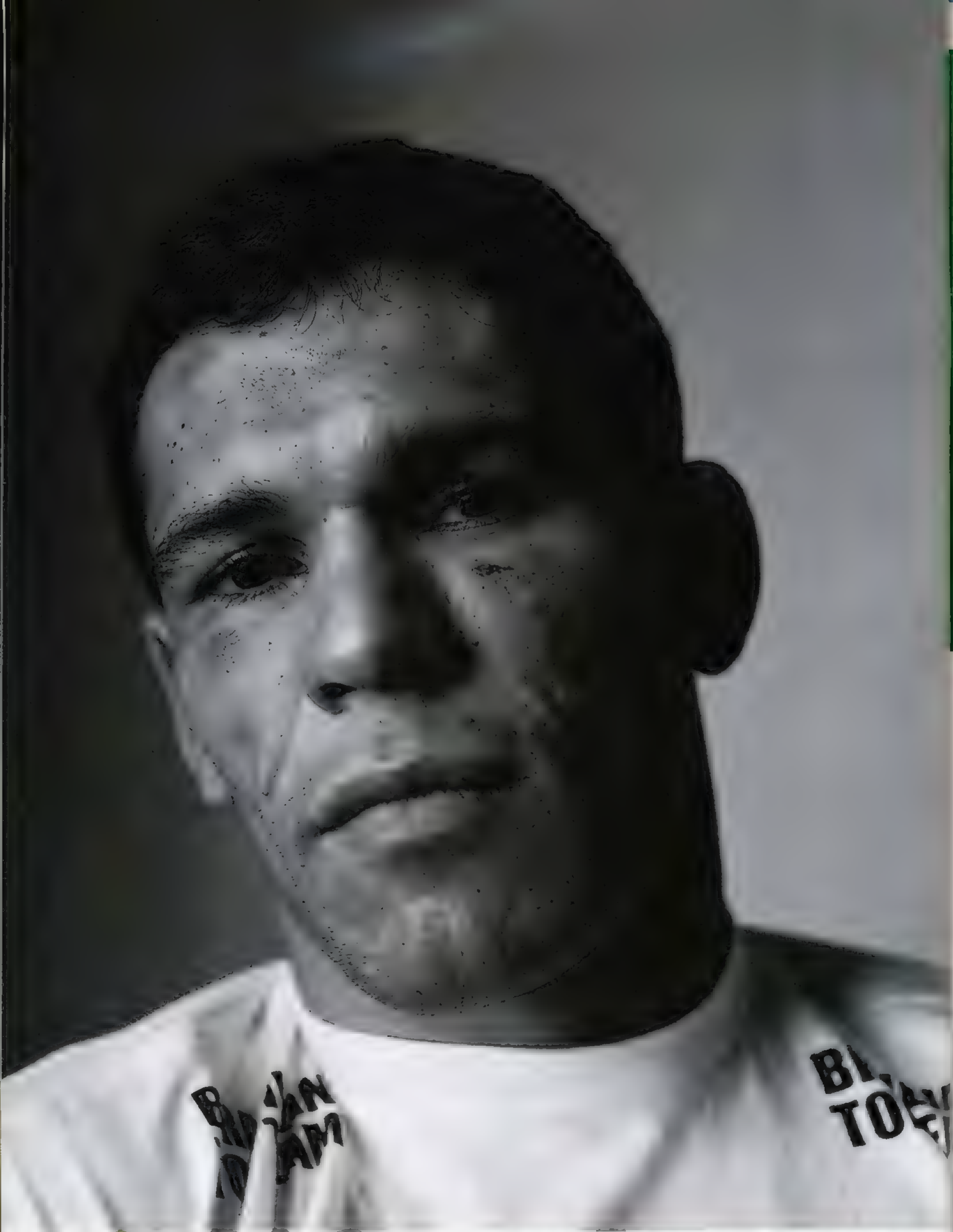
――では、試合前からボブチャンチン打倒の道は見えていたんですか？

マリオ 見えていたよ。みんなボブチャンチンに負ける選手は、打撃を怖がってしまい、主導権を握られて負けていくパターンが多いんだ。だから私はゴングがなった瞬間からボブチャンチンの目を睨み付け、そして自分から向かっていった。そしたらボブチャンチンは面食らったらしく、一瞬ひるんだ。そこにタックルを決めたんだよ。

――は～、計算しつくした攻撃だったんですね。しかもグラウンドでタップをしたことがないボブチャンチンをあんなにあっさりタップさせるんだから、改めてスペーヒー恐るべしですよ！

マリオ 私は落ち着いていたつもりだったんだけど、どうも血を見ると興奮してくるんだよ。だからちょっとタイトに絞めすぎたかな（笑）。

――ボブチャンチンは流血がアダとなりましたか（笑）。でも、いきなりボブチャンチンに勝ってしまうと、逆に相手がいなくて困りますよね？

マリオ 私は誰とでも闘うから、誰か名乗

Antonio Rodrigo Nogueira

り出てくれればいいと思う。それに次は12月31日、K―1ファイターが相手だからね。これは私にとって新しいチャレンジ。私は打撃のスペシャリストであるボブチャンチンに勝つことが出来たが、『PRIDE』とはルールも違うし、ボブチャンチンとはタイプも違うだろう。ブラジルに帰ったら、すぐに作戦を立てて、トレーニングを開始するよ。

――まだ相手は決まっていませんが、現時点での希望する相手は誰ですか？

マリオ　K―1ファイターだったら、ジェロム・レ・バンナはノゲイラに任せて、私はマイク・ベルナルドかシリル・アビディと闘いたいと思う。

――ノゲイラ選手はPRIDEヘビー級王座の初防衛戦で指名したい相手はいますか？

ノゲイラ　特に指名したい相手はいないなぁ。日本人と闘ってみたいけど、フジタもオガワも同じ猪木軍だしね（笑）。ドン・フライなんてどうかな？

――フライは新日本プロレスのレスラーですから、微妙に猪木軍の一員なんじゃないですか（笑）。

ノゲイラ　そうなのかなぁ。ボクは誰が猪木軍なんだかよくわからないんだけどね（笑）。

――ガハハハ！　それはファンもきっとわかってないでしょう（笑）。日本のファンからすると、同じ猪木軍とはいえ、ノゲイラ選手絡みだと小川直也選手との試合が一番「夢のカード」として望まれているんですよ。

ノゲイラ　ファンが望んでそのカードが組まれるなら、ボクはいつでもOKだよ。オガワは強い選手だから、きっといい試合になると思う。

――でも、小川選手はバーリ・トゥードの試合を99年のグッドリッジ戦と昨年の佐竹戦しかやっていないので、ファンの一部では、いまのレベルが上がった『PRIDE』でトップの選手と同等の実力があるのか、疑問視する向きもあるんですよ。ノゲイラ選手から見て、ズバリ小川選手のは『PRIDE』のトップクラスの実力を持っていると思いますか？

ノゲイラ　間違いなくトップで通用するよ。ボクも柔道をやっていたんで、柔道の世界王者であるオガワのことは常に気になっていたんだけど、ゲーリー・グッドリッジ戦（『PRIDE・6』）を見ても、佐竹戦（『PRIDE・11』）を見ても、もはや彼は単なる柔道家じゃないよ。トータルなファイターだ。それにバーリ・トゥードの試合にあまりでないのは仕方がないと思う　彼にも本職のプロレスの試合があるだろうからね。

【マリオ・スペーヒー】1966年9月28日、ブラジル・リオ・デ・ジャネイロ出身　188cm、95kg　96～99柔術世界選手権4連覇　99アブダビコンバット98kg以下級＆無差別級2階級制覇　99、00アブダビ・スーパーファイト制覇と経歴だけで欄が埋まりそうな程の実績を持つ超大物柔術家　B・トップチームのドン

【アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ】ブラジリアン・トップチーム所属、1976年6月2日、ブラジル・バイア州出身　191cm、104kg　99年第1回KOKベスト4　第2回KOKでは、V・ハン以外の選手からすべて一本勝ちを奪いブッちぎりの優勝　そして、11・13ドームで遂にPRIDE王者に

――その本職のプロレスの試合もあまりやってないのが問題なんですけど（笑）。この際、ファンも望んでいることだし、「オガワ、俺に挑戦してこい！」って逆指名してみたらどうですか？

ノゲイラ　いやぁ、そういうアピールはボクよりオガワの方が得意だろうから、オガワから挑発してもらいたいよ（笑）

――まぁ、それが一番自然で望ましいんですけどね（笑）。とにかく、来年にも小川vsノゲイラの夢の対決が実現することを期待しています！

ノゲイラ　それもいいけど、まずは12月31日のvsK―1だよ。そっちにも期待してほしいね（笑）。

――あ、そうでした。そちらの方は、しつこいようですけど、今度こそ『バスコ・ダ・ガマ』のテーマを高らかに鳴らして入場してくれることを期待しているんですけど（笑）

ノゲイラ　ハハハハ、でも、前にも言ったとおり、あの曲はCDをなくしてしまったから、ちょっと無理かな（笑）。

――そんなこともあろうかと、実はインターネットで『バスコ・ダ・ガマ』のテーマを見つけたんですよ（笑）。

ノゲイラ　え!?　ホントかい？

――次に来たときプレゼントしますよ。大晦日は紅白歌合戦を裏に回して、『バスコ・ダ・ガマ』のテーマを全国のお茶の間にお届けできたら最高ですから（笑）。

【01年11月4日／都内某ホテルにて収録】

11月のある日、○日本プロレスが、マスコミ懇親会を開きました。『週P』のS編集長によると、「さっくばらんな雰囲気のなかで気持ちのよい話し合いができた」ということらしいです。いいなぁ、呼んでもらいたかったなぁ、『紙プロ』も。

で、そんなざっくばらんな雰囲気のなか、業界の盟主である○日本の首脳陣とマスコミ陣が、画期的な意見交換をしたらしいのだが、いくつか出た話題のなかで「アントニオ猪木の成田会見に対する取材姿勢」についての話し合いも持たれたらしい。伝え聞くところによると、首脳陣は、○日本に不利益になるようなアントン総帥の発言は載せないでほしい。誰かがアントン総帥のコメントを取りまとめてチョイスし、各社に配布してほしい。その他の要望をマスコミに伝えたらしい。

確かにアントン総帥恒例の成田会見といえば、「テレ○は、死ね!!」だの、ドラゴンを「バカ社長」呼ばわりしたりだの、「ドームの6万人はウソ!」だの、さすが常に「いまの世の中には怒りが足りない」と言うだけあって、毎回毎回、総帥が怒りをブチまけ続ける物騒な場になっている。これが、バツグンに面白い！　しかし、○日本にとってはたまったもんではない部分もあるだろう。その気持ちはわかる。

マスコミ懇親会には呼ばれなかった本誌ですが、その○日本の要望は、受け入れさせていただきます。アントン総帥の成田会見は、あまりにもヒドイ！

だから今号では
アントン総帥の成田会見は掲載なし！
その代わり、

ビンタディンの成田会見をノーチョイスで再録します!! 行きますか――ッ!!

（小川は）ゴネるならいらねぇ

小川を追放？ 新日本にエール？
髙田、橋本に「出てこ～いッ!!」
ビンタディン成田会見二元中継!!

11・4 『PRIDE.17』翌日

11・2横浜文化体育館で行われた木戸修引退興行で、ダジャレを体現した〝木戸番〟(チケットのモギリ)をやり、さらにはリング上から「ひと言だけ、今日は！　キドってないでバカになれ！(場内大爆笑)プロレスを面白くしてくれよ。WWFも落ちてきた。新日本は世界を制覇する時期が来たようで、そのひと言をメッセージにおいて終わりにします」という元気極まりないアントン劇場を展開した総帥。

翌3日は「PRIDE.17」で、〝ビンタディン〟(となり、巨人の清原に張り手一閃！　K—1の石井館長、サム・グレコを迎え入れ、大晦日の大決戦に向かいアドバルーンをブチ上げた。

そして、明けて4日、ビンタディンは、帰米する際に成田会見。ゴキゲンで登場のビンタディン総裁は、まず空港で待ち受ける記者陣に向かって「おい、大丈夫かい、みんな？　俺も疲れたよ。『PRIDE』が終わったあとメシも喰わねえで、女の相手してさ。まあ、女がいなくちゃ元気になれねえって。オッと、これは書かないでくれよ。ンムフフフ」とカマシあげ、その後徐々にヒートアップ！　この日は、ここ1～2ヶ月の成田会見の集大成のような内容となったのだった。

●

——桜庭選手が負けてしまいましたが。

猪木　まあ、出る前に、その何だかわかんないんだけど、単純にどっちが勝つかなんていうのは感じることがあってね。やっぱり勢いとか、なんだろうな？　気で負けてしまってるというか……なんかそんなことを。昨日はアイツの出てきた顔が闘う前に勝負あったようなね。ちょうど(日本への)帰国がシウバとはロスから一緒だったんでね。まあ、勝ってもらいたいとかいう思いとは別でね。ちょっとこう、何だろうなぁ……選手の顔が青ざめてるというか。緊張はみんなしてるんだけど、そんなかで、だいたいこう……ハプニング的なねぇ、倒してまたひっくり返ったっていうのはあるんだけど。端から見てだいたい予測通りかなぁと。まぁイベント自体、なんか新しいエンターテイメントとしての考え方っていうのは、また昨日の興行でも『PRIDE』で変わってくるのかなぁっていうか。それこそK—1だ、『PRIDE』だ、プロレスだって全部ダンゴになっちゃって。それをハッキリ分けたものから一つに……一つっていうか、こう。それを考えたら俺はスリ鉢みたいなやつだなぁって思って。全部取り込んでしまうっていうね。ンムフフフ。まあ、たまたまハプニングで清原みたいなやつも出てきたりして。まあ、なんだろう、スポーツ界……ホントは(プロレス界と)格闘技界に分けたかったのが、野球まで(入ってきちゃってね)。何か野球も少しね、ここんとこ視聴率の問題も含めて新しい展開っていうか。それはイチローの問題は別にしてもいろいろ野球自体が過渡期に来てるっていう。まあ、初めて長島監督ともちょっとあるハプニングで出会っちゃって、食事をしたのが初めてでしたけど、そんなこともあったりして。とにかく何かが起きなきゃいけないというか。みんな、ファンも国民も、そんなものを待ってるんじゃないかって。それだけに、囚われてる部分っていうのを取り除いていかないと。どうしても、やはり1日生きて行く中にいろんなものに囚われたりしますから。そういう意味ではファンが求めているものを。『PRIDE』の試合もさることながら、何だかわかんないボーダレスみたいなものが、いま現実にこうね。〝そりゃねえだろう〟っていうことが現実化していってしまうような可能性を持ってる」と、マット界全体の底上げも視野に入れるビンタディンは、「INOKI・BON・BA・YE 2」で髙田延彦vs橋本真也戦をやればいい、という仰天プランまでブチまけたのだった。年末のビッグイベントに向けて、ビンタディンはすでに二足も三足も踏み出している。

そして12日、恒例の成田会見は行われたのだった。

11・12

ビンタディンはパラオから再び日本に舞い戻った後、11月10日、CM出演などで交流のある大阪の浄水機会社のイベントに出演。このイベントは、ビールかけでギネスに挑戦するという、何事にもひと足踏み出す猪木イズム溢れるもので、総勢398人、大ビン4000本による壮大&凄絶なビールかけが約30分間も繰り広げられた。「私にも気合いを入れてください」という女子社員に「闘魂ビンタ」を入れるなど、いつ何時でも元気なビンタディンだったが、〝史上最大のビールかけ〟に挑んだあとは、大晦日に行われる「猪木軍vsK—1」という〝史上最大の軍団抗争〟が待ち受けている。

しかし、猪木軍のメンバーは、いまだ藤田和之以外は流動的。だが、ビンタディンは、このイベント後に、合同合宿を行ってメンバーを絞り込むプランがあることを明かした。合同合宿を張り強力メンバーを選抜する腹づもりらしい。

永田裕志、中西学ら新日本勢の名前も挙がる一方で、ビンタディンは「出たいという奴はたくさんいる」と語り、この日は「ガタイがいいので見栄えがする」とノーフィアー・高山善廣にも参戦を呼びかけた。

「いろんなスポーツが人気を無くしていく中で、唯一格闘技だけが元気がいいというか。それにプロレスは潜在的

●

「猪木軍vsK—1」に対しては「『PRIDE』が仕切るんだったら出ない」と言い張る、本来猪木軍の総大将であるはずの小川直也。この日、その小川への痛烈なひと言が口火を切った。詳しいことはまた日本に帰ってきてから話し合うとしながらも、「ドラマなんか出てる場合じゃないと言いたいけど……ゴネた方が得なのか、出た方が得なのか、よく考えた方がいい。ゴネるなら、いらねえよ！」と言い放ったビンタディン。

小川、猪木軍追放!?

このビンタディンの発言に対しての小川のコメントは、残念ながら締め切りまでには取れなかったが、いよいよ小川も、自らの方向性を明確にする必要に迫られた感じだ。

ビンタディンは、この日はオーちゃんについての辛辣発言は、これだけに留まったが、これも12・31をなんとしても成功させたいという〝熱〟から

な時代だけに、その先輩を、昨日のイベントを客観視し見ながら感じましたね。（中略）結局、シウバたちも進化してってるからね、どんどん。だから昔前だったらそうじゃなかったし。前回（3・25）はハプニングでこうなったけど、今回はグラウンドに入っても攻め方っていうのかなぁ。そういう意味ではレスラーが本来ならば絶対的に上になって押さえつけてっていうのが、持っていかしてくれないようなテクニックも研究しているし、その辺は昨日見てて（感じたね）。昨日の（ムリーロ・）ニンジャなんかもそうだけど、通常レスリングの方が絶対的なまあ、ねえ？（対戦相手のヘンダーソンは）オリンピックまで出てる。（リングスにいたときは）ノゲイラも倒してるんだろう、アイツは？ そういうのが逆に倒されちゃてってるみたいなね。結果的に試合は勝ったけど、ヘンダーソンは完全にコントロールされてていうかなぁ。

——高田選手の試合の方はどうでしたか？

猪木　まあ、昨日も言ったとおり、いいんじゃない？ これ以上（笑）。「よくやったね」って言うしかないなぁ。

——桜庭選手がまたもシウバに敗れたというのは？

猪木　まあ、時代っていうのはしょうがないね、もう。ぜひカムバックしてもらいたいなって思うけど。時代かな、という。いままで相手のスタミナを消耗させて、うまく自分のペースに巻き込んでったという桜庭流のやり方も、こういうのが出て来ちゃうと通用しなくなっちゃう。本来ならレスラーが担がれちゃうなんていうのは信じられないことだから。逆に桜庭が（シウバを）担ぐならわかるけど、それが逆になっちゃうっていうケースがいくつかありましたね。

——藤田選手については？

猪木　あいつはちょっとヒザが悪くてね。やっぱりこないだのミルコ戦は最悪の状態っていうか。そんなの理由になんないだけど。結局それよりもやらなきゃならないことは自分の自己コントロールであったり、故障している部分をね。俺らは長年の経験でいろんな治療を知ってたり、どうやったら治るかっていうのは自分で熟知してたんでわりと相当な大きなケガでも早く回復してという。それをほったらかしにして1日も2日も、あるいは1～2週間も過ぎていったら、結局練習が出来なくてなってしまって、体重コントロールも出来ない。まあ、いま非常にいい調子で上がってきたんでね。まあ、何かテクニックとかそういうこと以外にも1日でも長く選手生活を続

10・24成田会見に、引退する木戸修が突如現れた。まさに静と動！　対照的な2人だが、昭和47年からの新日旗揚げメンバーだ。「よし、俺が引退興行で木戸番（チケットのもぎり）でもやるか」とダジャレなのか本気なのかわからなかったが、ホントにアントン総帥は、11・2横浜の木戸引退興行で、木戸番をやってしまった。素敵だぜ、ビンタディン！

出た発言かもしれない。

「紅白の視聴率を50％切らせて、15～20％は取りたい」

とブチ上げるビンタディン。1年で一番視聴率を取るのが難しい「紅白」とぶつかる時間帯では、10％いったら奇跡と言われる。そこで15～20％のハードルを設定しているのだから、ビンタディンは、命がけの格闘エンターテインメントで、打倒・紅白を本気で狙っている。しかし、猪木軍の陣容はなかなか決まらない。

その本気度&イライラが小川への痛烈なひと言になったかもしれない。

そして、12月中旬に戦火のアフガニスタンに行くことを掲げ、『INOKI-BON-BA-YE2』に乱入予告！　K－1に電流爆破マッチを提案するなど、かつてのビンタディン顔負けのアドバルーンをブチ上げる大仁田厚については、こう、一刀両断した。

「大仁田？（12・31に）来てもいいけど、くだないことやったら殺すよって。立派な先生になったんだから、政治の方に目を向けろよ。本当にアフガニスタンに行きたいのなら、俺がアフガニスタン関係かパキスタン関係を紹介してやる」

こ、殺すとまで言いますかーーッ!!

まったく、ビンタディンは恐ろしい。

そして、この後は、なんでもいいから凄ェイベントになりそうな大晦日に向けてのさらなる意気込み、高田、橋本へ向けてのメッセージ、そしておなじみ新日本への〝気づき〟を与える言葉などがたっぷり詰まった会見を、引き続きお楽しみください。まず話は来年1月4日、新日本ドーム大会からダーーッ!!

●

猪木　そうですねぇ（笑）。面白いこといっぱいあるんだけど。ダーッハッハッ！　まだ時間があるんだから、いいんじゃないですか？　まあ、そうは言ってもすぐ来ますから。とりあえず超満員にしてもらいですね。それがまず俺らの使命。内容的な問題はファンが承知したりしなかったりするわけだから。喜んで泣いて怒り、正してくれれば。とりあえずその前に超満員にさせるっていう。興行の原則化。それをもう1回忘れないようにして。「ザ

11・3ビンタディン劇場 in『PRIDE.17』!!

【休養明け、あのテーマが鳴り、大歓声の中、アントン総帥が登場】

猪木「元気ですか～！　元気があればなんでもできる。元気に笑えば世界が笑う。元気が集まれば、時代が変わる。選手が燃えれば『PRIDE』が笑い『PRIDE』よ、馬鹿になれッ！　馬鹿になったところで、俺の馬鹿な詩をちょっと聞いてください。

『青い空が目に沁みる／海はキラキラと妖しく光っている／緑の島は息をのむ美しさ/静かな入り江に／虹色の魚が跳ねた／身を躍らせて魚群を追えば／海底から／サンゴの林が手招きしている／欲を捨て／時を忘れ／色んな夢が花咲かす／パラオの海は竜宮城／魅惑のイノキアイランド／いろんな夢の花畑』

この美しいパラオの島から、今日は大統領が来てますんで、ちょっとご紹介したいと思います。」

パラオ大統領「ゲンキデスカ！　ゲンキデスカ！　パラオニテキ……。」

猪木「パラオに来て下さい！」

パラオ大統領「パラオニキテクダサイ！　ミナサン、パラオニキテクダサイ。」

猪木「え～、今日はこれでは終わらない!!　先日、メッセージを送りました。俺に挑戦しようというような、野球界の大馬鹿者が……キヨハラーッ！　いたら出て来ーいッ！」

【場内騒然とするなか、リングサイドから巨人の清原和博がリングに登場、猪木が不意打ち気味に張り手一閃!】

清原「メッチャ痛いです（笑）。猪木さん、ありがとうございました。」

猪木「これでも終わらない！　12月31日NHKを、『紅白歌合戦』の裏番組で勝負を賭けます。猪木軍対K-1。俺の名前はビンタディン（笑）。俺の仕掛けにビビッて逃げるなよ、K-1！　いたらリングに上がって来ーいッ！」

【K-1のテーマに乗って、石井館長とサム・グレコが入場】

石井「えー、こんばんは！　8月の約束どおり、今度は僕らがこのリングに上がってきました。押忍！　8月の19日、猪木さんの力を借りまして、素晴らしい試合になったんですが、あの試合ではまだ完全燃焼しておりません！　私たちはきたる12月31日、さいたまスーパーアリーナにおいて完全燃焼べく、サム・グレコと一緒にこのリングにやってきました。グレコは12月31日の試合の後、『PRIDE』に参戦いたします！　押忍！」

グレコ「イノキさん、石井館長、皆様ありがとうございます。こんな大きな舞台に今日来ることができて、本当に嬉しく思ってます。おそらくここは世界で最も素晴らしい会場だと思ってます。K-1vsチーム・イノキなる新しい波があることを知りました。そのニュースを聞いて、心からワクワクしました。K-1vsチーム・イノキで（日本のリングに）ぜひ戻ってきたいと思います。私にとっても、そしてK-1の同僚にとっても、決して簡単な闘いにはなりません。でも、完全燃焼して、力の限り尽くして闘います。日本は私の第二の故郷です。また戻ってきます。押忍！」

猪木「やりますか？　こんな暗い時代だけど、力を合わせて時代を変えよう。12月31日はそんな思いで、頑張ってみようと思います。行くぞーッ！　1、2、3、ダーーーーッ！」

けてもらう。そのためにはいろんなこともあるっていうか。それはやっぱり俺たちの知識を伝授するしかない。こないだ、強引にでもそれを最優先にしろ、と。スケジュールが入ってるとかこうとかって、それよりもやらなきゃならないっていうことをね、みんな忘れちゃってるとこがあるんだよね。

——藤田選手の（1・4新日ドームの）巴戦のボイコットについては？

猪木　そんなことはどうでもいいんだよ！　別に、小川が自分で対峙することだから。俺がコントロールしてるわけじゃないから。小川が出たいなら出る、出なきゃ出ないって。まぁ、ハッキリ言えば、やっぱり小川が中心っていうか、プロレス界が。小川が心を開いてもらわないといけないし、いまみたいな新日本の状態でもね。こないだも（11・2木戸修引退興行の）控室で言ったようにね、やっぱりこれだけ外が変化してるじゃんか！　どうして外を見てくれないの!?　と。もう、俺は何年か越しのメッセージを送り続けてるわけだから。だから、もうそれは新日本の立場があるないじゃなくて、大事なことはみんなそれぞれがこれでメシ喰ってるんだったら、メシのタネを大事にしろっていう意識を持つっていう。まあ、東京ドームはコマはいっぱいあるにしても、やっぱりこないだもリングの上で言ったように、WWFというかアメリカで絶対的に人気を誇ってきた、ここ1～2年のものが、もうホントに、なんだろうな……何分の一になっちゃって、視聴率がね。辛うじて動員数がいっぱいにしてる状況であるとかっていう。逆に新日本っていうものが唯一対抗できる団体でもあったし、対抗じゃなくて、それは新しい形のプロレスを発信してもらいたというね。そんな思いが強いために何遍もいろんなこと言ってるけど。結局、それを受け入れる人間と拒絶する人間ってね、はっきり別れてるっていうね。（語気を強めて）だから！　拒絶しようと構わないんだけど、ただ藤波にも言ったように、「何をやりたいの？」と！　こないだは「選手たちがあぁだこうだ」とかそういう言葉を言っていたけど。（そんな言葉は）いま世の中では通用しないというか。（99・1・4の）小川vs橋本でも「みんな選手が怒ってます」と言う、俺にね。〝みんな〟って誰なんだい？って！　俺は何人か選手に確認してるからわかってるけど。「〝みんな〟って誰なんだい？」と聞くと、「いや、みんなです」って。「じゃあキミは？」って聞くと、「いや、違います」って。じゃあ違うじゃねえか！　みんなじゃねえじゃねえか！　みんなっちゅうことは全部だからね。こないだも同じようなことを俺に言ったから、「みんなが、選手が」って。バカヤローって！　そういう詭弁っていうか言葉じゃなくて、「オマエが何をしたいの？」って!!　やりゃあいいじゃねえかって！　だからテレビ朝日がどう言ったとかも、別に俺は本人かどうかわからないけど、オマエが何をしたいのか！っていうことをいま主張しなきゃ一番いけない時期だと思いますよ。だからそろそろ、いい子ぶってるのはやめろって。そんなことやってたら、いつまでたっても、いつまでたってなくてもホントに終局に向かっているよっていうね、メッセージを送ってるわけですから。まぁ、そういう意味では、そこまでいけるのか、いけないのかわからないけど、1月4日っていうのは、12月31日っていうのも凄い大事なことですよね。新日本として12月31日が形としては繋がることはできないにしても、そこからもう一つ飛躍していくというプロレスを、繋がっていくという発想を持っていってくれれば。（突然大声で）顔がよくねえもん！　だってこないだ（11・2新日本）も控室に行ったらさ！　そう思いませんか、キミ？（と、突然記者を指さす）やっぱり新日本にとって大事なことは、勝者になっていくやつのオーラというか、出て行く闘う姿勢というか、顔とか目とか、もうギラギラしてる部分であって。純粋性というか素直であったり、まあ勝者と敗者が、それはそれとして、またみんな抱き合ったりね。何か負けることばっかり恐れて、一歩踏み出す勇気を忘れちゃってるのは困ったもんだな。こないだも言ったように（10・8の）東京ドーム、6万なんてくだらない発表するな、この野郎って！　俺は見てないからそれはわかりませんけど、ただ俺が聞いてる数字ではね（違う）。そんなことは俺たちの時代にはやったことはないから。やっぱり、ある数字に上げることはあったとしても、そんな倍みてぇねな。入ってなきゃ入ってないでいいじゃんか！　今回だってね。「次は頑張ろうよ」でいい。そういう見栄の部分に囚われてね。ホントは、ガン首揃えて昨日あたりは、みんな『PRIDE』を見りゃいいし。そっから『PRIDE』のいいところを（盗めばいい）。「いやぁ『PRIDE』は後発部隊だから。ウチは老舗でズッとあるんだから。そんなものを見る必要はないよ」って思ってる野郎がいるから。そうじゃなくて！

「ドラマなんか出てる場合じゃないと言いたいけど……ゴネた方が得なのか、出た方が得なのか、よく考えた方がいい。ゴネるなら、いらねえよ」

マァミロ、猪木！」って（言ってほしい）。この一杯になったところを見に来てくれって言うぐらいのさ。

　12月31日の興行が大成功すれば来年に向けての……。

猪木（遮って）興行は成功するよ！　間違いなく。ただ、要はテレビがどれだけの器量を持ってやるかやらないか。つまんない芸能的なものばっかりを（やらなければ）。NHKというものを意識してやってるんだろうから。NHKというか紅白というものを。だったら、どこまで格闘技色を強くするのか。そこにバラエティショー的に入れ込むことが俺は決してプラスではない（と思う）。要は試合を見たいわけだから。この前の新日本のときみたいに頭からアナウンサーが……アナウンサーが悪いとは言わないけど、ベラベラそんなの見たくないし。試合を見たいんだから、試合を見せてあげる。さっき言ったのは、要するに入場の合間っていうのは絶対できるだけ時間は短くしていかないといけない。そうしなければ、ファッションショーじゃねぇんだから。やっぱり緊張感というものを損なわないようにね、そこんとこは全体会議で言わせてもらうしね。俺の看板掲げる以上は、責任は俺が取んなきゃいけない、最後はね。

——これを機会にテレビ中継も変わっていく可能性があるんですか？

猪木　恐らくいろんな局が……正式ではありませんけど。まだ公式じゃないですけど、いろんなファンが入ってますから。結局、いま時代の変革期っていうか、格闘技に対する。だから若い人たちの反応っていうんですか？　俺らがホントに昨日も一昨日も、福岡とか大阪の駅を歩いていると、そこに渦が起きるっていうことをね。それは逆に言えば、そういうテレビ局とか興行っていう視点から見ないとね。俺は日常的なものですから、道歩いてるとサイン（求める人）が来てみんな騒ぐってことはね。

　先週なんですけど、藤波社長が直接会って会談をしたいっていうことなんですけど。

猪木　ロスに来ればいいじゃん。俺なんかは女に会い行くときはどこにでも飛んでってたよ。ンムフフフ。夜通しバスに乗ってポートランドからどっかへとかさ。会いたい人に会うにはそれくらいの情熱がなけりゃよう。女じゃなくたってね。ロスじゃなくたっていいよ。パラオに来ればいいんだよ。こないださ、時間がたくさんあったんだ。アフガンに来い！（な～んつってな）……ンムフフフ。ダーッハッハ！

　今回、日本にいらしたときには藤波さんとは電話なんかで……。

猪木（遮って）しないよ！　好きにやれば！って言ってるだけですから、俺は。前から好きにやればって！

　『猪木祭り』の新日本の選手の参戦に関しても、向こうの答えを……。

猪木（遮って）それが出ようと出まいと。ただ、こないだ選手の意向っていうのは聞いてますから。そういう火があるんなら、火をもっと大きくしてあげたいなって。みんなそれぞれが選手生命ったって、いつでも続くわけじゃないんだから。ピークの時期っていうのがあるわけだから。その一瞬の瞬間でね、俺は最大の勝負させてもらえて。まあ、アリ戦もそうだし。それ

石井さんやK—1はプロレスの人気を（取ってきたし）。そうやって人気を取られて下がっていった部分もあるし。そしてそこに『PRIDE』が登場してきた。だからそういう素直さと貪欲さと、いろんな部分でもっとプロ意識を持ってくれないと困るなって。そういう意味で1月4日、土壇場になって俺んとこに頼んでくるんじゃなくて、何か言ってくるなら俺もアイデイアを出すけど。そうじゃなきゃ死に体で構わない。視聴率の件もこないだ言ったとおり、K—1に負けてもらいたくないっていうのが俺の心底、心の中にあるわけだから。あんなくだらない番組の作り方しやがってって、テレビ朝日にガンガン言った。それでガン首揃えてみんなで謝りに行ったから、「それじゃやめりゃいいじゃねえか」って！　ねえ？　話せばわかることなんだけど、もっとプロ意識で（意見を）取ってもらいたいなって。映像だってもう、これだけいろんな技術が入ってきて、いろんな新しい技術が出てきますよね。その中でね、何だかわからない、何かホント田舎臭ェみたいな感じがするような画面っていうのは、もう耐えられない。まあそれは俺たちが自分たちで製作すれば良かったっていうのはありますけどね。

——（12・31の「猪木祭り」への新日本の選手派遣について）藤波さんは猪木さんと話し合ったけど、会社の方針は変わらない。選手は嫌がってると言ってますが……。

猪木　（遮って）嫌がってないって！　永田は「やりたいんです」と。ただ、やりたいって言ったって不安材料もあったり。でもそこに火種があるとするならば、火種は煽ってあげなきゃ。それが俺たちの仕事です。それじゃ（新日本は）火種を消すのかい⁉　まるっきりやりたくない奴を「オマエやれ！」とは言わないし。「やりたい」という人間がいるとすれば、その火種を大きくしてあげる、自信をつけさせてあげる。じゃあアメリカに行く、ブラジルに行って体験するとか。そういう時間を与えて上げてね。これも（藤波が）さっき言ったみたいな詭弁を使ったから、要するに「〝みんな〟が」と。本人はそう言ってません」って言うから、もう1回呼びつけてね。俺に遠慮して「（選手が）俺の言う通りに返事をするんです」って言うから、「そうかい？」と。本人呼んで「どうなんだい？」と。そうしたら（永田は）「やりたいと思ってます」と。それは会社の中の、組織だから、逆に言えば裏返しで俺には本音言うけど、あっちには本音言ってねえんじゃねえかと。俺に本音を言わなくて、彼らが本音を閉いてるっていう図式っていうのが全く逆で、俺に本音を言うんだよ、みんな。俺はだって、そこの組織の御意見番じゃない　外にいるだけだからさ、ある意味ではね。だから藤田のケースから、小川のケースから、安田のケースから、まだいろんな部分で続いてますから。だからリーダーの色によって

「大仁田？　くだらないことやったら殺すよって。立派な先生になったんだから、政治の方に目を向けろよ」

会社は変わるんだから。坂口征二っていう人がやったり、それはそれでいいじゃないかって。それをまた脱皮して変わって行こうっていう新体制になった以上、その藤波カラーっていうものは、いまのカラーの藤波カラーでしたら、それはもう末期的だよと。藤波自身が変わらなかったら大きく。あるいはホントに何だろうな……清水の舞台から飛び降りるみたいな度量をね、やっぱり（持ってもらいたい）。テメエがかわいいとか、そういうことじゃなくて、もっともっと。みんなテメエがかわいい、いい子でありたいって。悪役をやったことのないレスラーっていうのはそれだけ幅が狭いんだよ。俺らは悪役もやってるし、アメリカ（修行）時代に。それだけに、人間のつき以外もいくつかの勝負をさせてもらったんで。そういう火が燃えてる選手がいれば大きくしてあげたい。

　それは新日本の社長でもある藤波さんに責任があるってことですか？

猪木　別に責任があるかないかってそんなことは。本来はね、当然のことなんだから。当たり前のことですよ。

【長い沈黙】

猪木　（大晦日は）美空ひばりさんを何とかジャックしようかと思って。たまたま息子さんが、えらい俺のファンで。俺の曲を作ってきてくれたんでね。いろんなことができるんで。まぁ俺は自分の案があるんだけど、それに対しては。12月に今度帰ってきたときにみなさんといろいろ。それが採用できるかできないかは、テレビ局の問題があったりいろいろありますから。そういう意味では、力道山も含めて。そういう意味ではお祭りですから。「そういうの許されるの⁉」っていうのが一つか二つかあってもいい。

　第1回目の大会とはだいぶ趣が違ってくる？

猪木　そうだねぇ。同じだったら進歩ねえもんなぁ（笑）。時代が早いから、すぐにクスぶってきちゃうじゃない⁉　橋本だって、ほっといたらすぐクスぶっちゃうぞ、と！　とにかく、そういう意味で大仁田じゃないけどさ、なんか、ここ一番のとこで口挟んどきゃ、自分の名前が消されないようにっていうさ。小賢しいけど、でもそういうズルさも必要なんじゃないかって。人気商売やってるときにはね。

　髙田選手（の『猪木祭り』出場）はどうなんでしょうか？　足の負傷もあるでしょうけど。

猪木　いいねぇ（笑）。出ておいでって。そうだよ、松葉杖ついてでも出てこいって。命を懸けりゃあさ、足の一本折れたぐらいだったら歩くだろうよ！　一生に一回ぐらい、そういう勝負してもいいんじゃない⁉

　それは髙田さんにはもうお伝えしたんですか。

猪木　それはない。そんな時間ないし。わざわざ髙田にそこまで言うのに時間を取るには。ただ、「え！　そうなんだ」っていうメッセージが伝わったとすれば、みんなそれぞれ……たぶん、いま落ち込んでいるんじゃないの？　ンムフフフ。そんな落ち込んでいるヒマねえよ！　と。

　それと猪木さんは前に、勝てる選手と勝てない選手は、ほとんど最初から決まってるんだって話をしてたと思うんですけど。

猪木　勝てるって？　ああー、あの舞台に出る前に……。

　そうです。勝ち組になる連中と負け組の選手はやっぱり決まってるんだみたいな……。

猪木　それじゃあ夢がなくなっちゃうよっていうか。

　目を見ればわかるんだと言ってましたよね？

猪木　パッとこう見たね、オーラっていうかね。「あ、これはいけそうだ」とか。こないだも敢えて言わなかったんだけど、桜庭はもう出る前に負けちゃってたよね。

　やっぱりそれはハッキリ出てますか？

猪木　これは何ていうか、理屈じゃないから。感じたまま。「あ、コイツは今日いける、いけないな」って感じるだけで。

11・3ドームでは、突如、リングサイドにで観戦していた巨人の清原を呼び出し、不意打ちの闘魂ビンタを食らわしたビンタディン。「メッチャ、痛い！」と言いながら、しばらく頬を押さえていた清原は、「猪木さん、ありがとうございました！」とヤケクソ気味に頭を下げたが、その目は涙目に。ンムフフフ。

あいをしてみると、ホントに悪役をやった奴とのつきあいの方が味があったりするから。……悪口じゃないよ！　ンンムフフフ。藤波に脱皮してもらいたい、いいリーダーになってもらいたいっていうことだから。それには遠回しな話はできないから。俺なんかが、それこそ出番がなけりゃ、それが一番いいわけだからさ。時代を変えてもらいたいっていうことでバトンタッチしたわけだから。皆さんは何で俺のところにまたインタビュー来るの、そんなことを？　結局、その体制ができてねぇから来るわけだろ!?　面白くねえから来るわけだろ!?

――大晦日のメンバーでは……。

猪木　出る選手？

――サム・グレコの名が上がってますが？

猪木　まあ、一つの第1弾ではあるよね。第2弾、第3弾っていくところの。

――猪木軍としては誰が？

猪木　猪木軍って何だかわからねえんだよ。ダーッハッハッハ。勝手に軍団ができてさ（笑）。みんなとりあえずね、入りたいってさ、グッドリッジとか。ハッキリ言って藤田が出ていく段階（8・19）じゃ敵陣に行ったわけだから。敵陣の中の輪っかの中に。そういう風に考えると、もうコマはいくらでもいるわけだよね。でも視聴率的なことを考えると、やっぱり日本人の数を増やしていきたいなと。佐竹も武蔵とやりたいとかって。俺は武蔵っていう選手はあんまりよく知らないんだけど、そういう話もある。昨日の（佐竹の）結果はともかく、カードとして見たいっていうがあると思うんで。

――視聴率的なことを考えると中西選手の出場は？

猪木　本人とはまだ話してないです、中西とは。永田はたまたまね、出会えたんで。いまある意味では新日本に隠れて練習してるんじゃねぇのかな、中西なんかは。やっちゃいけねえって（新日本から）おふれが出てるんじゃないの？　ンムフフフ。

――中西選手は、方向的には1年の準備期間が必要だってことで、消極的な発言してるんですが？

猪木　いいんじゃないの、出なくたって。ンムフフフ。ただ、やっぱり時代っちゅうのは機を見るに敏。大仁田じゃないけど。大仁田の爪の垢でも煎じねぇと。時代がそんな待ってくれないよと。……だって「プロレスこそ最強だ」って言ってんだろう、オマエ！　ねえ？　いつ何時誰の挑戦でもっていうね。要するに、猪木イズムかもしれねえけど、それはどこにいっちゃったの？　そりゃあ、こないだの石澤みたいなケースもあるよ。それはそれでいいじゃない。あれがあったから感動のドラマが生まれるわけだからね。人間なんかはどこまでやったら完璧だなんてわかんないよ、そんなのは。小原にしたっていいじゃん、出たことは。涙を流してさ、悔しくてさ、だからいいんじゃん。涙を流さない奴が天下なんか取れねえよ。新日本に何人涙を流した選手がいるの？　逆に教えてよ？……今日は倍賞（鉄夫）も来てっから、その話を聞こうと思って来てんじゃねえの？　鉄夫に聞きゃいいじゃん！（今回、アントン総帥と一緒にパラオに行く倍賞取締役がちょっと離れた隣のテーブルで白々しく「いやぁ、パラオも久しぶりだなあ。ハッハッハ」と笑う）。

10・31――サクを[illegible]ったシウバと、[illegible]スから偶然同じ便で来日したビンタディン。まさか、サク対策を授けたのか？　ビンタディン

――猪木さんの中に来年のビジョンっていうのはあるんですか？

猪木　だから、新日本がそれにも勝るような企画をしてもらいたいっていうね（苦々しい声で）。せっかく、（テレビの）特番を組むんだろうしね。「ザマァミロ、猪木！」と。そうなりゃあ、俺も嬉しい。俺に「ザマァミロ」と言ってみろよ。出すとか出さねえとか、あれは嫌だとかこうだとかってやってたら、バカヤローだよ、ホントに！　俺だったらよ、新日本の連中全部並べて叩き潰してやるってさ！　ソバでも食うよ、俺は！　ズーッ、ズーッ（怒りながら伸びたソバを食べ始めるアントン総帥）。……（ソバを食べながら）マジメ人間が面白いのかい!?　マジメだから金を払って見に来てくれる!?　「ボクは優等生です」って切符買ってくれるかよ！　興行会社、ってそういうもんじゃないじゃん。いい子ぶるのはやめろって、もう。ズーッ、ズーッ！

■

こうして倍賞・新日本取締役とともにパラオへと旅立ったビンタディン総裁。話はいい方向に展開したのか、2人がパラオにいる間に日本の藤波社長は、『INOKI・BON・BA・YE 2』に「対K―1という枠でなければ、新日選手を派遣してもいい」と発言。以前は「絶対に出さない」と頑なだっただけに、ビンタディンと新日本の関係は、1ミリづつ前進している模様だった（P24に戻って11・12会見を読みますかーーッ！）

「紅白の視聴率を50%切らせて、15～20%は取りたい」

【中略】

猪木　その人のもともと持ってる資質っていう部分があると思うんだけどね。ただ、それは一つのハングリー精神っていうかね。だからここんとこ見てると、もう1回藤田なんかも、もう1回やり直ししないといけないのは、ある意味安定時期　成長期から安定期ということ。その安定期がどこまで長いのか短いのかっていうね。そっからあとは運命！　安定期をもう1回崩して、もう一つ飛躍していく意識に変えないといけないんだよね。

――自ら自分を崩さないと前にいけないということですか？

猪木　だから目標は高く掲げないと！　でも、まぁいいですよ、とりあえず一つの目標は達成したんだから。で、もう一つ目標を掲げ直してチャレンジすることというかな。まぁ、初心に帰るって言葉になっちゃいますけど、藤田がこの12月31日のそういう意味ではもう一回「修行とは出直しの連続」をするか、そういう意味での新しい出直しをっていう意識を持ってもらわないとね。

――他の選手で誰かいないですか？

猪木　まぁ、一つは小川なんかもいい例だと思うんですが。それはまぁ、サラリーマン経験をしてますから。まぁプロレスという破格の金額をもらうことによって、うん。まぁ、ハングリーさが薄れてしまうというか、ある程度のところまで満たされてしまうと、そっから、それ以上最初に持っていたハングリーとは違ってきちゃうんだよね。だからそっから多分、お金じゃなくなってきている。自分の持った使命感っていうか、自分が活かされている役割とか。そういうことに今度は目覚めていくような、もっと大きなものに飛躍していけるだろうって。

――次回の帰国の予定は何日ですか？

猪木　あんまり言うと困るんだよ、女の子があっちこっちで。ンムフフフ。

――（笑）。

猪木　時差をつけないとさ、この歳になると体力がもう、いつ何時でも誰の挑戦を受けられなくなってきてるから（笑）。な？　そのくらい言っとかないとホントにダメになっちゃいそうな……ムハハハハ！　はい、（11月）28日に帰ります！　予定ではね。そうだね、28日だね？（猪木事務所・伊藤氏に確認する）。

――K―1の東京ドームには行かれるんですか？

猪木　K―1いつだっけ？

――12月8日です。

猪木　8日ね。ちょうど俺もね、どーしてもこれは、外せない用事があってね　帰れないんだよね。ホントはいたいんですけど、ね、ゼヒ。まぁ軍団挙げて見に行きゃいいじゃん、K―1、あ、藤田もいないんだよね？（藤田はロスからブラジルへトレーニングに行ってる最中）。かっこいいね、それね（報道陣の服装を指差し）。それじゃ、ありがとうございます、どうも！　じゃあよろしくお願いします。……俺の財布？

■

こうしてビンタディンは機中の人となったが11・4の成田会見で言った通り、後日、永田裕志が『猪木祭り』参戦表明！　しかも高田と闘ったミルコに興味があるという！　永田vsミルコ戦は実現するのか？　新日本から参戦する選手は他にいるのか？　次にビンタディンが日本の土を踏むときには、小川問題も含めて、状況は風雲急を告げる可能性大だ！

遂に新日本という山が動くのか？ 永田はミルコ戦に照準を絞っているという。

そして、ビンタディンには「ゴネるんだったらいらない」と言われ、藤田には「まぁ、エースが出てきてくれるんだったらいいが、エースに限らず、これはかりは本人の意思だから」と突き放され、安田には「あんだけ旗振ったなら、先鋒切って出てきてくれないと困る」とあきれられ、最後は高田にも「小心者協会会長」呼ばわりされたオーちゃん。これら一連のことに関して、編集部ではコメントを求めたが、帰ってきたのは次の**一枚のFAXだった。**

「週ゴン」（11/29号）が、この表紙でスクープをカッ飛ばした！ さすがGK！ 永田vsミルコ戦？ この一戦は、ズバリ言って面白い！ はたして今号が出てから動きは活発になるのか？ 日々のスポーツ紙、そしてGK率いる「週ゴン」をチェキラ!!

『マニアの皆さん、お休みなさ〜い。次に目を覚ますのは、12・9大阪で〜す』

STO

12月31日…小川直也はどこに!?

※オーちゃんの近況は次のページだ!

熱唱!!

マット界もヒッパレ!!

オーちゃん&破壊王!

おいおいおいおい冗談じゃねえよ~!!

歌ってる場合かよ!?

でも面白い!!

　暴走王と破壊王が遂にタッグ結成！

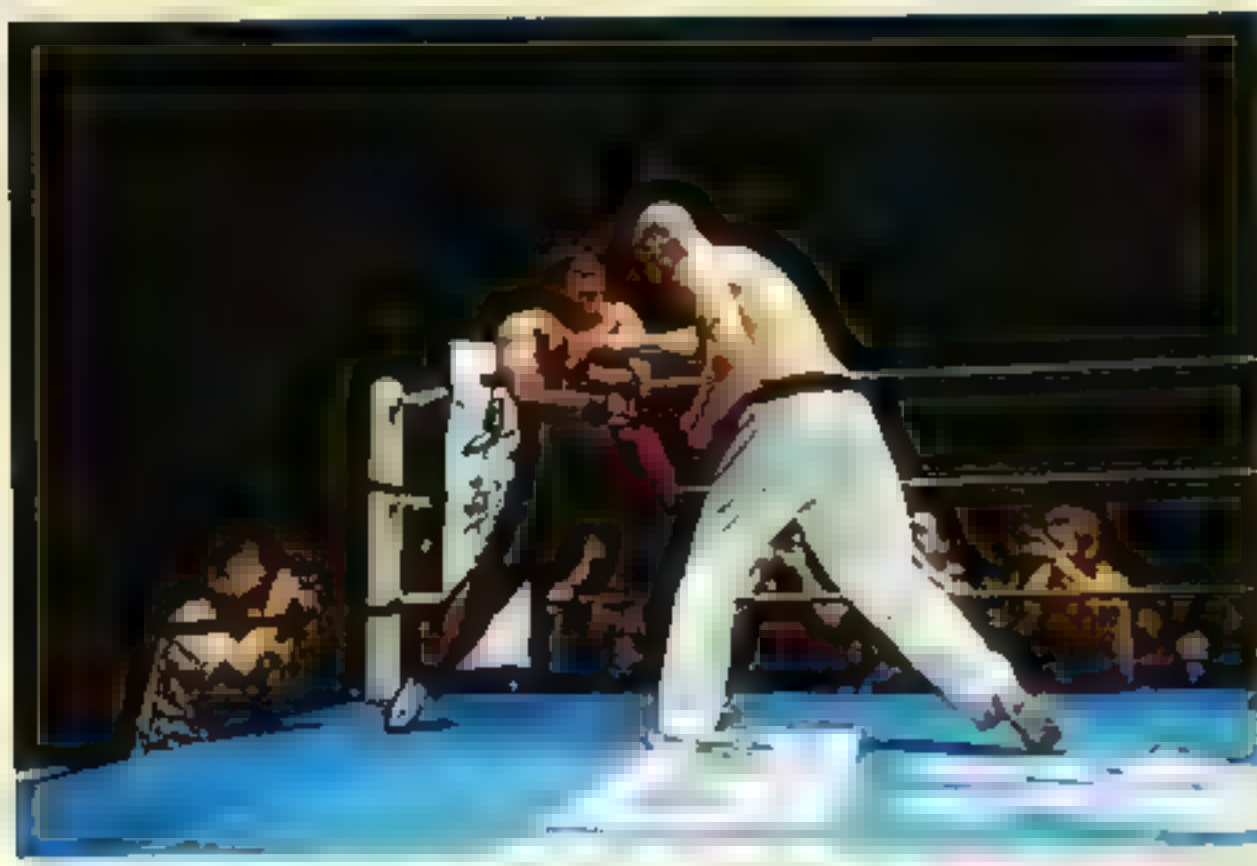
　という月並みな書き出し方をしてしまったが、とんでもないことが起こってしまった。

　12・9大阪城ホールで行われる『真撃』で、マーク・ケアー&トム・ハワード組という屈強ガイジンコンビを迎え撃つ、長嶋&王以来の大型"OH砲"。その小川&橋本が、本職でのタッグ結成よりもひと足先に、デュオ結成をはたしてしまった。

　日本テレビの人気番組『THE夜もヒッパレ!』に2人揃って登場したOH砲は、そこで桑田佳祐のヒット曲『白い恋人たち』を凄絶&絶妙に歌いあげてしまったのだ。

　オーちゃんは何度か『ヒッパレ』に出演したことがあるし、か

思わずカメラを持つ、本誌・斉藤ケロちゃん（仮）の腕を震わせるほどの熱唱を披露した「チーム狩人」。見てみ～、この破壊王の歌い上げっぷり。素敵だ

10・25『真撃』武道館大会リングに久々に上がったオーちゃんは、ジャック・デンプシーのひ孫、ジョン・デンプシーを葬ったあと、大乱闘を展開した。12・9大阪 マーク・ケアーとの絡みは、やはり注目だ!!

10・25『真撃』メインで死神・ゴルドーと対戦した破壊王は、最後は逆エビ固めで切って落とした。オーちゃんとの「チーム狩人」には、マット界に、どんどん狩りに出ていってほしいものだ

ってCD『橋本元年』をリリースし、そのアルバムに収められている『栄光の独白』という名曲中の名曲を持ち歌とする破壊王。2人とも、言ってみれば立派な歌手だ。

収録は11月9日に行われたのだが、その立派な歌手2人は、リハーサルで天地がひっくり返るかと思うほどのハーモニーを披露。取材陣を大爆笑の渦に巻き込んだ。

聞けば、破壊王は『白い恋人たち』を2日前に初めて聞いたという。しかも破壊王は、リハ中は、靴を忘れてスーツにスニーカー姿だったからたまらない。

そして、記者陣の前に意気込みを語るために現れたOH砲は、プロレスの話もそこそこに、破壊王が「俺たちはチーム狩人だ!!」と宣言！

おそらく破壊王が、2人組といえば「狩人」しか思い当たらなかっただけなのだろうが、なんとその勢いで、大晦日は紅白出場を狙うとまで言い放ってしまった。

億が一、紅白出場となれば、猪木軍vsK−1はどうなる?

アントン・ピンタディンには「ゴネるんだったらいらない」と突き放され、藤田には「まぁ、エースが出てきてくれるんだったらいいが、こればかりは本人の意思だから」と言われ、安田には「あんだけ旗振ったなら、先鋒切って出てきてくれないと困る」とあきれられ、最後は11・3で対戦する話があった高田にも、「おまえ（小川）こそ信念も何も見えてこない。″いつ何時、誰とやる時は、勝てるかどうかよ～く考えて勝てると思った時だけやります″とセリフを変えろ」とまで言われてしまったオーちゃん。

これで紅白出場となって、猪木軍vsK−1に出ないとなると、アントン・ピンタディンとの本格抗争になり、何を言われるかわからないが……んなこたぁない（タモリの真似をするコージー冨田調）。

まぁ、マット界的には、歌を歌ってる場合か！　と言いたくもなるが、この写真を見たらもはや何も言えない！　ズバリ言って面白すぎるというか……ダーッハッハッハ。

なお、オンエアは11月24日。土曜日。午後10時だ。

いや～、まったく、告知が間にあって、こんなによかったと思ったことはない。

本番ではどんなことになっているか、みんなでシカと見届けよう。必見だ!!

そして見終わった後は、みんなで「チーム狩人」に向かって本気になってこう言おう。

「マット界をヒッパレ！」

村浜武洋（大阪プロレス）vs ビクトル・ラバナレス（元WBC世界バンタム級チャンピオン）

DEEP2001
3rd IMPACT
12/23 X'mas
DIFFER
ARIAKE

謙吾のカタキを大刀が討つ（なぜだ!）

“辰吉を破った男”ラバナレス登場！ ドスJr.の相手は大刀光!!
ヤノタクvsムエタイの異端児！ ラウンドガールにキューティー加入!!

DEEPにしかできない！ DEEPしかやらない!!
大みそか（12・31）が「I・NO・KI祭り」なら
クリスマス（12・23）は

DEEP事務局代表

『SA・E・KI祭り』だ!!

チケット情報

■日時：12月23日（日） OPEN 14:00 START 15:00
■会場：ディファ有明
■入場料金：
VIP（最前列、パーティー付）30,000円
SRS 15,000円 アリーナS 9,000円
アリーナA 7,000円 アリーナB 5,000円
※当日は全席種500円増し
■お問い合わせ：DEEP2001事務局
052-339-0303 http://www.deep2001.com/
■チケット発売所
・チケットぴあ――03-5237-9999（Pコード 594-040）
・CNプレイガイド――03-5802-9999
・ローソンチケット――03-5537-9999
・e+（イープラス）――http://www.eplus.co.jp/
――03-5749-9911
・ディファ有明――03-5500-3731
・書泉ブックマート――03-3294-0011
・大山アメリカン――03-3962-6443
・レッスル渋谷――03-3464-0078
・レッスル池袋――03-3989-0056
・後楽園ホール――03-5800-9999
・ビデオショップチャンピオン――03-3221-6237
・プロレスマニア館――03-5276-0304
・アイドール新宿――03-3371-5211
・ファイター――03-3354-1903
・フィットネスショップ水道橋――03-3265-4646
・チケット&トラベルT-1――03-5275-2778
・デポマート――03-3515-6507
・パンクラス――03-5792-0815
・DEEP2001事務局――052-339-0303

全対戦カード

第1試合 [illegible]
第2試合 大石[illegible]vs村浜天[illegible]
第3試合 [illegible]vs[illegible]
第4試合 伊藤崇文vs日高郁人
第5試合 上山龍紀vsラバーン・クラーク
第6試合 窪田幸生vs坂田 亘
第7試合 ドス・カラスJr.vs大刀光
第8試合 矢野卓見vs“ランバー”ソムデート[illegible]
第9試合 村浜武洋vsビクトル・ラバナレス

坂田 亘（エボリューション）
vs
伊藤崇文（パンクラス横浜）

日高郁人（バトラーツ）
vs
窪田幸生（パンクラス横浜）

12月23日、ディファ有明で行われる『DEEP2001 3rd IMPACT』の全対戦カードが発表された。

メインイベントは本誌既報通り、“辰吉を破った男”ビクトル・ラバナレスと元K―1JAPANフェザー級王者の肩書きを持つ村浜武洋の一戦が正式決定！ 正真正銘のボクシング元世界王者のVT出陣が遂に実現する。

両者共に打撃のスペシャリストだけに噛み合えばVT屈指のハイレベルな打撃戦となりそうだが、心配なのはラバナレス本気度合い。R・デュランのようにTシャツ姿で闘うのだけは勘弁願いたい。まだまだ現役というラバナレス老かいさと、それをうち破る村浜の強さに期待したい。

そしてセミファイナルは、“東洋の神秘”ヤノタクと“ムエタイの異端児”ランバーの異色対決。世界レベルの寝技師であるヤノタクと元ムエタイランカーであるランバーの典型的な寝技vs立ち技の闘いは、K―1vsノゲイラのちっちゃい版的な趣もあり、密かな注目カードである。

こうして見ると、メイン、セミ共にプロレスラーvs打撃、寝技vs立ち技という、12・31『INOKI祭り』を思わせるようなカード編成。そう、これは佐伯代表版『INOKI祭り』、すなわち『SAEKI祭り』なのだ。

メイン、セミ以外にも前回のDEEPで大ブレイクしたドスカラスJr.がなぜか大刀光と対戦したり、パンクラスvsバトラーツが実現したり、ラウンドガールが元アイドルレスラーズだったりと、DEEPでしかありえないラインナップがずらり勢揃い。

DEEPならではとしか言いようがない、こんな独創的なイベントがこれからも続くよう、まずは12月23日、『PRIDE』のPPVはビデオ予約にしてディファ有明に足を運ぼう。

DEEP第4回大会
次回「SA・E・KI祭り」は3月 ブラジル軍団来襲！

「第3回大会が最後」という悪質なデマも流れたDEEPだが、無事第4回大会が発表された。当初は日本vsメキシコの対抗戦が噂されていたが、このたび正式にパンクラス12・1横浜文体で行われるパンクラスvsGRABAKA対抗戦の勝利チームとブラジリアン柔術の対抗戦を行う用意があることを発表した。開催地は未定。

#「燃える情念」はいまだ死なず!!

ボロボロにされても心は錦!!

「間違ってないという自信があるから意地を張るんだよ!」

石川雄規

『PRIDE.17』ランペイジに1分52秒TKO負け

聞き手/スモーノブ
試合写真/乾晋也
沖縄写真/遠藤政文
designed by hisa (Two Three)

突然の『PRIDE』参戦に驚かされたプロレスファンも多いだろう。そして、総合格闘技での実績がない石川雄規の『PRIDE』参戦に反感を覚えた格闘技ファンも少なくないだろう。いろんな意味で物議を醸した参戦だったと思う。衝撃のバトラーツを〝冬眠〟直後というタイミングでの『PRIDE』参戦から一体何が見えてきたのか？　さあ、キミも男一匹・石川雄規の魂の咆吼に耳を傾けろ！

ご存じのように本誌が創刊以来ずっと追い続けてきた格闘探偵団バトラーツが、約5年半の活動に一区切りをつけた。

そこで今回、石川社長にインタビューをお願いして、実際に取材をしてきたわけだが……取材に入る前の何気ない雑談の中で、石川社長が興味深い話をしてくれた。「掲載はしないでほしい」と念を押されているので、その内容については書くことが出来ない。だが、これだけは言える。10月のNKホール大会、あそこに本来のバトラーツの姿はなかった。石川社長もそのことをわかっていると思う。わかっていてもどうにもできないもどかしさを感じていたかもしれない。そんな感じの歯がゆい話だった。石川社長が悔しさを飲み込んで、いつもの表情に変わったところで、インタビューはスタートした。

というわけで、本題に入る前にここ1ヶ月間のバト周辺の動きをざっと振り返ってみたいと思う。前号でお伝えしたように10・14NKホール大会は、まったく希望の光が見いだせないまま幕を閉じた。モハメド・アリに完膚無きまでに叩きのめされた石川社長は、バトラーツを〝冬眠〟という形で一旦クローズして、仕切直しを誓った。そして突然の『PRIDE』参戦表明である。

沖縄でルッテンとグラウンドの練習をして「オレはグラウンドが弱い」と思っちゃったよ!!

沖縄遠征の期間中、石川雄規はルッテンの指導の元、アミールとスパーリングでパンチのトレーニングを積んだ。

その後は、従来の形でのバトラーツとしては最後の興行となる10・26沖縄大会。この模様は、P38～の原稿で詳しく触れるが、ここで全選手はひとまずの去就を明らかにした。臼田勝美と新人の大場貴弘&佐藤学を除く選手は、バトラーツ以外に闘いの舞台を求めることになりそうだ。

そして迎えた11・3『PRIDE．17』。石川は初のバーリ・トゥードに挑んだ。相手はアレクを粉砕した元・暴走ホームレス男だ。

桁違いのパワーとタフさを兼ね備えた男である。グラップリングで勝機を見いだすものだとばかり思っていたのだが、石川は大方の予想に反してパンチで勝負を挑んでいった。そのうち何発かはヒットしたものの最後には猛攻に屈してしまった。時間にして1分52秒である。他の試合が惨憺たる結果だったということもあるが、KO負けという結果にもかかわらず、この試合の評価は高かった。石川自身は、この試合に関してどのような感想を持っているのだろうか？　まずは、その辺から聞いてみた。

「あの試合の写真を見てもらえればわかると思うんだけど、ちゃんとクロスカウンターをやってるでしょ？　1発目が入ってるし、ちゃんと目も開けてるよ、オレは玉砕覚悟で闘ったんじゃないよ、勝つつもりだったもん。1発で！　距離も見えていたし、タイミングも合ったからパンチが届いたわけでしょ？　あれがちゃんとアゴに入ってればねぇ（しみじみ）。『こりゃいける！』って思ったんだけどね。まあ、勝負ってそんなもんだからさ……」

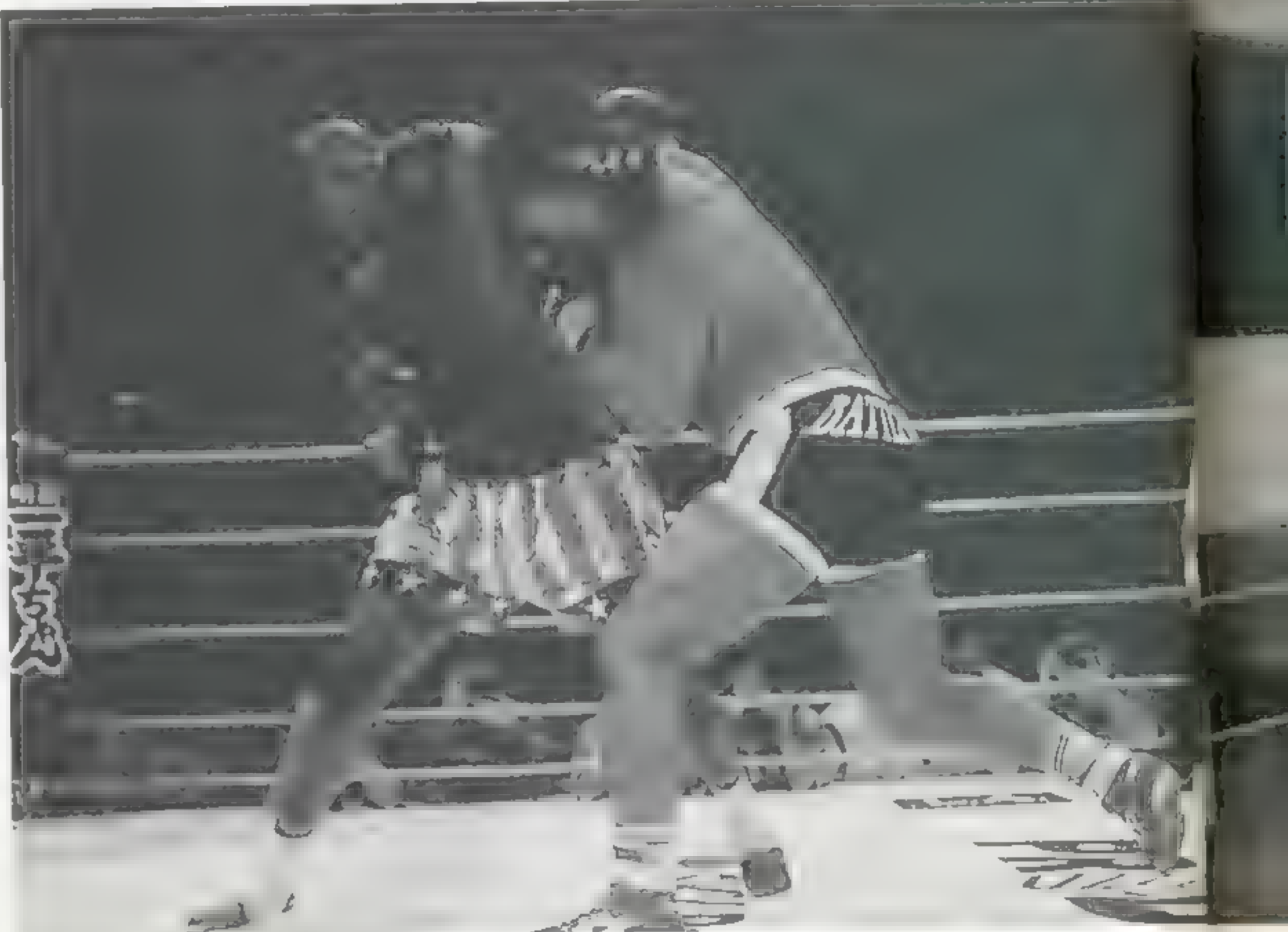
なんと！　社長は完全にKO勝ちしか狙っていなかった。しかも一発でアゴを砕いてのKOで勝つつもりだったのだ。しかし、石川といえばゴッチ～マレンコ道場～藤原喜明の流れを汲む生粋のグラップラーである。何故いきなり打撃に活路を見出したのだろうか？

「そういう石川＝グラップラーのイメージを覆してやりたいのもあったんだけどね……じつはグラウンドに対するトラウマも生まれてたんですよ、あの試合の直前に。沖縄で（バス）ルッテンとグラウンドの練習したときに衝撃を受けてね。『オレは弱いんじゃないか？』って思っちゃったもん。それくらい、ルッテンは強かった！」

意外にもルッテンが石川社長のグラップラーとしての自信を試合前から砕いていたというのか!?

「ルッテンに〝ストライカー〟のイメージを持ってる人も多いかもしれないけど、違うね！　彼はグラップラーですよ！　何故かと言えば、ストライカーの筋肉でグラップリングをやってるから、瞬発力がもの凄く強いんだよね。悔しいかな、ミルコ（クロコップ）が『（バーリ・トゥードを習得することは）K―1の50倍簡単』って言ったけど、あれはひょっとして一理あるかなと思ったもん。K―1でトップを張れるだけの身体能力があるから言えるんだろうけど。ルッテンとスパーをやってみて『オレはグラップラーの筋肉でグラップリングをやってるだけなんじゃないか？』と思っちゃったんですよ。だからオレは今までの状態から一歩抜きん出るために、これからストライカーの筋肉を万全に作って、そこに

今まで培ってきたグラップラーとしての経験値を加味していくしかないと思った……それはショッキングな出来事でしたよ」
たしかに、打撃系の選手が総合格闘技に転向して成功するパターンは多い。モーリス・スミスなどはその典型であろう。しかし、石川社長といえば打撃なしでグラップリングのみのBルールトーナメント（バト全選手参加）でもアレクを破り優勝しており、バトラーツの中でも〝極め〟の強さは群を抜いていたのに……。その社長が自信をうち砕かれてしまったのだ。おそるべし、ルッテン。
「今までの俺のまんまで闘ってたら、『PRIDE』でもネチネチとグランドで攻めてたかも知れない。でも、オレは敢えてルッテンと打撃の特訓に取り組んだんだ。『お前のパンチもアゴに当たれば倒せるから。ラッキーパンチじゃなく、狙って倒せるはずだ！』ってルッテンが言ってくれてね。だから、沖縄での5日間は、ずっとルッテンやアミールと一緒にパンチを練習してた。それで、実際に試合でもゴングと同時に殴りに行ったんだ。KO勝ちすることしか考えてなかったから」
じつは、この一つ前の試合の小原道由vsヘンゾ・グレイシーがじつに散々な試合内容だった。その試合を見た石川は「オレまで判定になっちゃいけないなと思った」と試合後のコメントで語っている。このコメントを曲解して「わざと負けたのか」という取り方をしていたメディアもあったようだが、それは間違いだろう。
第一試合がどんな結果であろうと石川は打ち合っていたと思うし、ダラダラ判定決着に持ち込むようなマネはしなかっただろう。今の石川には小原や高田と違い、負けて失うものなど何もないのだから。負けない闘いをしてもメリットなど何一つないのだ。

試合開始早々、石川はパンチで勝負を賭けた。側頭部にヒットして、クイントン・ランペイジ・ジャクソンをグ

「某○○○通信とかでは『石川はプロレスラーらしい顔を作っていた！』とか書きやがってさぁ（怒）。作ってねえよ！ 素だよ、オレの顔は！ 馬鹿にしてんじゃねえよって！ 余計なお世話だよ！」
さらに、その某●●●通信は「〝プロレスラー〟として評価されるのは、男らしい石川の方。でも、競技者には、勝利に結びつかない打撃をやみくもに仕掛ける自己満足より、勝利を第一に目指したからこその身動きの取れなさの方が、相応しい」と石川と小原の試合を、あの雑誌独特の歪んだモノサシで比較している。ようするに小原の試合の方を評価するということか？ 一体誰が石川社長に小原みたいな試合を望むというのだろう？ それとも、そういう試合が見たいのだろうか？ 謎である。
「いいんだよ、そういうヤツらは相手にしない（怒）。俺自身はこの試合を通じて、ストライカー筋肉でのグラップリングってものに目覚めたから。それをわかった上でのこの試合なんですよ。勝ちに行ったけど、結果的に負けただけだよ。もしかしたら相手が倒れたかもしれないんだから！」
結果的に負けはしたものの、石川社長はこの試合を通じて大きな収穫を得たと語る。どうやらバトラーツ再生のカギを見つけてしまったようだ。
「『PRIDE』に向けた特別なことやったからこそ、新生バトラーツをより面白いものにするための秘密が見付かったよ。『ストライカー筋肉によるグラップリングの面白さ』っていうね。今までのバトラーツがブチ当たっていた壁を破るには、これでしょう！ ストライカーの筋肉を持っていた方が、進化したグラウンドを出来ると思うんだ」
ケガの功名……というか、この場合は〝KO負けの功名〟と言うべきか、バトラーツが活動を休止して、石川社長が総合格闘技に足を踏み入れた途端に新たしい展開が見えてきたわけである。さすがとしか言いようがない、転んでもタダじゃ起きないあたりはさすがである！
「バトラーツという枠組みは足かせになってたからね……絶対ジリ貧になってくるのはわかってたから、スタイル的にもね。だから、むしろ仮にNKホールが満員になってても、オレは同じようにバトラーツの冬眠を宣言していたと思うよ」
アリ戦にしても、何か石川社長は足かせをはめられたような試合だった。しがらんでいたように見えた。そして、結果的に無残なTKO負けを喫してしまった。試合でも、興行的にも……。
元祖・アントニオ猪木はモハメド・アリ戦によって莫大な借金を背負ってしまったわけだが、今回石川社長もアリ戦で莫大な借金を背負ってしまった。金額的なものだけではない、アリという〝コマ〟を獲得するためにZERO－ONEとの関係は悪化し、猪木軍からは反発を買い、ファンのブーイングも浴びて、観客動員力も落ち込んだ。多くの選手は別の団体に自分の生きる道を求めて巣立っていく。代償はあまりに大きかった（本家・猪木が抱えた負債よりは小さいかもしれないが）。
その猪木は『格闘技世界一決定戦』という〝強さ〟にこだわったプロレスで巻き返しを図ったわけだが、今後の石川社長はどのようなプロレスで巻き返しを図っていくのだろうか？
「そうですねぇ……ここからのバトラーツは、ある意味で同一思想集団なんですよ。そういう意味で純化された、オレにとって色気のあるバトラーツにしたい。どこでもあるプロレスにはしたくないね。ほら、お客さんが『ああ、次この技出るぞ』って、それで喜ぶような、そういうのはしたくない。元々のバトラーツはそういう団体だったでしょ？ いわゆるプロレス技は出てこないけれど、なんかドキドキしたでしょ？ あの緊張感をちゃんと出したいな」
「いわゆるプロレス技が出てこない」ブ

オレは昔から〝心の猪木軍〟猪木軍って形を作ってやるもんじゃないと思うんだ！

ロレス……つまり初期バトラーツのようなケンカ格闘プロレスの団体になりそうな期待は持てそうだ。具体的には誰が新生バトラーツに参加するのだろうか？

「まず臼田ですね。あとデビューしたばかりの大場と佐藤。カールももちろん参加します。あと、スタイル的には松井（大二郎）選手や村上（和成）も参加してくれたら面白いよね？　うん、そういったメンツでやっていきたいと思います。喧嘩の色気がプンプンする……そんな集団になりたいよなあって。もうね、武闘派でありたい！　武闘派の男が色っぽいと思うんだよなぁ。『この人なら何千人を敵に回しても、私のことを守ってくれるはずだわ』って思わせたいな（笑）。実際、そうありたいと思うし。そういう色気を放出しつつ、お客さんにレスリングっていう世界をエデュケートしたい。『レスリングってこんなにおもしろいんだぞ！』ってことをね」

教育かつエンターテイメント！　いまだかつてない壮大なテーマである。現在のプロレスは、たしかにエンターテイメント的な側面はドンドン進化しているが、教育の要素はほとんど皆無だ。というか、誰も「教育」なんて発想は持ち合わせていない。一体、観客に何を教育しようというのだろうか？

さらに石川社長のプロレス教育論は続く。

「だから、それに絶対必要なのは、いわゆる総合格闘技の技術でしょう。これはなきゃいけない。まず技術！　フットワークひとつにしてもエンターテイメントがあり、エデュケートがあり。それがプロレスだと思ってる。その根本となる技術が無いところでやったら、それはまたちがうと思うんだ、絶対に」

つまり総合格闘技をベースにしたプロレスを展開していく、ということなのだろう。

「お客さんにはレスリングの面白さを伝えたいと思う。だからBルール（関節技のみのレスリング）みたいなルールの試合も組むかもしれないよ。あれは、まさに教育的な試合だったでしょ？　明るく楽しいバトラーツしか知らない女の子が『何だかわかんないけど、ドキドキして胸が熱くなった』って言ってくれるわけですよ！　そのうちにレスリングの関節技の面白さにハマっていく、これが教育的ということだと思うんだ」

ようするに今までのバトラーツがどんどん普通のプロレスに擦り寄っていった部分を軌道修正して、原点に帰ろうとしている。それはプロレスの基礎となる部分にスポットライトを当てるということだ。

しかし、時代はまさに二極分化しており、プロレスはエンターテイメント化、総合格闘技は競技化の流れの中にある。新生バトラーツは、そのど真ん中にポジションを取ろうとしているのだ。……ここまで書いてふと思いついた。日本のプロレス界には総合の基礎を持つ男達がやるプロレスがもうひとつある。そう、『猪木祭り』だ。

「そうだね。でも、『猪木祭り』にエデュケーションはないと思うんだ。エンターテイメントっていうのもね……なんかポイントが違ってるんじゃねえな。猪木さんはきっと、前回の『猪木祭り』に満足してないと思う。総合格闘技の選手がただプロレス技を見せればいいってもんじゃないから。プロレスは闘いなんだよッ！（怒）」

昨年末の『猪木祭り』には石川社長も違和感を感じていた。

その『猪木祭り』だが、今年はプロレスvsK－1の対抗戦という大きな花火が打ち上げられる模様。その中で、石川社長は一体どうしようというのだろうか？　対K－1としては、モハメド・アリとの再選というテーマはあるが……。

「『猪木祭り』かぁ……（しばし沈黙）。年末ぐらい家でゆっくり過ごしたいなぁ（笑）。っていうのは冗談だけどね、実際に凄いビッグネームが揃うわけでしょ？　オレの入る余地なんかないですよ（寂しそうに）」

ん？　あまり乗り気ではない様子。しかし、大きなリスクを背負ってまで猪木軍入りした以上、ここで存在感をアピールしない手はないだろう。ＺＥＲＯ－ＯＮＥとの関係を悪化させてまで猪木軍入りした意味がない。

「オレは……別に。あれはハッキリ言って島田が作ったシチュエーションですから（キッパリ）。もちろん、バトラーツを盛り上げるためにやったことだから、それはいいんだけどね」

掟破りの衝撃発言！　と言っても過言ではないだろう。たしかに、石川がアリと対戦するためには、こうした筋道を通らなければならなかったという事情はわかる。もちろん、島田プロデューサー主導とはいえ石川社長も承知の上で、そのシチュエーションに乗ったのだから、島田プロデューサーを責めるはずもないのだ。今年3月、村上の興行破り問題で島田プロデューサー批判が噴出したときに石川社長は力強くこう言っていた。「（島田プロデューサーに任せていた部分はありますよね？という質問に）それもあるけど……必ずこのケツはオレが全部拭いてやるよ！」

この姿勢は今も変わらない。だから、石川社長は甘んじてすべての批判を受け止めている。

試合後1週間経ってもサングラス越しにに見える石川の左目は赤く充血していた。だが、それ以外はダメージもないという。

しかし、こと〝猪木〟に関して、社長は並々ならぬこだわりを持ち、尋常じゃないエネルギーを注いできた男である。他のことで批判を浴びることは出来ても、〝猪木〟のことに関しては批判されると黙っていられないようだ。〝猪木軍入り〟については心の奥底で納得のいかない部分はあったであろうことは想像に難くない。バトラーツという足かせが外れたことによって、言いたくても言えなかったことが、こんな形で飛び出してきたのだろう。

「言ってみれば、オレは昔から〝心の猪木軍〟でしたから。〝猪木軍〟っていうのは形を作ってやるもんじゃないと思うんだよ！ オレの場合は、オレの生き方そのものが〝猪木イズム〟だから！ 今の猪木軍は完全に〝ステータス〟になってるでしょ？ 本来の〝猪木イズム〟といまの〝猪木軍〟は別物だと思うよ。オレが〝ステータス〟の中に入ってしまったら、それはオレの中では〝猪木イズム〟じゃなくなるんだよ。周囲もオレが猪木軍だとは認めてくれないだろうしね（笑）。今後猪木軍として活動していく予定？ ないですよ！ だって、誰もオレのことを猪木軍だとは思ってないでしょ？」

誰よりも猪木にこだわり続けてきた石川社長である。96年に行われた『猪木祭り』の原型である『INOKI FESTIVAL』にも出ており、いち早く〝猪木軍〟的なポジションにいたにもかかわらず……。

いまや猪木と橋本は早くも雪解けムードで、結果的にはバトラーツが貧乏クジを引かされた形となった。

〝火祭り〟不参加問題で集中砲火を浴び、それが引き金となってバトラーツは冬眠に追い込まれたことを思えば、これ以上の皮肉はないだろう。切なすぎる話である。この問題によってバトラーツを取り巻く環境は劇的に変わった。もう、〝最悪〟と言っても差し支えないだろう。そういう状況を石川社長はどう考えているのだろうか？

「絶対ひっくり返してやるよ！ バトラーツって、そういうエネルギーなんだよ。〝絶対にひっくり返してやるよ！〟っていうね。バトラーツは革命児じゃないといけないんだよ！ 常に革命！ オレはどんなに相手が多数派でも、自分は間違ってないという自信があるから意地を張るんだよ」

これでこそ石川社長！ 粘着質の反骨精神こそ石川社長最大の武器である。まさに〝燃える情念〟！ 今回のゴタゴタはその〝燃える情念〟に油を注ぐ結果となり、インターネット野郎、三沢光晴、橋本真也と様々な相手に噛み付きまくった。プロレスの世界で「誰が正しい」という結論を求めるのは非常に難しいことだが、石川は「自分が正しい」という主張を絶対に曲げなかった。おそらくリスクも顧みずに、感情剥き出しで主張していた。気が付いたら、総スカンを食って、バトラーツは〝冬眠〟に追い込まれた。では、なぜバトラーツはこうなってしまったのか？

「それは周囲が変わってるだけですよ。だから色眼鏡を外して、もう1回バトラーツを見てごらんって言いたいよ。女と同じで、一度別れた相手でも久々に抱いてみたら凄く良かったってこともあるんだから（笑）。昔から石川雄規は何も変わっちゃいないんだよ！ いや、むしろ以前より燃え上がってる！」

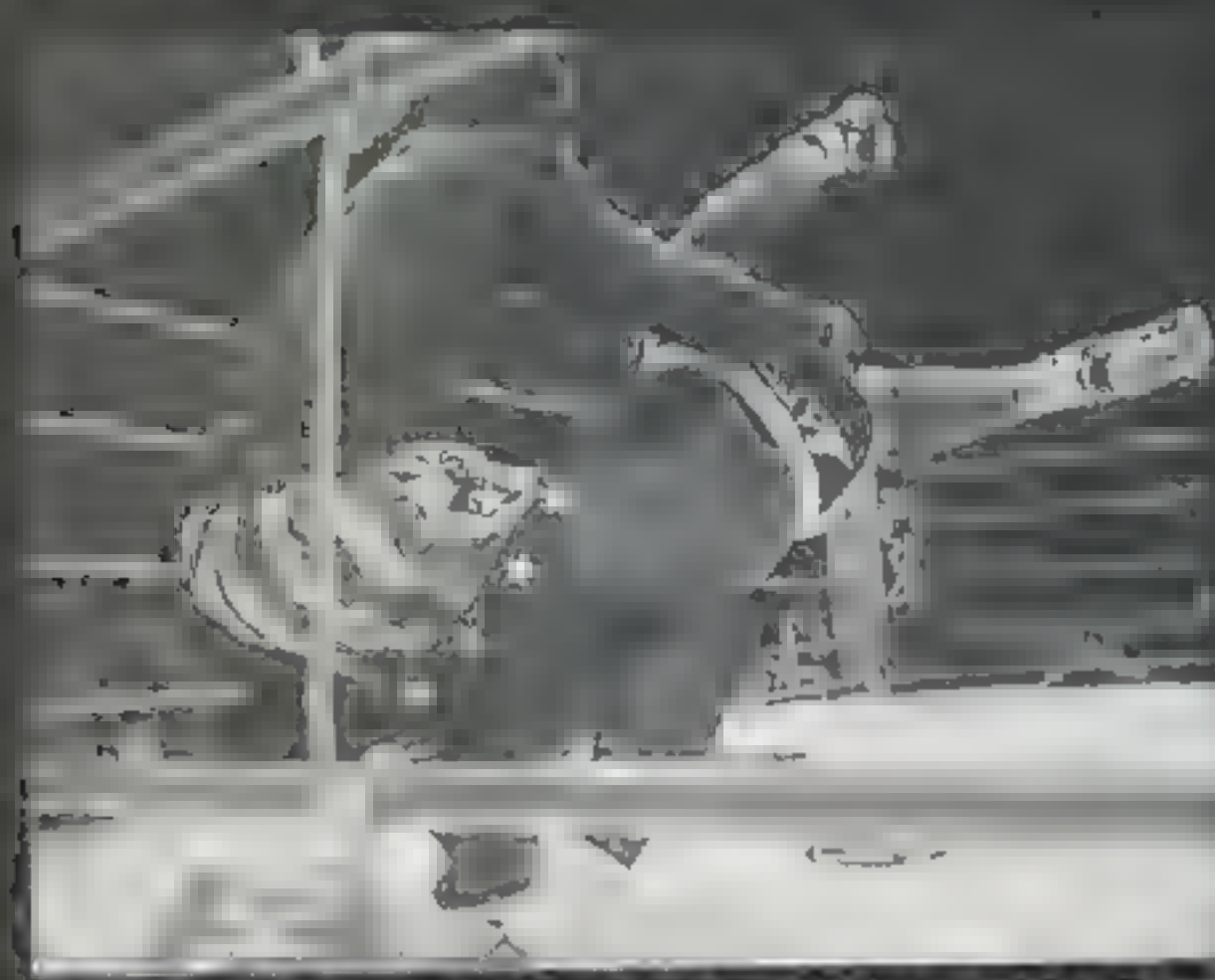
この燃え上がった〝熱〟は、ちゃんと読者の皆さんに届いているだろうか？ それとも、また〝インターネット野郎〟たちは揚げ足を取るのだろうか？ たしかに石川社長は何も変わっちゃいない。この熱さに呼応して多くのファンが熱くなり両国大会は成功した。そしていま、この熱に多くのファンが引いている。その温度差が〝すき間風〟を生んでいる。

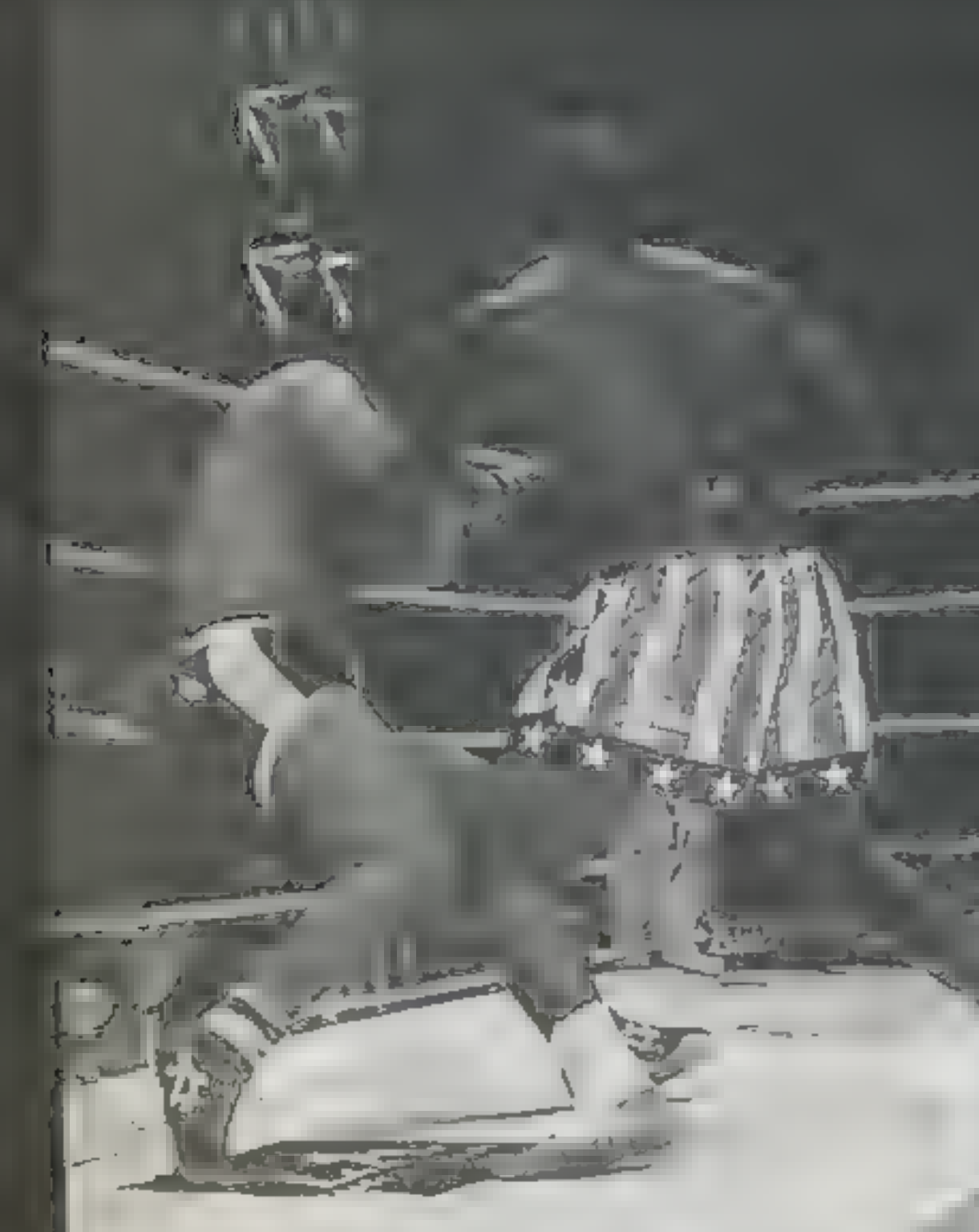
一番手っ取り早いのは社長が試合をすることだ。このゴタゴタに関するすべてのメッセージは、試合で精算していくしかない。

「そう、オレも早くやりたいんだけどね……まだ、新生バトラーツの再開はメドが立ってないんですよ」

バトラーツは多くのファンを失ったかもしれないが、いい意味でも悪い意味でも依然として注目は集めている。マイナスからの大逆転……始まりそうな予感を感じたら、再出発の大会を見に行こうではないか。

【11月8日、越谷・B－CLUBにて収録】

たった1人でガウンも身につけずに石川は堂々と入場してきた。失うものは何もない男の強みである。ちなみにセコンドは村上和成、臼田、カールマレンコが担当

猪木軍vsバトラーツで金網檻を塗りかけた石川だが、桁違いのパワーでパワーボムを狙う。この男、イロモノと思われているかもしれないが、実際はもの凄く強いぞ！

組み伏せたら今度は頭部にガンガンヒザを落としていくランペイジ。NKホールでアレクのファウルカップを叩き割った恐怖のヒザ爆弾で、石川を徐々に追いつめていく

再びスタンドでパンチの打ち合いになるが、いいパンチを数発もらって崩れ落ちてしまった。バトルホールならまだまだこれからだがあくまで『PRIDE』。レフェリーは試合を止めた

最後はスコールが降り注くなか、客席でモミくちゃにされながらファンと握手を交わした石川。その後、アレク、カールなども続く。格闘探偵はこの日から始まったような錯覚に陥った

暑い沖縄には蛍の光より希望の光がよく似合う

文／ノビー
撮影／遠藤政文
designed by matsu Two three

バト"最後"の自主興行　10・26沖縄大会リポート

「いろいろ言われてますが、冬は寒いからシーズンオフ、そんだけのことです！　行くぞーッ！　1、2、3、ダーーーッ！」

石川雄規が、観客と共に拳を突き上げると同時に、突然のスコールが野外会場に降り注いだ。

これは涙雨か？　これまでのすべてを洗い流すためのスコールか？　と、叙情的な気持ちにもなってしまう、まさに劇的なエンディングだった。

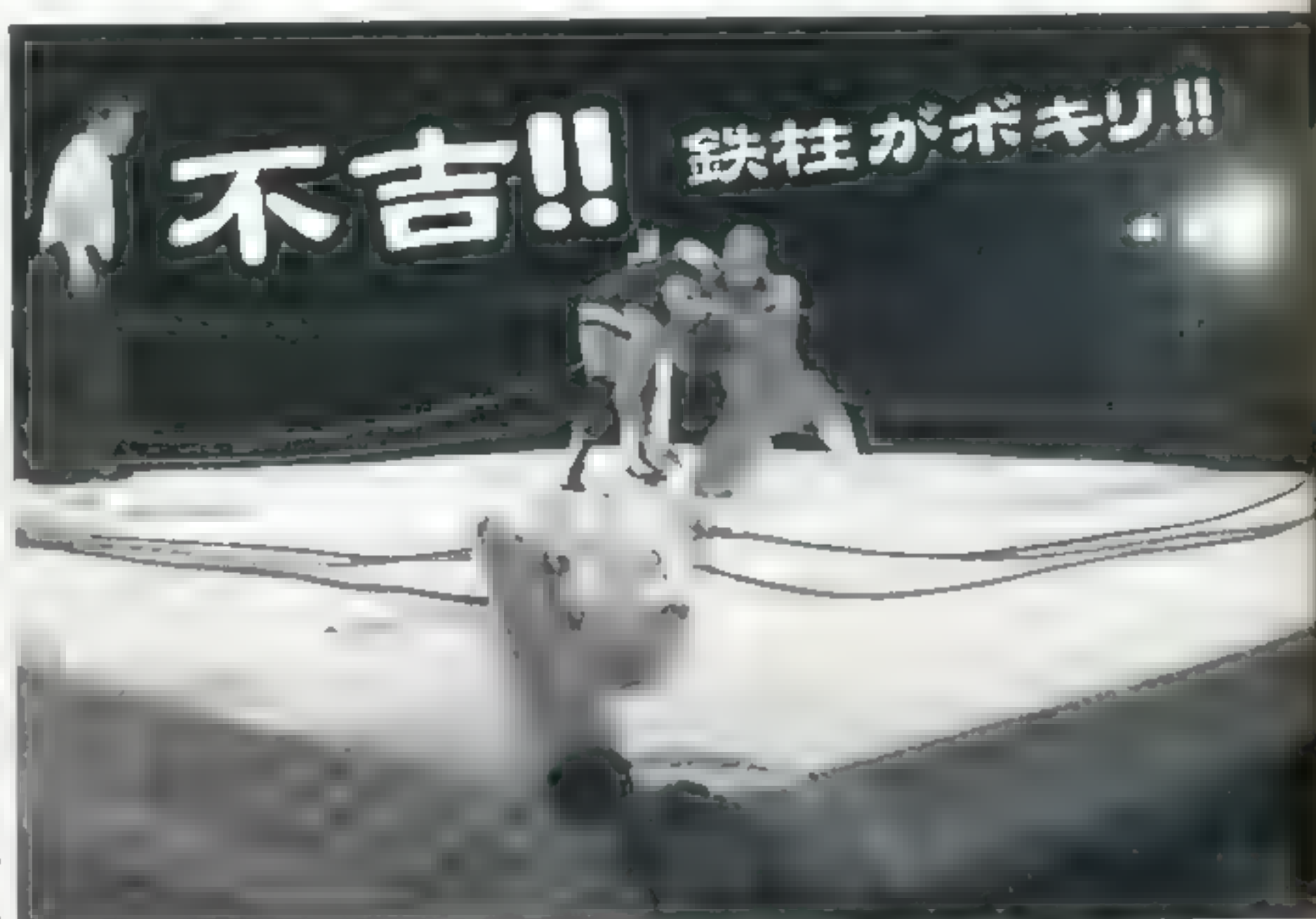
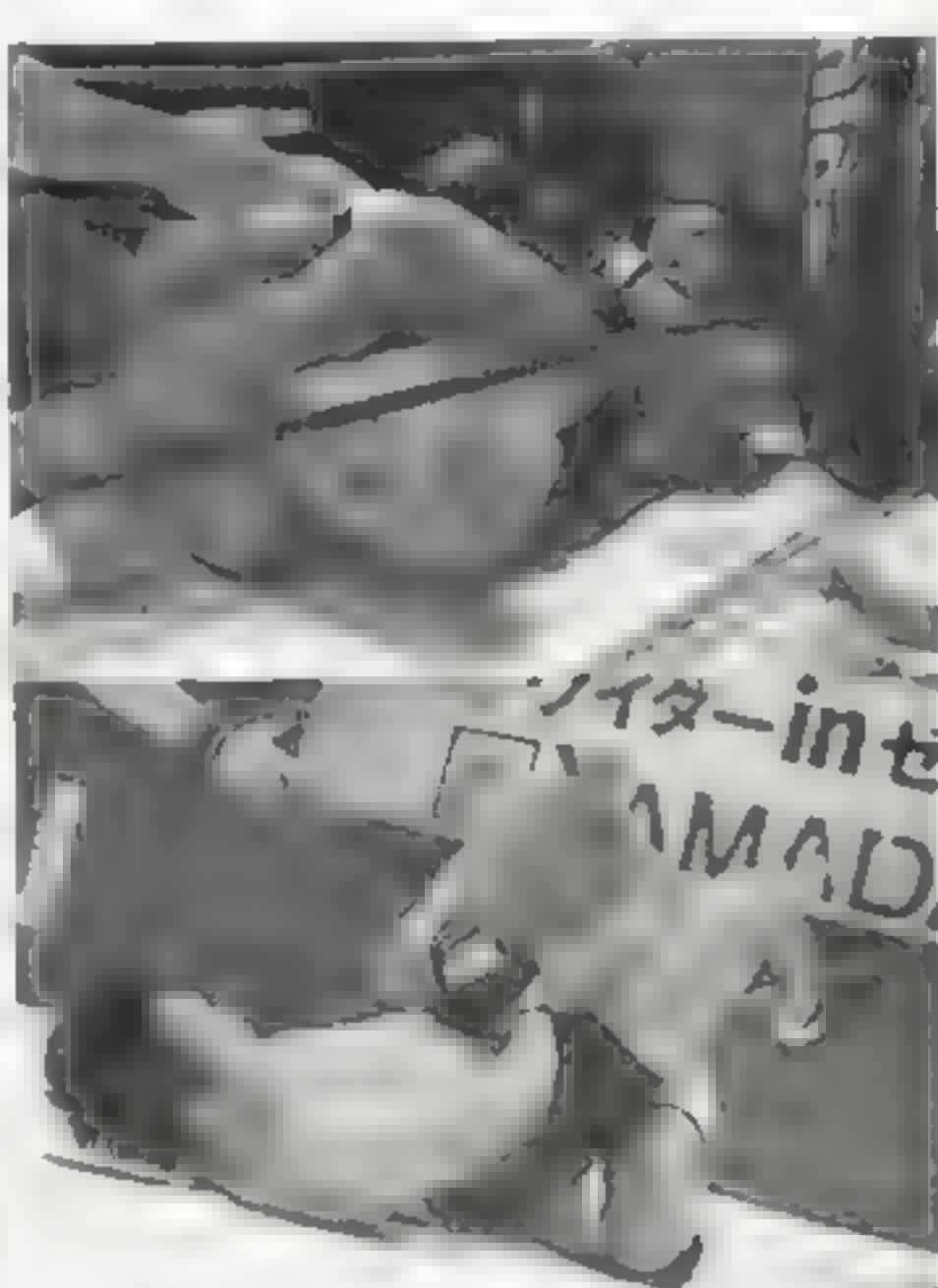
バトラーツは、10月26日、"これが最後"とマコトしやかに言われている自主興行を、沖縄・宜野湾市の海浜公園野外劇場というところで行った。

この日は、元UFC王者バス・ルッテンの登場があり、『PRIDE.3』でG・グッドリッジと闘ったアミールの緊急参戦まであった。そして日高郁人、大場貴弘、佐藤学のバト勢が初めてバーリ・トゥードに出陣した。沖縄の真樹ジムの協力でキックも2試合あり、焼き肉を広めるためにさかい星からやってきたMrさかいのキャラプロあり、そしてバチバチファイトと、フタを開けてみると実にバラエティに富んだ大会となった。

バトが下降した原因は、このバラエティに富ますということを、あまりにも無計画&無防備にやりすぎたことが大きいと思う。

しかし、この日は、「暑い沖縄には熱い闘いが似合う」とばかりに、熱戦が続出！　また大ハプニングも起こった。

第1試合のMrさかいvsパブロ・マルケス戦の最中に、頑強な鉄柱が真っ二つに折れるという前代未聞の事件が勃発したのだ。その後の試合は、ロープがたるんたるんのなかで行われ、その最悪のリングコンディションが、一種異様な緊張感を生んだから面白い。

日高郁人、大場貴弘、デビュー戦の佐藤学は、相手こそ無名の選手だが、初VT出陣を、3人共に白星で飾った。野外会場ということもあり、草バーリ・トゥードという匂いがして、"いつ何時、どこでも闘う"という初期バトにあった格闘探偵ぶりが、まさに蘇った感じだった。

第1試合の途中で、鉄柱の一本が突如、ボキリと折れた！　タルタルのロープのまま試合は続行されたが、第2試合までの間に行われた修復作業は約20分かかった。まさに前代未聞のアクシデントだった

デビュー戦がVTとなった佐藤学は、軟体動物のようなMr.北村をレフェリー・ストップで破る

アレクとの破格のデビュー戦からセンスを見せる大場貴弘もVT初挑戦。トニーブレイを三角で破る

12・23「DEEP」に出場する日高郁人も初VTで試運転。腕ひしぎ三角固めで相手を仕留めた

バト唯一のヘビー級、M・ヨネは軽量の小野武志を軽々と担き上げ勝利。純プロ街道で気を吐いた

こういう"芯"があると、あとはバラエティに富ませるためのマッチメイクが、すべて"広がり"となっていくから、解放感が生まれて興行にメリハリがつく。

メインのルッテン&アミールvsアレク&カール・マレンコ戦の後、4人は代わるがわるマイクを持った。最後にマイクを持ったアレクは「バトラーツは終わりません！　ボクもまたチャンスがあったら上がりたい」と言い、石川雄規を呼び込んだ。そして石川は冒頭のように叫んでから、客席に向かい、ファンと握手をかわした。

ズバリ言って、10・14のNK大会より、ぜんぜん面白かったというか！　旗揚げ当初の熱気が戻ったかのようだった。よりによって、この大会が"最後"となってしまうとは。

だが"最後"とはいっても、臼田勝美が試合後、石川社長に「勝手に冬眠宣言したらしいな。再旗揚げしたときは、俺の挑戦を受けろ」と詰め寄ったり、石川社長も「冬眠といっても眠るわけじゃない。次へのステップだ」と言い放ったりした。

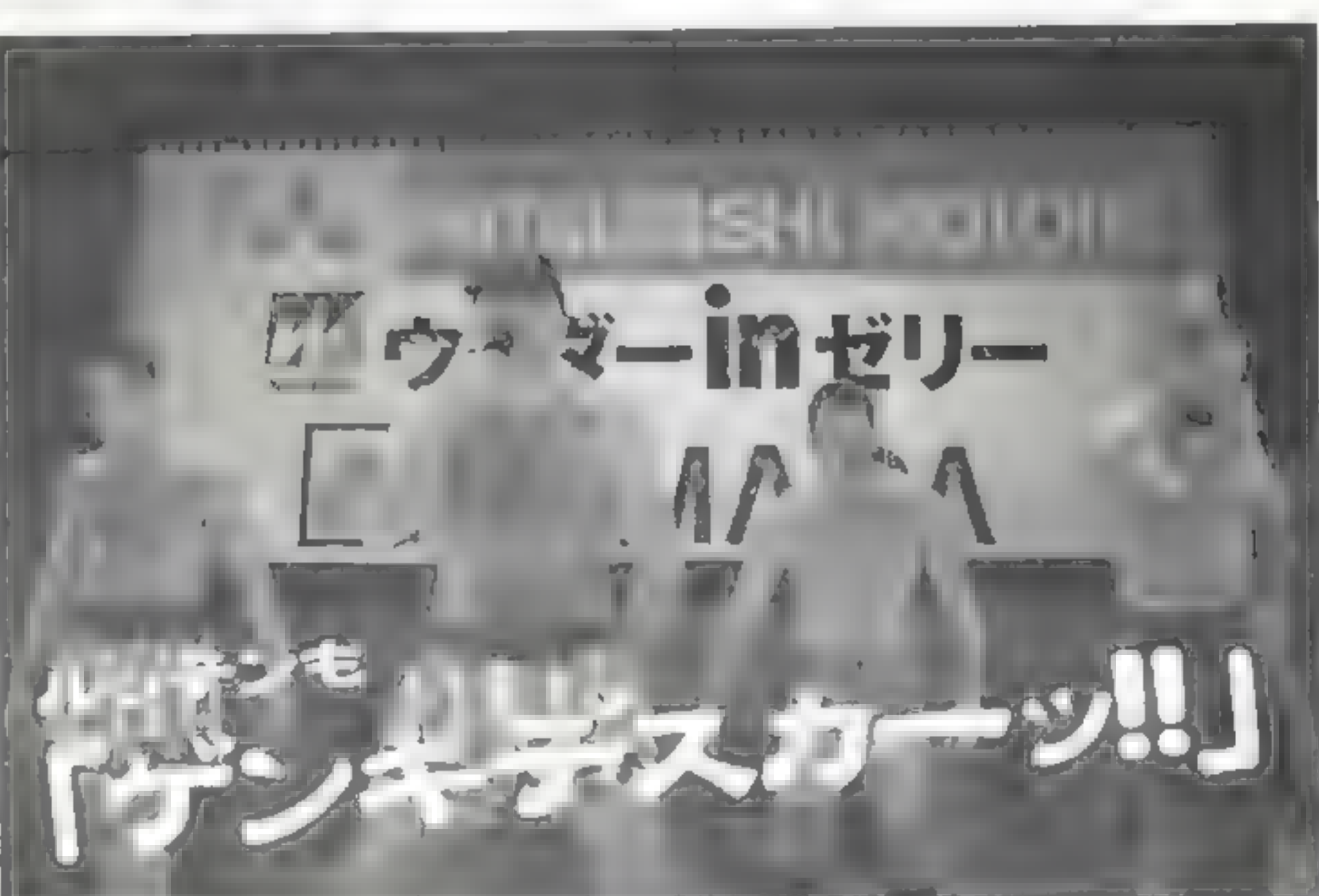
いつになるかはわからないが、バトは意識の上では再開に動きだしている。

さまざまな"偶然"を転がしたこの日の大会は、皮肉にもバトにとって"蛍の光"ではなく、"希望の光"を灯した大会となった。

この約1週間後、石川社長は、『PRIDE』のリングに上がり、正面から殴り合いに行き玉砕した。

しかし、格闘探偵を続ける限り、"偶然"は必ず降りかかってくる。その"偶然"を石川雄規はまた転がすことができるだろうか。見続けてやるぜ、この野郎ッ！　アーッ

（ヨダレ）

（※この日の模様は、CS「フジ721」で12月8日、午後8時から放送されます）

メインは、ルッテン&アミールvsアレク&カール。ルッテンは試合後、「ゲンキデスカーッ」と咆哮。アレクは「バトラーツは終わりません！ボクもまた上がりたい」と言い、石川雄規を呼び込んだ

会場全景。この日は、1431人の観衆を集めて行われた。米軍兵も楽しんだことこの上なし！

この大会はフジ721でOA。山口日昇とサダハルンバがW解説だ。実況は夜の帝王・鍵野アナ

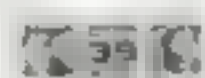
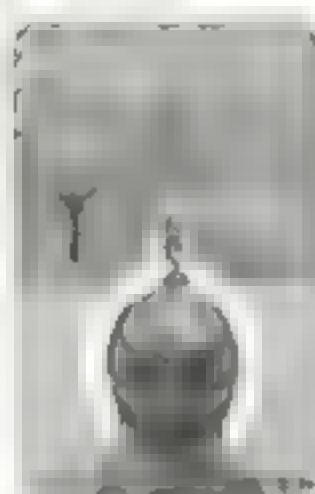
★★★プロレス&格闘技専門ビデオショップ★★★

【ホームページURL http://www.champion-j.com】

いま、レンタルビデオ入会金が無料って知らなかった？じゃ、もう1度…
年内まで入会金無料キャンペーン続行〜!!
そして、またまた人気のグッズ大特集!!

早く怪我を治してまた笑顔でリングに戻ってくれ!! サク応援グッズ!!

桜庭和志 ラグランロングスリーブ（ホワイト×ネイビー）／S〜XL ¥4935

桜庭和志'01秋モデル ネイビー／S〜XL ¥3990

桜庭和志 Ver.5 ホワイト／S〜XL ¥3990

桜庭和志マスクキーホルダ Ver.1（左）………¥840 Ver.2（右）………¥1260

桜庭和志入場テーマCD「SPEED TK RE-MIX」〜炎のコマ〜…¥2000

工作キットSAKUベルト・¥2625

桜庭和志ハードコード ネイビー／L・XL ¥3990

桜庭和志 39SAKU スカイブルー／S〜XL ¥3990

桜庭和志 1stモデル オレンジ／S〜XL ¥3465

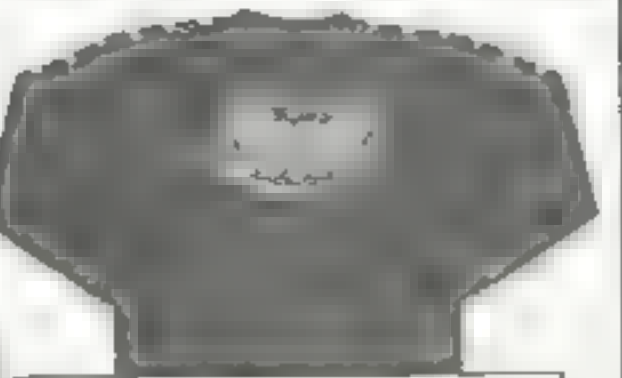
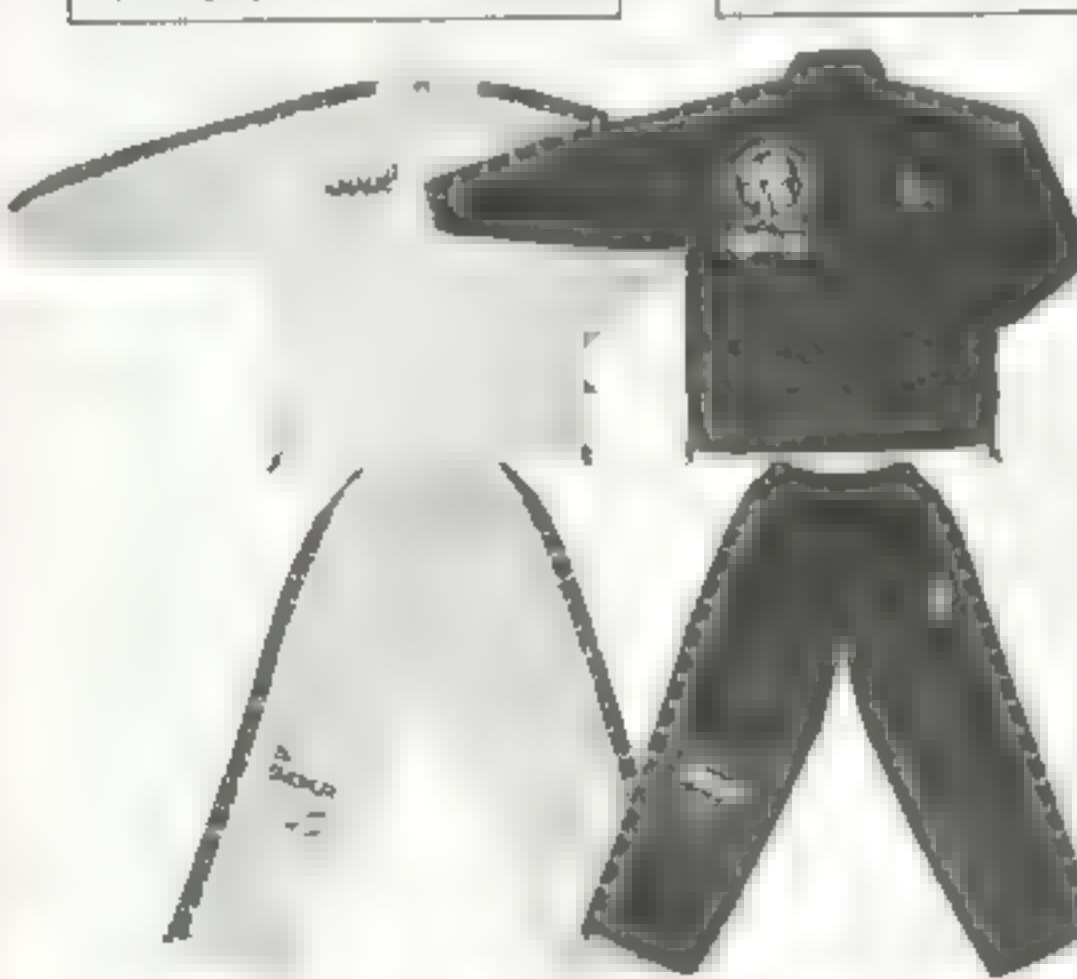
桜庭和志公式マガジン さくぼん ¥1000

ぼく。桜庭和志大全集 桜庭和志著・¥1400

桜庭和志スペシャル プロレスラー最強伝説（DVD）…¥6090

冬の寒さも吹き飛ばす熱いSOUL(魂)グッズ!!

魂(テープライン) ロングスリーブ ホワイト・ブラック・ネイビー M・Lサイズ……¥3045

SOUL(テープライン) ロングスリーブ ホワイト・ブラック・ネイビー M・Lサイズ……¥3045

SOUL(テープライン) ロングスリーブ2 ホワイト・ブラック・ネイビー M・Lサイズ……¥4095

★大ヒット商品!!

テープラインSET-UP 左・SOUL 右・魂 ホワイト・ブラック・ネイビー S〜XLサイズ…………各¥10290

※只今、人気商品につき種類／サイズによっては、品切れ中の場合があります。

新入荷情報！

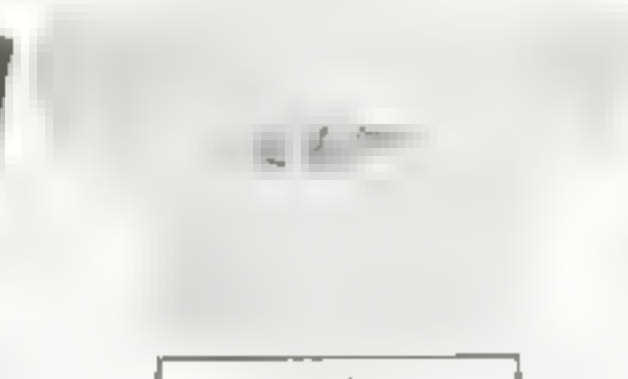
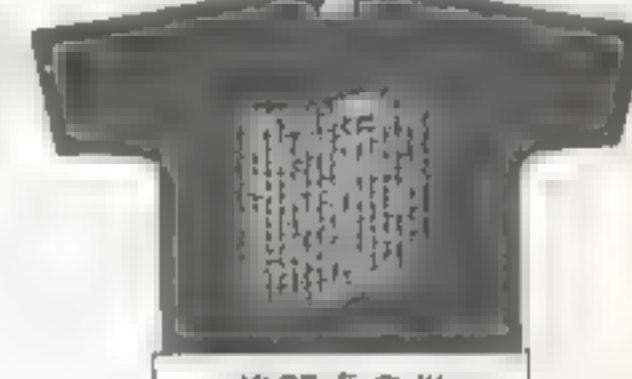
大人気のパーカーにかぶりタイプが新登場。売切れ必至!?
タイプ：魂／SOUL／"S"マーク
カラー：白／黒／紺
価格：¥7245
※売り切れてたらゴメンナサイ！

生活感漂う？格闘オリジナルグッズはいかが!?

こんな会社、辞めてやる。 ブラック・グレー／F・2L 半袖・¥2000 長袖・¥3000

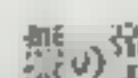
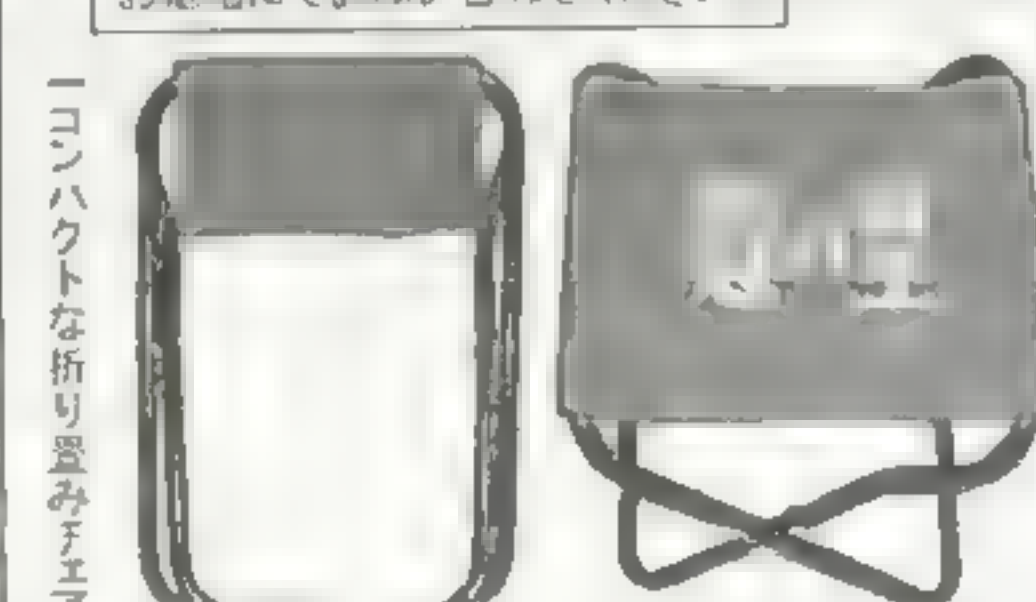
無冠の帝王 ブラック・カーキ／F・2L ¥2000

まかやろう ホワイト・ネイビー／F・2L ¥2000

心技体 ホワイト・ブラック／F・2L ¥2000

ミスター ホワイト／F・2L ¥2000

格闘虎の巻 ブラック／F・2L ¥2000

格闘スポーツタオル……¥500
サイズ・50cm×98cm
※デザイン／カラー各種あります。
お電話にてお問い合わせください。

格闘スリッパ……¥500〜1000
※デザイン／カラー各種あります
お電話にてお問い合わせください

コンパクトな折り畳みチェア

格闘ミニチェア
通常価格¥1800→特別価格¥1000
サイズ 高さ25cm×幅23cm 開脚時
重量 約450g
材質 パイプ、布(シート部)
※デザイン／カラー各種あります
お電話にてお問い合わせください

大人にも子供にも大人気のプロレスフィギュア!!

写真左から
新日本プロレス
永田裕志／西村修
A・猪木／人生のホームレス
武藤敬司 スキンヘッド
各¥1575

プロレスリング ノア(モグラハウス)
三沢光晴／小橋建太
各¥1575

［通信販売お申し込み方法］ ●ご注文は、電話・FAX・WEBサイトからご利用いただけます。いずれの場合も必ず商品の在庫をご確認して下さい。●お支払方法は代金引換（商品代金＋送料）になります。●商品のお届けはヤマト便にてご発送します。●配達の日時指定が出来ますので、お申込み時にお伝え下さい。（但し、離島・一部の地域では時間指定が出来ない場合もありますので、予めご了承下さい。）●店頭に在庫のない商品に関しては、お取り寄せに多少お時間がかかります。●通販のご注文は1000円以上からお願いします

Champion東京店

〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
TEL03-3221-6237 FAX03-3221-6267
営業時間 11:00〜22:20（年中無休）
E-mail webmaster@champion-j.com

Champion大阪店

〒556-0011
大阪市浪速区難波中3-3-23桧ビル4F
TEL06-6645-5186 FAX06-6645-5187
営業時間 11:00〜22:00（年中無休）
E-mail east@champion-j.com

直接店に来るもよし!!面倒なら自宅から注文するもよし!!

チャンピオンだから出来るレンタルシステム

その1 店頭にてレンタル、店頭へのご返却
（通常のレンタルビデオショップと同じ方法です）

その2 店頭にてレンタル、宅配便でのご返却
（店頭で借りて、返却は最寄のコンビニで手続き）

その3 TEL・FAXにてご注文、往復宅配便レンタル
（ご自宅にいながら宅配便を利用してレンタルできます）

・店舗にて入会される場合は、身分証明証をご持参ください
（免許証／保険証／学生証他、住所確認ができるもの）
・通信レンタルをご希望される場合は、400円分の切手を同封の上、お名前ご住所・電話番号を明記の上、資料を請求して下さい。
（到着後、入会申込書・案内書を送付いたします。）
東日本地区の方は、東京店へ
西日本地区の方は、大阪店まで
※通信レンタルでの入会手続きには約1週間ほどかかります

●こんなとこからイベント（募集？）情報ーレスラー・団体関係者の皆様、サイン会・チケット先行発売などやってみませんか？場所をご提供いたします。

紙のプロレスRADICAL

2001 No.44 CONTENTS

No.44 Main-Event

No.44 Semi-Final

Scandal & Scoop

Columns

Another

RADICAL特製ピンナップ

永田さんに続け！『紙プロ』もミルコ戦に名乗りを挙げます！

Cover Model
桜庭和志

Art Director
出田さん●San Ideta

Design
Two Three
ヒサくん●Kun Hisa
マツくん●Kun Matsu
村松さん●San Muramatsu
グッチー●Gutty
タニやん●Yan Tani

Saotome no musume
トメオ●Tomeo
ハナエ●Hanae

ZERO graphics
海老沢勇●Isao Ebisawa
古賀ゆきえ●Yukie Koga

※RADICALの意味は「根本的」「根源的」なのか？
よくそれでドラマとか出てられるな？　恥ずかしくないのか

髙田の醜態成？桜庭、返り討ち!!

ホントにケツに火がついた!!

11・3東京ドーム

『PRIDE.17』で馬鹿になった座談会

『PRIDE』最高観客数を動員した『PRIDE.17』だが、その詰めかけた観客から寄せられた期待はいつしか失望へと塗り潰されていった
メジャー化と共に何かを失った『PRIDE』は一体どこに行こうとしてるのか？ 座談会で馬鹿になり検証ーッ！

どんなに駄目なときでも桜庭が最後になんとかしてたじゃない(豪)

チョロ 『PRIDE.17』はまだ終わらない(アントン調)! ということでだいぶ日が経ってますけど、座談会で『PRIDE』を振り返りますか!

豪 どうですか、会長! 先月号の表紙で「サクと『PRIDE』のケツに火がついた!!」って打ち出したら、実際に思いっ切りケツに火がついたわけですけど(笑)。

山口 ガハハハ! 大火事になって大水ぶっかけられて、冷えきっちゃった感じだよな(笑)。

ガンツ こんな大火事なのに、真っ先に車椅子で逃げちゃった人もいましたけど(笑)。

山口 は? 一体誰のことですか?

豪 まぁ、ぶっちゃけた話、今回の東京ドームで『PRIDE』は終わったっていう声が予想以上に多いですよね。

山口 そんなに多いの?

豪 桜庭の負けが一番の象徴ですけど、ボクも『PRIDE』史上で最悪の興行だったと思いますよ。

チョロ し、史上最悪までいきますか!?

豪 いままでは、どんなにダメなときでも桜庭が最後になんとかして帳尻が合った部分があったじゃない。だけど今回は猪木さんとブラジリアン・トップチームがちょっと良かっただけっていう。そんな興行、お話にならないですよ!

山口 猪木さんの「俺の名前はビンタジン」(ホントはビンタディンと言った)と清原への不意打ちビンタは笑えたけどね(笑)

豪 そこだけですからねえ……。

山口 だから、それが象徴してるんじゃないの? いまの『PRIDE』は猪木さんを中心に回ってるというさ。

豪 本心から喜んでいるのは、猪木さんとトップチームのブッカーのUさんだけっていうか(笑)。

山口 ガハハハ! どっちも選手じゃないよ。でも、今回の『PRIDE.17』は勝負というのは勝ったり負けたりするものだっていうスポーツファンには楽しめたんだろうね。

豪 でも、それって新日のたらい回し政権みたいなのをガチンコでやってるだけみたいな感じなんですよね。

山口 リアルファイトとはいえ、「勝ったり負けたりするからリアルなんだよ」って言われると、それだけじゃない気はするけどね。「勝ち負け」をおろそかにして、「勝ち負けだけじゃない」なんて言われると余計腹立つけど(笑)。俺は欲深いから、リアルファイトでも、プロレスのように常勝チャンピオンがそのうち出ると思ってるから(笑)

ガンツ UWFの昔から「常勝チャンピオンは有り得ない」と言われてきましたけどね。

山口 以前(カール・)ゴッチさんに会ったとき、「実力が2番手でもカリスマ性があればそいつをトップに置くべきだ」「カリスマ性があって、ホントに強いやつが一体どこにいるんだ! そいつを俺の前まで連れてきてくれ!」って、もの凄い勢いで言われたんだけどね(笑)。でも、プロレスファンの頭の中にはそういう奴がいると思いたいわけでしょ? 俺もそう思いたいし、それを諦めるのがイヤなんだよね 子供じみてるけど(笑)。

チョロ その期待を桜庭に託してたわけですよね。だから観客も桜庭が負けて、かなり落胆はしてたわけですけど。

山口 いや、そうなんだけど、会場の雰囲気や声援の送り方が、なんか大会全体が〝スポーツ〟を見てるみたいな雰囲気だったよね。

豪 最初の会場のできあがり方と最後の落胆振りと、そしてブーイングでの一体感と(笑)。

山口 プロレスというのは〝スポーツ〟と外れたところで世間に突き刺していくものがあったわけでしょ。猪木さんの全盛時代に視聴率20%取ってたけど、猪木さんの流血シーンとヨダレ、それにタイガーマスクだよ(笑)。全然、一般の人がイメージする〝スポーツ〟とかけ離れていたわけだけど、身体の芯が燃えたでしょ(笑)。本来、格闘技もそういうものだと思うし、『PRIDE』もそうあるべきなんだけどね。

豪 桜庭に対する論調にしても、どんどんスポーツの枠に入れようとしてるんですよね。「タバコもやめてウエイトもやれ!」っていう。

山口 関係ねえじゃねえか! 本人のやりたいようにやらせろよ!

豪 まあ、そう書いたのは(サダハルンバ)谷川さんなんですけど(笑)。

山口 あ、そうなの? 全然知りませんでした(笑)。

豪 谷川さんが言うには、試合後に桜庭が流した涙は「シウバに絶対勝てないと思ったからだ」っていう衝撃の事実もあったんですけど(笑)。

山口 ……(絶句して)はぁ。それは神経疑うね。何で、あの試合見て〝絶対勝てない〟っていう見方が出てくるの?(笑)。

豪 まあ、桜庭らしくない試合ではありましたけど、ちゃんとシウバに対処できてましたよね

山口 しかも肩を脱臼してから2分間攻めてるんだよ! 断言するけど下からの三角締めは脱臼してなかったら極めてるよ。

ガンツ ぼ、ボクも実力で負けたとは思ってないですよ!

山口 でも、サダハルンバは何か編集的な意図があって、渦を巻き起こしたいっていうのがあるかもしれないよ。

豪 たとえ、そうであっても今回『SRS-DX』(以下SRS)が煽るアングルは、試合前から試合

ドクターストップというまさかの結末で桜庭が敗れ去ったリベンジマッチ。桜庭はシウバの首を極めつつも、そのまま抱え投げられマットに叩きつけられて肩を脱臼! アクシデント性の強い敗北ではあったが、誰もが桜庭の勝利を疑わなかっただけにショックは大きい。

【座談会出席者】
山口日昇●本誌鬼畜編集長
吉田豪●本誌金髪スーパーバイザー
松澤チョロ●現役キャットファイター編集者
堀江ガンツ●『紙プロ』泥酔鬼軍曹

後までちょっと腹が立ってしょうがなかったんですけどね。
山口　渦の巻き起こし方が見えすぎだよっていうのはあるよね（笑）。
豪　今回も「興行的にはダメだけど語るべきところがこんなに多い興行ってないでしょう！」って評価しようとしてるから、ホント腹立たしいんですよ！
山口　語れさえすれば、ダメな興行でもいいのかって話だからね。語ることを楽しみにしてるファンっているの、いま？
ガンツ　それならボクも、リングスならどんなにヒドイ興行だって一晩中語れますよ！
豪　だから、それが良くないってことだよ（笑）。高田vsミルコの煽りにしても『SRS』は「こんな高田に乗れないなら、何がプロレスなのか！」ってやってましたけど、いまの高田がプロレスを背負ってるとは到底思えないわけじゃないですか。
山口　今回こそ「個人」の闘いだよね。
豪　巨大なリスクがあったヒクソン戦のときは、もちろん良かったんですけどね。なんでいまさら、誰も望んでないのにプロレスを背負おうと思っちゃったのかなあ……。
チョロ　高田自身も、そういった姿勢での発言をしてましたしね。

グレイシーが散々研究されてるのに、小原のあのていたらくって！（ガンツ）

豪　しかも試合前のインタビューで、高田は「負けを怖がっていたら出ていけない」って言ってましたからね　確かにいままではそうだったけど、今回はメチャクチャ怖がってんじゃんかよって（笑）。

小原、シッポすら出せず

山口　で、他の専門誌の論調はどうなの？
豪　『週プロ』は面白いですよ（笑）。表紙コピーが「こんな試合しやがって！」って逆ギレですから！　信じた俺が馬鹿だったたみたいな（笑）。
山口　ガハハハ！『週プロ』はちょっと前に高田を表紙にして「プロレスラーとは何か？」ってやってたけど、5年前のウチの表紙と同じコピーだよ。しかもそのとき巻頭はウチも高田だし（笑）。佐藤編集長は、ホント5年遅れてるよね。
豪　しかも、次の号のSHOW氏を司会に立てた高田インタビューになると「あれは、『こんな凄い試合をしやがって』の意味でした」とか言ってるし（笑）。あれは高田もSHOW氏も佐藤ちゃんも『週プロ』も、誰一人として得しないっていう、奇跡的な企画でしたね。
山口　いや、あれは"負の刺激"でしょ（笑）。『ゴング』の表紙のコピーはいいね。「これが高田のやり方か！」って、長州フレーズ入ってて（笑）。
豪　でも『ゴング』は小原の敗戦にはほとんど触れてないんですよ。高田と同じぐらいブーイングが飛んでたはずなんですけどね（笑）。
山口　俺は『PRIDE．17』の戦犯は小原だと思うんだけど
豪　よりによって、大事な第1試合からああいういただけない空気を作ったっていうことですよね。
山口　最初からあんな闘いやられたらつらいよな（笑）。だいたい小原って何で『PRIDE』に出てきたの？

不甲斐ない内容だった高田に対し、「こんな試合しやがって！」と表紙に踊らせた「週プロ」だが、佐藤編集長が「高田番」になったためか腰が入らぬ論調。一方の「ゴング」はGK金澤のシビれる巻頭記事でキッチリ高田批判を展開し、高田の怒りをかったのである。GK最高！

ガンツ　藤田とか安田とかが『PRIDE』で変身したから、俺もってことなんでしょうけど（笑）。
チョロ　小原はプロレスでは一度も輝いてないし、腕っぷしに自信があったってこともあると思うんですよ
山口　自信があるっていったって、打撃の対応なんて全然できてないじゃん！
ガンツ　ヘンゾのジャブで後ろ向いちゃって（笑）。グレイシーが93年に出てきて散々研究されてるのに、あのていたらくって！
山口　でも、小原ってかなり練習してたって話だよな。
ガンツ　GRABAKAと練習してたらしいですけどね。噂では、いつも横四方固めの姿勢で上から押さえ込んでからのスタートらしいですよ（笑）。
豪　昔ながらの新日道場スタイルだ（笑）。
ガンツ　あくまで噂ですけどね（笑）。
山口　まあ、もう1回出てくるっていうなら頑張ってほしいけどね。でも、あの試合では思い入れが持てないよな、ファンも。
豪　入場での思い入れの持たせ方にしてもチーム2000を背負ってきちゃったのがピンとこないですよね。小原には平成維震軍や犬軍団、それに浜口道場ってイメージあっても、チーム2000のイメージは一切ないし（笑）。
チョロ　セコンド陣でアッと驚かせるって言ってたんですけどね。

『PRIDE.17』その他のダイジェスト

トム・エリクソンvsマッド・スケルトン
大晦日の「猪木軍vsK-1」を前にして、なんとなくマッチメイクされた感のある対抗戦になんとなくオファーを受けたっぽいマット・スケルトンが登場。そんなわけだからあっさりエリクソンのコブラクローの餌食に。フィニッシュの意外さもそうだが、エリクソンはあの巨体で動き回り、スケルトンをも投げ飛ばせる力と技術はかなり見栄えする存在だ。

セーム・シュルトvs佐竹雅昭
大巨人セーム・シュルトのいまだ見えぬ潜在能力が見える前に、元K-1ファイター佐竹の薄々感じさせていた底の浅さが露呈したこのストライカー対決。本当にK-1ファイターだったのか疑ってしまう佐竹の無様さは、[illegible]の一撃で[illegible]げたK-1最強幻想をシュルトのたった2発のジャブで崩されてもおかしくなかった決着だったのだ。

ダン・ヘンダーソンvsムリーロ・ニンジャ
[illegible]のヘンダーソンからテイクダウンを奪うな[illegible]想像以上の実力を披露し、アグレッシブなファイトを展開したムリーロ[illegible]も繰出し[illegible]ボクセの[illegible]さらに観客に植え付けたわけだが、ヘンダーソンも[illegible]投げ技やスタンドの打撃で応戦。[illegible]攻め続けたのがポイントになったのか、この好勝負はヘンダーソンに軍配があがった。

豪　寛水流空手出身の後藤達俊だけならアッと驚くけどね（笑）。テーマ曲にしたって、なんで蝶野のテーマ曲なんだよって。

ガンツ　あれは東京ドームで蝶野が大仁田とやったときの「君が代」ロックバージョンですよね。

山口　はぁ。そうだったの？

豪　気付かないですよね。実は小原は蝶野を背負ってたんですよ（笑）。

山口　いや、小原が犬軍団っていうことも知らなかった。だったら、今回こそスプレーで負け犬って書くべきじゃん（笑）。

豪　まさに人間失格ですよね、犬なだけに！

ガンツ　ワハハハ！　そこまで言いますか（笑）！

山口　あの闘いはそこまで言われてもしょうがない……とはまでは言えないんだよ。いかんせんバーリ・トゥードじゃ素人だから。

チョロ　小原は〝喧嘩番長〟とか道場で一番強いとかって言われていたわけじゃないですか。実際、そういう道場幻想はもう通用しないんですかね？

山口　いまちょっと違うかもしれないけど、道場幻想で通用するのはオーちゃんぐらいでしょ。当たり前の話だけど、幻想を持てるっていうのは練習をちゃんと積んでる人だよね。以前に『ゴング』でGKが小川を叩いた編集後記があったじゃない。「唯一、認められるのは練習が好きということぐらいか」ってやつ。俺からすればそれが一番大事なことなんじゃないのって思うんだけどね（笑）。いまの新日本の体制では無理だよ。

豪　いや、シウバがパワースラムでサクを倒した以上、いよいよ健介の出番ですよ（笑）！

ガンツ　そっとしときましょうよ（笑）。桜庭や金原なりプロレスラーたちがバーリトゥードの世界の上のほうで頑張っているのに、今頃出てきてプロレスラーの弱さをさらけ出すことないですよ。もう片手間にシュートをやっても通用しない時代なんですから。プロレスを陥しめるだけですよ！

山口　やるんだったら本気でリンクしてよって話だよな。ホント、平成新日本プロレスっていうのは何をやっていたんだかっていう話だよな　まあ、永久に目を覚まさないでほしい気持ちもあるんだけどね。ドラゴンが目を覚ましたら「俺が格闘技部門の頭を突っ走る！」とか言いだしかねないんで（笑）。

豪　猪木さんがマッチメイクを決めるのが早すぎんですかね？　ちょっと練習を始めたって聞くとすぐ引っ張っちゃうから（笑）。

ガンツ　中西がK－1とやるのに「1年間時間をください」って言ってましたけどね。やるのは大晦日だって言ってるのに（笑）

豪　だけど、それはプロとしては絶対正しい姿勢だと思うよ。本当に1年間ちゃんとやるのであればね。永田にしてもキックの練習を長期間やってるし、かなり対応できるんじゃない？

ガンツ　永田はUインターとの対抗戦でも強さが見えましたもんね。でもいきなりバーリトゥードのヘビー級でやったらかわいそうですよ。

チョロ　新日本ファンは永田や中西が『PRIDE』に出るのを望んでいるんですかね？

豪　というか、小原とかが負けて泣くファンとかいるんですかね？　個人的にはそっちのほうが気になる。

山口　そこまで思い入れを持って見てる人がいるのかってことだよね

豪　それは石川社長にそこまでの思い入れを込めていたバトファンがいたのかって疑問でもあるんですけど（笑）

山口　豪ちゃんは石川社長の試合はどうだったの？

豪　石川社長云々というより『PRIDE．17』に出た日本人選手で石川社長が一番よく見えたのは事実ですけど、その状態こそが問題というか。他の日本人がひどかった証明でしかないですよ！

ガンツ　石川社長の試合はよかったっていうか、つまんなくなかったっていうだけですよ。

山口　でも、つまんなくなかったっていうことは、ちゃんと「石川劇場」をやったからだと思うんだけどな。入場の顔もよかったしさ。

ガンツ　いや、プロレスラーの他流試合で真っ向から打ち合って玉砕するのが許されたのは、初期のバーリトゥードの話ですよ。石川社長が長年言い続けたきたプロレスラーの姿があれだとしたら、本当に残念です！

山口　それはわかるけど、石川雄規の中には「プロレスラーは表現者である」っていう定義があるんだよ。アリ戦で借金を背負った猪木さんのように、NKでアリと闘って借金を背負って異種格闘技に出てくるっていうね（笑）。

豪　模倣するにしても、猪木さんが異種格闘技戦で負けたのはだいぶ後になってからですよ（笑）。

ガンツ　しかも猪木さんはアリ戦のあとにモンスターマンと闘ってパワーボムを決めたじゃないですか。石川社長は逆にパワーボムを決められそうになってますからね（笑）。

山口　ガハハハ！　でも、石川社長は石川社長で自分の生き方を、そのレベルでだけども、ちゃんと表現しようといてたよ。だから、小原よりよく見えたんでしょ。小原の場合、負けたとか技術がないってことより、情念が見えなかったことが、よくないってことですよ。

猪木さんは面白いんだけど

ガンツ　まあ、今回の『PRIDE．17』はいろいろ言われてますけど……元はといえば猪木さんが『PRIDE』に入ってきた頃からダメになってきてるんですよ！

新日本から〝喧嘩番長〟の異名を引っ提げてヘンソと対峙した小原であったが手も足も、シノボも出せず判定負け　ヘンソの打撃に顔を背けるなど実力に差があったのは明白なのだが、そもそも闘う気があったのかどうかか問われるぐらいなのだから〝負け犬〟以前の問題である

平成新日本プロレスっていうのは何をやっていたんだか（山口）

山口　なんだよ、猪木批判かよ（笑）。

豪　だけど、『PRIDE.6』で小川を投入したときまではよかったわけでしょ？

ガンツ　問題は、猪木さんが「PRIDE.10」からプロデューサーに就任して、そこから「ダーッ！」だけの場にしちゃってからですね。

豪　何を言っても猪木さんが一番面白いって団体になってからね（笑）。

ガンツ「勝ち負けとかそんな小せえことに拘らねえで」とかやりだして。そんなことといったら思い入れやらロマンが持てないですよ！

豪　まあ、猪木さん自身、『PRIDE』に対しての思い入れは絶対ないだろうからね（笑）。

山口　あのね、一応言っとくけど猪木さんはバッグンに面白いよ（笑）。

豪　確かに猪木さん個人は面白いんですけど、猪木さんが引っ張っていく『PRIDE』には興味がないっていうことなんですよ。最近の『PRIDE』なんて、5時間ぐらいかかる猪木さんのトークショーを見に行ってるようなもんですから！

山口　ガハハハ！　俺は、いわゆる"スポーツ"の範疇から外れたものが見れればなんでもいいんだけどね。どれだけ本当の怒りをプロレスの範疇で見せられるかっていうのにも興味あるし。バトラーツvsZERO-ONEでもいいし（笑）。

豪　レフェリー島田裕二で（笑）。

山口　破壊王が「本当の怒りをみせてやる！」って島田裕二にケサ切りチョップを見舞ったりしてさ（笑）。

豪　すかさず三沢社長や大ちゃん（池田大輔）が橋本の味方についたりして（笑）。

山口　ガハハハ！　昔の新日vsUWFはそういう闘いだったよね。

ガンツ　しかし、新日本とUWFはよくあれでちゃんと試合が成立してましたよね（笑）。

豪　というか、よく巡業できたよなあ。そりゃ、新日とUWFの懇親会も組まれるわっていう（笑）。

ガンツ　しかも懇親会やったら旅館ブッ壊しちゃうっていう（笑）。

山口　前田と武藤が「せーの！」で走ってきながらグーで殴り合いやってるし（笑）。

豪　それに比べたら、たとえいま猪木軍とK-1が飲んでも絶対そんなことになりそうもないですからね。

山口　桜庭vsグレイシーにしたって、ストーリーがあるなかで、対立構造が本気だったから面白かったわけでしょ。

豪　でも、ホリオンから離れてホイスが単体になっちゃうと対立概念がないから全く乗れないんですよねえ。桜庭との再戦なんて絶対に組ませたくないですよ！

山口　ヒリヒリ感はないよね。その欠けだしたヒリヒリ感を出すために『PRIDE』は「猪木軍vsK-1」の方向に向かってるとは思うんだけどね。

豪　だけど、全然乗れませんよ。お互いのエースが誰なのかもわからないじゃないですか。エースがなぜかプロデューサー同士だっていう。

山口　確かにいまのままじゃ、たとえ負けても、猪木さんも館長もどっちも傷つかないからなあ。

新日本、『PRIDE』、そしてテレビ局をも束ねて打倒紅白を目指すヒンダティンことアントン総裁　今回、『PRIDE』を支えてきた高田道場勢が揃って敗北とあってますますアントン総裁の周囲の迷惑を考えない暴走振りに拍車がかかりそうである。

豪　楽しみなのは清原の試合ぐらいですね。できれば最近の反猪木の流れで、猪木さんから清原との対戦権を藤波が奪ったらもっと嬉しいんだけど（笑）。

ガンツ　それって、大晦日に何やってんだって話ですよ（笑）。

豪「決めました！　新日から大晦日に選手を参戦させます！……俺です！」って。それでリングに上がったら、佇まいだけでどっちが強いか明白にわかっちゃうんでしょうけど（笑）。

猪木さんが引っ張っていく『PRIDE』には興味がないですよ（豪）

山口　ガハハハ！　ヒドイね、キミは。たとえば前田がハンとかヒョードルとかロシア勢を率いて、前田軍vsK-1やったらヒリヒリ感は出るでしょ（笑）。もう前田が率先してセコンドについて煽りまくってさ（笑）。

ガンツ　前田が「あの石井のオッサンは……」とか余計なこと言って大揉めになりそうですよね（笑）。

豪　初期のリングスはそうだったですからね。「言い直せ！」って館長がジャッジに文句言ったりして（笑）。

山口　ガハハハ！　観客が館長「帰れ！」って野次ったりね（笑）。「猪木軍vsK-1」には、いまのところそういったものを感じないから、ヘタしたら単なる"プロスポーツ"になる危惧は俺にもあるね。

豪　猪木さんがこの闘いでキレるとは思えないですからね。館長との対立概念が見えてこないっていうか。

山口　いま、猪木さんに対立概念があるとすれば、小さな存在かもしれないけど、藤波じゃないの？

豪　猪木曰く「バカ社長」ですね！

山口　そう（笑）。そのバカ社長、新日本が本気になって猪木さんに向かっていったら面白いよ！

豪　どう考えたって、本音でお互いに腹を立てたりするほどの対立概念はそっちだろうってことですよね（笑）。猪木軍もK-1軍にしても、ただの傭兵同士の闘いですしね。

山口　だからオーちゃんはそれにイヤだって言ってるわけでしょ。

豪　そもそもサム・グレコもWCWだし、グレコが連れてきたボブ・ホップもただのレスラー。どこがK-1なのか教えてほしいですよ（笑）。

ガンツ　どちらかというと猪木軍に近いですからねえ（笑）。

豪　ブラジリアン・トップチームにしても何で猪木軍に入っちゃうんだって（笑）。ブラジル人だから？

山口「猪木軍vsトップチーム」のほうが見たいな（笑）。

豪　猪木軍に入るんであったら、前にチョロが出た「猪木王決定戦」みたいに、ある程度猪木について知らないとダメとか、ちゃんとハードルを設けないと（笑）。

チョロ　最低限の猪木さんの知識がないと入れないんですね（笑）。

豪「イノキサンは日本の偉いプロ

デューサー」とかぐらいじゃの知識ダメ（笑）！

高田延彦とは何か？

チョロ 日本人選手の中では猪木軍に参加するって話があった佐竹ですけど、『PRIDE．17』の試合はひどかったですよね。
豪 佐竹はそろそろキッチリ叩いたほうがいいですよ、ホント
山口 佐竹は叩く気にもならないなぁ なんでかなぁ（笑）
豪 なんで毎回ああなんですかね。ジャブ2発でダウンって（笑）。
ガンツ まだ、負けるのを嫌がるK－1時代の方が格好良かったですよねえ。
チョロ 佐竹は名前変えたほうがいいですよねえ……佐竹チョイナチョイナって……。
豪 久しぶりの弱火だなあ（笑）
山口 まあ、闘う〝動機〟の問題だよな、〝好奇心〟っていうか それが見えないもんな 練習中にはあるんだろうけど。
豪 佐竹は「空手家とやりたい！」って自分から相手を指名するぐらい好奇心持ってますよ（笑）。高田にしても「何で誰も手を挙げないんだ！」って乗り込んでいったわけだし あれは、藤田がミルコと再戦すれば勝てるって誰もが思ったから手を挙げなかっただけだと思うんですけどね（笑）。
チョロ 2人とも、試合前や入場は異常にやる気満々なんですけどね。
豪 それなのに、なんでリング上では何も見えないのかなあ……
チョロ 見えないどころか、高田の試合は見たくないもの見せられましたからね（笑）。
豪 ターザンが高田のあの試合を「格闘家としたら正しい」って打ち出しているじゃないですか。
山口 格闘技の戦略としたらってことでしょ？
豪 ただ、問題はそもそも高田を格闘家として括るべきなのかっていうことですよ。あんだけ「アイ・アム・プロレスラー」を謳ってきた人間が、なんであそこだけ格闘家になるんだっていう 格闘家を名乗るには致命的なまでに技術がなさ過ぎて、プロレスラーを名乗るには芸がなさ過ぎると思うんですよ。
山口 高田は芸も術もないの？（笑）。でも、期待を裏切るのがプロレスラーっていうロジックを使ってるよ、ターザンは。
豪 そんなこと言ったら武蔵も佐竹も中迫も、みんなプロレスラーですよ！ まあ、高田は試合後のコメントだけは誰よりもアイ・アム・プロレスラーなんですけどね（笑）。

「猪木軍vsK－1」は、いまのところスポーツにしか見えないよ（山口）

山口 まんざらでもないっていう顔で車椅子に乗ってきてるしね（笑）。〝裏切り〟を是とするのはいいけど、大前提として期待に応えてからの話だよな
豪 高田vsミルコは、最初にルールで揉めて判定なしにした時点でこうなることに気づくべきでしたよ
山口 ガンツも怒ってたよなあ。記者席から「この恥さらし！」って怒鳴ってさ（笑）。
豪 「前田が泣いてるぞ！」みたいな感じで（笑）。
ガンツ ホント、そうですよ！ もう、高田は試合に出るのが1年に1回じゃないですか？ その1年分の力を吐き出してくれればいいですけど。あれじゃねえ
豪 なぜか毎回腰に注射打って、テーピングもグルグル巻きで（笑）。
山口 とにかく俺は高田には勝ち負けなんてどうでもいいからって言うと語弊があるけど、『PRIDE』のリングで完全燃焼してもらいたいよ。
豪 だけど、高田っていつから完全燃焼してないんですか？
山口 えーっと……北尾戦以降かなぁ（笑）
豪 もう10年近く経ってます（笑）。恐ろしい話ですよね。
山口 高田がいろいろ言われるのは非常によくわかるんだけどさ（笑） ミルコだって高田のこと言うほど大した闘い方してないと思うんだよね。
ガンツ ミルコに言わせると「タカダはニセモノ！」らしいです（笑）。
豪 だけど、ミルコってすごいんですかね？「ミルコはK－1のヒクソンだ！」っていう『SRS』の打ち出しも、かなり不愉快だったんですけど。
山口 あれはどういう意味なの？
豪 つまり、「ヒクソンのように、誰もやりたいって手を挙げない存在」ってことじゃないですか？
山口 全くわかりません（笑）。
豪 でも、高田がK－1に挑むっていう流れであれば、ミルコの闘い方はあれでいいと思うんですよ。ミルコが乗り込んで来たっていう流れの場合は、つきあわなきゃいけないと思いますけどね、得意技はハイキックだったはずなんだから、もっとつきあえよって（笑）
山口 高田に見るべきところはなかったの？「やるじゃん、高田！」っていうところは（笑）
豪 まあ、テイクダウンは取りましたから、「太田章ざまあみろ！」って感じなんですかねえ……。
チョロ 「一発でやられるでしょう」って言ってましたからね。
豪 実際、高田が「PRIDEが猪木軍vsK－1を中心にしていくなら撤退も辞さない！」って高田道場が対立概念になっていたところまでは乗れたと思うんですよ。でも、高田がミルコっていう美味しい試合に飛びついて、さっきも言った不愉快な『SRS』の煽りがあって、こんなの誰も乗れないだろうなって思ったら会場は大歓声だったという。ホント、「最初に応援した人間は、ブーイング飛ばすな！」ぐらいに思いましたよ。最後まで応援しきれよって！
山口 試合として見て、俺は1ラウンドは異種格闘技戦の雰囲気が出てドキドキワクワクに加えて、ヒリヒリ感があって面白かったんだけどな
豪 そのあと、高田の足がヒリヒリしちゃったんですけどね（笑）。
山口 チョロ並みに弱火だけど、うまいね、どうも（笑）。
豪 ボクも1Rは面白かったですけど、そのあとの緊張感のない猪木アリ状態ってのはホント見てられなかったじゃないですか！ 猪木さんがアリとやったときはルールに縛られ、その中でやれるベストを尽くしたわけで、今回の高田とはあまりにもわけが違うんですよ
山口 だから、残りのラウンドがダメに見えたということは、高田の闘いに向かう動機や好奇心がリングから見えなかったということでしょ。
チョロ ……動機だけに、息切れ

ヒクソンとは違った部分でグレイシー幻想を守ってきた一族の頭脳であるホリオンから独立（？）したホイスが緊急来日。リング上から「引退はしてない」と笑顔で高らかにアピールしたが、司令塔を失い、時代が急速に流れつつあるいま新たなるグレイシー幻想をはたして構築していけるのだろうか？

しか見えないってことですね。動悸と動機、ウヒャヒャヒャ！
山口　（無視して）だから、今回は、サクは除いて、みんなアマチュアチックな闘い方だったね。小原、石川、高田と。みんな「個人」の闘いをしてた。ふつうそれをプロレスラーがやったら俺も憤慨すると思うんだけど、なんか日にちが経つと、そこに今後の『PRIDE』の鍵が隠されてる気がするなぁ。

ローテクを取り戻せ！

山口　ターザンがNYでのテロの話をしてたら、「あれはローテクがハイテクを爆撃したんですよォォ！」って炎上してたんだけよね。これはイメージなんだけど、ブラジル勢は腕一本で闘って、モチベーションから何から、すべてローテクに感じるんだよね、いい意味で。
豪　キャラが地味すぎるっていうことも含めてですね（笑）。
山口　そうそう（笑）。裸一丁でリングに上がってきてるんだよね。地対空ミサイルを肩に担いでるアフガンの子ども兵士のように、ハイテク組織化している『PRIDE』に対して突っ込んでいってるみたいなさ（笑）。桜庭はそのローテクな部分をちょっと忘れかけてるなぁ？　と思ったね。しっかり練習してるし、闘いへの好奇心はあるんだろうけど、知らず知らずにハイテクに慣れちゃったというか。
チョロ　ノゲイラにしてもシウバにしても、試合をするのが楽しそうですもんね。
山口　ノゲイラはちょっと前の桜庭とダブるんだよ　笑顔で農村から出てきたようなキャラだしさ（笑）。
豪　強いけど地味っていう意味では、スペーヒーが金原になるんですかねぇ　顔は全然違うけど（笑）
山口　顔の話はやめろよ。怒られるから（笑）。
豪　でも、いま楽しめなくなっているっていうのはおそらくポジションの問題だと思うんですよ。金原にしても桜庭にしても、当時Uインターに入ったってことは、マスク的にもハート的にもエースになる気はなかったんじゃないですか？
チョロ　い、いや！　金ちゃんは違いますよ！（笑）。

格闘家を名乗るには致命的なまでに技術がなさ過ぎて、プロレスラーを名乗るのは芸がなさ過ぎると思うんですよ（豪）

豪　だけどホント、2人とも道場王でもいいって思ってたと思うんだよね　それが知らず知らずガチンコ時代になってランクが上に行き、2人ともガチンコでエースっていうキツい役割を背負わされていっぱいいっぱいになってるというか。だから、桜庭が全て背負わされたから負けちゃったんだろうなって思ったんですよ。
チョロ　桜庭はプロレスもそうだし『PRIDE』も、格闘家としても全て背負ってましたからね。
豪　実際、あれだけのプレッシャーをかけられて、しかもエースなのにガードされてなかった選手っていないはずですよ。Uインター時代の高田とか猪木さんもそうですけど、新聞やら宮戸がリング内外でエースをキッチリ守っていたわけじゃないですか？　それなのに、なんでいまも高田がガードされ続けてるんだよっていう。自分のカードを決めるために桜庭は出さないとかゴネるし、
山口　ガハハハ！　だって高田は道場主なんだからいいじゃん（笑）。
豪　マッチメイクにしても『PRIDE』は全てビックマッチだから毎回強豪とやらないといけない。たまに弱いのとマッチメイクされるとバッシングされるっていう（笑）。
山口　ガチでそんなことをやり続けてきたのは、ホント桜庭だけだよな。これは言い方が難しいけど、桜庭はもう『PRIDE』ファイターを背負わなくていいでしょ。
豪　ミルコが言うように「サクラバはタカダの道場を出るべきだ」ってことですか（笑）。
山口　なんでそういうとこばっか引用するんだよ（笑）。桜庭がやりたいことをやればいいんだよ。そのやりたいことを見つけだすっていうのが、あのレベルまで行くと、余計難しくなっちゃうんだよ、逆に。だからこそ、闘いに向かう"好奇心"を失ってほしくないね、サクには。それをなくさなければ再生できる、絶対。
チョロ　本当にやりたいことというと、桜庭はシウバともう1回やりたいって言ってますけど3度目ってどうでしょう？
山口　俺はいまはサクの3度目のシウバ戦より、ほかに誰がシウバに向かっていくのかってことのほうが気になるよ。金ちゃんvsシウバとか。
チョロ　でも、日本人は育ってないですからね。
豪　ましてや『PRIDE』内だといないよね。個人的には高田対シウバが、一番見たいんだけど（笑）。やっぱり金原ぐらいなんでしょ？　ミルコとやりたいとかって好奇心があるのは。
ガンツ　好奇心というよりは、ポール・カフーンとかマット・ヒューズよりはミルコとやりたいってことですよね（笑）。
山口　ガハハハ！　そのポール・なんとかっていうのは知らないけど、金ちゃんvsシウバ戦はいまだ

から見たいな！　田村にもぶつかっていってほしいし、そうやって自主的に動機や好奇心を持って動いた者が次の時代を生んでいくと思うんだけどね。

豪　でも、いま時代で特にガチンコ系の興行だとリスクがデカすぎて、どの選手にしたって昔の新日みたいにトップの選手の寝首掻いてでもトップに立とうっていう気概は持てないと思いますよ。

ガンツ　菊田とかのレベルでリスクとか考えちゃってますからね。

豪　今度の菊田vs渡辺大介ってなにィって話だからね　アブダビの優勝だけで守り入っちゃマズイでしょ（笑）。

山口　時代ってこともあるんだろうけど、いまのプロデューサー主導のスタイルだと選手自身に好奇心が持てないってこともあるんだよね

豪　ハイアンの「呼ばれて来たけど、なんですか？」みたいな（笑）それを強引にアングルにしてもねえ　自発的にやってるような発言をするけど、全然リアリティが感じられないし（笑）。

山口　ガチンコだからリアリティが絡むとは限らないしね　プロレスだから、ファンタジーが絡むとも限らないし

豪　要はボクらはプロレスでもガチンコでも本音が見えるのを楽しんでるわけじゃなですか？　せっかくガチンコなんだから、ちゃんと発言もガチンコにしろよって思いますよ。

チョロ　高田vsミルコは、試合後のコメントだとそれが見えたんですけどね

ガンツ　あれが一番面白かったですからね、最後のオチが高田の車椅子っていう（笑）

豪　確かに面白いよ。でも、それだと夢が一切ないし拡がらないから、この座談会でも後ろ向きなことしか言えないわけでしょ（笑）。

山口　ホント、ネガティブな座談会だな、今日は（笑）　前向きな話題はないのかよ。

チョロ　……PRIDEガールは良かったですね（笑）！

ガンツ　あのカッコはほとんどハダカですよ！　ケツなんてもう……丸見えですよォォ！（大炎上）。

豪　しかも胸のところに広告入れてるから、そこを見ろって言ってるようなもんだし（笑）。DEEPのラウンドガールの平均年齢も、あれくらい下げてほしいよ。せめて、ラウンドガールでは勝ってくれって！

山口　どこに世界に30代のラウンドガールがいるって話だよな（笑）

チョロ　その点、PRIDEガールを見たら格闘テーマパークに来たなって思いますよ。DEEPは……格闘年増園ってかんじで（笑）。

山口　ガハハハハ！　オマエはそれが言いたいがための前フリだったのか!?　くだらねえぁ、これは（アントン調）。

チョロ　で、でも猪木さんも最近は弱火ですよ（笑）。

山口　猪木さんはホント、チョロ化してるからな（笑）。しかも会場はその弱火を待ってるし。『PRIDE』での明るい話題は『PRIDE』ガールと猪木さんだけなのか（笑）

ガンツ　ただ、ボクは『PRIDE』は面白くなっていくと思うんですよ　素人が見ても凄いってわかる試合がバンバンあって　でも、それはプロレスファン向けにはどうかなって気がするんですけど、別にダメなものじゃないわけですし、もう『PRIDE』はプロレスに対する役目が終わってるんでそれはそれでいいとは思うんですよね。

チョロ　それじゃ、プロレスを見るという視点からはもう見れないってことになるんですか？

猪木アリ状態のまま時が流れるとともに
高まっていき、その様子が手に取るように伝わって
ルコ、なにしろラウンド開始の際に選手同士
が行うハイタッチのときに、なんと合わせてきた

山口　それは見る日の問題でもあってね。俺の中での桜庭物語はまだ終わってないんだよ　それは高田も一緒。どれだけブーイングされようと、『PRIDE』のリングに上がったプロレスラーはずっと見続けるよ！

チョロ　……谷津もですか？（笑）

山口　ガハハハ！　難しい質問するねぇ（笑）。

豪　ヤマノリはどうです!?（笑）。

山口　もちろん見るよ（笑）！　自発的にやり続けるのであればね　キーワードはいかに自発的に好奇心を持ってやっていくかだよ。好奇心がないのに出てくるなって話だからさ

真っ当でない『PRIDE』を

山口　ガンツはプロレスから遠ざかっていく『PRIDE』には何を期待してるの？

ガンツ　言いたいのは「誰が一番強いのかハッキリさせろ！」っていうのはもうガイジン選手にお任せしちゃっていいんじゃないかなって思うんですよ。それよりも永遠に尽きない興味っていうのは「誰が強い」ってよりも「どっちが強い」の方じゃないですか。

豪　ある意味DEEPの方向性はありなんだよね。ある程度、実力が均衡してる者同士が闘うっていう。

ガンツ　技術がなくても、ホントに仲が悪かったりしたら面白いじゃないですか？　そういう「どっちが強い」が見たいですよ！　だって、

自主的に動機や好奇心を持って動いた者が次の時代を生むと思う（山口）

一番強かったのは実はノゲイラとスペーヒーだったのがわかっちゃって夢がないというか（笑）。

豪 そんなことは、もうリングスで散々味わってきたことだし（笑）

山口 豪ちゃんは『PRIDE』の行く末には何か言うことはないの？

豪 ……俺が大好きだったころの『PRIDE』を返せって感じですね！ 昔は名古屋とかまで行ってたのが嘘みたいですよ、ホント。

山口 会場では滅多に観戦しない吉田豪が名古屋まで（笑）。でもそれは『PRIDE』がメジャー化していったことの……。

豪 （遮って）いや、メジャー化云々で言ったら『PRIDE』は最初から東京ドームで興行をやってたわけじゃないですか。だけど、まったく整備されてないからこそ良かったんですよ。何しろ真樹先生がリングに上がっていたんですから、最高にゴージャスですよね！

山口 あの怪しさはないよな（笑）。これは真樹先生が怪しいってことじゃなくて（笑）。そういう意味じゃあ、「猪木軍vsK—1」も整備されてないから面白そうだよ。

豪 いや、実は思いっ切り整備されてるような気がするんですよ。とにかく、混沌としてないんですよね。

山口 そういう意味でいうと、存在自体が混沌としてる猪木さんを見に行くしかないな（笑） まさに猪木祭り！ でもなんだろう、混沌として見えないっていうのは

豪 猪木さんのビジネスって、もともとアントンハイセルを筆頭にとにかく胡散臭かったわけじゃないですか それが、マット界の中だと真っ当にしか見えないっていう……一応、マット界と真っ当をかけたんだけど（笑）。

チョロ マットウ・スケルトンもマット界にいますしね……ウヒャヒャ！

山口 まあ、真っ当でも胡散臭くても面白けりゃ何でもいいよ！『PRIDE』よ、馬鹿になれ！じゃないけど（笑）。

豪 むしろ「バトになれ！」って感じで、終わりに向けて突き進んでるんですけどね（笑）。

山口 いや、『PRIDE』は実験し続ける限りは大丈夫。実験と好奇心を忘れたときが『PRIDE』がダメになるときだよ。そういう意味で、猪木軍vsK 1は、壮大なる実験になってほしいね 真っ当なことをやってもしょうがない。

チョロ マットウ・ヒューズ。ウヒャヒャヒャ。

山口 おまえは、もう少し利口になれ！

【11月11日／本誌編集部にて収録】

前田vsカレリン、ザ・タイガー、UWF-BOX 新日本総集編、ZERO-ONE旗揚げ 話題作品がDVDで続々発売!! 新作

新日本プロレス・ラディカルファイト3 DVD

●11/25発売189分7,140円

2002年、新日本プロレスは旗揚げ30周年を迎える。ストロングスタイルの旗印の元、新日本では幾多の過激な闘いが繰り広げられてきた。全盛期の猪木が繰り広げたアンドレ、ハンセンとの死闘、初代タイガーvsキッドのライバル対決、藤波vs長州の名勝負数え歌 新日黄金時代を彩った名勝負の数々が甦る！そして時代は平成へと移り変わり、WAR、Uインターとの対抗戦、スーパーJカップなど、団体の壁を超えた夢の闘いが続々と実現、全日本プロレスとのメジャー対抗戦の扉も開いた。21世紀を迎えた今、永田を筆頭とする第3世代が台頭し、新日本プロレスは新時代に突入使用としている。ここには昭和50年10月の猪木vsテーズNWF戦から、平成13年8月野G1優勝戦・永田vs武藤まで激闘50試合と超過激シーンを厳選収録！

収録試合 S50～猪木vsテーズ、S51～猪木vsアンドレ、S53～藤波vsエストラーダ、S54～猪木vsデイトン、猪木vsボブ、S55～猪木vsハンセン、S57～タイガーvsキッド、カーンvsジャイアント、S58～藤波vs長州、S60～藤波＆木村vs猪木＆坂口、S61～越中vsコブラ、H元～長州vs猪木、H2～猪木＆坂口vs橋本＆蝶野 武藤＆蝶野vs馳＆健介、H3～藤波vsフレアー、H5～藤波vs馳、H6～橋本vs天龍 ライガーvsハヤブサ他

蘇る伝説の虎戦士 ザ・タイガー（復刻版）

●11/上旬発売 95分5,880円

このDVDはビデオ「さよなら ザ・タイガー」「ザ・タイガー新格闘技のすべて」のDVD化したものです。1984年7/23&24後楽園ホール。新日本プロレスを人気絶頂のまま退団し、格闘技路線に転じたタイガーマスクがザ・タイガーとなってファンの前に再びその勇姿を現したのがUWFマットだった。そのザ・タイガーとしての勇姿をみせた2日間、無限大記念日を収録。ザ・タイガー＆高田vs前田＆藤原の夢のタッグマッチが再びDVDで見られます。ザ・タイガーの空中殺法は勿論だが今では考えられないような前田のパワーボム＆ドロップキック、高田のミサイルキックなど貴重映像も収録。「ザ・タイガー新格闘技のすべて」ではザ・タイガーが空中殺法、当て身技パンチ＆キックの基礎練習 組技を解説、若～い山崎一夫を従えて分かり易いです。DVD「ザ・タイガー」「スーパータイガー」「タイガーマスク」を揃えれば初代タイガーが全部揃います。

収録試合 ザ・タイガー＆高田vs前田＆藤原、山崎vsファンタスマ、ザ・タイガーvsマッハ隼人

発売中

●DVD「スーパータイガー」 2枚組311分10,500円
●DVD「タイガーマスク」 6枚組796分31,500円

アブダビ・コンバット2001

2001年4月11-13日アラブ首長国連邦アブダビ共和国 ●5,040円

世界の頂点に君臨する組技の王者達 最高峰の技と力が激突！第4回を迎え、世界中のトップファイターが覇を競う有数の大会として完全に定着したアブダビ・コンバット。名誉と栄光に包まれた決勝戦を収録。特に、日本人として初めての優勝という偉業を達成した菊田早苗vsサウロ・ヒベイロ戦と、今大会のベストバウトとして高い評価を受けたヒカルド・アローナvsジアン・マチャド戦の2試合はノーカットで収録。アブダビ・コンバット、新世紀初の王者を決める全6階級の激闘。

12月下旬発売！………… DVD「アブダビ・コンバット2001」2枚組 10,500円

真世紀創造。～歴史破壊編～ DVD VIDEO

●ビデオ83分5,040円 DVD83分＋特典映像97分6,090円

2001年3/2両国国技館。ZERO-ONEの旗揚げ戦を2巻に分けてDVD&ビデオで発売！この歴史破壊編では、星川vs丸藤、谷津vsゲイリー・スティール、橋本＆永田vs三沢＆秋山を収録。星川vs丸藤の息をもつかせぬ技の攻防、小川を倒した男ゲイリー・スティールにいぶし銀ファイトを見せる谷津とこの2試合も面白いけれどやはり今回の見所は、誰しもが実現不可能と思っていた夢のタッグ新日本永田＆ZERO-ONE橋本vsNOAH三沢＆秋山！どの取り組みでも夢の一戦！尚、DVD特典としては、全試合ノーカット収録、出場全選手独占オリジナルインタビューの他にもう一つの山場、小川の乱闘！橋本＆永田vs三沢＆秋山に乱入した小川の乱闘シーンを5台のカメラを駆使し、あますことなく徹底追跡！5chマルチアングルでお好みの角度から自由に場面展開可能。迫力の映像を楽しめます 橋本＆永田vs三沢＆秋山、谷津vsゲイリーそしてENDiNGも3chマルチアングルで鑑賞可能。

～定義破壊編～ DVD VIDEO

●ビデオ80分5,040円
DVD80分＋特典映像62分6,090円

2001年3/2両国国技館。定義破壊編では藤崎vs斉藤、YU-IKEDAvs東方、大谷vs村上、高岩＆大塚vs大森＆高山の4試合を収録。圧倒的パワーを引っ提げ再生を遂げた斎藤彰俊と男・藤崎の迫力マッチ。YU-IKEDAvs東方のシュートボクシングマッチ。村上の襲撃事件が勃発、完全にキレた二人の目は必見。そしてこの定義編の注目は、ZERO-ONE高岩＆バトラーツ大塚vsノーフィアー大森＆高山。見応え十分、これぞプロレスの真骨頂といった大技が大爆発！尚、DVD特典としては全試合ノーカット収録 出場全選手独占オリジナルインタビュー、大谷vs村上、高岩＆大塚vs高山＆大森そしてENDINGは3chマルチアングルで鑑賞可能。

U.W.F. stage.1 COMPLETE BOX DVD

●5枚組 カラー944分 税込￥21,000

プロレス界に燦然と輝く金字塔
伝説のU.W.F.が完全版BOXで甦る

観客動員、メディア露出、大会運営
あらゆる面で革命を起こしたU.W.F.
プロレスの進化はここから始まった

全10大会42試合をDVD5枚に完全ノーカット収録！

特典 当時関係者が使用していたバックステージパスを復刻し、BOX内封入！

レッスルだけの特別プレゼント！
レッスルで「U.W F.the2nd COMPLETE BOX」をお買い上げの方もれなく第2次U.W.F.のパンフレットをプレゼント！どの大会のパンフレットが当たるかはお楽しみ！（11/30日まで）

stage.2 2002年4月、
stage.3 2002年10月発売予定！

収録内容

VOL.1 誰もが待ち望んだU.W.F.の再出発 その日、聖地は超満員の信者で埋め尽くされた
「STARTING OVER VOL 1」1988.5.12後楽園ホール・高田vs宮戸／中野vs安生洋／前田vs山崎
「STARTING OVER VOL 2」1988.6.11札幌中島体育センター・中野vs宮戸／山崎vsN スマイリー 前田vs高田

VOL.2 U.W.F.の存亡をかけた大一番 欧州のケンカ屋ゴルドーとの格闘技戦
「真夏の格闘技戦」1988.8.13東京・有明コロシアム・大村vs李石／大江vs三宅／中野vs宮戸／Nスマイリーvs安生／高田vs山崎／シーザー武志vsバー ヤップ・ブレムチャイ／前田vsゴルドー
「FIGHTING NETWORK 博多」1988.9.14博多スターレーン・安生vs宮戸／中野vs内藤／高田vsN スマイリー／前田vs山崎

VOL.3 前田日明 vs 高田延彦 ライバル闘争の始まり
「FIGHTING NETWORK 名古屋」1988.11.10露橋スポーツセンター・宮戸vs中野／安生vsM ローシュ／山崎vsB ベイル／前田vs高田
「HEART BEAT U W F」1988.12.22大阪府立体育会館・安生vs中野／山崎vs宮戸／前田vsN スマイリー 高田vsB バックラント

VOL.4 U.W.F.が仕掛けた新たなメディア戦略 クローズド・サーキットによる全国同時中継実現
「U W F DYNAMISM」1989.1.10日本武道館・宮戸vs安生／N スマイリーvsB ベイル／中野vsM ローシュ 山崎vsトレバー・パワー・クラーク／高田vs前田
「FIGHTING BASE 徳島」1989.2.27徳島市体育館・宮戸vs安生／中野vsN スマイリー／前田vsB ベイル／高田vs山崎

VOL.5 鈴木、船木、藤原の3選手が新日本より移籍・U.W.F.の闘いは、より激しく、厳しいものとなった
「U W F CORE」1989.4.14後楽園ホール・安生vs鈴木／宮戸vs中野／前田vs山崎
「U W F MAY HISTORY 1ST」1989.5.4大阪球場・宮戸vs鈴木／安生vsM ローシュ 藤原vs船木／高田vs山崎 前田vsC ドールマン

THE FINAL 前田日明 vs カレリン DVD

●カラー50分税込￥5,880

格闘王前田日明のファイナルマッチ
人類最強の男カレリンと一世一代の大一番

12年間無敗、オリンピック3連覇、世界選手権9連覇、数々の輝かしい勲章に彩られ、人類最強の男と形容されるロシアの英雄。あまりの大物のため、招聘の可能性はゼロに等しいとまで言われたアレキサンダー・カレリンが、日本の格闘王前田日明と闘う。そのあまりにセンセーショナルなニュースは、瞬く間に世界中を駆けめぐった。最も恐るべき敵を引退試合の相手とした前田日明。格闘技界を揺るがしたファイナルマッチ。

収録内容 ・カレリンインタビュー・前田日明インタビュー・カレリントレーニング風景・前田日明トレーニング風景・記者会見・前田日明vsアレキサンダー・カレリン・試合後インタビュー・前田日明ラストメッセージ

リングス創立10周年記念 DVD BOX

DVD ●2枚組390分 10,500円

1991年～2001年。今年で10周年をむかえたリングス。前田日明たった一人の旗揚げから始まったリングスであったが様々な選手がデビュー、参戦し、名勝負を繰り広げた。その選りすぐりの名勝負のDVD化！初めてのDVD化の試合を含め全46試合を収録。フライ戦、ドールマン戦、ハン戦、田村戦等の前田の名勝負は勿論だがKOKルールになってからの田村vsヘンゾ、田村vsアイブル、そして6月の金原vsアローナまでも収録。平vs滝川、アーツvsワット、佐竹vs長井、田村vsフランク・シャムロック、田中みのるvs坂田、池田大輔vs高阪剛と凄い試合も続々。プロレスファンも格闘技も買うべし。

新日本2001G1クライマックス DVD VIDEO

VOL.1&2 ●DVD&ビデオ各7,140円

21世紀初のG1を2巻に分けてDVD&ビデオ化！VOL 1は160分、VOL 2は136分のボリューム！

VOL 1収録試合●8/4大阪～安田vs田中、天山vsライガー、中西vs藤波、小島vs蝶野●8/5大阪～安田vs藤波、西村vs小島、武藤vsライガー、蝶野vs天山、中西vs永田●8/6名古屋～蝶野vsライガー、永田vs田中、小島vs武藤●8/8仙台～ライガーvs小島 藤波vs田中、永田vs安田、武藤vs天山 他

VOL 2収録試合●8/10両国～中西vs田中、永田vs藤波、武藤vs蝶野、天山vs小島●8/11両国～準決勝戦 武藤vs安田、永田vs蝶野●8/12両国～決勝戦 永田vs武藤 他

新日本 INDICATE of NEXT Vol.1&2 DVD VIDEO

●ビデオ11/25発売 DVD12/21発売各7,140円

2001年10/8東京ドーム。ついにこの記念すべき大会がビデオ&DVD化！VOL 1ではNOAHのGHC王者 秋山準が遂に新日本リングに登場！永田とタッグを組み天才武藤敬司に挑む名勝負を収録。VOL 2では米国でのバーリ・トゥード特訓を経て6カ月ぶり復活した健介とIWGP王者・藤田との壮絶死闘まさに究極の格闘プロレスを収録。

収録試合 ●VOL 1～永田＆秋山vs武藤＆馳、中西vs安田、石澤vs成瀬、ライガー＆サムライ＆田中vsAKIRA＆邪道＆外道●藤田vs健介、藤波＆ボブvsドリー＆テリー、長州＆西村vs天山＆小島、グッドリッジvs小原、シルバ＆シンvs吉江＆健三＆柳澤＆井上

Great Respect プライド プロレスラー列伝 ～猛き群雄の生きざま～

●ビデオ発売中約100分9,975円
DVD11/30発売約100分＋特典映像約9分5,040円

プライド4年間の歴史の中に常に「プロレスラー」がいた！高田のヒクソン・グレイシーの挑戦から始まり、桜庭のグレイシー狩り、藤田vs高山の日本人ヘビー級対決まで「日本人プロレスラー」たちの活躍を凝縮して収録！DVDの特典映像として（予定）猪木「123ダー！」全集を収録！お馴染みの「元気ですかーっ！」は勿論、さまざまな名セリフが盛り沢山！

収録試合 ●高田～vsヒクソン(1)（フラッシュバック的に収録）●桜庭～vsホワイト(2)、vsニュートン(3)、vsヒクトー(5)●アレクサンダー大塚～vsファス(4)、vsヘンゾ(8)、vsボブチャンチン(GP1)、vsケン・シャムロック(GP)、vsボーグ(11)●佐野～vsホイラー(2)、vsニュートン(9)●カール・マレンコ～vsイーゲン(6)、vsシウバ(7)●大刀光～vsグッドリッジ(GP1)●松井～vsシュライバー(7)、vsシウバ(8)、vsベレ(14)●藤田～vsナイマン(GP1)●高山～vs藤田(14)●谷津～vsグッドリッジ(11)●安田～vs佐竹(13)●石澤～vsハイアン(10、15)注 ()内の数字は大会名です。

猪木語録 ～闘魂伝承編～

●60分 3,129円

大絶賛の「燃える闘魂編」に続く第2弾は、猪木の引退の序曲でもあるファイナルカウントダウンから引退、そして現在に至るまでの名言インタビューを「闘魂伝承」をテーマに構成。レスラー現役時代よりもさらに過激さを増した猪木トークは格闘技界を一刀両断に斬る！又、前作に続き、「ダーッの変遷」「ガウンの変遷」「入場シーン特集」のパート2も収録。さらに充実 猪木ファン必携の「猪木語録」完結編です。濃縮100%猪木イズム！「迷わず行けよ、行けば分かるさっ！」

●猪木語録◆「出る前に負けること考える馬鹿いるかよ！」（1990/2/10東京ドーム試合前控室）◆「誰の挑戦でもいつ何時受ける！・俺をリングで潰して見ろ！」（1992.5/17大阪城ホール）◆「この道を行けばどうなるものか…迷わず行けよ、行けばわかるさ」（1998/4/4東京ドーム引退試合）◆「新日本プロレスは私が作った会社…目覚めなければ叩き潰してもしようがない！」（2001/3/20）◆「（俺が新日本の）敵だったら、一発で潰してやるぜお前ら！」（2001/3/23新日本プロレス批判）

●12/21発売DVD猪木語録～燃える闘魂の真実～ 121分5,040円
●発売中！ 猪木語録～燃える闘魂編～ 55分3,129円

「ナマ女」全日本女子プロレスカレーシマッチビデオ VOL.1&2 DVD VIDEO

●発売中 DVD各3,000円 ビデオVOL.2のみ発売3,500円

久々に出ました全女ビデオそして初めてのDVDもまとめて発売！（注！ビデオはVOL 2しか発売しません。）内容はタイトル通りカレーシマッチを収録。VOL 1では6/24&7/29、VOL.2では8/19大会を収録。VOL 1はジャパン・グランプリ真っ直中、脇澤vs三田、渡辺vs前川、藤井vs納見、伊藤vs高橋、脇澤vs豊田の公式戦が入ってます。特に今年、引退が決定した脇澤の試合は注目！他にもおまけ映像としてモモラッチ・カメラとして「全部撮ります！仙台への道編」「好き嫌い編」「深夜飢えたレスラー編」が収録されてます。VOL 2では小人プロレス、軍団抗争、中西らによるデビュー5周年タッグマッチ（脇澤がレフェリー）を収録。他にも「ナマ女、外伝」として「伊藤薫 ハリウッドへの道」「プロレスラー候補・堀田祐美子」「キッスの世界がラジ@をジャック」「モモラッチカメラ～悲劇の広島前・後編」を収録。

収録試合 ●VOL 1 6/24～脇澤vs三田、伊藤＆西尾vs中西＆納見、高橋＆藤井vs堀田＆豊田、渡辺vs前川、7/29～藤井vs納見、伊藤vs高橋、脇澤vs豊田 渡辺＆中西vs堀田＆前川 ●VOL 2 8/19～高橋＆藤井vs中西＆西尾、納見vs堀田、小人JGP2001決勝 伊藤＆渡辺vs豊田＆前川

★表示価格はすべて税込です。送料はビデオは1本の場合￥500、2本以上は無料、グッズの送料は、お手数ですがお問い合わせ下さい。

1,000円お買い上げごとにスタンプを1つプレゼント。30個でTシャツ、50個でトレーナー、100個でビデオがもらえる！（店頭・通販共）※割引きもあり。

【通信販売お申し込み方法】 ●郵便振込口座番号 00180-8-65236 レッスル通販

住所・氏名・TEL希望商品名を明記のうえ、現金書留か郵便振込でお申し込み下さい。 振替通販の問合せは池袋店まで。また代金引換（税込￥5,000以上）に限りハガキかFAXでの注文となります。（手数料￥315がかかります）

レッスル渋谷店 店頭TEL.03-3464-0078 通販部＆FAX.03-3464-1780 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-17-2 第2野々ビル3F

レッスル池袋店 店頭TEL 03-3989-0056 通販部＆FAX.03-3987-7817 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-3 池袋陽光ハイツ306

●DVD発売延期のお知らせ～Great Respect プライド プロレスラー列伝の発売日が11/30になりました。VIDEOは発売中です！

「ヤマノリが見れるのは「紙プロ」だけ(他の雑誌を適当に確認)」

ノリノリEVENT情報局 VOL.5

画・中川画伯

担当の片山ぼんの失踪で前号て最終回と銘打たれた「ノリノリEVENT情報局」てはあるが、その途端にボクの周りて不吉な出来事が続出(電話代未払いて携帯が止まったりとか) きっと、このコーナーに命を懸けたぼんちゃんの無念の思いによるものに違いない! というわけで供養のためにもう一丁!な情報ページ(ゲロちゃん)

闘魂猪木号にノリ込め! 闘魂猪木塾スペシャル

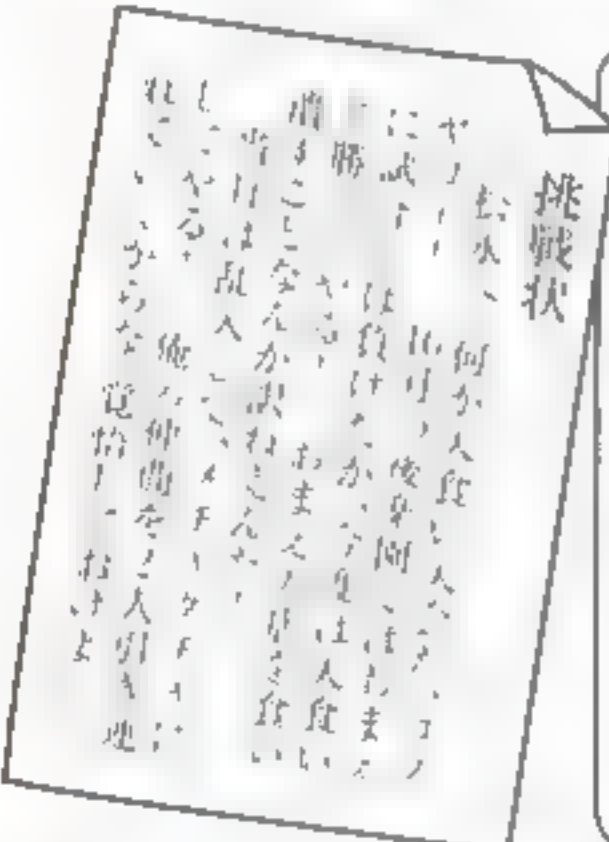
オレの名前はピンタディン!
行くぞーッ!!

遂に「闘魂猪木塾」が待望の日本にやってくる! マット界で一番元気なアントン総裁の壮大な夢を聞いて元気になろう! 元気とお金とスケジュールが合えばキミも参加できる! 貴重なアントンイベントにノリ込め〜!

【日　　時】12月15日(土) 10:00〜14:00
【内　　容】クリスタル・ヨットクラブ・クラブハウスにおいて、ほっぺたをつねってしまいそうなアントン総裁の夢が聞ける講演会を静聴。そのあとには前船貸し切りクリスタル・チャーター・ランチ・クルース"闘魂猪木号"ノリ込み、海が似合うアントン総裁と楽しいひととき。きっと一生思い出に残るでしょう(アントン調)。
【参加料金】¥24800(食事代込み)
【参加特典】当日限定闘魂猪木塾Tシャツ＆アントン総裁とのツーショット写真
【募集人員】先着120名様(最小催行人員80名)
【お申し込み】近畿日本ツーリスト新宿法人旅行店内"闘魂猪木塾事務局"
03-3341-2411

ノリノリラーメンバトル

流血必死!?「ラーメン大食い大会」

ミスターデンジャーこと松永光弘が開店した尾道ラーメン「麺一筋」亀戸店て「尾道ラーメン大食い大会」が開催される!
そして、それを知った大日本プロレスの某選手から何と挑戦状が!
大食い大会に参加しなくても一見の価値ありなデンジャーなイベントにノリ込め〜!

【日　時】11月24日(土)15:00〜17:00
【場　所】尾道ラーメン「麺一筋」亀戸店
【アクセス】JR総武線亀戸店東口構内
【参加費】お一人様¥1000
【募集人員】10名様
定員になり次第締切ります
【申込み期限】11月23日(金)
【お問い合わせ】TEL.03-5626-3636

ノリノリターザンニュース

ターザン山本講演会「人生はギャグだ」

「オレもキミらもあと5年が勝負てすよォォ!」と炎上するターザンか同志社大学に登場だ! 人生のラストスパートをかけたターザンの生き様が学生たちを炎上させるぞ! そんな講演会にノリ込め〜!

【日　時】11月26日(月) 14:30　【入場料】無料
【場　所】同志社大学今出川校地明徳館M21教室

闘道館トークライブ「ターザン山本の2001年マット界 そうかつっ!!〜生き残るのは俺だけだ!?〜」

おなじみになった格闘技・プロレス図書館「闘道館」主催によるターサンイベント! 今年の1年をターザンが大炎上しながら大総括するぞ(翌日に違うことを言及することあり)!終了後の忘年会にもノリ込め〜!

【日　時】12月12日(水)　19:00
【入場料】前売り¥1500　当日¥2000　ワンドリンク付き
【場　所】格闘技プロレス図書館「闘道館」
千代田区三崎町2-9-9ナガヤビル5F
【アクセス】JR水道橋徒歩5分
【お問い合わせ】TEL.03-3512-2080
http://toudoukan.hoops.livedoor.com/

ノリノリ ENVENT NEWS

前田日明にあいましょう！

キ●タマぶら下げた男のトーク番組
日明兄さんがトーク番組「公園通りであいましょう」に出演だ！
一つのテーマを松岡正剛さんと語り合う！
ナマ放送でナマ日明を拝みにノリ込め〜！

【日　　時】12月19日（水）　11:00〜11:44
【観覧方法】官製往復ハガキでお申し込みください
整理券1枚で2名様までご入場できます
●「往信・表」〒151-8001　NHK放送センター
テント2001事務局「公園通りであいましょう　12月19日」公開係
●「往信・裏」1.代表者の郵便番号、住所、お名前、年齢、電話番号
2.「公園通りであいましょう」
●「返信・表」必ず代表者のご住所とお名前をご記入ください
●締切は12月3日（月）必着となってます。応募多数の場合は抽選となります
【再 放 送】NHK 総合テレビ14:05〜14:49

【お 詫 び】
前号で掲載しました、前田日明vs吉川晃司トークライブ」の告知が一部誤りがありました。
お詫びすると共に改めて告知させて頂きます
【日　　時】11月29日（木）　19:00
【会　　場】オーバーホール（毎日新聞社B1）
【料　　金】前売り¥2100　当日¥2500（ドリンク付き）
【お問い合わせ】チケットぴあ大阪　TEL.06-6363-9999　マーク・アイ　03-3464-0761

豪華な特典がついてくる！ ワールドスポーツプラザKINGS梅田店オープン！

西日本最大級で大阪に登場だ！
全国に店舗を進出しているワールドスポーツプラザKINGSが 梅田に満を持してのオープン！　その開店を記念して行われるオーニング企画が大変なことになってるぞ！　各団体の選手のサイン入りの色紙が先着順で手に入る！　限定Tシャツも販売だ！　さあ、もたもたせずに梅田にノリ込め〜！

【場　　所】大阪府大阪市北区大森町1-1-1　ヨドバシ梅田7F
【アクセス】JR大阪駅中央北口より
【お問い合わせ】TEL.06-6377-2280

【特　典】
●¥3000以上お買いあげの方には先着順でサイン色紙プレゼント！
【新日本プロレス】天山広吉・小島聡
【ノーフィアー】高山善廣・大森隆男（寄書）
【高田道場】高田延彦・桜庭和志・松井大二郎・今村雄介（寄書）
【大阪帝拳】辰吉丈一郎
【PUREBRED 大宮】エンセン井上・加藤鉄史・石川真・山本"KID"徳郁（寄書）
【INSPIRIT】佐藤ルミナ・桜井"マッハ"速人
【パンクラス】鈴木"風"みのる・近藤有己・菊田早苗・美濃輪育久
【ZERO−ONE】橋本"バットマン"真也歌手、大谷晋二郎（寄書）
●ボクシンググッズをお買いあげの方に先着順で10名様に徳島昌守サイン色紙プレゼント
●アントン総裁、コンテンダーズ、大和魂の限定Tシャツを販売！

大阪にバンバンビガロ登場！

2号店は西の地に！
「紙プロ」でもおなじみのシビレルTシャツを送り出す「バンバンビガロ」が大阪に進出！　お歳暮、クリスマスプレゼント、お年玉代わりに大量に買い込むだ！　ノリノリ込め〜！

【住　　所】大阪市中央区西心斎橋1-15-15
野々塩ビル201
【アクセス】地下鉄御堂筋心斎橋下車、
7番出口徒歩3分、
パチンコ屋北側の建物の2階
【お問い合わせ】06-6245-1602
bbbosaka@bambam88.com

キャットファイト・ワールド

赤坂でキャットファイト
日本唯一の会員制cat fight ciubが赤坂にオープンしてるぞ！　店内に置かれる金網のリングで行われる美獣たちの華麗な闘いをお酒を飲みながら心ゆくまで観戦！　病ヤミツキになるのは間違いなし！　さっそく、ノリ込め〜！

【営業時間】20:00〜24:00（キャットファイト2試合）※日・祝 定休
【場　　所】港区赤坂2-13-18　コリンズ33ビル2F
【会員料金】ブロンズ会員¥10000（シーバス1本サービス）　ゴールド会員¥40000（シーバス飲み放題）　プラチナ会員（ヘネシー飲み放題）　※オープン記念価格になってます
【お問い合わせ】TEL.03-3586-5882

その他ノリノリニュース

宇野君はどうなる!? X−RAGE CONTENDERS VOL.1
あのCONTENDERS の開催が迫ってきたぞ！　前回会場を大興奮させた宇野vs五味の再現なるか!?　ノリ込め〜
【日時】12月14日（金）　19:00
【場所】ZEPP TOKYO
【料金】スタンディングブロック　前売り¥4800　当日¥5800
2Fファイティングショーブロック　前売り¥6000　当日¥7000
【お問い合わせ】ディスクガレージTEL.03-5436-9600

高山善廣講演会「ノーフィアーだよ人生は」
数々の団体を渡り歩き、揺るぎない地位まで上り詰めたノーフィアーな高山の人生訓を耳にしろ！　立命館にノリ込め〜！
【日時】12月18日（火）　開演17:00
【チケット】前売り¥800　当日¥1000
【場所】立命館大学びわこ草津キャンパス内プリズムホール
【アクセス】JR琵琶湖線南草津駅より滋賀交通バスにて「立命館大学」下車
【チケット郵送販売】〒525-0072　滋賀県草津市笠山5-3-2クレスト草津1033　和田方講演会係（現金書留にて代金+80円切手）
【お問い合わせ】090-1228-8335

大森隆男トーク＆ライブ開催！
大森だってノーフィアー！　何と一日で2回も開催だ！　どっちも参加しろ！　ノ〜リ込めッ
【日時】12月16日　12:00
【会場】福岡・天神　マツヤ6F「GEE STORE
【参加方法】トークショーは無料。サイン会参加整理券は「GEE STORE」内にあるPRO-WRESTLING SHOP I.V.Yにて1月10日・ノア博多スタ　レーン大会のチケット購入者、及び¥3000以上のノアグッズをお買いあげの方に差し上げます。サムライTV 加入者も参加になれます
【お問い合わせ】TEL.03-3527-5311
【日時】12月16日　17 00
【場所】広島・ワールドスポーツプラザ広島店（サンモール5F）
【参加方法】トークショーは無料。サイン会参加整理券はワールドスポーツプラザにて1月9日・ノア広島大会のチケット購入者、及び¥3000以上のノアグッズをお買いあげの方に差し上げます。サムライTV 加入者も参加になれます
【お問い合わせ】ワールドスポーツプラザ　082-245-6166

「キッスの世界」サイパンツアー
憧れの「キッスの世界」と南国の世界へ行けるぞ！　グラビア撮影の模様の見学や、もちろんサイパンでの「キッスの世界」との一息か過ごせるぞ。そんな楽園へ、ノリノリ込め〜！
【日時】1月7日〜10日　【参加料金】¥89000
【お問い合わせ】03-3450-8084

U −FILE CAMPセミナー
田村潔司を率いるU　FILE CAMPがキミを渋谷で指導する！　上山、大久保らが週代わりで待ってるぞ！　ノリ込め〜！
【場所】ティップネス渋谷　Bスタジオ
【日時】毎週土曜日19:45〜21:00
【料金】ティップネス会員　¥2000
ティップネス会員以外　¥5000　※定員30名
【お問い合わせ】ティップネス渋谷03-3770-3027

高橋洋子に学ぼう! "Art of Seife Defnse Academy" 三晴塾
女子総合格闘家を目指すなら三晴塾！　高橋洋子が一から指導する！　女の子はノリノリ、ノリ込め〜！
【練習日】毎週木曜日　15:00〜16:50
第5週目はお休みです
【入会金】¥6000（年内入会に限る）　【月謝】¥6000
【場所】東京都練馬区小竹町2-8-8　三晴塾
【お問い合わせ】03-3958-4352

あの藤田和之が何と●優に挑む!!
藤田和之が声優として角川アニメ映画にノリ込む！　12月に公開予定の「デ・ジ・キャラット　星の旅」で声優に初挑戦！　これは聞き逃せないぞ！　映画館にノリのり乗りNORI込め〜！
【公開日時】12月22日（土）より
【公開劇場】渋谷東急3、丸の内シャンゼリほかにて
【藤田和之さん担当キャラ】主人公「デ・ジ・キャラット」のパパ

女子学生はタダやで！　タダ！
2年間のプロレス修行を義務付けられたアクション女優を目指す美女軍団として結成されたアストレス1期生たちが3月22日の後楽園ホール大会で卒業することが決定！なんとそれまでJd'の興行か女子学生は入場無料！　女の子はの、の、ノリ込め〜〜ッ！
【対照】中高生、大学生、専門学生、予備校生を対照。要学生証
【年内対照無料興行】11月23日／東京・ディファ有明　12月8日／大阪・NGKスタジオ　12月15日／東京・ディファ有明　12月29日／東京・後楽園ホール

Jd' 西千明が新喜劇！
あの西千明が吉本新喜劇に入団したぞ！　山田花子を超える逸材として早くも期待されている西！　吉本新喜劇にノリ込め〜！
【場所】なんばグランド花月
【公演日】11月27日〜12月3日　12月31日〜1月7日

昭和格闘家のコク深い人生に触れる 実録！ 喜劇一代記

紙のプロレス

スーパースター列伝

ついに「本物」登場である
シュートボクシング会長シーザー武志
高校時代、実雨学園の村田として大阪に君臨し
あの前田日明総帥でさえ、ある意味憧れというか
注意すべき人物として認知されていた伝説のコワモテなのだ
その後、キックの世界に身を置きつつ
興行師や手配師などもこなして、その経歴は謎が多いが
ということで、多くの選手達に行事を指導するなど
格闘技界への貢献度もすこぶる高い
シーザー会長の半生をたっぷりとお届けしたいわけである

取材／中村カタブツ君（38歳） 構成／松澤チョロ

前田日明の神様!? ザ・ワル

シーザー武志

（シュートボクシング協会会長）

Caesar Takeshi

世界最強の男はリングスが決める

Yasuhito Namekawa

——今、リングス、シュートボクセという総合格闘技とリンクして立ち技格闘技界を面白くしてるシュートボクシングですが、立ち上げのきっかけはカール・ゴッチさんだったんですよね。

シーザー　ゴッチさんていうか。最初、旧UWFが出来た頃に、俺はキック辞めて自分でイチからやりたいなと思っていたんですよ。そんな時に第一自動車って会社があって、そこにUWFの道場があったと、そこの社長と俺の後援者っていうのか、たまたま友達だったたんですね

それから本格的にUWFと交流を持つようになるんですね

シーザー　それに佐山（聡）とはその前に一緒の興行に出てるんですよ。俺がキックのタイトルマッチで、佐山はタイガーマスクでブラック・キャットとプロレスの試合したりして、なんか因縁があるんですよ（笑）。

それは佐山さんが新日時代ですよね。いろんな仕事しますね、佐山さんは。

シーザー　当時、タイガーマスクは人気があったからね。その後、佐山たちがUWFをやり始めて呼ばれて見に行ったら面白くてね。「蹴りとか出して、結構激しくやってるな」と思って（笑）。

——「結構激しく」（笑）。

シーザー　それで佐山から「今度蹴りを教えてくれませんか」ってことで、タイガージムに行くようになったんですよ。佐山に最初に教えてて、あと宮戸（優光）と山崎（一夫）か。で、前田（日明）とかには佐山が教えてたんだけど、しばらくしたら一緒に教えるようになってね。たぶん佐山か面倒臭くなったんじゃないかなって思うんですよ、教えるのが（笑）。

——絶対そうだと思いますね（笑）。その頃の前田さんの蹴りってどんな感じだったんですか。

シーザー　なんて言うのかな、棒を振り回すような蹴り方　空手っぽい蹴りでね、インサイドから伸び上がる蹴りじゃなくて外側から振り回すような蹴り。

——クイックキックじゃなかったんですか？（笑）。

シーザー　破壊力はあったね（笑）。でも、前田は教えてる時は直してもすぐに元に戻っちゃうからね

——頑固ですからね（笑）。

シーザー　アイツは、自分の我を持ってるからね　なかなかわかりやすいヤツでもあるし、人間的に俺は好きたけとね

——男としての可愛げがありますよね、ハタ目から見ても（笑）

シーザー　一緒に酒飲んでても最後まで残ってたからね。他のヤツらはスルスルいなくなるもんね。まず最初に山崎ね（笑）。

——なんとなくわかります（笑）。

シーザー　高田は飲ませ上手。それで突然いなくなるの。で、最後まで真面目に飲んでるのが前田ね　自分のヨダレを食いながら飲んでるのよ（笑）。

——ヨダレ（笑）。

シーザー　もう、わけわかんなくなってて、店にドラムとかあって「俺は叩けるんですよ！」とか言ってドラム壊すんですよ（笑）。

——当時のUWFの面々は、酒飲ませたらタチ悪いって評判でしたが（笑）。

シーザー　いや、そんなことないよ。俺の前では、みんないい子なんですよね。

前田さんも佐山さんもですか？

シーザー　佐山は飲まないんだよな。

——ホントは飲めるみたいですけどね（笑）。

シーザー　飲めるんだけどね、「飲まない」とか言って。アイツ、違う楽しみかあったみたいだからね（ニヤッ）新日の頃なんか、夜、ねぇ？（笑）。

当時の新日勢は覗きとか女風呂関係で命賭けてたみたいですよね（笑）。でも、Uの人たちがいい子なんて、そんな姿見てみたいですよ。

シーザー　ホンット、かわいいもんですよ。むしろ俺の方が癖悪いかなって。

——前田さんとは大阪のゴンタ仲間って感したったんですか。

シーザー　アイツは後輩だからね。だって3年違ったら神様扱いだもん。

前田日明の神様！　凄ェー

シーザー　向こうは俺のことを知ってたみたいたけど、俺、前田のこと知らなかったしね。でも、UWFの頃はホントにいい仲間でしたね。女の話でもなんでも、全て話せる。たから凄い楽だったし、いいヤツらだなっていつも思ってたよ。

——じゃあ、Uが分裂した時はガッカリしたんじゃないですか？

シーザー　寂しかったね。前田と佐山が大阪の試合でモメちゃったんでしょ。

——そういう形になっちゃいましたよね。

シーザー　もう、ガッカリしたよ。金的かなんか蹴ったとか蹴られたとかでしょ。そこで引いちゃダメだよ。

——あー　そっちでしたか（笑）。

シーザー　やられたら、やり返さなきゃね。まあ、なんかいろいろあったみたいだけど、そんなことで、佐山のところに教えに行きづらくなってね。そうなったら、前田の方にも行けないよ。社長は「道場に来てよ」って言うんだけど、俺は佐山に頼まれて行ってたのに、他の人間に教えるなんてできないわけ、男の生き方として

筋ですよね。

シーザー　それでちょっと間を置いてたんだけと、当時、俺はUWFの道場の近くに住んでたんですよ。だから、ちょくちょく乱入はしててね。ホントはチャンコ食いに行ってたんだけど、美味いんだよね（笑）。

——やっぱり宮戸さんですか？

シーザー　そうそう。宮戸が作るのが美味いの。「お前たったら行くから」って言って。安生とかが作ると美味くないんだよね。あいつ感性がないよね。宮戸はナンバーワンだよ！　それで道場に行くようになったの（笑）。

——宮戸さんのチャンコは万能ですね（笑）で、確か第二次UWFの時はリングにも上がってますよね？

シーザー　あの時、UWFの社長の神君から「協力してもらえませんか？」ってことで、俺の試合と、あと若い選手連れて2試合ぐらいやったのかな。

——前田vsゴルドー戦がメインの時にセミでやったんですよね。

シーザー　そう、やったんだけど、タイ人がすぐ寝ちゃったんだよ。俺、ガックリきちゃってね、どうしようかと思った。

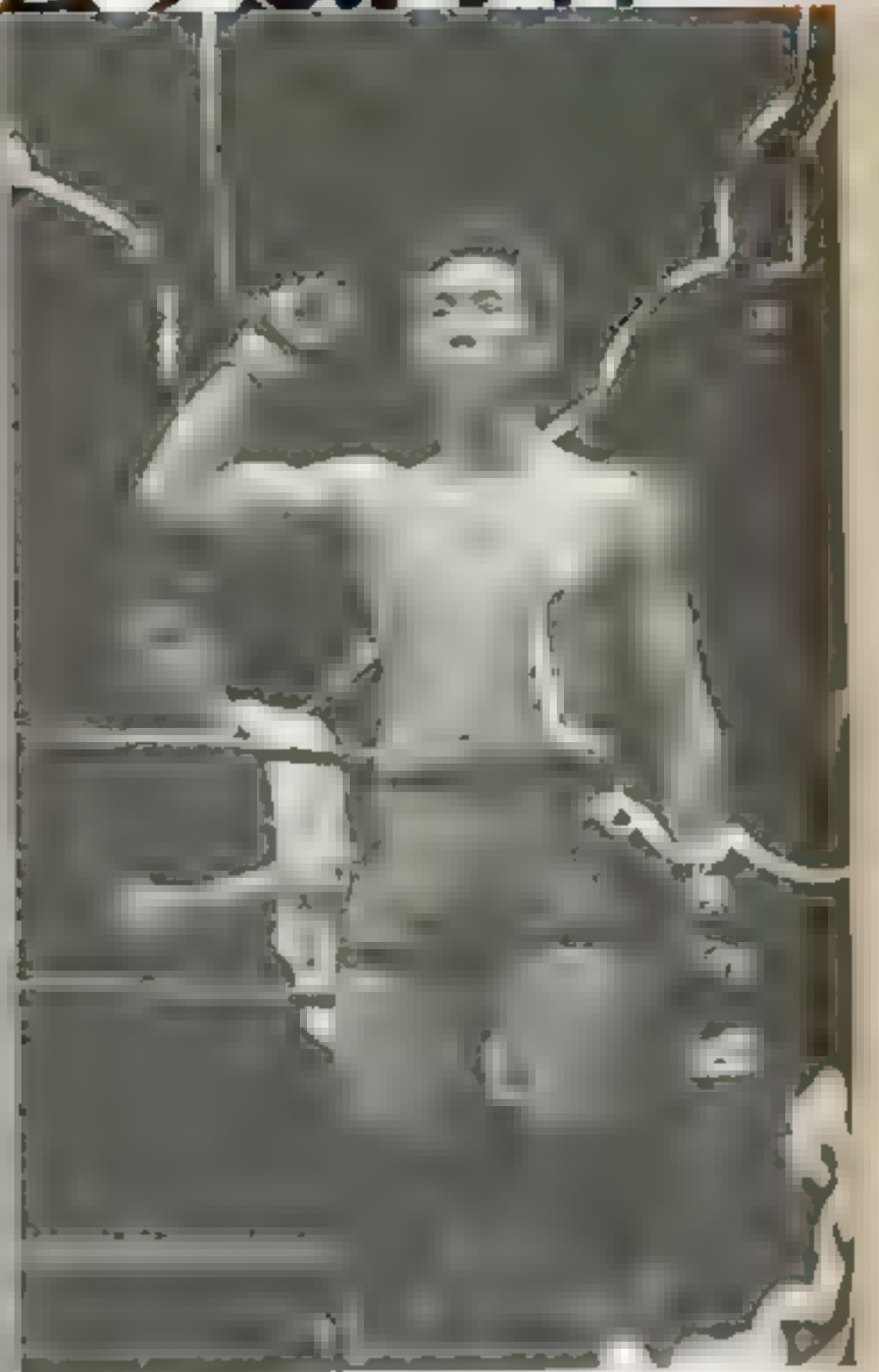
——タイ人のくせにミドルキック一発でKOになっちゃったんですからね（笑）。

シーザー　あれ、入ったんだよ。でも、それで普通立って来るじゃん。それが寝ちゃってるから、どうしようもないよね、まあ前座の若いヤツがいい試合してくれ

たんでそれが救いでしたね。

——当時、シュートボクシングはUWFと連動した形で『週刊プレイボーイ』とか『アサヒグラフ』とかいろんな雑誌で紹介されてかなりブームだったと思うんですよね。

シーザー　やっぱり俺はUWFの人間たちに凄く助けられましたよ。俺がアイツらと絡んでたからこそ、ここまで広がったかなって。そういう面では、いまでも凄く感謝してますよ。だから、今回のリングス参戦のことに関してもね、前田も辛いだろうし、俺が

Caesar Takeshi

選手の大量離脱によって危機が叫ばれた前田日明率いるリングス。その最中に提携を申し出たシュートボクシングには男気があるってものだろう。そして、10・20のリングス代々木大会にはいきなりエースの緒形健一を投入。結果は43秒、裸絞めで一本負けしたものの、試合後、会長は次なるリングス出場を打診し、またまたやる気満々である

力になれることがあればってね。

——で、話は戻りますが、カール・ゴッチさんからフレンチボクシングの話を聞いたのがシュートボクシングのきっかけだったって聞いたことがあるんですが。

シーザー ゴッチさん、よくUWFに来てたじゃないですか。それである日、一緒にメシを食ってる時に「シーザーさんはキックのチャンピオンで強いかもしれないけど、世界にはいろんな格闘競技があるんだよ」ってことでフレンチボクシングの話をしてくれたんですよ。

——頭突きありのボクシングなんですよね、それは。

シーザー そうそう！　全部あるの。俺は殴る、蹴る格闘技はムエタイしかないと思ってたの。そしたら世界にはいろんなもんがあるって初めて知ってね。それからムエタイにこだわらなくていいんだなって思って。

——枠が外れたというか。

シーザー うん。キックやってる時も「こうやったらもっと面白いのにな」っていつも考えてたから。それに昔のキックボクシングって、打つ、蹴る、投げるたったんですよ。頭突きもあったし。

——そうですよね。当時は一番のバーリ・トゥードだったと思うんですよ。

シーザー ねっ。俺、前歯全部折れてるのは頭突きですからね。頭突きと肘の入れ合い（笑）。

——完全に喧嘩ですよね（笑）。

シーザー そんな感じだったから、もとに戻ればいいんだなっていうね。それに、日本のキックってムエタイもどきじゃないですか。Jリーグでいえば J2？

——うわぁ（笑）。

シーザー でも、そう思わない？

——まあ、そうですかね（笑）。

シーザー 中にはいい選手もいますよ、J1に行けるヤツが。

——キック界はムエタイを上位概念に置いてますから。

シーザー 俺は、それは違うんじゃないかって思ったから。キックボクシングって日本でできたわけだから、キックボクシングはキックボクシングでやればいいんじゃないかって。それに、その頃、キックの団体が乱立してて嫌になってましたから、それだったら自分で貧乏してでも頑張ってみようかなって。

——でも、大変じゃないですか。

シーザー だから、寝ないでいろんなルール考えましたよ。最初、1ラウンド10分間でやってましたから。闘いって時間を区切るもんじゃないって思って。

——まさにバーリトゥード的発想ですね。早すぎましたねぇ。

シーザー 早すぎたね（笑）。

——ただ、興行的なものを考えたら、何にもないところから一人で立ち上げるっていうのは、ただごとじゃなく大変なことですよね、経済的な面から何から。

シーザー 大変でしたよ。だけど、俺自身が選手やってた24の時に横浜でジムを持ってたし、25ぐらいからは興行もやったりしてましたから怖れはなかったんですよ、なんとかなるんじゃないかって。

——25歳から興行師をやってたんですか！

シーザー だから、いま考えると、こういうことをやるために天から選ばれてるんだなって思いますけど。

——確か21歳の時には手配師もやってるんですよね（笑）。

シーザー そうそうそう（笑）。

——ホント、天に選ばれてますよ（笑）。そもそもシーザー会長の半生そのものが天に選はれたかのような過酷なものだったんですよね。

シーザー そうだよなぁ。俺、小学4年の時にお袋と親父が別れてから、ずっと一人でやってきたようなもんだったから。

——かなり貧乏な生活をしていたらしいですね。

シーザー 親父は一級鳶だったんだけど、現場でケガして労災病院を行ったり来たりしてたよ。ケガが治っても結構遊んでで、お袋は深夜の1時か2時ぐらいの朝一番の市に魚買い出しに行って、帰って来て仮眠取ってまた6時ぐらいに行くわけ。それで一日ずっと魚を売りに行ってるわけ。でも、親父は毎日ブラブラしてるしね、ウチはなんだろうと思って。それぐらいお袋は苦労して、苦労の限界だったと思う、いま考えれば。

——で、親父さんと2人暮らしになるわけですけど、ほとんど放ったらかしだったみたいですね。

シーザー そう、小学校4年の後半から5年の夏休みまで。親父もたまには見に来るんだけど、その間、ほとんど俺はすっと一人で学校行ってましたから。学校が家のすぐ前なんですよ。だからチャイムで目覚めて行くっていう（笑）。

——便利といえば便利ですね（笑）。

シーザー 俺、学校の金網をペンチで切って穴開け、すぐに出入り

世界最強の男はリングスが決める

Yasuhito Namekawa

出来るようにしてたからね（笑）。あの頃に生きる術というか、やっぱり人の顔見て生きてましたから、いろんなもんを覚えましたね。だから、いまどん底に落ちても生きれるなっていう。

――自信につながりますよね　金とかはどうしてたんですか？

シーザー　金もね、たまに親父が持って来るんですよ。「これでやれ」って一日5円とかくれるんですよ。

――5円！

シーザー　当時、さつま揚げが2個15円だったからね、そんなのなんの足しにもならない！（笑）。まあ、メシについては、学校の給食を食わないヤツがいるから、それをみんな持って帰ったりとかね。ただ寂しいのが学校終わった後、夕方になって友達も家に帰ると俺は一人っきりなわけでしょ。だから、海岸に居て夕日が沈んで、イカ釣りの船が行くところをずっと眺めてましたね。あの光景は一生忘れないね……結構ロマンチックでしょ？　いま考えたら（笑）。

――小学生時代からそんな切ないロマンを味わってるんですね。

シーザー　でも、その頃はもう切ないなんていうのは通り過ぎてたね。もうしょうがないっていう。俺は絶対大きい男になってやるって、それしか考えてない。

――たとえば自分で商売やって儲けようとか、そういうことはしたんですか？

シーザー　やったねぇ（笑）。台風のあととか漁船とかが波て流れて来るんだよね。その鉄をいっぱい集めて売りに行ったり。あと火事になると電話線を拾ってきて売ったりね。それも普通に丸めないで、石を芯にして巻いて重さを増やしたねぇ（笑）

――そこも生活の知恵ですねぇ、だけど、それ、火事場泥棒じゃないですか（笑）。

シーザー　いや、落ちてるものを有効利用してるたけたから（笑）。

――リサイクル（笑）。結局、その10ヶ月間ぐらいは、ほとんど一人だったんですか。

シーザー　たから、俺臭かったと思うよ　風呂かウチになかったんですよ。銭湯に行かなきゃいけないんだけど、お金もないし。メシも、住んでたのが漁港だったから肉はほとんど食ったことないですね。

――全部魚で。骨が丈夫になりそうですね。

シーザー　いや、俺がまた魚嫌いでね。

――なに贅沢言ってるんですか（笑）。

シーザー　だって、魚って臭いじゃないですか（笑）。

――その後、親父さんの家を出て、お母さんの元に身を寄せるんですよね。

シーザー　親父には黙って家を出たんだけど、追っかけてくるんじゃないかと思って怖くてね。お袋のいる大阪に着いたらホッとしたよ。それと同時にネオンが凄いって思ったね。俺、最初、祭りをやってると思ったから　それも忘れられない光景ですよ。

――たた、ホッとしたのも束の間、お母さんのところに行ったら別のお父さんがいたわけですよね

シーザー　そう。土建屋だったんですけど、それかまたヤクザもんで、身体中、刺青入ってましたから（笑）。

――「失敗したぁ」とか思いませんでした？（笑）。

シーザー　いや、母ちゃんに会えて嬉しかったですね。でも、母ちゃん、またいっつも殴られてるんですよ。

――男運悪いですねぇ。

シーザー　ホンットに男運悪い！　俺は俺で母ちゃんを取られたって腹があるから、いくら「親父と呼べ」って言われても絶対に呼ばなかったから、バカバカ殴られるし。それである時、お袋といちご畑まで裸足で逃げてたら、お袋が「もうお前に苦しい思いをさせるの嫌だから、母ちゃんと一緒に死ぬか？」って言うんですよ。その時は本当に殺されると思いましたね。あの光景はいまでも忘れないですね。

――小学生時代だけでいろんな忘れられない光景がありますよね（笑）。

シーザー　でもね、そこで子供だったのが「母ちゃん、いま死んだら飯も食えんしテレビも見れんようになるからダメだ」って言ったんですよ。あれで助かったんですよね。俺も一人で生きてきたでしょ。ここで死んでなるものかって思ったんでしょう（笑）。

――いっぱい苦労してるし。

シーザー　そう！　冗談じゃないよ（笑）。でも、当時は恨んだけど、いま考えれば、いい経験ですよ。それは感謝してますよ。

――とりあえず、大阪時代はちゃんと飯も食えていたんですか。

シーザー　天国ですよ、あの頃から比べたら。風呂もあるし。それで飯場ですから、ビールから食べ物から倉庫に山積みですから、そりゃもう最高ですよ（笑）。

――それで、食い物には困らなかったですね。いつぐらいから悪くなったんですか。

シーザー　中学2年ぐらいだね。親は飯場やってるから出てるでしょ。それで俺の家が溜まり場になって不良ばっかり集まってたんですよ。で、朝はやっぱり牛乳が欲しいから「この家に行けばあるから」とか教えて取りにいかせたりね（笑）。

――頭の中に地図がもう入ってるんですね（笑）。

シーザー　そう（笑）。で、当時は朝、パン屋の前に、その日に仕入れたパンがケースで置いてあったんですよ。それを全部持ってきてね。でも、食いきれないんで学校の購買部の横で売ってたんですよね（笑）。

――タチ悪いですね（笑）。

シーザー　あと、万引きをするグループがいて、そいつらに頼むとなんでも揃うんですよね。

――そりゃ、揃いますよ（笑）。

シーザー　そいつが一回捕まってさ、学校で大問題になりましたよ。それで、俺がみんなに盗らせてるみたいに言われて。でもあの頃、そいつら、2百万ぐらい盗ってたんじゃない？

――そんなに盗ったんですか？

シーザー　電気屋行って、テレビとか冷蔵庫を持って帰ってるんたもん（笑）

――本格的に犯罪ですね（笑）

シーザー　その主犯だったヤツ、いま何してると思います？　警察官ですよ！

――ワハハハ！　頼もしいというかなんというか（笑）。

シーザー　その手下も警察官なの。考えられないよね（笑）。

――当然、他校とのトラブルも多かったんでしょうね。

シーザー　生意気なヤツは許せ

万引きするグループがいて、そいつらに頼むとなんでも揃うんですよ

Caesar Takeshi

なかったね。「絶対コイツら許せない」とかなると先頭切ってたね 向こうは向こうで日本刀持って待ち伏せしてたりね。

日本刀― 怖ろしい中学生ですねぇ。

シーザー いやいや、それは格好だけで使いやしないですよ。例え、モメても俺が出ていけば大抵なんとかなったからね。なんか、周りから乗せられてたと思うんですよ（笑）。当時「●●●中の村田（会長の本名）」って言われてましたよ（笑）。

その村田伝説は、高校に入っても続くわけですよね。今度は「箕面学園の村田」となって（笑）。

シーザー あの学校はバカばっかりで、少年院から出てきたヤツでも入れるようなところ（笑）。

なんか、願書を取りに行くだけでヤバイという（笑）。

シーザー 一緒に行った友達がさ、「お前、なんか持って来たか？」とか言ってドス出すんですよ「お前たけたぞ、丸腰たったのは」って。考えられないよね（笑）。

そこでも喧嘩三昧だったんですか

シーザー 学校の帰りは梅田とかあの辺荒らすの。行くまでの間にいろんな学校があって、生意気な奴を退治するのが仕事ですから（笑）。

仕事なんですか（笑）、不良電車とかがあるんですよね。

シーザー 学校毎に各車両で分かれてるんですけど、目一杯やったような気がしますね（笑）。

――目一杯！（笑）。前田さんは足を組んでるのを見つけると、その足を蹴って反応があると喧嘩してたって言ってましたね。

シーザー 俺らはいきなり襲ってたよな（笑）。

―前田さんより悪いです（笑）。

シーザー 俺、日本刀持って行ったことありますよ。でもね、使わなかったから良かったですよ。

使っちゃマズいッスよー（笑）。噂によると高校時代も日本刀持った集団に学校を囲まれたみたいですね

シーザー 日本刀なんて単に脅しで持ってるだけで、誰も使えないですよ、そんな根性ない。ただ、多勢に無勢だから裏から逃げたの（笑）友達に「お前ら頼むぞ」って（笑）

負けるケンカはしないという（笑）。

シーザー だから殴られないんだよ、痛いし、傷ついたら損だし（笑）。でも、あとから一人ずつ全員やりましたよ、当然。

で、結局、箕面学園は……。

シーザー 事件があって捕まったんですよ。清風学園っていって体操の強い学校があるんですけど、あそこの制服が俺らと同じ紺の制服だったんですよ 生意気だと

学校指定だからしょうがないじゃないですか（笑）。

シーザー でも学ランですよ。長いのをあつらえて、それがちょっとね（笑）。

生意気で。

シーザー 冗談じゃないと（笑）。で、少年院帰りのヤツがしつこく殴ってたの、「ヤバいからもう帰ろうぜ」って言ってるのに。結局、警察が来てバーッと逃げたんだけど、次の日学校に行ったら友達が俺ともう一人しかいないの、みんな来てないんだよね。なんで来てないのかと思ってた

世界最強の男はリングスが決める

Yasuhito Namekawa

ら、全校朝礼の時に、「1年生で傷害事件で新聞沙汰になった」と校長が言ってるんですよ。俺と同じことやったヤツがおるのかと思って教室に帰ったら、補導員が入って来ましてね、思わず「俺?」って（笑）。

自分のことだったと（笑）

シーザー　そう。それで警察に連行されたんですけど、「ワシは関係ない」って頑張ってね。「弁当食べてもいいですか?」とか言って（笑）。

――なんて高1ですか（笑）。

シーザー　だって、昼になったら腹減るもの（あっさりと）。

――反省の色なし（笑）。

シーザー　それで、覆面パトカーで自分の家まで連れてかれて家宅捜査　そしたら、カツアゲして放ったらかしてあったものが山のように出てきてね（笑）　それで学校クビになって、1年ぐらい土方してましたよ。その頃に空手もやってたり、鉄下駄履いて走ってたりしましたよ。

その後、東淀工業高校に行くんですよね。

シーザー　なんか、俺が入るってなったら「箕面学園の村田が来る、危ないんちゃうか?」とか言われててね。俺は真面目に学校行こうと思ってたのに（笑）。その時はもうキックのジムにも入ってたんじゃないかな。

17歳の時にキックを始められたんですよね。

シーザー　そう。ジムの寮に入って。

――じゃあ生活費とかは?

シーザー　それはお袋が送ってくれたり。でもそれじゃ足りないじゃないですか。だからまたカツアゲですよ（笑）。

――はぁ（笑）。

シーザー　カツアゲっていうか、よその学校とかに行くんですよ。お坊ちゃま校に　そうすると、みんな金持ってるんで都合してくれるんですよ（笑）。

――ホントに悪いですね（笑）。

シーザー　いや、俺はホントに困ってたんですよ。だから、彼らの人間ができてたと思いますよ。集金してきてくれるんで助かりました（笑）。あの頃は楽しかったですよ（しみじみ）。いま考えるとお金にも困らなかったし。

――一番充実してたかもしれない（笑）。そういえば渡辺二郎さんとは、暴走族同士の喧嘩で知り合ったんですよね。

シーザー　いや、二郎ちゃんは僕の連れの先輩なんですよ　それで、ある時、吹田の万国博覧会の跡で暴走族同士の対決があったんですよ。こっちだけで百人近くいましたね。

岡本太郎画伯が題字を担当したシーザー会長初のアルバム「[illegible]」。凶悪な歌詞か素敵な会長のテーマ曲「ザ[illegible]」や、岡本画伯との[illegible]も収められた芸術的爆発力[illegible]の一枚

カツアゲから段階がひとつ上がって、組織の人間と付き合うようになった（笑）

――凄い喧嘩ですね。

シーザー　でも、相手が来なかったんですよ。その時に「応援に来てくれへんか?」って言われて、俺が応援に行って出会ったんですよ。当時、二郎ちゃんは女にモテてね（笑）。

――その後、東京で再会されたんですよね。

シーザー　後楽園かどっかで会ったんですよ。「あれ、二郎ちゃんちゃうの?」って。「村田かい?」とか言いながら。そしたらアイツ、言うに事欠いて、みんなの前で「こいつ、一番悪い奴ですよ」って。お前に言われたないわ、ホントに（笑）。

――素敵な話ですよ（笑）。それでキックの方ですけど、デビュー戦から3連敗したんですよね。

シーザー　デビュー2戦目は大阪でやってね。地元の大声援の中、1ラウンドでコロっといかれましたからね。ショックでしたわ（笑）。

――格好悪いですよね（笑）。

シーザー　最悪や。で、4戦目で負けたらもう辞めようと思ってて勝って。それからは負けなかったですね。

――勝ちグセがついたというか。

シーザー　いや、ある程度の実力っていうか、そういうのがあって　自分で言うのはおかしいですけど（笑）。

その後、タイ修行にも行くんですが、当時のタイは物騒なところだったみたいですね。

シーザー　タクシーとか乗ると、ギャングとかが出てきてピストルで脅して金取ったりするんですよ。それから沢村忠さんとも闘ったことがある、サレガン・ソーパッシンっていう元ムエタイのチャンプがいるんですけど、あの人、3人ぐらい人殺してますからね、ホントに。

――当時は人を殺してもすぐに出てこれたみたいですね。

シーザー　10万円ぐらい払えば保釈になるんですよ。信じられない！　しかも手下は警官ですよ。そいつなんてピストルどころか、手榴弾を紙袋に入れて持ち歩いてるんですよ（笑）

――怖い国ですねぇ。

シーザー　あの人には、だいぶ脅かされましたよ。冗談でピストル抜いたりね（笑）。

――でも、そんな物騒な中でも会長は女郎屋とかに行ってたんでしょ（笑）。

シーザー　チンチンから膿が出てきて、これは絶対梅毒だと思ったこともあってね。向こうの医者は「あ、これ食あたり」とか言うんだよ。そんなわけねぇよな（笑）。

――メチャクチャですね（笑）。

シーザー　日本に帰って病院行ったら尿道炎だったよ　あと面白かったのは自分の試合に自分のファイトマネーを全部賭けたんだよね　それで試合に勝ったもんだから俺も儲けたけど、その試合の賭け師も儲かったらしくて「勝たしてもらったからオ●ンコやらしてやる」とか言ってきたんですよ　車に乗って連れていくんですけど、ドンドン、ジャングルの中に入っていく。

――不安ですね（笑）。

シーザー　もう、奥の奥ってところまで行ったらポツンと明かりが見えてきて、入ってみたら、アヘン吸ってるようなガリガリのおばさんなんだよ。そんなの絶対できないでしょ?

――ヤバイですよ。

シーザー　病気とかも絶対持ってるしね。でも、やっちゃったんだよね（笑）

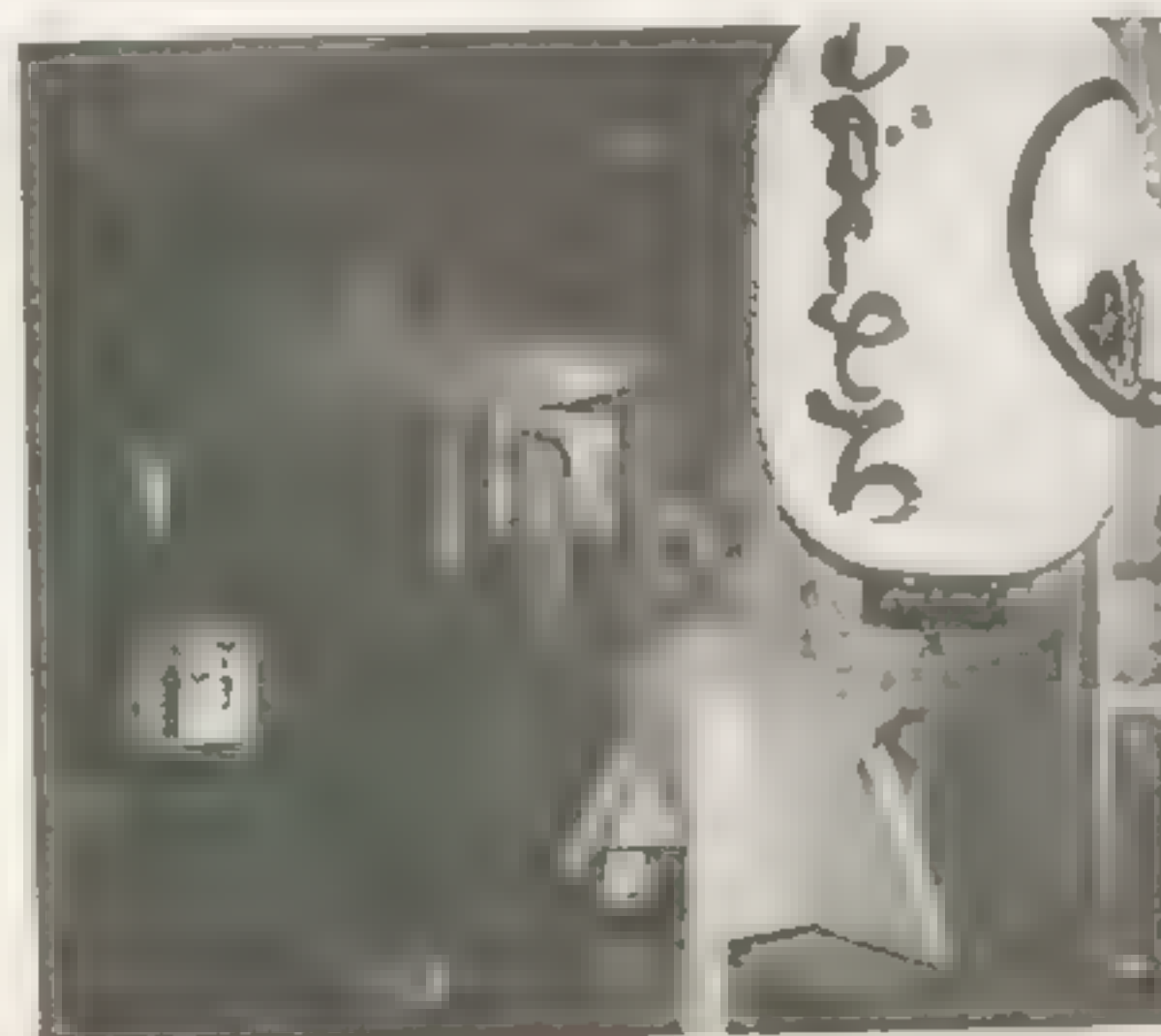
――やったんですか！（笑）。

シーザー　日本に帰ったら案の定ブツブツがいっぱいできてね。ロウソク病って昔あったんだよね、溶けてくるの（笑）。

――うわっ！　怖いですねぇ。ギャラの替わりにいろんなものもらって（笑）。一体、なんの修行に行ってたんですか（笑）。

シーザー　そっちも修行だよ（キッパリ）

――ワハハハ！　そんな男の修行を終えて日本に戻ってきて、試合では連勝街道をはく進するわけですね（笑）。

シーザー　いや、実は直後に一回負けてるんだよ。やっぱり調

今回、取材場所を提供していただいたのが「浅草・麦とろ」。割烹料理の老舗中の老舗であるとともに、料理長がSBのジムに通っている、料理にも格闘技にも愛があるお店。電話03-3842-1066

子に乗ってるとダメたね（笑）。それからだね、勝ちだしたのは。

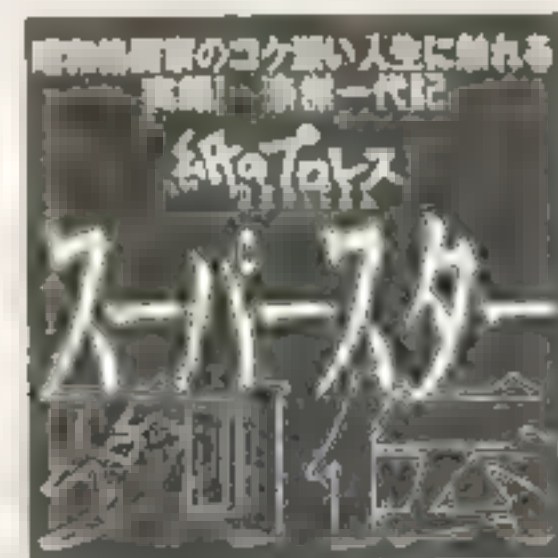
ただ、その当時キックだけでは飯は食えないですよね。

シーザー だから、アルバイトしたりね。

――カツアゲはしてないんですか（笑）。

シーザー カツアゲじゃなくて、今度は段階がひとつ上がって、そういう組織の人間と付き合うようになりまして（笑）。

――そっ、組織ッスかァー

シーザー 組織の中でも愚連隊グループがあるんですよね。そこで一緒にやって。19ぐらいの時かな？ 京橋の駅のとこで、●●組っていうのがあるんですけど、そこに呼ばれて応援に行ったんですよ。みんな日本刀持って来て、タクシーで行ったんですよ。そしたら向こうも日本刀で切りつけてきてたんです、タクシーの屋根をガンガン。

――はぁ、息を飲む話ですね。

シーザー それで俺の右隣りのヤツが出ようとして刀をパッと掴んじゃってね、指がスパっと落ちちゃった。今度は俺の左隣りのヤツが日本刀持って降りていって、チャンバラ始めたら、映画みたいにバチーンって火花が散ってるんですよ（笑）。でも、面白いのが、やっぱり人なんかそう簡単に斬れるもんじゃない。「俺、よう切らん」「お前やってくれ！」とか言いながらバチンバチンやってる。だから、乱闘してる隙間に、顔いわしたろかと思って、バチーンとやったんですよ。失敗したら俺が斬られてたと思いますよ。

――壮絶な話ですねぇ……。

シーザー で、「これで引いてくれ」ってことになったんだけど、どう考えても「このままでは終わらんのちゃう？ 俺やられるよ」って思うよね？

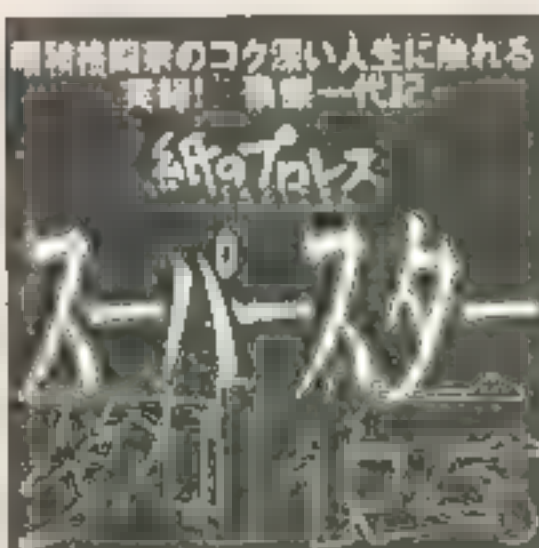
――思いますね（笑）。

シーザー で、仲間の一人に●●組の準構成員みたいのがいて、そいつが「そこの若い衆にしてもろうたらいいんちゃう？」って言うから、そこに行って「若い衆にしてもらえますか？」って言って。

――え！ 組織に入っちゃったんですか！

シーザー しょうがないよな。そ

Caesar Takeshi

11月6日は浅草・酉の市の初日。毎年、シーザー会長は選手たちを連れて午前0時開始のご祈祷に訪れている。また、社務所では安岡力也氏、山川豊氏と出会い、旧交を暖めあう姿も圧巻。力也氏といえば、かつてはキックのリングに上がったこともあり、山川氏はボクシングのトレーナーもしている骨のある男たち。会長と気があうのは当然なのである。また、左上の写真で会長と並んでいる方は、ご祈祷をあげた長國寺の井桁風雄住職

うしないとこっちの命が危ないから（笑）。

——確かにそうですね（笑）。

シーザー　それで「明日から来い」って言われて入ったんだけど、1回も行ってない（笑）。

——なんて人ですか（笑）。

シーザー　でも、その後、報復で向こうの組の人間が来て、こっちの組織に入ってないヤツを出せってことになったからね。みんなピストル持っててね、「どこ行ったかわからん」て俺もビビリながら行って。10人ぐらいに囲まれたんたけど、あれは、さすがに汗かくねぇ（笑）。

汗かくって、そんな呑気な話じゃないでしょ（笑）。

シーザー　それから21ぐらいで手配師やってるでしょ。手配師の時は2回ぐらい殺されかけましたけどね。手配師を狙ってくるシノギ屋っていうのがいたり、西成で人を集める時もヘタ打つと暴動になって襲われるしね。

それを21歳で仕切っていたんですよね。

シーザー　だから、それまで人生のキャリアがあったからだと思うんですよね。

本当に凄まじいの一言です！　ちなみに手配師のほうは儲かったんですか。

シーザー　いや、集めた人間はほとんど自分のウチに運んでましたから。ウチはその頃260人ぐらい若い衆がいましたから。もともと親父っていうのは村田組って組持ってましたから

——あ、組を持ってらっしゃったんですか（笑）。

シーザー　ヤクザもんですから（アッサリと）。日本刀とか、結構ウチにいっぱいありましたよ。

——もう非常によくわかりました（笑）。でですね、肝心のキックではどんな活動をされてたんでしょうか。

シーザー　あ、そうだ（笑）。こないだどっかの雑誌の人が言ってたんだけど、キックで90何戦やってるんですよね。よく覚えてないけど。

さきほど広報の森谷さんから聞いたんですが、24歳の頃に暴走族をタクシー代わりにしていたそうですが（笑）。

シーザー　あったっけ？

森谷　そう聞きました（笑）飲んで帰る時にタクシーが全然捕まらないってなって、その時、丁度、暴走族がやってきてという

シーザー　ああ！（笑）。ムダに走ってるからね、シバキ倒して「ちょっとウチまで送ってって」という話ですよ（笑）。

——この世に怖いものがないですね（笑）で、その後、キックから離れてシュートボクシングを始めるまでの期間は一体何をやってたんですか。

シーザー　それはねえ、ちょっと言えんわ（笑）。

——会長でも言えませんか（笑）。

シーザー　言えんなぁ（笑）。あとね、間寛平や月亭八方、オール阪神・巨人とかと一緒に歌を歌ってた時期もあったんですよ。

——なんでそんなことを？

シーザー　いや、レコード歌手になろうかなって（笑）。

——ワハハハ！　会長の人生は面白い！（笑）。

シーザー　でも、ステージ上で2番3番の歌詞を忘れて1番を3回歌ったりとか、恥ずかしいことしてるんですよ（笑）。

じゃあ、キックの後は歌手を目指してたんですか？

シーザー　ケガしてキックを辞めた後は、その場つなぎで歌の道もいいかなって思ってね（笑）。

そのへんで芸能界的な繋がりが出てきたわけですか？

シーザー　あんまり関係ないですけど（笑）。俺、本当はね、映画のデビュー作は19歳ぐらいの時なんですよ。渡哲也の『くちなしの花』ってヤツ。

——また有名な（笑）。

シーザー　あの映画のキックボクシングジムの会長が梅宮辰夫ですよ。それでコーチが千葉治郎。俺はそこの選手でセリフもなにもないちょい役でしたけどね。

阪本監督の『鉄拳』が本格的なデビュー作ですよね。

シーザー　監督から出てくれって言われて。

——凄く差別主義者の役でしたね（笑）。

シーザー　そうそう（笑）。でも、なんちゅう役だと思って。でも、寝ないで練習しましたよ。

三池監督の『新宿黒社会』の時は下半身にヨーグルトをたらされて女優さんにナメてもらうという、いい役でしたよね（笑）。

シーザー　（真顔で）でも、あれは勃ちましたからね。ホントに舐められるより、あれの方が感じるよ。いっぺんやってみ？　興奮するよ（笑）。

——ぜひ（笑）。相手は柳愛里さんですよね。

シーザー　え？　なんて人？　全然知らない　出た俳優とか、全然覚えてないですからね。

——メチャメチャ乳揉んでたじゃないですか（笑）。

シーザー　そう！　ちょうどいい具合の乳で、大きからず、小さからず。あの女は異常だよ。やってやろうかと思ったら、前バリされたよ（笑）。

——ワハハハ！　そういえば武道館で興行を打った時は三池監督の演出だったんですよね。

シーザー　金がなかったんで、金を削るのが大変だったみたいでね（笑）。でも緊張したらしいですよ。やっぱり映画の世界っていうのは撮り直しが利くでしょ？　こっちはリアルな世界じゃないですか。

一発勝負の。

シーザー　一発勝負だから、凄い緊張したと思いますよ。

考えてみると贅沢ですよね。キック関係もみんな出たしさ、あの頃魔裟斗とか、みんな出てたわけじゃないですか。

——しかもパリンヤーもいて。

シーザー　有明コロシアムで『S－CUP』をやった時は桜庭とキモの試合もやったんですよ。

——やっぱり早すぎましたね。

シーザー　早すぎるんだよね（苦笑）。だから、俺がいまやってることは過去の自分を切り捨てて、みんなのために頑張ることが俺の償いたなって思ってますから一応、後悔してる振りはしてるからね（笑）。ただ、ああいう生き方たったからこそ、いまみんなに能書き言えるし。その時その時は全力だったから、それでいいと思ってるし。

——全力で手配師やって（笑）。

シーザー　そう！　毎日一生懸命でしたから。そんな中で、いろんなものを考えさせてくれたのが格闘技だったし、格闘界っていうか、そういう人達や子供達に、なんか恩返ししてみたいなって。ただそれだけですよ。

——分かりました。今後ともシュートボクシング及び会長には凄く期待してますので頑張ってください。

【11月5日／東京・浅草のむぎとろ屋にて収録】

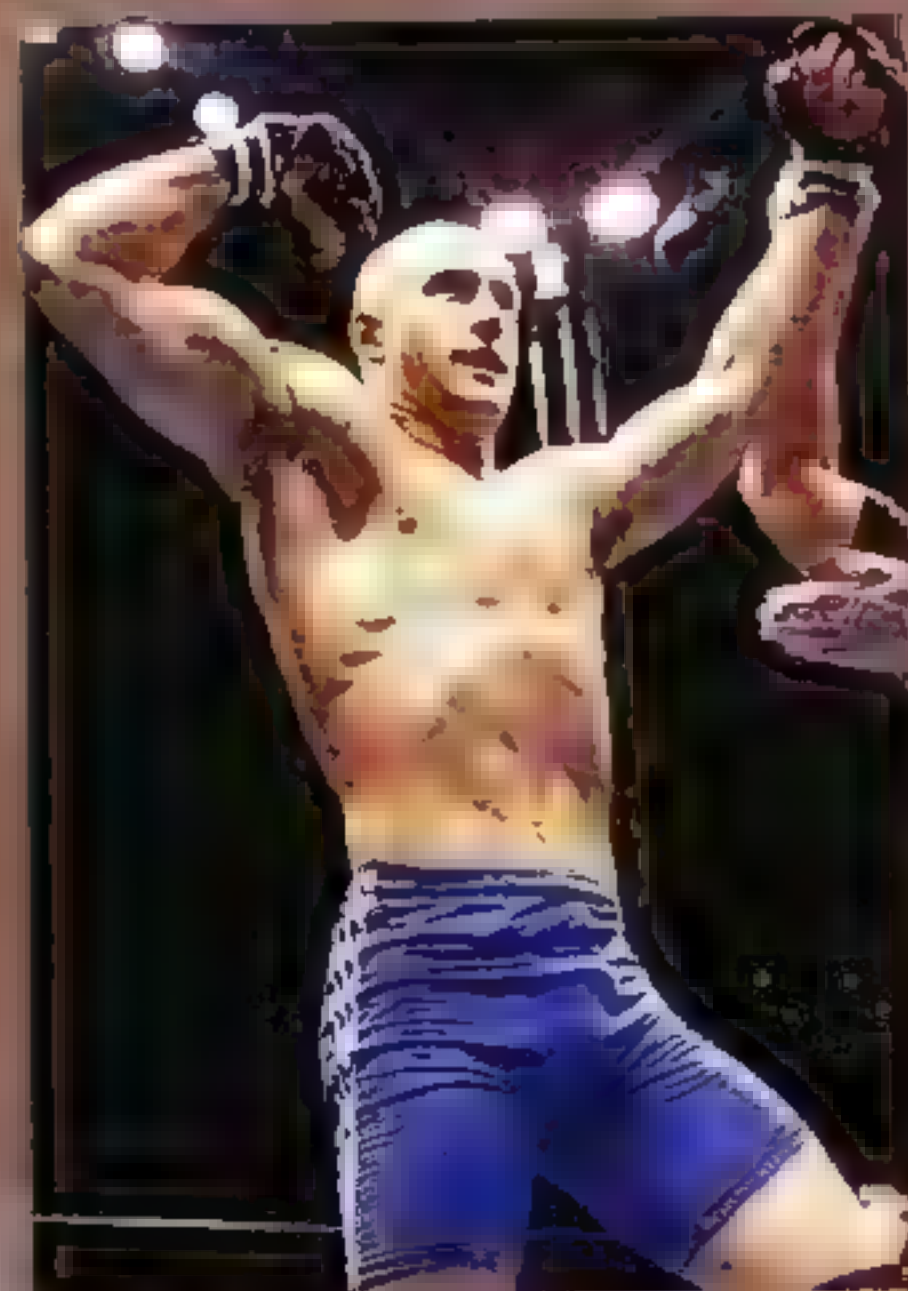
Caesar Takeshi

その壮絶な人生は本文を読んでいただけばわかるが、まだまだネタは豊富　例えば、高校時代、大学の空手部の方たちが付けてた拳マークのバッジになぜか注目。突然、そのマークに向かってジャンケンのパーを出し「俺の勝ちや（笑）」とからかい喧嘩に突入、ほとんど秒殺して「汗もかかんわ」と捨てゼリフ。その狂犬ならぬ、狂拳ぶりに会長のお友達は「ホレたよ」と一言。お友達ともどもさすが！　今後も格闘技界を面白くしてほしいと切に願うわけである

驚ガク事実次々発覚!! リトアニアにリングスのユートピアがあった!

10・20リングス代々木大会、破竹の連勝街道を突っ走っていた滑川康仁の快進撃を止める人間が意外なところから現れた。ネットワークに正式認可されたばかりのリングス・リトアニア所属、E・ヴァラビーチェスである。これまで総合格闘技があることすら知られてなかったリトアニアに息づいたUの遺伝子。この男何者か？

聞き手／堀江ガンツ　撮影／吉場正和　designed by きおとめの事務所

ボクはテレビで見たタムラに憧れて総合格闘技を始めたんだ

EGIDJIUS エギリウス VALAVICIUS ヴァラビーチェス

まず、インタビューの前にですね、「エギリウス・ヴァラビーチェス」という名前は、日本人にとっては非常に言いにくい名前なんで、ニックネームがあれば教えて欲しいんですけど（笑）。

エギリウス 周りからは「エギル」って呼ばれてるんだ。だから呼びにくかったら気軽にエギルと呼んでくれていいよ（笑）。

では、改めまして「エギル」選手のインタビューを始めさせていただきます（笑）。昨日（10・20代々木第二体育館）は日本デビュー戦でいきなり、いま絶好調の滑川選手に勝って驚いているんですけど、まずその試合を振り返ってもらえますか？

エギル ズバリ作戦通りだね！ ボクはこの試合のために激しいトレーニングを積むと同時に、ナメカワの試合ビデオを見て勝つための戦術をしっかり立ててきたんだ。その結果、ナメカワにはスタンドとグラウンドでそれぞれ一つずつ大きな弱点があることを発見し、そこを突いたんだよ。

どんな弱点ですか？

エギル スタンドで言えば、昨日の試合を見てもわかるとおりパンチのガードが上手くないことだね。あれではストレートをまともに喰らってしまう。それが彼の弱点のひとつ。もうひとつ、グラウンドでもあるミスを冒すクセを見つけたけれど、もしかしたらまたナメカワと闘う機会があるかもしれないので、ここでは言わないでおくよ（笑）。

滑川選手はエギル選手のことを寝技の得意な選手だと思っていたんで、まさかあんなに打撃が上手いと思わなかったらしいんですけど。

エギル 確かに打撃はボクの得意分野ではないよ。ボクはもともと柔術を中心に練習してきて、打撃は隣にいるドナタス先生（リングス・リトアニア代表）に約1年習っただけだからね。

――え!? たった1年ですか！

エギル うん。でもガードが下がるナメカワの弱点を突くために、試合が決定してから2ヶ月くらい徹底してムエタイの練習をしたから、その成果が出たんだと思う。本当なら日本のファンにボクのグラウンド・テクニックも見てもらいたかったんだけど、スタンドのナメカワ対策が当たりすぎて、寝技を見せる前に終わってしまったよ（笑）。

参考までに、これまでの格闘技歴を教えてもらえますか？

エギル 9歳の時に始めたサンボと柔道がボクの格闘技キャリアのスタートだね。その後、12歳からボクシングを2年間やって、14歳で本格的に柔術を勉強し始めて、いまはムエタイにも力を入れているよ。

エギル選手の言う「柔術」とは、ブラジリアン柔術のことですか？

エギル いや、ブラジリアン柔術ではないよ。かといって日本の柔術でもヨーロッパの柔術でもない。言うなれば「リトアニアン柔術」かな（笑）。

リトアニアン柔術!?

エギル リトアニアにはもともと護身術が開発されていて、それをベースにブラジリアン柔術や他の組み技格闘技のいい面を取り入れたものを「柔術」と呼んでいるんだ。だから世界には「柔術」と呼ばれるものはたくさんあるけど、ボクはリトアニアの柔術が最も優れたテクニックを持っていると信じてるよ。そしてリトアニアン柔術に立ち技最高峰のムエタイをプラスしたのがボクのスタイルなんだ。

ではこれまでの戦績を教えていただきたいんですけど。

エギル 約2年前にデビューして、現在まで28試合闘っているよ。その内負けたのは2試合だけだね。

2年間で28試合もやってるんですか!?

エギル うん。試合は大体毎月あるし、トーナメントでは2試合、3試合やることもあるしね。

それにしても凄いペースですよ（笑）

嵐のようなパンチの連打で滑川をノックアウトしたため、打[illegible]の選手のように思われるヴァラビーチェスだが、グラウンドでの動きもなかなかのもの。12月の対戦相手、ヘイズマンは立って良し、寝て良しの同タイプだけに楽しみだ（写真・右）　パンチで滑川が崩れ落ちる瞬間。ヴァラビーチェスの筋肉の躍動が凄い（写真・左）。

EGIDJIUS
VALAVICIUS

ちなみにエギル選手が負けたのはどんな相手なんですか？

エギル ひとりは有名なアンドレィ・コピィロフ。もうひとりはリトアニアのスミルノーヴァスという選手だね。コピィロフ選手とはフルラウンド闘ったけど、1エスケープ差で判定負け。あとスミルノーヴァスとは去年のリングス・リトアニア選手権の決勝戦で闘って、ボクが負けてしまったんだ。そしてまた今年の12月にボクとスミルノーバスがリトアニア王者の座を賭けて闘う予定だったんだけど、12月は日本で無差別級トーナメントの準決勝が決まったので、1月に変更されることになると思う。

エギル選手はリングスだけでなく、リトアニアのバーリ・トゥード王者でもあるんですよね？

エギル 確かにバーリ・トゥード大会で優勝しているよ。でもこれはリトアニアで開かれた大会だけど、参加選手はバルト三国から集めてきたので、正確には「リトアニアの」じゃなくて、「バルト三国バーリ・トゥード王者」だね。

バルト三国バーリ・トゥード王者！ それは金網の中でやったんですか？

エギル うん、金網のオクタゴンで闘ったよ。ただ、アメリカのUFCより少し小さめのオクタゴンだね。ボクはバーリ・トゥードでの自分の力を確かめるためにこの大会に出たんだけど、実際にこのルールで闘ってみて、改めてバーリ・トゥードというのはやるべきことじゃないと思ったよ。総合格闘技はもうリングスで統一して、それ以外は、柔道、空手、サンボなどそれぞれの競技で頑張ればいいと思う。

やはりそれはバーリ・トゥードは野蛮だからでしょうか？

エギル 「野蛮だ」というのもひとつの理由ではあるね。やっぱりリトアニアではバーリ・トゥードは受け入れられないんだ。なぜならエスケープもなく、顔面パンチがOKと

ボクはバルト3国バーリトゥード王者
でもこれからはリングスに専念したい
EGIDJIUS
エギリウス
VALAVICIUS
ヴァラビーチェス

なると、敢えてリスクを承知で美しい技術をみせることはしなくなる。それではプロ競技として見ていて面白くないよ。その点リングスはグラウンドでの顔面パンチは禁止しているし、最近エスケープが認められたから、ひとつミスをしても挽回できるようになったので、思い切った技にトライして自分の技術をひとつでも多く観客に見せることが出来る。だからボクはリングスルールが最高だと思うんだ。これ以上のルールは考えられないね。実際、リトアニアでも「PRIDE」のTV放送をしているんだけど、リングスと比べると視聴率はハッキリ言って低いからね。

——あ、リングスと「PRIDE」はリトアニアでもテレビ放送していたんですか。それにしても、リトアニアではリングスが予想以上に根付いてるみたいですね。日本ではリトアニアにリングスがあることすら、つい最近まで知られてなかったんですけど（笑）、いつごろから行われているんですか？

ドナタス（リングス・リトアニア代表） ここは私が答えましょう。リングス・リトアニアがリングス・ネットワークに正式加盟したのは今年ですけど、実は2年前に旗揚げしており現在まですでに28大会開いています。そして、そのうち3大会はヴォルク・ハンやアンドレィ・コピィロフ、イリューヒン・ミーシャといったスーパースターを招いた国際大会です。中でも最も大きな大会は、初代王者グロム・ザザを破り、ヴォルク・ハンが第2代リングス・ユーラシア大陸統一王者になった大会ですね。

——ハンがユーラシア大陸統一王者なんですか!?

ドナタス 知りませんでしたか？

——そんな王座があることすら知りません！（笑）。

ドナタス 日本では知られてなかったかもしれませんけど、我々も周辺諸国の協力を得て、精力的に活動しているんですよ。

——そもそもリングス・リトアニアというのは、どんなきっかけでスタートしたんですか？

ドナタス そもそものきっかけというと、10年近く前にさかのぼりますね。もともとリトアニアは格闘技の人気が高い国なんですけど、91年にソ連が崩壊したあと、旧ソ連諸国で西洋格闘技が解禁され、そのときにテレビで放映された「BUSHIDO（武士道）」の人気が爆発したんですよ。

——「武士道」！ もしかして、それって高田選手たちがいたUWFインターの試合放送ですか？

ドナタス そうです。タカダ、タムラ、サクラバらが活躍していた「武士道」です。私も「武士道」は見ていましたけど、しばらくしてからリングスの放映が始まり、私にはリングスの方が魅力的に感じたので、リングスに賭けようと思い、2年前にリングス・リトアニア・フェデレーションを設立しました。そのときから、私が統括していた33箇所の道場をすべて「リングス・リトアニア」に切り替えたんです。

——道場が33箇所！

ドナタス はい、そして現在、プロの試合に出られる選手が約50人。ヴァラビーチェスレベルの選手も10人以上はいますよ。

——そんなにいるんですか！

ドナタス 選手の数は順調に増えてますね。

ヴァラビーチェスの左にいる人物がリングス・リトアニア代表ドナタス・シィマナティス。ヴァラビーチェスの打撃の師匠であり、リトアニア大会のプロモーターでもある。リングス・リトアニアができたのは、ほとんどが彼の力によるという。ありがとう、ドナタス代表！

EGIDJIUS VALAVICIUS

10.20 RINGS 代々木第2 PUTI REVIEW vol.1

リー・ハスデル 〔1R4分22秒 KO〕 **ゲオルギー・トンコフ**

“ポリスマン”がブルガリアの柔道王をKO

試合前は今大会の目玉と言われたトンコフ。なんと言っても現役バリバリの柔道世界5位の記録を持つ男である、しかし、オーちゃんを破った金メダリスト、ハハレイシビリがまったくダメだった例もあり、ちょっぴり不安だったが、その不安が的中。ひたすら払い腰からの袈裟固めを狙うだけで、総合の動きができない選手だった。こうなると“ポリスマン”ハスデルに仕留められるのを待つばかり。跳びヒザで派手なKO負けを喫した。

横井宏孝 〔1R3分14秒 ポイントアウト〕 **折橋謙**

横井、今度は怒濤の打撃。デビュー3連勝！

今回から始まったユニバーサルバウト。物々しい名前だが、要は若手選手にチャンスを与えるフューチャーファイトのことである。底辺拡大のために非常にいい企画だと思うが、ここに横井を出すのは反則であろう。むしろアブソリュート級トーナメントに出場してもいいくらいだ。結果は杞憂した通り横井がヤマケンのジムから参戦した折橋謙（オリケン）を相手R・クートゥアーを思わせるパンチの連打で血の海に沈めてTKO。この男、強い！

前大会でV・ハンがザザを破り ユーラシア大陸統一王者になりました

いまはリトアニアの軍でもリングスのトレーニングを積んでいる人がたくさんいるんですよ。というのも、現在の国防省ナンバー2がチェスロバス・イゼルスカスというサンボの世界チャンピオンに3度も着いた有名な人物なんですが、彼は国防副大臣であると同時にリングス・リトアニア名誉会員で、私の右腕でもあるんです。

――国防省ナンバー2が右腕！

ドナタス はい ですから大会を開く際の警備や車の手配等も軍にやってもらっています。それと軍がバックアップしてくれていることもあって、大会には有名人もたくさん来るんですよ。例えばリトアニア大統領。それからリトアニア国会の議員たちも半数が試合を見に来てくれますし、それからロシア大使を始めとする、いろんな国の大使も見に来てくれています。

――いやぁ……なんか本場である日本のリングスより遙かにしっかりしている気が……（笑）。

ドナタス そんなことはないでしょう（笑）。でも我々も強い組織を持っていることは自信を持って言えます。実際に先日、私自身も国から『スポーツ貢献カップ』というものを受賞しました。なぜなら、リングスはいまリトアニアのスポーツでバスケットボールに次いでナンバー2の人気を誇っているからです。

――そこまで人気が爆発してるんですか！ その人気の要因は一体何なんですか？

ドナタス 様々な要因が考えられますけど、一番の要因は我々が上手くマスメディアを使って、テレビ局やラジオ局と契約を結んでアピールしてもらっているからではないかと思います。

――やっぱりTVの力は大きいんですね。それは日本の格闘技界でも非常に感じます（笑）。エギル選手もやはりTVの影響でリングスを始めたんですか？

エギル うん、そうだね。まず「武士道」の大会を見て大きな刺激を受けて、それからリングスを見て、「これぞ格闘技だ」と感じて、自分もリングスで闘いたいと思ったんだ。

――具体的に選手では誰に影響を受けましたか？

エギル ヴォルク・ハン、イリューヒン・ミーシャ、それからマエダ……。挙げればいろんない選手がいたけど、特に大きな影響を受けたのは、なんといってもタムラだね。

――田村潔司ですか！

エギル 身体が決して大きくないにも関わらず、大きな選手にも難なく倒すところに憧れたんだ。ただ、新しいルールになってからのタムラにはちょっとクエスチョンマークがつくね。ボクは昔のレガースを付けていたときのタムラ。あんな選手になりたいんだ。できることならタムラと闘ってみたいね。それがボクの夢だよ。

――田村選手本人に会ったら、一応伝えておきます（笑）。やはりテレビの影響もあって田村選手やハン、ミーシャなんかは、リトアニアでも有名なんですか？

ドナタス 非常に有名ですね 特にハンやミーシャは普通に街を歩いていたら、声を掛けられないことはまずない。それは例え60歳のおばあさんでも、彼を知っていて肩を叩いて声を掛けるんです。それだけ老若男女に人気があり有名なんですよ。ただ、ひとつだけ言っておかなければいけないことは、少し格闘技に詳しい人なら「リングス・リトアニア」ということを認識しているのですが、一般のリトアニア人から見たら、武士道やリングス、『PRIDE』みんな同

このハンか巻いているベルトこそが、「リングス・ユーラシア大陸統一選手権」のベルトだ！ ベルトの真ん中にはちゃんとリングスのマークも入っている。我々の知らないところで、リングスは勝手に広まっていたのだ。っていうか、ハン、報告しなさいよ。

10.20 RINGS 代々木第2 PUTI REVIEW vol.2

エメリヤーエンコ・ヒョードル 〔3R判定 3-0〕 **柳澤龍志**

最強・ヒョードル、グラウンドで回転体見せる!

いまやマニアの間では「世界最強」の呼び声まで出てきた、ロシアの怪物エメリヤーエンコ・ヒョードルが、またしてもその恐るべき強さを見せつけた。これまであまり寝技の攻防を見せることがなかったヒョードルだが、この日は柳澤を相手にグラウンドで次々とポジションを変える回転体を披露し、タップこそ奪えなかったものの圧倒。さらにK−1戦士相手に立ち技でも優位に立つという暴れっぷりだった。

クリストファー・ヘイズマン 〔3R判定 3-0〕 **グロム・コバ**

ヘイズマン30キロ差を跳ね返し、見事判定勝ち!

まさにアブソリュート（無差別）級と言うべき、ミドル級のヘイズマンとスーパーヘビー級のコバの実に体重差30キロの対戦。こんなカードを文句ひとつ言わずに受けるヘイズマンは偉い！ しかも昨年のKOKで、柔術世界王者トラヴェンを判定で下したローキックによるヒット＆アウェイ作戦でレスリングの猛者であるコバを完封。ヘイズマンの次の相手はヴァラビーチェス。これは必見だ！

じように見られているんです。だから普通の格闘技ファンは、総合格闘技を「武士道リングス」と呼ぶんですよ（笑）。

――ハハハ、いい名前ですね（笑）。

ドナタス そんな中から、いまリトアニア人のスターも出始めています。ここにいるエギリウスもそのひとりですが、もう一人、レミジュール・カザチューナスという強い選手がいますよ。彼は打撃が強い選手で今度、11月10日にリングスの国際大会を開くんですけど、そこで日本人選手（伊藤博之）と闘う予定です。それからこの大会にはロシアからヴォルク・ハン、柔術のラバザノフ・アフメッドとニコライ・ズーエフの弟子、さらにウクライナからイゴール・ボブチャンチンの参戦も決定しているんですよ。

――え、ボブチャンチン!?　『PRIDE』に出ている、あのボブチャンチンですか？

ドナタス はい、もちろんそうですよ（笑）

――となるとボブチャンチンもエスケープ有りのリングスルールで闘うわけですか？

ドナタス そうです。それが我々の条件ですから。

――へ～、ちなみにどんな選手とやるんですか？

エギル ボクだよ（笑）。

――えええ～！　エギル選手がボブチャンチンとやるんですか！

エギル そんなに驚くことじゃないよ（笑）。確かにボブチャンチンは立ち技に関しては総合格闘家の中でナンバーワンの存在であり、しかもグラウンドもよく知っている天才的なファイターだけど、彼も人間だから必ずミスはある　ボクはすでにビデオで彼のファイトを研究しているし、そしてなにしろリングスルールでやるわけだからね。

――勝つ自信があるわけですか？

エギル 勝つための準備はしているよ。あとは気持ちで負けないこと。やはり「勝つ」と思いこめば勝つ可能性は高まるし、試合前から「勝てないのじゃないか」と思ってしまったら、その時点で負けだからね　だからボクは自分の勝利を信じて、恐れることなく闘うだけだね　それに強豪と闘わない限りは自分の本当の実力というのはわからないから、そういう意味でもボブチャンチンにチャレンジしたいと思う。

――ぜひ、頑張ってください！　エギル選手は年齢的にもこれからリトアニアを背負って立ってほしいですけど、いま周りを見渡してライバルというのはいますか？

エギル （即座に）エメリヤーエンコ・ヒョードルですね。

――おお、ヒョードルですか！　二人の対戦はぜひとも見たいですね。

エギル きっとアブソリュート級トーナメントの決勝戦で闘うことになるよ（笑）。そのためにも、準決勝のヘイズマン戦は頑張るよ！

――期待してます！

【01年10月21日／都内・某ホテルにて収録】

ライバルはヒョードル。きっとトーナメントの決勝で当たるだろう

エギリウス・ヴァラビーチェス Egidijus Valavicius
1978年12月23日、リトアニア・マリヤンポレ出身。
リンクス・リトアニア所属。186cm／95kg。
9歳からサンボを習い始め、18歳からは柔術も始める。
リトアニアにおいて、サンボと柔術の大会で数々のタイトルを保持。
バルト3国バーリ・トゥード大会にも優勝。
これからが楽しみな逸材。

EGIDJIUS エギリウス
VALAVICIUS ヴァラビーチェス

10.20 RINGS 代々木第2 PUTI REVIEW vol.3

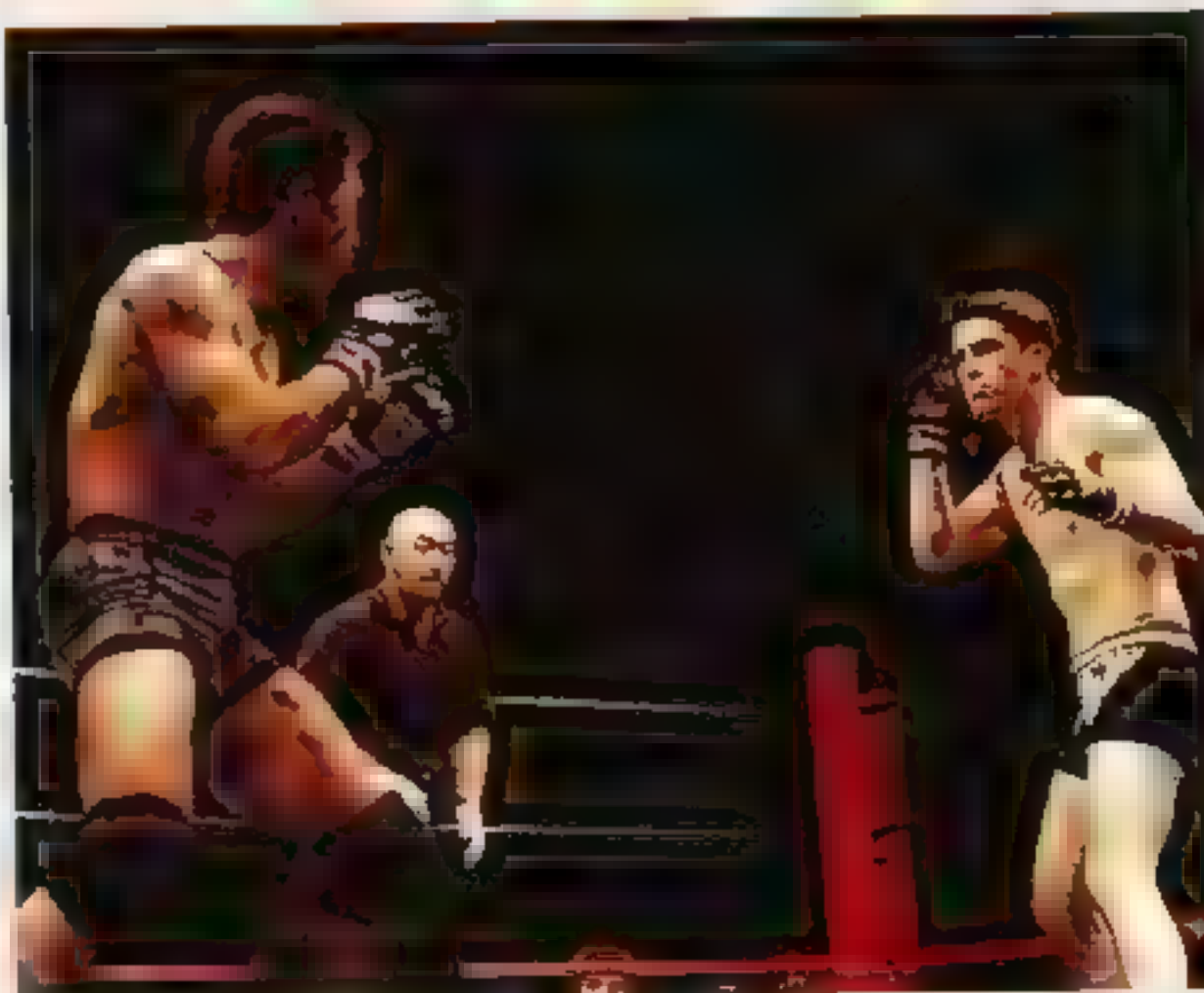
金原弘光　〔2R1分51秒 ポイントアウト〕　**ケリー・ジェイコブ**

金ちゃん、久々勝ち名乗り。連勝街道宣言！

デイブ・メネー、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ、ヒカルド・アローナ、マット・ヒューズという、凄すぎる対戦相手とのキツイ試合が続き、結果が出なかった金ちゃんが久々にスカッとする勝利を上げた。8月に比べて体の調子が全然いいという金原は、1Rからハイキックを繰り出すなど、久々に金原らしい動きで館内を沸かせ、見事3エスケープを奪っての完勝。試合後は「連勝宣言」も飛び出した。

カーティス・ブリガム　〔1R43秒 裸絞め〕　**緒方健一**

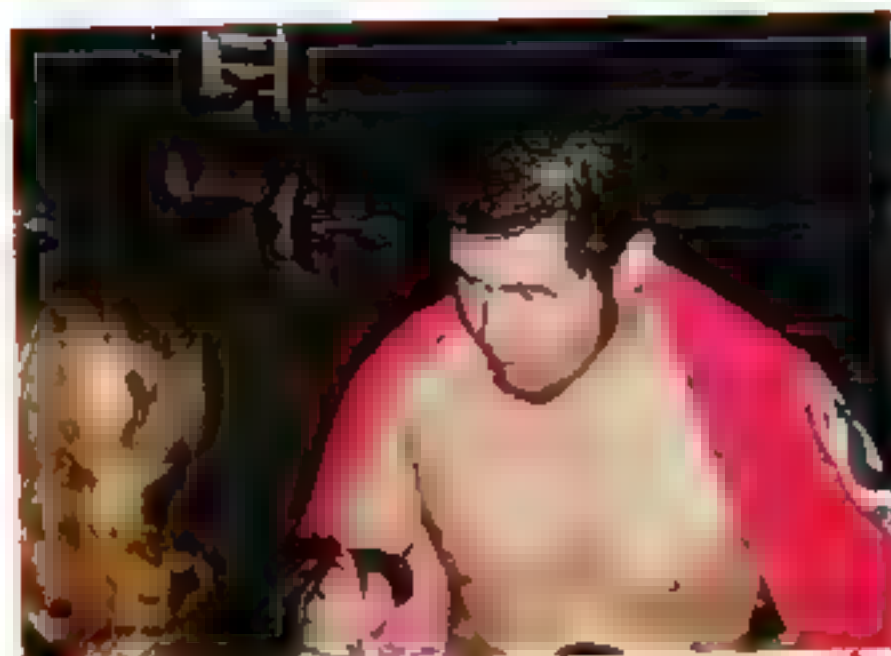
SB初登場もヘビのような柔術に完敗

“立ち技バーリ・トゥード”と呼ばれるシュートボクシングから、いきなりエースクラスである緒方が参戦。セコンドに佐藤ルミナが付き、コール時には白い紙テープが舞い、鮮やかなKOが期待されたが、打撃を一度も出す間もなく、ブリガムのヒクソン式のタックルからのするするとバックに回っての“おんぶチョーク”の前に秒殺タップアウト負け。SBには最悪の結果となったが、捲土重来に期待したいところだ。

ヴァラビーチェスインタビューで幻想が一気に高まったところで、タイミングよくリングス・リトアニア大会が開催された！　ここにはまだ見ぬリトアニアの強豪以外にジャパンの横井、伊藤、さらにボブチャンチンまでが出場！　いったいどんなことになっているのか！

構成／ガンツ　協力／(株)リングス　designed by きおとめの事務所

試合結果
2001年11月20日(土)
リトアニア・スポーツパレス
観衆5,000人(超満員)

勝者	結果	敗者
○ラムナス・ガイコ	2R ポイント判定	ジギタス・ケッスタス×
○ミンダウガス・スミルノバス	2R ポイント判定	ミンダウガス・ローリナイティス×
○テデウサス・ショロディンスキス	2R ポイント判定	アンセル・ベイラムベコフ×
○レミジュール・カゾチウナス	2R ポイント判定	伊藤博之[D1Y1]×
○ルーカス・スタンブラウスカス	2R KO	イゴール・コバリヨフ×
○ラバザノフ・アフメッド	2R ポイント判定	ミンダウガス・クリカウスカス×
○イゴール・ボブチャンチン	2R TKO レフリーストップによる	リチェルダス・ロツェビーチェス×
○横井宏考	2R ポイント判定	ケツティス・スミルノバス[E1]×

D=ダウン、E=エスケープ、Y=イエロー

メインイベントで見事に勝利を収めた横井には、試合後サインを求めるファンが続出。リトアニア美女も魅了した！

ボブチャンチンをセミファイナルに従え、デビュー4戦目で海外のメインイベントを見事勝利で締めた横井。これで自信を付けますます手がつけられなくなるか。

リングス・リトアニアのドナタス会長推薦のカゾチューナスにグラウンドで攻めながら、1ダウンを奪われポイント負けした伊藤。この一戦をバネにして浮上してほしい。

サンボでハンを破ったこともある、リトアニアの古豪ロツェビーチェス。ボブに対して果敢にアキレスを狙う！

リトアニアながら、ホントにボブチャンチンがリングスに登場！　しかし、スペーヒー戦から一週間というタイトな日程が響いたか、リトアニアの古豪に苦戦。

なんとハンの自伝まで出版されていた！　M・フォーリーばりの内容だったら凄すぎる。

大会告知が載った現地の新聞。やはりハンは英雄扱いだ。

軍部もリングスをバックアップ。セキュリティーは完璧だ。

客席にはビジョンもしっかりと設置。日本のリングスもゼヒ見習ってほしい。

リトアニアはラウンドガールもこの豪華さ。それにしても凄い衣装だ。

というわけで前のページのエギリウス・ヴァラビーチェスインタビューを読んでもらえたらわかるとおり（読んでない人はまず、そちらを先にお読みになることをお薦めします）、我々の知らない間にリングス王国が作られているという素晴らしい国、リトアニア。

そのリングス・リトアニア大会が11月10日（現地時間）に開催され、日本から横井宏考と伊藤博之が参戦したので、彼らの話をもとに、現地での様子をリポートしていくことにしよう。

今回のリングス・リトアニア大会はリトアニア国家のスポーツ省、開催都市であるヴィルニウス市の全面バックアップによって開催。副市長が無類の「武士道」（Uインター）好きで、ゲーリー・オブライトが亡くなったことを心底悲しんでいるような土地であるので、シアター形式の巨大なホールはもちろん超満員の観衆で埋め尽くされた。

今回の対戦カードは横井がスミルノヴァス、伊藤がカゾチューナスとそれぞれ対戦。カゾチューナスはリングスリトアニア代表ドナタス氏がイチオシの打撃系ファイター。横井と対戦するスミルノヴァスは、ヴァラビーチェスを破り昨年のリトアニア選手権を獲得したほどの実力者。どちらもドナタス代表がヴァラビーチェスに続いて来日させようとしているスター候補生。横井、伊藤との試合を日本デビューへの絶好のデモンストレーションにしようとしているのだろう。

その他にもハンの弟子・ラバザノフやズーエフの弟子、さらにウクライナからはなんとボブチャンチンまでもが参戦。その対戦相手を10・20代々木大会で滑川をKOしたヴァラビーチェスが努めるというから興味深い。

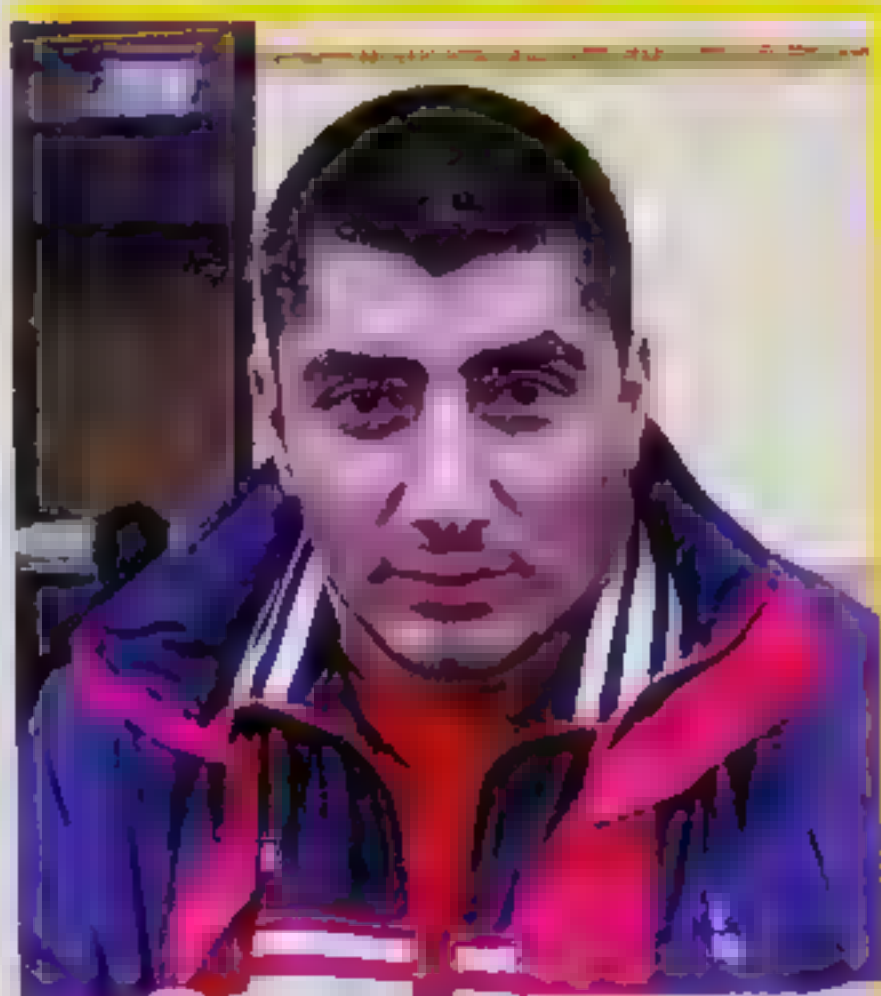
しかし、当日になってみると、ヴァラビーチェスは肩の負傷のため欠場で、ボブチャンチンの相手が変更になってしまった。ヴァラビーチェスは無理をすれば試合ができないほどではなかったらしいが、12・21横浜で予定されている、アブソリュート級トーナメントの準決勝がどうしても負けられないため、大事をとっての欠場だという。

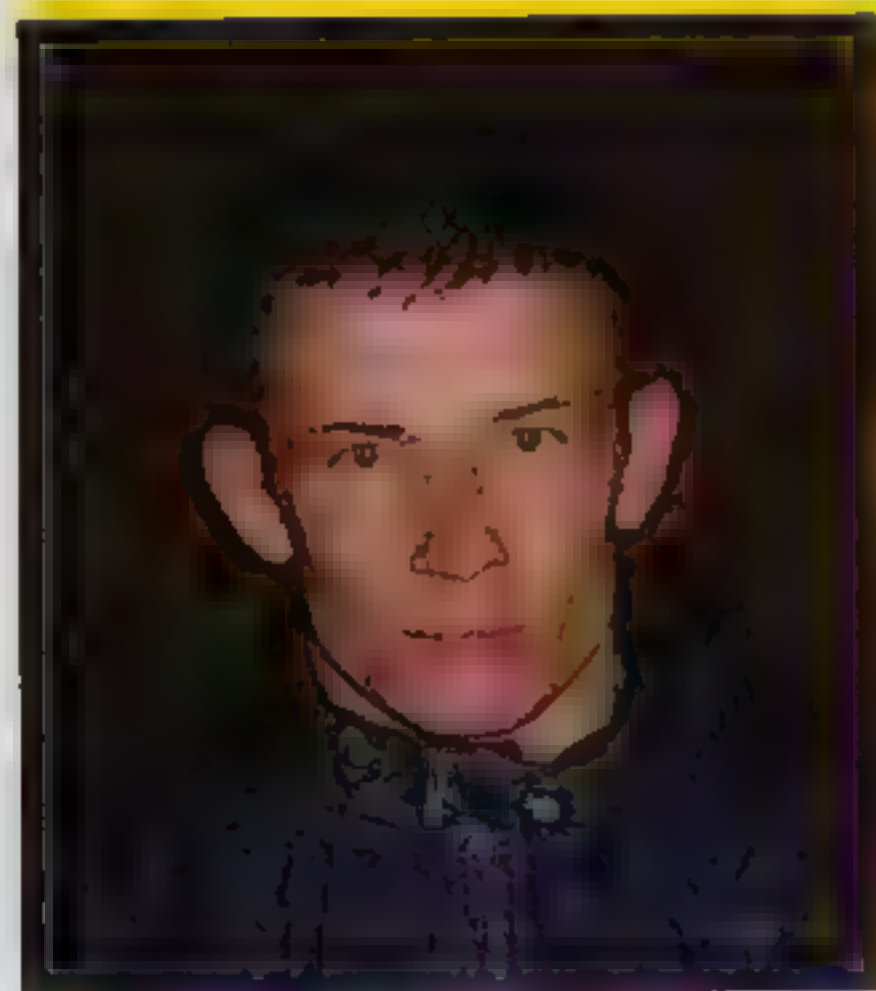
それもそのはず、日本デビュー戦でKO勝利を挙げたヴァラビーチェスは一躍スターダムにのし上がり、なんでもリトアニアに帰国すると、空港に楽隊（！）がお出迎えしていたというから凄い。この日も欠場の挨拶に現れただけで大人気。本国でのボブチャンチン戦という晴れの舞台をキャンセルしてまで照準を合わせた、横浜でのヘイズマン戦は俄然注目だ。

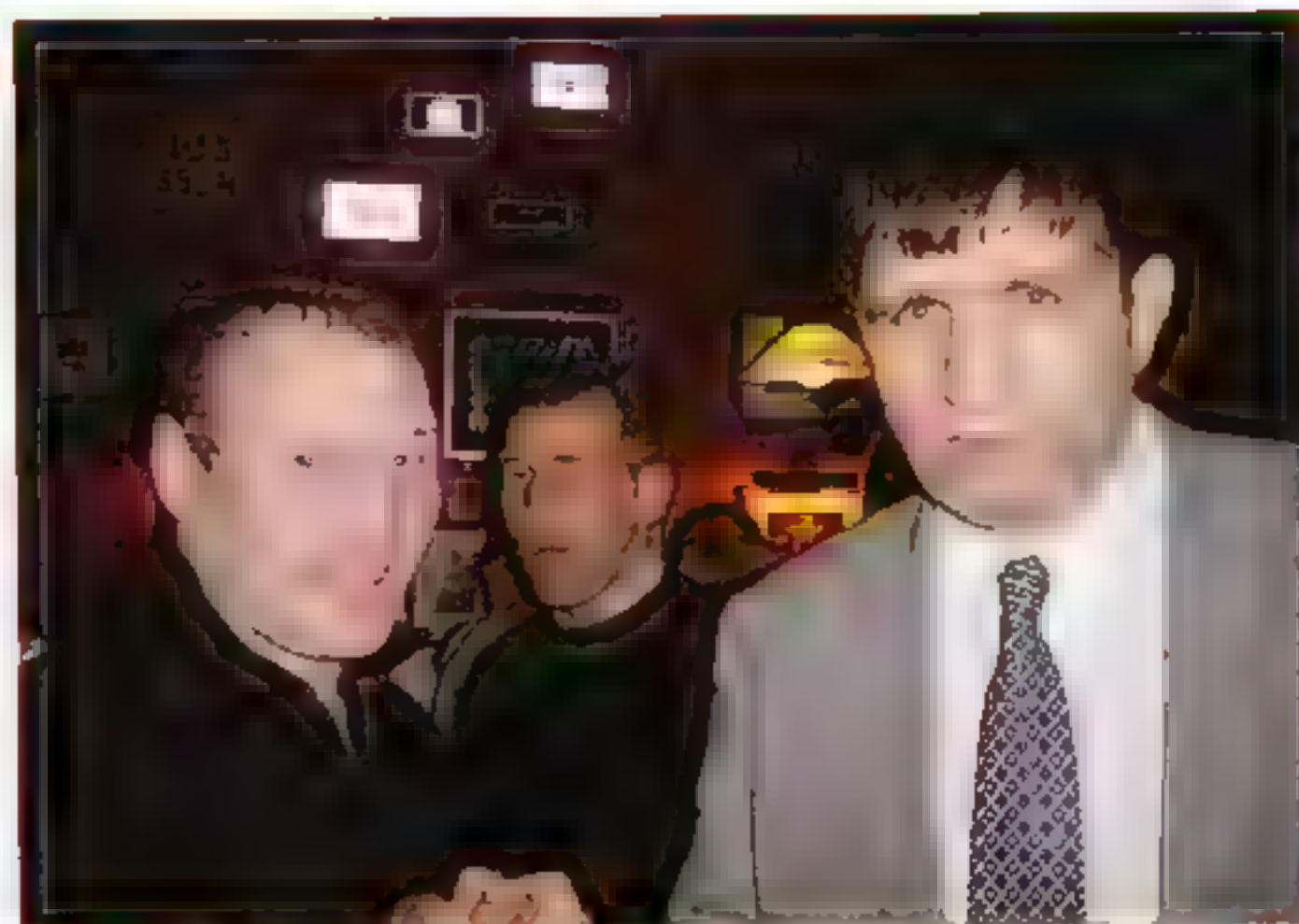
ヴァラビーチェスの代わりにボブチャンチンと闘ったのは、40歳リトアニアの古豪ロツェビーチェス。なんでも往年の名サンビストで、V・ハンもサンボでは勝てなかった選手だという。それでもボブ相手では分が悪いかと思いきや、1Rはイーブン。2Rにヒザを痛めてTKOとなったが、ボブと40歳で渡り合うとはやはり世界は広い。

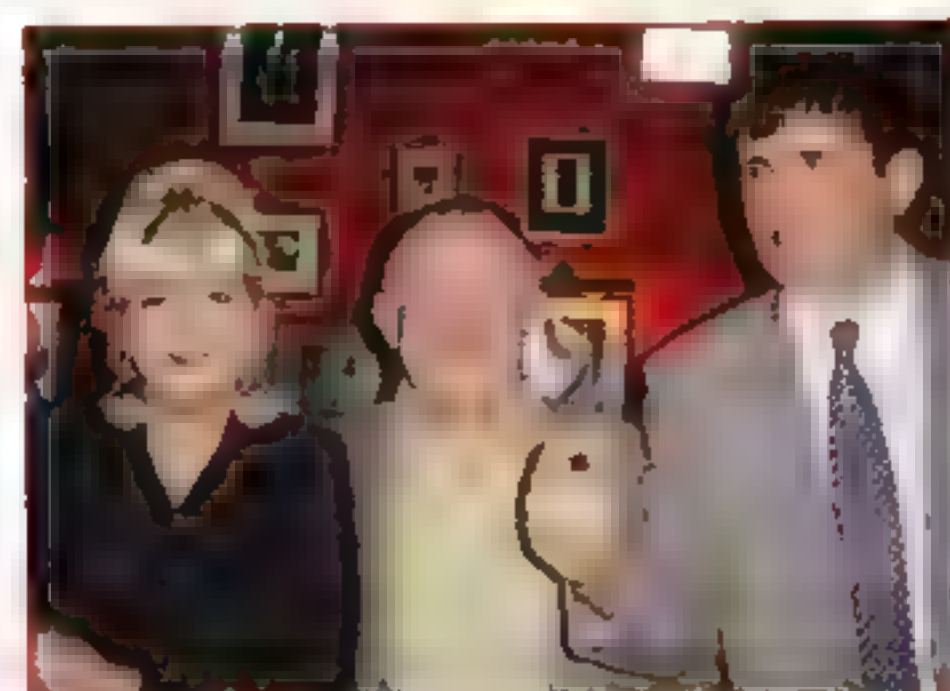
ちなみにリトアニア大会のルールは、5分2R、ダウン2P、エスケープ1Pで6P失ったらポイントアウト。そしてOFグローブ着用のKOKと旧リングスと合わせたようなローカルルール。さすが、勝手にユーラシア大陸王座を作ってしまうだけあり、ルール変更などお手の物だ。

デビュー2戦目がいきなりリトアニアの強豪となった伊藤。デビュー戦で堅くなりすぎて前田に「デビューした意味がない」とまで言われてしまった伊藤だが、この日は果敢にテイクダウンを奪いに行き積極的に攻めていく。結果はスリップぎみのダウンでポイント負けを喫したが、ジャッジのハンに

来日間近!? !? !? ヴァラビーチェスに続け! 未知の強豪をリトアニアで発掘!

アルセン・ベイコラムベコフ
ズーエフ道場「リングス・エカテリンブルグ」の選手。今回はポイント負けだが、寝技では大会NO. 1と評判。

ケツティス・スミルノーヴァス
横井とメインイベントで対戦ポイント負けを喫したが、昨年、ヴァラビーチェスに勝っているリトアニアのエース的存在。

ミンダウガス・ローリネイティス
リトアニアの宇野君と勝手に呼びたい、リトアニアライト級のエース。サンボ世界3位。関係者の評価はすごぶる高い。

レミジュール・カゾチューナス
伊藤からダウンを奪いポイント勝ちをした、ヴァラビーチェス以上の打撃を持つと言われる選手。

見てみ、この顔合わせ！　旧ソ連系の2大スーパースター、ハンとボブチャンチンがガッチリ握手。日本じゃ実現不可能な、ボブチャンチンvsヒョードルなんかもリトアニアでは実現可能？

ヴォルク・ハン格闘術の"白兵戦王"ラバザノフも登場。今回の旅では下ネタ王であることも発覚。

ボブと言えばもちろんオバチャンチンも登場！　ハンとの顔合わせは実に不思議だ！

北の最終兵器と前田道場の最終兵器が向かい合った！　この対戦も実現したら凄い闘いになりそうだ。

スクープ! リングス・ライト級トーナメント2月、3月開催!

ヘビー、ミドル、無差別に続き、リングス・ライト級トーナメントが開催されることが発表された。これは8名参加で2・15横浜大会で開幕、3月に王者が決定する。現在のところメンバーは発表されていないが、すでに大物を含む何名かは出場の意志を表明。またハンもライト級の人材育成をすでに進めているらしく、実に楽しみな大会になりそうだ。

快挙 凄すぎる! アターエフ8連続KOで散打世界選手権優勝!

ヴォルク・ハン格闘術のヴォルク・アターエフが、11月4日アルメニアの首都エレバンにて開催された「散打世界選手権」100kg超級に出場し、なんと全8試合KO勝ちという、とんでもない強さを見せつけてブッチギリの優勝をはたした！　30数カ国参加の大会でこの成績は凄すぎる。12.21横浜、TKあやうし!?

「ヴォルク・ハン格闘術」に続きズーエフが「リングス・エカテリンブルグ」設立! コーチは"あの"ヒョードロフだ!!

ニコライ・ズーエフが選手育成に着手。ヴォルク・ハン格闘術に続き、道場「リングス・エカテリンブルグ」を設立した。コーチはあの伝説のサンビスト、アレクサンドル・ヒョードロフさんだというから最高だ。打撃では極真のユーリ・コーチキンも加入。ここから第2のヒョードル、アターエフが生まれるか!?

「お前が勝っていた」と言われるなど、内容は悪くなかったようだ。

そして、デビュー以来3連勝を飾る"怪物"横井はなんとメインイベントに登場。敵地のメインというのに、試合直前までラバザノフと猥談をしていたというから、この男の図太さは本物だ。試合の方も、10・20代々木大会でヤマケンの弟子オリケンを殴りすぎて拳を痛めてしまい、パンチが使えないながらも、グラウンドで優位に立ち、腕十字でエスケープを奪っての堂々のポイント勝ちを飾った。ヴァラビーチェスに勝ったスミルノヴァスを異国で破った横井。その怪物性は地球の裏側の人々にも強烈な印象を残した。

試合はその他にも、今年度のサンボ世界3位というライト級の切り札、ローリネイティスやボブチャンチンの弟子などが活躍。

リトアニア全体のレベルはやはりまだ荒削りな面も多いが、とにかく前に出る積極性と関節が極められても決してタップせずにロープまで這う根性は横井も驚かされたという。リングス・リトアニアはこれから大きく発展していく可能性を多分に秘めている。

ちなみにこの大会、カメラが入ったため、テレビもしくはビデオで日本のファンも見られる可能性があるとのこと。ちょっぴり期待しながら、気長に待とう。

（堀江ガンツ）

前田さんのリングスに、もっと追い風を吹かせることを約束します。

あい〜や!

ヤマケンがリングスに帰ってくる

12.21横浜文体

99年1月「エスケープなんかいらん!」とリングスを退団したヤマケンが、エスケープの復活したリングスに帰ってくる!? クラブファイト等を通してサブカルチャーの世界を創り出してきた男が、今になって古巣に戻りたいというその真意とは? リングス参戦表明後のヤマケンを直撃! ヤマケンのリングス、そして前田への想いを聞け!!

聞き手&撮影/松澤チョロ　designed by きおとめの事務所

【会見で飛び出したヤマケン久々のマシンガントークを喰らえ!】

山喧　ボクから言うことといえば、不本意な結果で、1度リングスでの活動を終わってるんで、その中でまだやり残したことがあるんですよ。そういう意味では忘れ物を取りにもう一度リングスのリングに戻って、さらに現在のこういったリアルファイトな状況の中で、リングスにちょっと恩返しするために、ボクを使ってもらえれば間違いなく業界にとっては面白いと思うんで、前田さんのリングスにもっと追い風を吹かせることを約束しますんで。

――参戦のネックになっていた脳の病気は、クリア出来てるんでしょうか?

※この質問にはヤマケンが所属するパルテノンの趙代表が返答

趙　それはすでにクリアできてるんですが、あとはリングスサイドがどのような決断、条件を示してくるのか、それは先方にお任せしてますので、こちらとしてはそれも含めまして対応したいと思ってます。こちらも準備など整えてますし、こちら側としては問題ありません。

――具体的にはいつの大会から参戦したいと思っているんですか?

山喧　まあ出来れば早ければ早いほどいいですね。

――12月の横浜大会でも問題ないと。

山喧　全然問題ないです(キッパリ)。

対戦希望選手はいるんですか?

山喧　やるからにはリングスジャパンの一員の気持ちを持って、リングスネットワークの海外からの強敵と闘ったり、現在参戦している選手に対してリングスジャパンの刺客という気持ちを持ってボクは闘いたいと思ってます。

――山本選手はリングスを退団するときはエスケープはいらないというようなことを言ってましたけど、今回のルール改正はどう思ってるんですか?

山喧　エスケープに関しては、まだ懸念を示すところは若干ありますが、ただエスケープがないと全てのジャンルの格闘家が上がれないと思うんで、まありングスさんだけに限らず、全ての格闘界において、いろんな選手とやらせていただければ、ロープエスケープも仕方ないかと思ってますけど。

――今回の参戦表明は1回限りではなく、継続してリングスに参戦して行きたいということなんですか?

山喧　そうですね。やるからには、リングスを中心に考えていきたいなと思っています。それはボクにしてみれば前田さんに対する恩もありますが、ある意味、本当に格闘技界のことを考えた上で、前田さんがいろいろと考えているることに、ボクも賛同したいという気持ちがありまして、思想の部分でも前田さんと共鳴してる部分はたくさんあるので、つかず離れず、微妙な距離を取りながら、協力していきたいと。

――前田選手に恩返しをしたいというと、例えばパワーオブドリームとして、リングスジャパン勢と対抗戦に持っていきたいとか、そういった願望はあるんですか?

山喧　そうは言っても、現在はリングスジャパンという存在が少なくなっておりますので、ボクとしては過去に参戦した当初とか、田村選手が最初にリングスに来た時のような、対抗戦をしにリングスに参戦するのではなくて、ボク個人として、リングス、そして前田さんの考えを、リングスの選手と一緒に盛り上げていきたいという部分がありますので。もちろん日本人選手ともやらなきゃいけないんと思うんですけど、まず今は少ない日本人選手を育てたり、価値を上げたりすることが先決だと思うんです。滑川からもJTCの会場で「この間後楽園で『ヤマケンさんと闘いたいです』って言いました」って。気持ちは嬉しいですけど、俺とお前がやるときは、滑川はリングスのタイトルを取って、俺はUFCのタイトル獲るなりした上でリングスで闘ったら、リングスの発展になるだろうからって言ったんですよ。そういう意味では、今は日本人選手と闘う時期じゃないんじゃないかと思ってるんで。なんで今、力合わせて支えなきゃいけない人間同士が、傷つけ合わなきゃいけな

去る11月8日、ヤマケンは自身のプロモートを担当している(株)パルテノン・趙氏を伴い会見に望んだ。会見では、リングス参戦の意思をリングスに対しファックスしたことを公表。ヤマケンは「もし参戦を許可してもらえるのならば、前田さんの格闘ロマンの礎となるような活躍を約束する」としているが、果たして前田は?

ヤマケン以外も見所満載!

12.21リングス横浜文体は ここに注目だ!!

金原 弘光（リングス・ジャパン） VS **ポール・カフーン**（リングス・オランダ）

この日のメインを務めるのはもちろん金原。このデビュー10周年記念試合で対戦するのは、リングス初参戦のポール・カフーン。このカフーン、6月のリングス・オランダ大会で、重量級のヨープ・カステルを30kgの体重差をものともせずパンチのみでアゴを砕きKOし、病院送りにした相当の強者だ。しかし金原も、Uインター〜キングダム〜リングスと渡り歩いた10年のレスラー人生で記念すべきこの試合には是非とも勝っておきたい。レッツゴー、金ちゃん!

髙阪 剛（リングス・ジャパン） VS **ヴォルク・アターエフ**（リングス・ロシア）

TK、8月以来のリングス出場! 今年の9月にシアトルから帰国後、自身のセミナーを開設、そして結婚と、心身共に充実しているであろう高阪の今回の相手は、"ロシアの破壊神"ヴォルク・アターエフ! そのアターエフは、先日行われた散打世界選手権・100kg超級で、全8試合KOというすさまじい成績で優勝したばかりで、「日本でも、皆さんにKOを見せたいよ」と言うほど絶好調だ。TKはババルも対戦拒否した破壊神を止めることが出来るのか?

【その他の発表カード】

《アブソリュート級トーナメント準決勝》

リー・ハスデル（リングス・イギリス） vs エメリヤーエンコ・ヒョードル（リングス・ロシア）

クリストファー・ヘイズマン（リングス・オーストラリア） vs エギリウス・ヴァラビーチェス（リングス・リトアニア）

《ユニバーサルバウト》

門馬秀貴（A3） vs 佐々木恭介（U-FILE CAMP）

第2回KOKリミテッド・優勝者 vs 未定

リングス「WORLD TITLE SERIES ～アブソリュート級世界王座決定トーナメント～
12月21日（金）横浜文化体育館 開場 18:00／開始 19:00
【チケット発売場所】各種有名プレイガイド等にて。デジシートでも販売
< http://www.digiseat.net/rings/ >
【お問い合せ】（株）リングス 03-3461-0257

ヤマケンのリングス参戦表明を聞き、一番喜んでいるのはこの男かもしれない。9月の後楽園大会で勝利を収めた滑川は、リングスを退団した先輩選手と闘いたいとアピール。その中には当然ヤマケンの名前もあり、熱い男同士の対戦が望まれるところだ

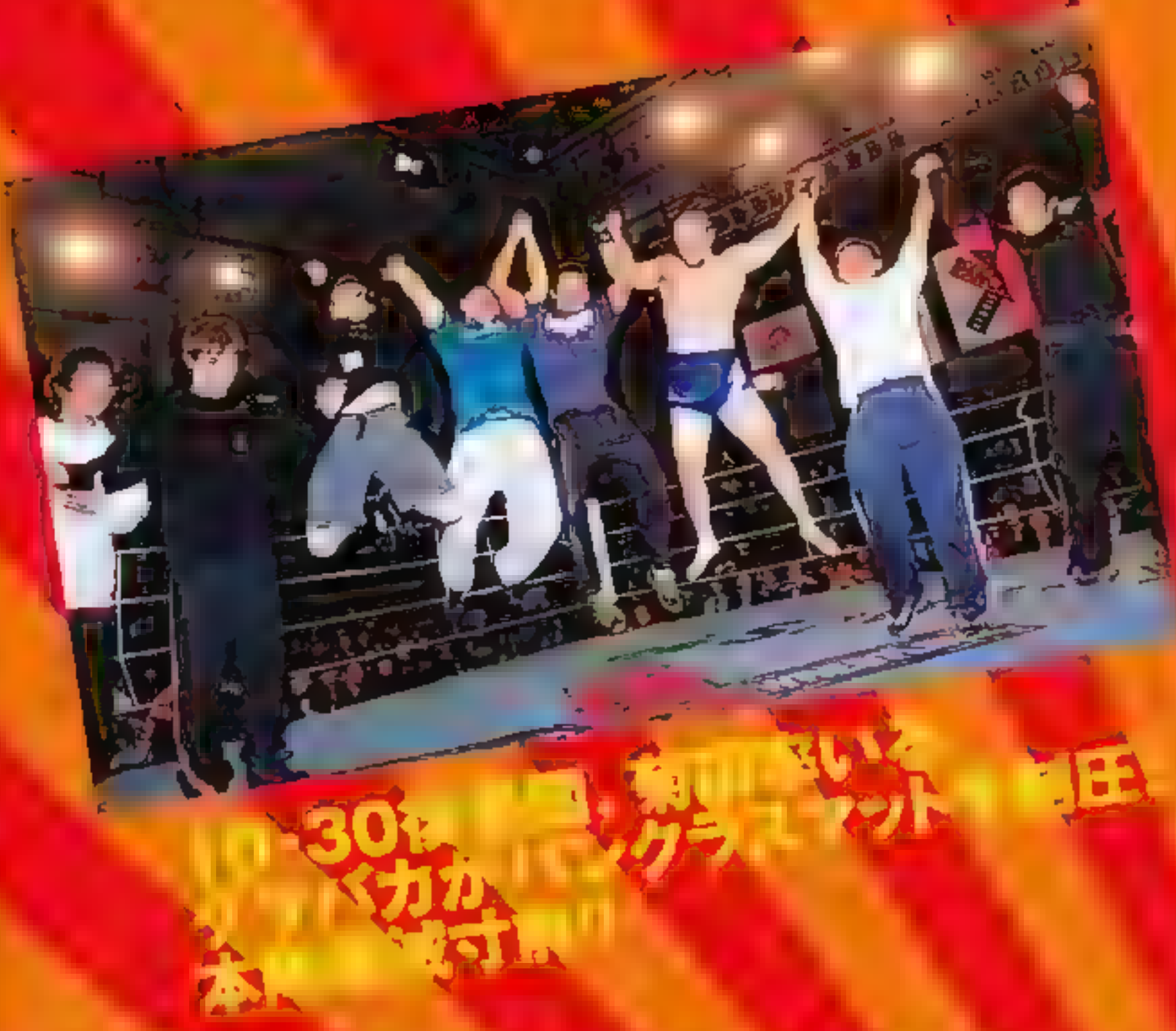
どんなタイプの選手であろうと、試合内容は自信があります!

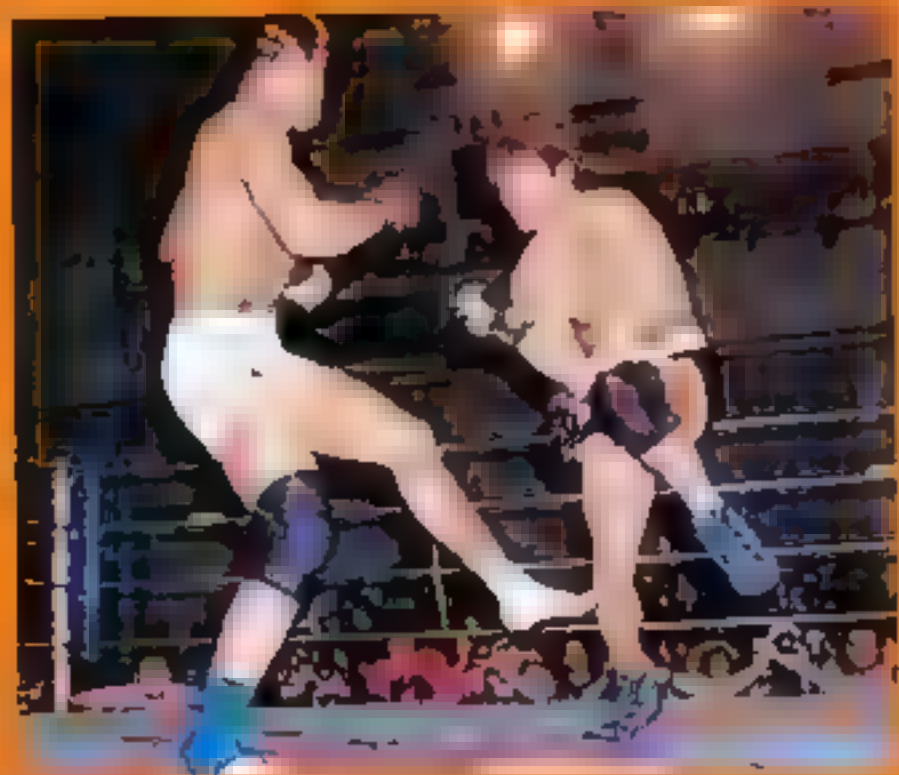
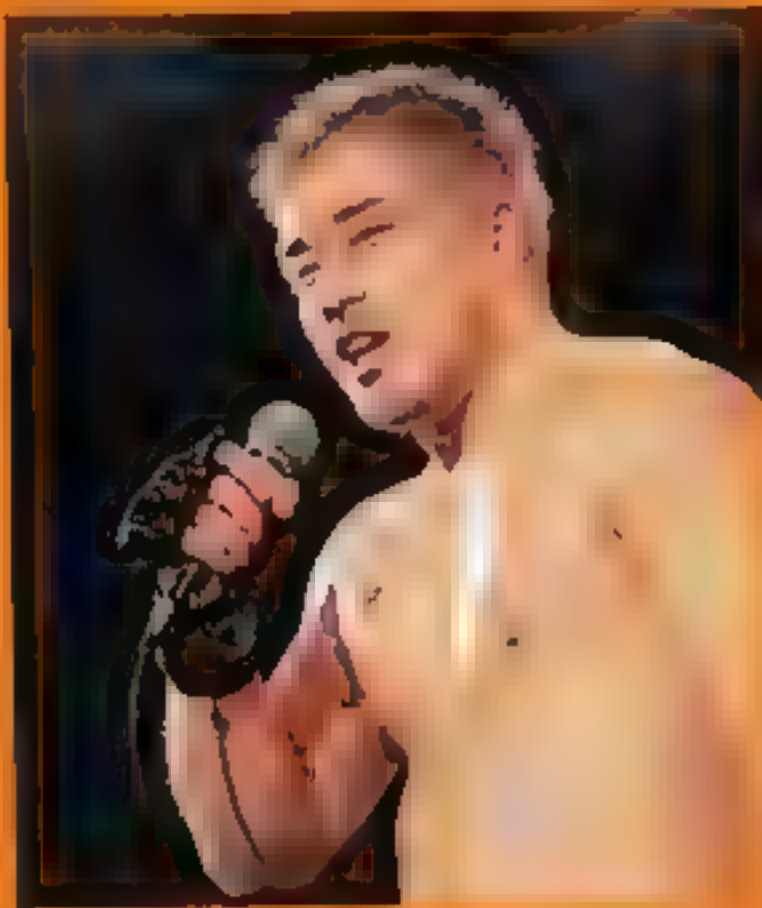
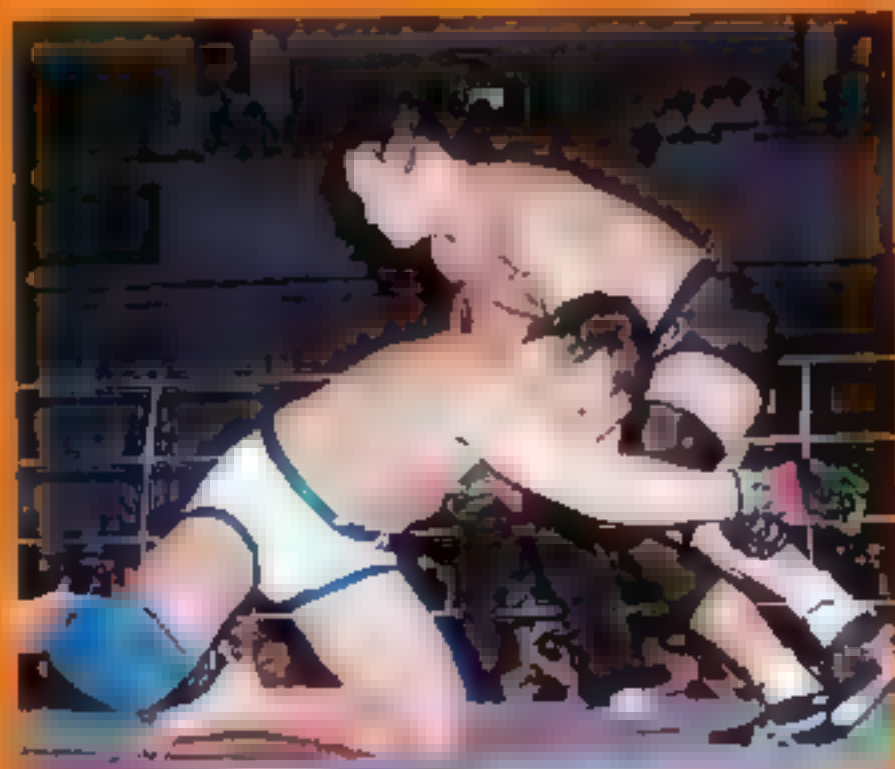
いんだって。もう時代は流れてて真剣勝負で勝っていかないと、俺達の正義が守られない時代になってるんだから、なおさら無駄な争いは避けた方がいいんですよ。やるべき人・場所で根性見せればいいんですよ。やるべき場所で根性見せない人がいっぱいいるでしょ?

――いっぱいいますよね。

山喧 だからマット界の価値が落ちていってると思うし、ボクはそういう時期だからこそ、メディアがこれだけ格闘技を伝えている時期だからこそ、もう一回メジャーなステージで、本物の格闘技で客を呼びたい。で、ヤマケンは面白いって言われたいし、言わせる自信があるんで。対戦相手もボクに相応しい相手が必ずいるはずだし、どんなタイプの選手であろうと、ボクが絡んだら試合内容を盛り上げる自信があります（キッパリ）。だけどやるからには、今、リングスに必要なのはお客を呼ぶということ。ボクが今回参戦するってことで、それだけでいいのかもしれないけど、それプラスアルファが欲しい。それは対戦相手。これがいい相手なら、そいつも客を呼べれば、ボクも客を呼ぶから。それがぶつかれば客がもっと膨れ上がるんで。それをボクは期待している。あとは前田さんが、「あそこ行って来い」、「ここに行って来い」「これを用意しろ」とか言ったら、全部その通りに用意するから。それをクリアした上で、ボクは必ずリングスに上がりますよ。そういう意味では迷いはないです。

※何やら自信ありげな表情で会見を終えたヤマケン。すぐさま前田社長から厳しい返答が返ってきたが、それでもヤマケンは「俺の中で今度の横浜大会に出ることは決まってるから」と不敵な笑み。冬の横浜で何かが起こる

ヤマケンの参戦表明を受けて前田は、明らかに嫌悪感を感じた様子で、「彼は頭の方は大丈夫だとは言ってはいるんですけど、正直な話、全然まずい状態だと思いますよ。何らかの確証がない限り、彼を当時に比べて過酷なルールになったウチのリングにあげることは認められないですね」とコメント。その後、リングスはヤマケンに対し、「万が一、出場を考えるのであれば、第三者でありリングスが指定する医院でキチンとした検査を行った結果を待ってから」という条件を提示した。ヤマケンにとっては、これ程の大きいハードルはないだろう。ヤマケンはこのハードルをクリアして、晴れてリングスのリングに戻ってこれるのか? この後のヤマケンの動向に目を離すな!!

拝啓
尾崎社長
今のパンクラスは
抜群です！
いや、これホント!!
叩いた時期もありました　貶した時期もありました
しかし今のパンクラスには本誌も正直、脱帽！　選手が怒鳴れば客も言い返す
グラバカが最強の格闘術を見せれば、鈴木譲りの魂のKO劇もある
退屈な試合を見たけりゃ他行きな、スバリ言って今のパンクラス、最高のプロレス団体です！
文／大坪ケムタ
Two Three

パンクラス東京＆横浜 vs グラバカ 5vs5マッチ RESULT

[先鋒戦]
○三崎和雄（1R0分8秒 KO）冨宅飛駈×
大会直前、伊藤のケガで代打出場となった冨宅、準備不足にしても8秒KOは旗揚げメンバーには重すぎる現実……　勝った三崎は横浜でランキング3位のライトルと対戦、勝てば次期王座挑戦の声も当然上がるゆえ負けられない一戦となるだろう

[次鋒戦]
○窪田幸生（2R0分56秒 KO）石川英司×
試合後は「シャイニングウィザードを出したかった」と余裕も見せた窪田。これでDEEPの坂田戦に勝てば苦節4年、遂に爆発か？　一方、仲間のグラバカにすら酷評される石川、この日も見返せず……、このまま善戦マンで終わっていいのか？

[中堅戦]
△佐藤光芳（3R判定1-1ドロー）渡辺大介△
今年一年の対抗戦経験が生きたか、寝技対策が徐々に出来てきた渡辺。大将・郷野に「計算外の引分け」と言わせたのは胸を張っていいだろう　佐藤はポジショニングは圧倒していただけにドローという結果は対抗戦に対するモチベーションの差か？

[副将戦]
○佐々木有生（1R3分1秒 腕ひしぎ十字固め）石井大輔×
盤石の勝利の佐々木は試合後「もう一度、美濃輪さん、近藤さん待っていてください」と自信たっぷりのマイクアピール　石井は得意の打撃で負けたのは痛いが、その存在感は毎試合ごとに大きくなってきている　次は郷野戦あたりが面白いのでは？

パンクラス後楽園大会にハズレなし！グラバカ人気もやっと実力に追いついてきたぞ！

古き良き昭和新日をイメージして「PRIDE」を見に行くようになるも、そのピークは去年まで。ズルズルと見に行くも先日の惨憺たる東京ドーム大会にガッカリした人。

前田日明を追いかけて早や10年。前田の遺伝子を求めて追いかけた田村・ヤマノリは居なくなるわ、時代に逆行しエスケープ復活するわの現在のリングスについていけない人。

まだ遅くない、今のパンクラスこそアナタが見るべきものがある。世界最強の男・菊田早苗率いる格闘家軍団と、鈴木みのるの遺伝子を継いだプロレスラーたち。この対抗戦が生み出す殺伐とした空気、その気が生み出すファンの怒号と歓声。

9月の横浜大会、そして10・30後楽園大会のパンクラス東京・横浜連合vsチーム・グラバカ対抗戦にあったもの、それこそが「PRIDE」やリングスファンが見たかったものではないか？

9・30横浜文体での菊田vs美濃輪の大勝負に続く形で行われたパンクラス東京・横浜連合vsチーム・グラバカ5対5対抗戦。試合前の「もう大将戦は横浜でやってますからね」という郷野の言葉にある通り真のトップ決着はついているのもあり客側はやや冷え気味かなと個人的には思っていた。それが蓋を開ければ満員の客！　集客的には不利な火曜日の後楽園でこの観衆。パンクラスの勢いは本物であり、グラバカの人気が実力にやっと追いついてきたと確信させるものがあった。

しかも対抗戦第一試合が憎たらしい程に圧倒的！　ネオブラッドトーナメント優勝以来の出場となる三崎和雄が伊藤崇文の代打・冨宅飛駈を強烈な右ストレート一発で8秒葬。まさに何も出来なかった冨宅はノーコメント、重く静まりかえる東京・横浜勢。

しかし続く窪田幸生が一気にムードを変える一仕事！　極めの弱さからこれまで地味な印象だった選手だったがこの日は石川英司といつになくアグレッシブな攻防を見せ、最後はヒザが顎にヒットしKO！　涙を流して喜ぶ窪田を父親のように満面の笑顔で抱きかかえる横浜道場のボス・鈴木みのる。鈴木と窪田といえば99年のネオブラッドトーナメントで一回戦負けして観客に詫びる窪田を、リング上構わずペットボトルを叩きつけて叱責した鈴木の姿が思い出される。いずれも横浜道場組らしい光景、しかし今回は勝利なだけに格別なことこの上なし！

続くパンクラスの門番・渡辺大介は実績上位の佐藤光芳との対戦。しかしグラバカ勢との対戦の実績とハートの強さか、渡辺が大善戦！　ポジションは取られども食いついて決定的場面は与えず、対抗戦では珍しいスイープ合戦まで見せる。結果は引き分けなれど、「まだまだ未熟だけど、僕達がパンクラスを守る」との力強い渡辺の言葉に近藤・美濃輪に続く世代の成長と期待を確かに見た！

ここまで共に一勝一敗一分で休憩とは、「浅ヤン」で作られたような好展開！　流れを決める副将戦は石井大輔vs佐々木有生。豪腕野郎と寝技師の対決は予想通りタックルを仕掛ける佐々木と、それに付き合わずひたすらスタンド勝負の石井。しかしそのスタンドで石井がKO同然の左ハイを喰らう！　そのまま佐々木は腕十字を極めフィニッシュ。終わってみれば総合力に勝る佐々木の完勝。しかしクラブファイトで自信がついたか、「殴り勝つ」というスタイルが身に付いた石井も醸し出す雰囲気や良し！　近藤と二人してジャパニーズ・シュートボクセスタイルを確立してほしいもの。

後がない東京・横浜勢の大将は普段の試合は地味ながら、「ここ一番でもやっぱり地味な試合で結果を残してきたKEI山宮。対するは渡辺を血祭りに挙げた6月以来のパンクラスマット登場となる郷野聡

郷野はバックマウントを取るシーンもあったが、あえて極めに行かなかったのか？　サディスティックにいたぶるようにフルラウンド、文句なしの3－0判定勝利

郷野の口も悪いが、確かに前王者がここまで遊ばれ、バックドロップで[illegible]度も投げられるというのは失態以外の何者でもない。ここからどうやって復活するんだ、山宮!?

スタンドでは出入りの早いジャブにローキック・裏拳まで出し、コーナーに詰めては膝パンチと全てのポジションで先手を打つ郷野に対し山宮は全てが空回り…

［大将戦］
郷野聡寛（3R判定3-0）KEI山宮×

試合後の郷野は「最近ロイ・ジョーンズJr.のビデオを見て感化されてたんで、フルラウンド遊んでやって判定勝ちしようと思ってたんですよ。今60kgのボクサーと同じレベルで練習してるんで、あんなスローなパンチは当たりませんよ」と完全に山宮を見下したヒール発言。美濃輪戦に関しては「横浜でボスに一方的に負けてるのに『負けてない』とか言ってるの聞いてカッコ悪いなと思って興味なくなりましたね。まぁパンクラスの選手の誰とでも遊んであげますよ」と言いたい放題。はたして、この口を近藤は封じられるのか？

寛。総合力、特に蹴り・関節技では郷野がはるかに勝るだけに、磨いてきたボクシング技術で山宮がどこまで……と思いきや、完全に遊ばれて結局3－0で完膚無き判定負け。これで3勝1敗1分、菊田vs美濃輪戦に続いて、対抗戦でもグラバカがパンクラスマットを制圧した！

そして試合後、マイクを握った郷野が強烈なアジテーションをブチかます！「オイオイオイオ〜イ！　前パンクラスチャンピオンはこんなもんか？　俺が美濃輪とやるのはまだ早いと言ってるヤツ、目を覚ましてくださ〜い！」とまさに小川バリの過激な挑発に沸き返る後楽園。「フザケンナ、郷野！」「グラバカ出ていけ！」と罵れど勝ったのはグラバカ、そのマイクは離さない。続けて「俺とボスと佐々木とでブラジリアントップチームと3対3やらせてください！　もう日本じゃ俺たちの相手になれるチームいねぇよ！」と尾崎社長に直接要求。「格闘技」のリングでここまで言い放った選手が今までいたか？　それに対して尾崎社長もメイン後、満場の客の前で切り札的カード「近藤vs郷野戦」を電撃発表し、当然客席大喝采！　と、この展開はもう「プロレス」以外の何物でもない。しかも、最上級の。

後日発表された12月1日の横浜大会は再び対抗戦モード！　近藤有己に加えて渋谷修身も出陣と、生え抜き第一世代のトップが揃って迎え撃つことになった。

近藤は6月のUFC、8月のDEEPと2連敗中で決して上り調子とは言えない。DEEPのパウロ・フィリョ戦ではレスリング技術の向上も見えたものの、日本屈指の寝技師にそれが通用するか、というと甚だ疑問。打撃に関しても相手は一流。近藤に期待するのはただひとつ、センスである。といってしまえば身も蓋もないが、それ以外に勝てる要素が見あたらないのも事実なのだ……。しかしキャラは正反対なものの、近藤と美濃輪の試合はいずれも本能で闘う天才型のそれ。昨年のUFC、カフェ・ダンテス戦

この日の郷野の試合を見て「今日の試合はよい資料になった。(弱点は)見えました。いろんな意味で」とやけに余裕のコメントを出す近藤。鈴木も「グラバカに想像以上の物はなかった」と言うが…勝算はホントにあるの？

での逃げっぷりに、國奥麒樹真をKOしテイト・オーティズを慌てさせた飛びヒザの当て勘の良さを見ればそれも納得だろう。勝敗はどうあれ、菊田vs美濃輪戦に負けず劣らずの激しい試合展開は間違いない。鈴木戦、フランク・シャムロック戦、サウロ・ヒベイロ戦、「ここ一番で驚異的な勝利を手にしてきた近藤の天運が勝つか、総合力に勝る郷野が圧勝するか？

また渋谷の初グラバカ討伐出陣も見逃せない。同じ生え抜き一期生ながら近藤の二番手という印象から抜けきれない渋谷。それは「ひとつ上に行く試合」がまだやれてないからだろう。真のトップ選手は、誰しもひとつの試合がターニングポイントとなっている。近藤ならフランク戦、美濃輪ならリボーリオ戦。前田ならニールセン戦宇野薫ならルミナ戦か。ともかく本人の持てる以上の力を発揮し、なおかつ観客を感動させる試合。一般的に言えば「ブレイクした」試合。これが渋谷にはまだない。船木誠勝、セーム・シュルト、ティム・レイシック等、「ここ一番では必ずといっていいほど負けている。今回の佐々木戦はこの後も続くグラバカ対抗戦との初戦、ここで負ければトップ2人である菊田&郷野との対決はしばらくは無いだろう。この正念場を渋谷がどう越えるかで、対抗戦の主役か外人の門番&若手の壁役か、来年の渋谷のポジションが決まる。その位大事な闘いになると断言出来る！

パンクラス最後の希望は近藤&渋谷！生え抜き勢がグラバカを止めるか？

もう一つの対抗戦は菊田vs渡辺。菊田にとっては若手相手の軽い試合だろうが、渡辺にとっては降って沸いたビッグチャンス。グラバカ退治に明け暮れた1年の締めくくりに相応しい、来年のパンクラス本隊若手の希望が見える一戦を期待したい。

また美濃輪の復帰戦もありと、今年最強メンバーが揃った12月横浜大会。しかし対抗戦の盛り上がりはイイ事なのだけど、それに比べてベルトの盛り上がりがイマイチなのが苦しいところ。10月の後楽園もセミが終わった時点で帰る人もチラホラいたくらいだ。そのメインで行われたミドル級選手権もRJWからの刺客・星野勇二をネイサン・マーコートがキッチリ極めたから良いものの、これが判定ズルズルだったら興行としては締まらない。横浜大会もそういう意味ではセミのミドル級防衛戦・マーコートvs國奥、ヘビー級王座決定戦・高橋義生vs藤井克久の、いかに試合内容で見せるか、という責任はかなり重い。対抗戦の熱を冷まさず、ベルトの権威を上げるだけの試合が出来るか？

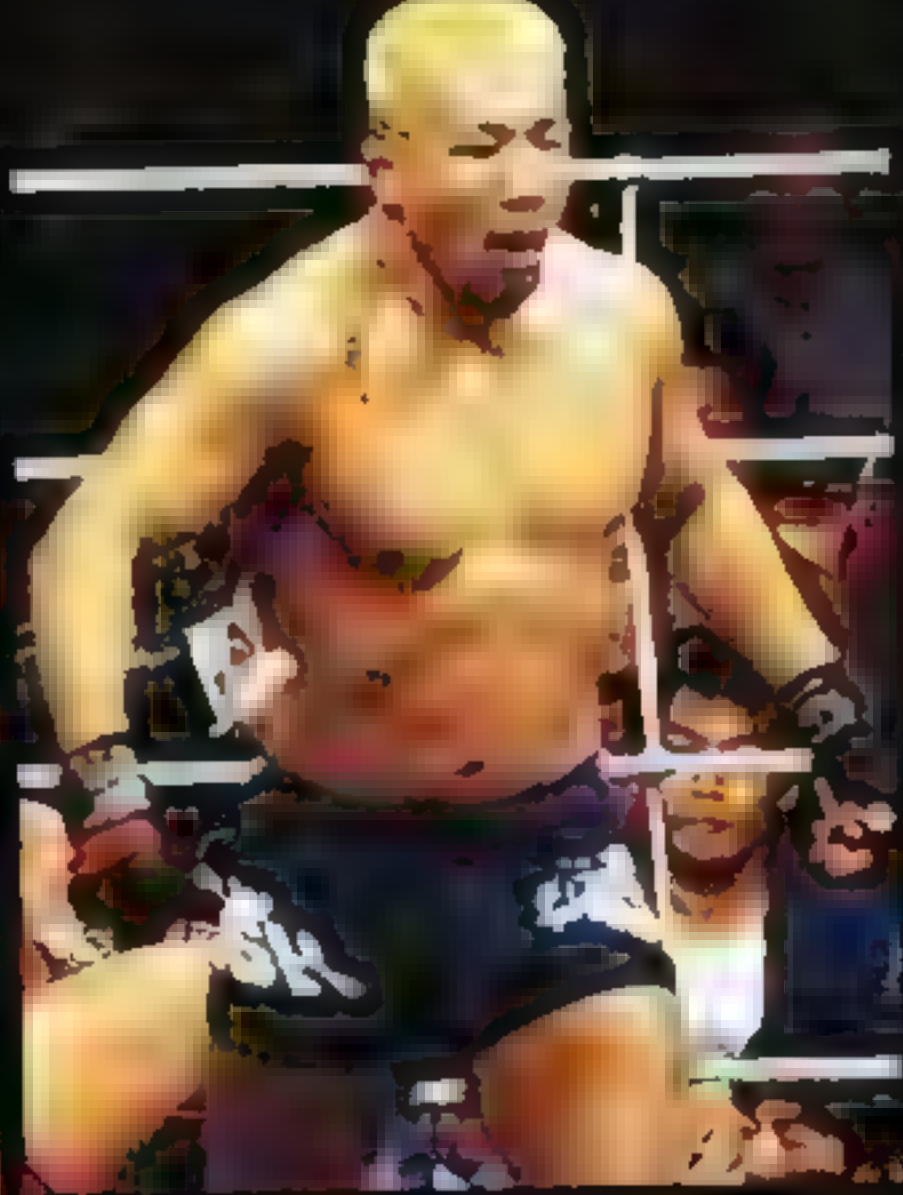
主力は横浜大会に行ってしまったが忘れちゃいけないのが12・23ディファ有明のDEEP。5試合にパンクラス勢が出場、しかも全て他団体・フリー選手とこちらも対抗戦ムード。注目はコンテンダーズ3でドローとなったカードが総合ルールで再戦となるパンクラス横浜の大石幸史vs村浜天晴に、10年前同じレヴェイトジムに通っていた二人の対決となる伊藤崇文vs日高郁人、そして極めつけは後楽園でのKO勝ちで調子に乗る窪田幸生と、常々パンクラス勢との対戦を訴えてきた元リングス・坂田亘の一戦。

また他団体興行といえば11・21キングダムエルガイツの後楽園大会に稲垣克臣が出場し話題を呼んだ。今回本誌進行の都合上結果は分からないが、来年以降のキングダム選手、特に入江秀忠・今成正和の参戦に期待したいところだ。

ふと思い出すと去年の12月のパンクラスといえば、ガラガラの武道館の船木引退興行、近藤のUFC挑戦失敗と船木引退により新生になったはずが、お先真っ暗だった。それに対してリングスは世界最高クラスの選手を集めてKOKトーナメントを開催し、「PRIDE」は桜庭和志がシャノン・ザ・キャノン・リッチ、ハイアン・グレイシーを連覇していたあの頃。

あれから1年――誌面やTVの露出量ではまだ負けているかもしれない。だがこの一年、最も濃く熱い試合を見せてきた団体は何処だったか？　答えはもういわずもがな、である。

今一度言おう。アナタが「PRIDE」で見たかったもの、リングスで見たかったものはここにある。今ならまだ間に合う！

再び國奥の挑戦を受けるマーコート。来日当時に比べグッと安定感が増し、意外な長期政権も狙えそう。一方の國奥は今回まさに背水の陣。渋谷・近藤と並んで生え抜きの意地を見せろ！

トーナメント予選でのマルセロ・タイガーのサミングによる目の負傷が大事に至らず一安心の高橋。あとはヘビー級初代王者のベルトに加え、対抗戦以上に盛り上がる試合内容も期待したい。

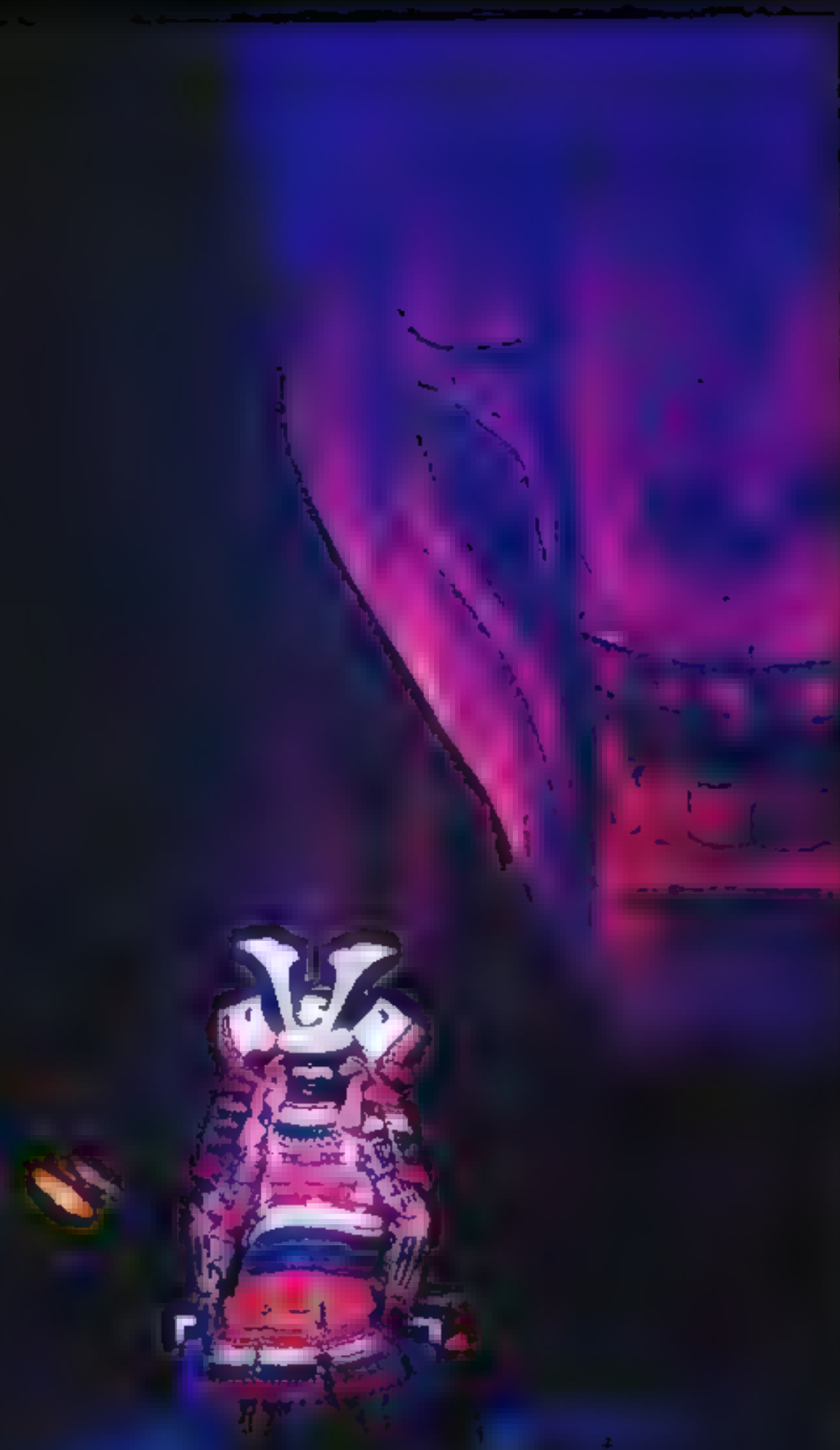
大乱闘
60、70年代NWAのドイツ人写真家による
記録写真。プロレスファン必携の一冊!!
本体価格7500円＋税
大巨人アンドレ、ハルク・ホーガン、ブラッシー、
シーク、ジャイアント馬場、小鹿、マサ斎藤ほか。
対決!
流血試合VSビキニ姿の
キャットファイターズ対決!!
UNヘビー級王座を奪取した、
若き日のアントニオ猪木
全国書店にて、絶賛発売中!!
大乱闘
ISBN4-88783-080-7
30×37センチ 488ページ
ご注文は全国の書店様にて可能です。
直接購入をご希望の方は、代金引換宅配便（クレジットカード可）にて発送させていただきます。送料・手数料は無料です
ご不明な点は下記までお問い合わせ下さい。
発売元:タッシェン・ジャパン株式会社　〒107-0062 東京都港区南青山5-11 23アトリエアークビル TEL:03 5778 3000　FAX:03 5778 3030
「大乱闘」ご注文書　※このご注文書は、ファクシミリまたは郵送で弊社までお送り下さい。
お名前
ご住所　〒
ご注文冊数　＿＿冊
定価7 875円
本体価格7,500円＋消費税375円
お電話番号　（　　）
商品お届け希望日　/　/

真撃から今後のマット界の動向まで教えて、破壊王!!

超スーパーヘビー級のバットマン

橋本真也

ギョ！　ツッコミを入れずにはいられない見事なコスプレっぷりの破壊王である。マット界の話題の中心は、猪木軍VSK－1や『PRIDE』と総合格闘技の方に向いているが、そこに待ったをかけなければいけないのが真撃である。真撃と言えば、破壊王&暴走王のタッグ出陣が決定したり、前大会でのUWFルールの採用、さらには高山の「真撃は中途半端」との発言まで何かと話題満載。今回は真撃からマット界の動向まで破壊王を直撃

／平工幸雄

——どうしたんですか、そのバットマンは？
橋本 これは借り物だよ（笑）。映画監督の和田さんから借りてんの。返さなきゃダメなんだけど、[illegible]。
——それは借りすぎです（笑）。この間の真撃武道館大会の感想を聞きたいんですけど。実際、観客動員の方は[illegible]……。
橋本 （違って）いや、ウチは少なく発表してんだよ（笑）。
——新日本とは違うと？（笑）。
橋本 前回より入ってんだから。興行的には成功。ただ、俺が望んでるものが、超満員を望んでる、というか、6分7分でいいかなって思ってて[illegible]てるわけじゃないんで。まあでも、[illegible]まだ3回目だし、右上がりで上がってるんだったら、いいかなって思うけどね。
——登場場面は毎回、度胆を抜かれますけど、今回は般若の中から登場で、ステージ中央には兜が置かれてましたけど、あれは完璧に橋本さんの趣味ですよね？
橋本 いや、あれは（主催者の）ステージアさんが考えたんですよ。俺は演出に関しては一切口出ししてないですから。
——そうだったんですか[illegible]か「何でオレの刺青が、あんな垂れ幕に！」って言ってたみたいですけど（笑）。
橋本 [illegible]の趣味を汲んでやってるんじゃない？（笑）。[illegible]んなの[illegible]ないか」って。あの、なぎなただって、一分前に折れたんだよ。
——折れちゃったんですか？（笑）。
橋本 大変だったよ。裏でダ[illegible]テープでグルグル巻いてな。
——舞台裏ではそんなことがあったんですね（笑）。で、今回、橋本さんはメインでゴルドー先生と闘ったわけですけど。
橋本 そうだね。俺は未だにZERO-ONE立ち上げてから体調良かったことが一度もないんだよ。今は、ちょっと前よりはいいかなって思うけど。それに自分はプロデューサーって言われたりする部分もあるんで、一選手としてワザと厳しい相手を選んだんだよ。
——かなり厳しかったですよね（笑）。
橋本 ホント、ナメてかかったら何されるか分かんない。下手したらトコトン潰されるから。他の選手とかは俺に気使ってきたりする[illegible]のに。[illegible]そんなの試合になったら関係ないからな。
——まあ、そうですよね（笑）。
橋本 やっぱりゴルドーは怖かった（苦笑）。実際に、あれだけ正拳突き受けたんだからな。
——でも、高岩選手の時のゴルドーも凄かったですけど、それに輪を掛けて、喰らっちゃってましたからね（笑）。
橋本 ヒネリがはいってたしねぇ。空手のパンチってのはグローブを外してこそ活きるんだよ。小川とやったデンプシー。ああいうボクサーのパンチは速いよ。速いけどグローブはめて出来るパンチなんですよ。ね、要は握ったらあんな速く打てない。ガチンガチンに握って、その固いものをめり込ませるわけだよ。ただし、パンチはボクサーほど速くない。当たる瞬間にねじるんだよ。それが正拳突きね。だから、ゴルドーも（グローブを）外して。あれは本当にキツかった（苦笑）。あの〜、北斗の拳で秘効を突かれた人間みたいになったよ（笑）。
——爆発しちゃダメじゃないですか（笑）。
橋本 でも顔には一発来ただけだから。顔に来たらオレも行かなきゃいかんけどね。でもホント、何気ないことが勉強になりましたよ。最初に喰らった牽制のローキックだけでしっかり入ってましたから。それが未だに痛いし。本当に痛いヤツって何気ないヤツなんだよ。でも、一番良かったのは、気持ち的な部分で魂を注入して貰ったってことだね。
——今はケガとかもあると思うんですけど、「橋本は練習不足なんじゃないか？」って、猪木さんとか馳さんにも言われてますけど。
橋本 そうだね。練習不足っていうのはもちろんありますよ。ただ、旗揚げした頃ほどじゃないやな。あの頃はホントに練習する時間なかったから。でもね、そうなるって分かってて言うヤツはズルイなと思うけどね（笑）。
——正直、ズルイと！（笑）。
橋本 自分らもそうだったはずだよ。状況知ってるクセに言うなと（笑）。

真撃大阪大会での、豪快に壁をブチ破り登場する破壊王にも驚かされたが、今回はゴルドーの刺青がモデルか？ 般若の垂れ幕にステージ上には鎧兜が！ これが真撃！

拳の秘効を突かれた人間みたいになったよ（笑）

10・25『真撃第Ⅲ章』PUTIT REVIEW

やはりというか、破壊王が豪快な払い腰からケサ固めに入ると、ゴルドーは迷わずサミング！ 試合前から十分警戒していた橋本だったが、死神ゴルドーは容赦なし！

高岩のデスバレーボム、田中のスイングDDTと毎回プロレスの大技を喰らってしまうゴルドー。この日は破壊王の正調DDTがゴルドーの頭をリングに突き刺した！

いつものようにグローブを外し死神の形相で正拳突きを連発するゴルドーだったが、最後は古傷のヒザを攻められ逆方エビ固めでタップ。試合後はガッチリ握手の両雄

橋本　そこをワザとつっこんで来るっていうのはね、「きったねぇジジィ達だな！」って。

——アハハハ！　でも馳さんも今は相当忙しいとは思うんですけど、試合に出るときは凄いコンディションで出て来ますからね（笑）。

橋本　いやいや、馳さんはかなり無理してるよ。俺はよく「練習をマジメにやってるように見えない」って言われるけど、それが俺のキャラクターだもん（可愛らしく）。

——確かにそうかもしれませんね（笑）。

橋本　やらないように見えてやってるよって部分もあるんだけどな。

——敢えて言うことじゃないと？

橋本　まぁ今の時点では当てはまりますよ。でも、前より時間取れるようになって来たんで、これから上がっていくと思うけどね。

——試合後、辻さんがリングに上がって花束を渡してましたけど、辻さんは最近ウチの雑誌で、新日にきつめなことを言って、評価が上がってるんですよ（笑）。

橋本　（遮って）辻さんも力抜けちゃってんだろうな。

——フリーになってってことですか？

橋本　いやそうじゃなくて、新日本の試合自体に。「何がしたいのか分からない」って、この間言ってたけど。そんなこと言ったら怒られるけどな（笑）。ただ、そういうこと言って怒るヤツが出てこないとダメなんだよ。今は「はいはい」って笑ってるヤツが多いからな。

——レスラーだったら「なにくそー！」と思わないとダメなんですね。

橋本　いろいろ言われることによって、誰か怒るヤツが出てきて良くなったり、逆の治療法ってあるだろ？　ただ単にそれだと思うよ。辻さんも自分だってクビ危ないのに懲りんとリングに上がってさ（笑）。まあ一つの挑戦状みたいなもんだよな。

——「最近、新日本の会場へ行くと後ろ、誰かに襲われるんじゃないかってヒヤヒヤする」って言ってましたけど（笑）。

橋本　それはそれで辻さんも覚悟決めてるって伝わってくる[illegible]そういう時代ですよ。今まで当たり前であったものがみんな壊れかかってるんだよ。つまんなくなって動かなくなってる。で、ある人が言ってたんだけど、〝運〟というものは、「はこぶ」と書く。動いてこそ〝運〟だと。〝不運〟っていうのは動かないってこと。動かなきゃ運は舞い込んでこないってことだよ。

ゴルドーの正拳突きで、北斗の

——ほぉ〜。

橋本　やっぱし動かなくなっちゃったものは、もうダメだよ。辻さんが言いたいのはそういうとこじゃない？　俺なんかは不運なんだか運がいいのか、よく分かんねえけど（笑）。なんか悲観的な人には、「お前の人生、ムチャクチャだな！」って言われるけど、俺にしてみたら、そういう試練を課せられるのが俺の運命なのかなと思ってるんだよ。

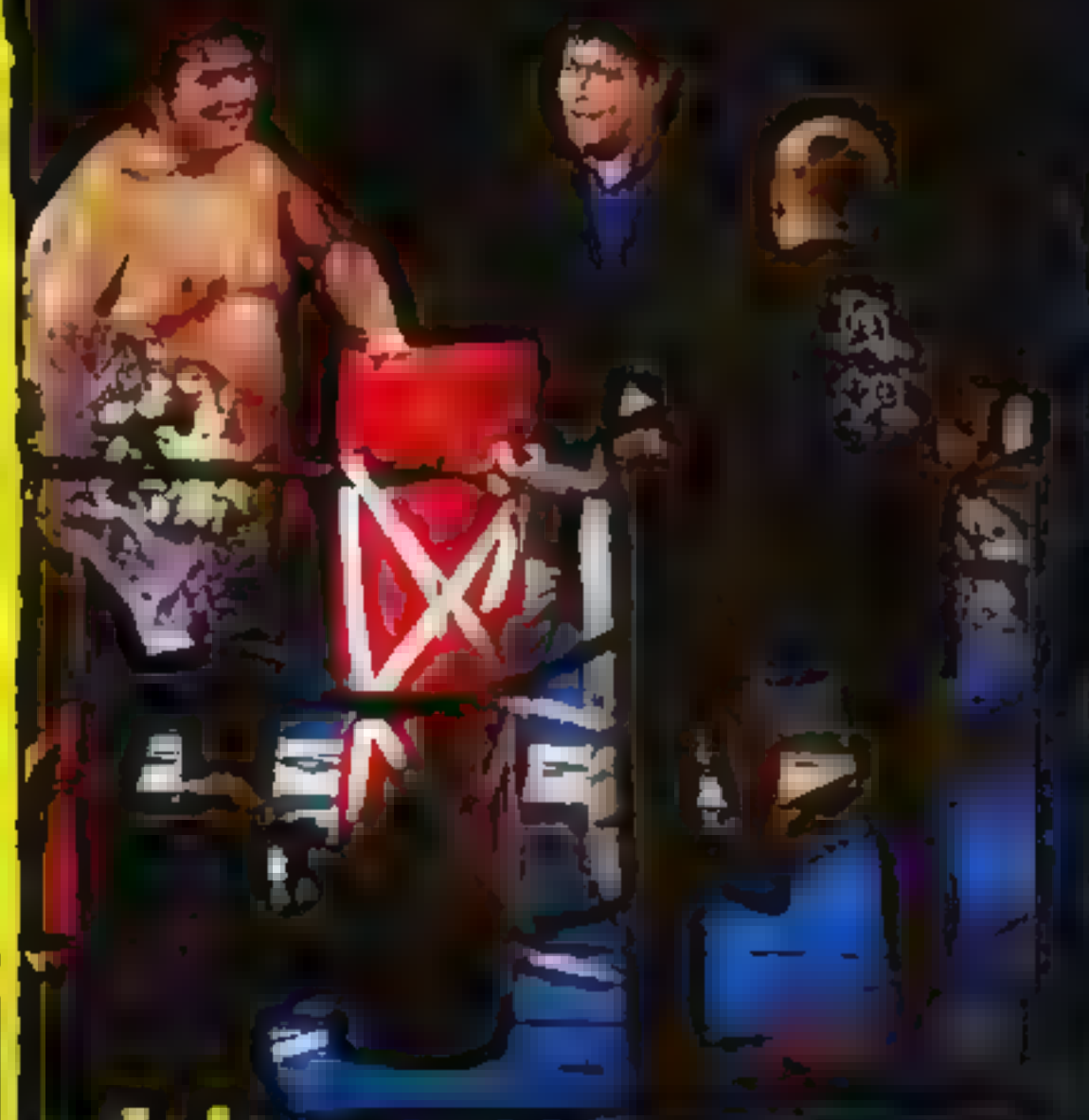
——この間の真撃では、UWFルールの試合が……。

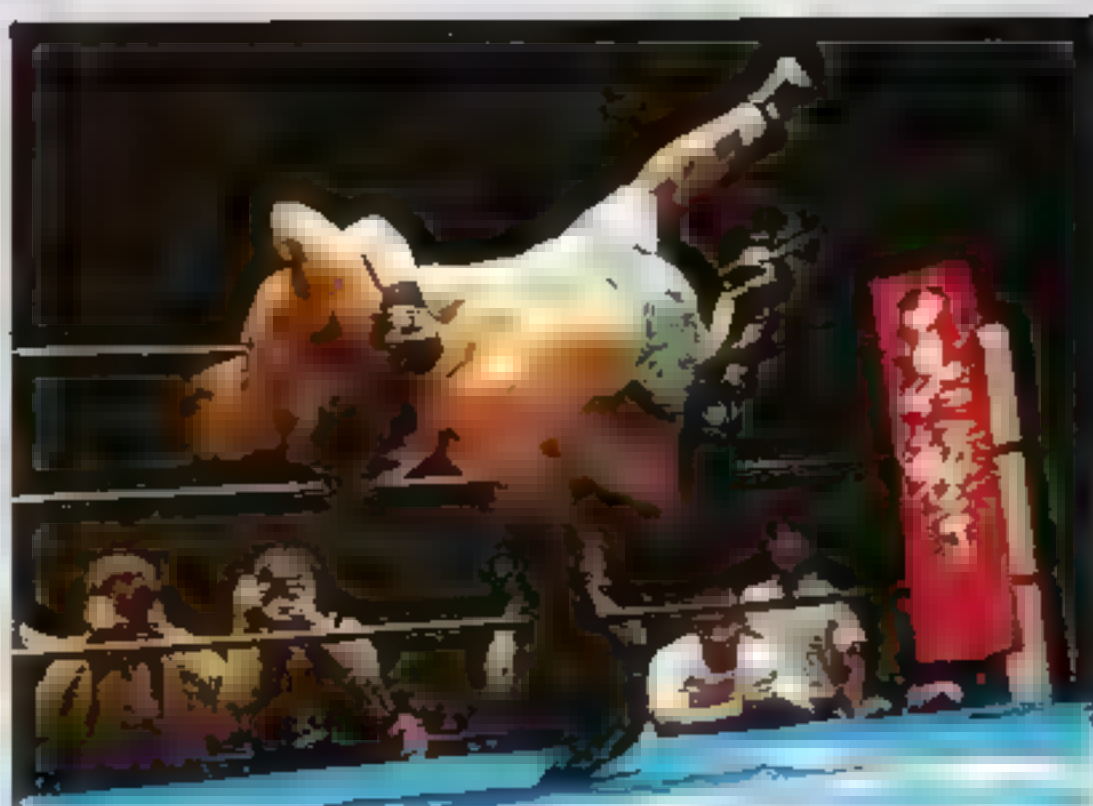
橋本　（即座に）アカン（キッパリ）。あれはまずかったな（苦笑）。

——観客の反応が全てでしたね。

橋本　要はね、UWFだけを観に行く人だけにとってはいいかもしんないけど、プロレスを見に来ている人に関しては、「あ、ちょっと違うな」って感じだろうね。試合した2人もそれは体験したはずなんで。だから、逆に言ったら田村と交流ってのは、あの試合を見る限りはないな（キッパリ）。やっぱり俺達は、お客さんに伝わらないモノをやってもしょうがない。

——Uに思い入れのあるファンも、あの試合はダメっていう声が多かったですからね。

橋本　あの子（大久保）自体が、まだダメだ

「紙プロ」インタビューでの新日に対する衝撃発言連発でアンチ派を黙らせた辻アナ。試合後、新日時代から仲の良かった橋本に花束を贈呈。12・9、実況は辻アナ？

久しぶりの試合となる小川は大歓声を受け入場。何だかんだ言って、やはり小川の試合の注目度は抜群。反則パンチを浴び、オラオラと観客を煽るアピールも健在だ！

目の覚めるような豪快な払い腰から即座に腕十字を極めた小川。なんとかこれは凌いだデンプシーだったが、小川のミドルキックからSTO、最後はチョークでタップ

判定を不服としたデンプシーにセコンドのLAボクシング勢が加わり、小川、村上らUFO陣営と大乱闘！　なぜか乱闘には小川がキックを教わる伊原会長の姿も

俺の中のUWFスタイルは15年前の髙田対スーパー・タイガーや！

な。耕平が逆に引っ張るような形で、「お前、こういう試合やりたいか？」って言ったら「いいえ、やりたくないです」って（笑）。

──橋本さんはUWFスタイルっていうのは、どう……。

橋本　（遮って）いや、俺の中のUWFスタイルっていうのは、15年ぐらい前、用賀の屋外で観た試合なんだよ。メインが髙田伸彦（当時）対スーパー・タイガーだと思ったけど、ホント凄い試合してたよ。俺の中でのUWFはあれなんだよ。中野であり、宮戸であり、安生……昔の安生洋二だけど（笑）。それと髙田延彦、山崎一夫、前田日明。あれが俺の中のUWFだな。

──思いっきり殴って、蹴ってっていう……。

橋本　いやいや、しっかりプロレスやってたよ（キッパリ）。ロープ飛ぶ飛ばないには、こだわってたけど、あの時あの時期は、あのこだわりで良かったんだよ。こっちはなんとかロープに飛ばそうとするし。当時は、あんなことで受けたんだからな（笑）。

──新日本に戻ってきてからは、橋本さんの中ではUWFじゃないと？

橋本　（即座に）完全に敵だよ。それに俺はレガースを否定した人間だから。今でも付けないけど、自分の足が壊れたら壊れたでしょうがないって思ってるし。レガース付けるより、付けない方が痛いに決まってるんだけどな。まあ、今後のことはよく考えなきゃいけないな。

──橋本さんの感触では、田村さんの真撃参戦はちょっと遠退いたかなって感じですか？

橋本　そうやな。まあ、ちょっと暗礁に乗り上げちゃったな（笑）。でも、やりたいんだったらやればいいんだよ！　試しにやってみなきゃ分かんねぇんだから！　とにかく出来ることはドンドンやって、9試合、10試合やる内で、失敗は3試合……ってもいいと思うし。そっからじゃないと始まんないから。

──まさに破壊なくして創造なしと（笑）。

破壊王も観ていた84年10月の旧UWF用賀駅前大会。メインでは髙田延彦（当時・伸彦）が格闘技地獄変第一戦としてスーパー・タイガーと闘い敗れている。ちなみにセミにはクロファットが出場

他にもリングスで活躍していた、ディック・フライも参戦したんですけど、フライ対ケアーは、橋本さん的にはどうでした？

橋本　マーク・ケアーってやっぱり大したもんだなあと思ったね。多分ねぇ、ディックはもっと強いと思うんだよ。ところが、マーク・ケアーっていう名前に負けちゃってたでしょ。それにケアーはあの野郎、殴ってるときにチラッと笑いやがんの（笑）。知らない……殴ってるけど、また本性を出してないよ。なんか、不気味な笑う手前みたいな顔するんだよ、アイツ。ゴルドーとまた違った雰囲気があるよな。

──ケアーの評価は高いんですね。

橋本　ケアーは真撃とかZERO－ONEに対して凄く前向きなんだよ。でもやっぱり俺は強いマーク・ケアーが見たいね。もっと、もっと壮絶な試合出来ると思うし。そうでないとウチで問題になってまで取った甲斐がないからな（笑）。

──予想以上に大問題になりましたからね（笑）。

橋本　だから、どんどんケアーには強い相手ぶつけていくし、腹一杯にさせてフォアグラ状態にさせるからな（笑）。

──おいしくいただくと（笑）。でも、結局ケアー対フライは、試合後の乱闘の方が迫力あったっていう声が圧倒的ですよね。

橋本　ホントそうだよ。だから、もう一回やらしたっていいと思ってるしね。弾けるんだったらもっと早く弾けろってー（笑）。

──いつまでも待ってられないですからね。

橋本　小川とデンプシーも、もう一回やったって面白いと思うしな。デンプシー、アイツは凄いなー　初めてやってあれだから、ちょっと研究したらヤバイよ。寝技もできるしね。でも小川がやって、次に俺がやってって順番に闘ってもしょうがないからな（笑）。まあ、小川は、いずれトム・ハワードと闘うこともあるだろうし。ちょっと油断したら何されるかわかんねえんだよ、トム・ハワードは（笑）。

──真撃に上がっている外人選手は、なにげにそういう選手ばっかりですもんね（笑）。

橋本　アルファローも面白いし。アイツは裏で焚き付けると……。まあ、こんなこと言ったらアレだけどな（笑）。

──荒川さんじゃないんですから（笑）。そういえばフライのセコンドに付いたナイマン

高山善廣（12分10秒 レフェリーストップ）大谷晋二郎

大会前から破壊王＆真撃に対して毒舌三昧の高山。グローブ無しの大谷を見て高山もグローブを放り投げゴング。両者は会場に伝わる説得力のあるプロレスを見せつけた

プロレス大好き人間の大谷は、高山を「バケモノ」呼ばわりすると、得意の顔面ウォッシュを連発！　しかし、これを不敵な笑みで受け止めた高山は怒濤のラッシュ！

超高角度ジャーマンで大谷をブン投げた高山は、すかさずスリーパーを極めレフェリーストップで勝利。試合後、小川への興味を示した高山だが、真撃再登場はあるか？

も大暴れしてましたね。

橋本 次はナイマン出しますよ。

——フライや、ナイマン以外にも初期のリングスにいた外人選手は、真撃向きな選手がたくさんいますからね。タリエル対橋本なんて相当面白そうですけどね（笑）。

橋本 アイツらは両方経験してるからな。ナイマンにしても、まだ埋もれる歳でもないし、リングスを切られたからって、試合しないわけにいかないじゃない。もちろん、ウチに上がったらプロレスであって、プロレスルールでやらせますよ。

——そこは譲れないところですか？

橋本 というか、やっぱり、ふるいにかけて、こっちが適任だって絶対出て来るもんだから。両方こなせるヤツっていうのは、ホントに少ないんですよ。だから、両方こなせるヤツはすんばらしいヤツですよ（笑）。

——大会後、「真撃の芯がやっと見えだした」みたいなことを言ってましたよね。

橋本 前は新喜劇って書かれたけどな（笑）。

——ルール的には、橋本さん的にはどう……。

橋本 （遮って）なんにも難しくないよ！ スリーカウントがないとか、場外乱闘がないだけで、何うるせぇこと言ってんだって思うよ。こんな単純明快なモンねぇんだからな！ なんか文句ある？

——いやいや、ありません（笑）。

橋本 真撃は時間無制限でやってるけど、みんな凄い試合時間早いだろ？

——ああ、そう言えばそうですね。

橋本 精神的な背景がどっかにあるんだよ。何でかって言うと、時間が決まってると安心感ってわけじゃないけど、そういう気持ちが出てくるんだよ。それが、無制限だっていうとき、早く勝負を付けなきゃとか、不思議と早いんだよ。30分引き延ばそうとか考えないからな。だから面白いんだよな。テンポはいいし「終わりはありませんよ」って言うと、早く終わるんだよ（笑）。（いきなり）ラブホテルでもそうだろ？

——えっ、ラブホテルですか？（笑）。

橋本 最初から1時間半しかなかったら、チャッチャチャッチャッーってすませるだろ（笑）。

——確かに（笑）。そう考えると無制限とはだいぶ気も違うでしょうね。

橋本 無制限だとさ、かえってだれちゃうってところがあるんだけど、だけど今はそれが逆にちゃんと作用してるんだよ。「早く終わって、早く次の刺激が欲しい」って（笑）。

——3回やるって決めたら、最初は速攻で終わらせてもいいやって思いますからね（笑）。

橋本 そうそう（笑）。

——さきほど真撃が「新喜劇」って言われた話が出たんですが、言ってた張本人の高山選手も出場しましたよね。大会前は真撃や橋本さんに対して相当毒吐いてましたけど。

橋本 いろいろ言ってるくせに自分だって新喜劇出てんじゃねえか！（笑）。

——高山選手も新喜劇の一員だと（笑）。

橋本 別に俺はアイツに圧力かけた覚えもないし、何もないんだけどな。新日本でアイツと試合したときケチョンケチョンにやったから頭来てんじゃないの？ 「俺は前と違うぞー」って。それは彼なりのやり方だと思うし、それはそれでいいんじゃないの？

——試合後には小川選手と一緒にマット界を盛り上げるためノアに乗り込みたいと言っちゃったわけですけど（笑）。

橋本 ノアさんの名前、まだ出しちゃいけなかったんだけど（笑）。

——暴走しちゃったわけですね（笑）。

橋本 それで破壊や（笑）。でも、それぐらいのことで怒ることかと思ったよ。でもね、これが新日本と全日本のやり方の違いだろうな。ウチらは、やっぱりアントンの遺伝子が流れてんだろうな（笑）。

——そうかもしれませんね（笑）。

橋本 あれは言っちゃいけなかったー（笑）。

——でも、ノア勢と橋本&小川の絡みは望んでいる人が多いですからね。

橋本 小川は猪木祭りはどうすんのかは知らないけど、ノアさんにターゲット絞ったんだったら非常に意味のあることですよ。三沢ってのは、よその体質にそんなに合わせることはしないし、強い弱いは別に、俺なんかより小川を倒すのは上手いかもしれない。俺はストレートで真っ正面から行くしかないけど、三沢だったら空回りさせたりな。大体、死んだフリって言うのが俺はできねぇから（笑）。

俺と小川には、やっぱりアントンの遺伝子が流れてんだろうな（笑）

マーク・ケアー（5分30秒 膝ひしぎ逆十字固め）**ディック・フライ**

リンクスで活躍したフライが真撃初参戦。バーリ・トゥード界からやってきたケアーと対戦するも互いに全盛期の迫力は見せられず。しかし試合後はナイマンも加わり迫力乱闘！

トム・ハワード（5分51秒 TKO勝ち）**ブルーザー・アルファロー**

すっかりお馴染みとなったハワードの相手は自称ストリートファイト400戦無敗というブルーザー。キャラは抜群だったがハワードのグリーンベレー殺法の前にあえなく轟沈！

藤原喜明（4分30秒 ワキ固め）**高岩竜一**

GHCJr王座を獲得した高岩の初試合の相手は藤原組長。ワキ固めで敗れた高岩は「藤原さんという大きな人と僕がやるには10年早かった」と発言。でも、10年後の組長って？

俺なんかより三沢の方が小川を倒すのは上手いかもしれない

――蝶野さんとは違って（笑）。

橋本　俺は今、藤田のことが気になってて。全部、藤田が背負い込んじゃってるからな。K―1対猪木軍っていうのも、ずっと続くと思えないんだけどなぁ。俺は石井さんが主導権、取ろうと思ってるとしか思えない。K―1はテレビ局だって全部制覇してるじゃない。気付かなきゃダメだよ、ホント。プロレス界は業界内で喧嘩ばっかしてさぁ。潰し合いばっかりしてる暇はねぇんだよ！　だからこそ俺らで、他が絶対手出しの出来ない頑丈なものを作らなきゃいけないんだ。

――それは期待してます。で、現時点ではいろんな問題もあるんでしょうけど、橋本さんは、猪木軍対K―1っていう流れにはそれほど興味はないんですか？

橋本　いやいや、俺が昔のまんまだったら出てますよ（キッパリ）。でも、今は外れちゃったけど、大体、最初に話したの俺と角ちゃん（角田信朗）だもん。

――角田さんとは仲いいみたいですからね。

橋本　ただ、上としくっちゃった（笑）。最初は、石井館長が新日本と話したいって感じで、永島のオヤジだけが知らなかったっちゅうか、冷たい態度を取ったらしいんだよ。それがいつの間にか、K―1に相手されなくて、猪木さんに話が行ったみたいだから。

――今のところZERO―ONEの興行は発表されてないし、もしかして今度の真撃の大阪大会が今年最後の試合になるんですか？

橋本　ちょっと今、指示して会場探せって言ってるんだけどね。なかなかないんだよ。まぁ、後楽園クラスのところでどうにかしたいんだけどな。でもアメリカで[illegible]かもしれない、大晦日には紅白だな！（笑）。

――もしかして出るつもりですか？（笑）。

橋本　いや、去年は紅白見れなかったから。あん時は猪木さんとも良かったんだけどねぇ（しみじみと）。なんか、人っていうのはわかんないもんだね。それもたった一年だからな。だいたい、俺が何かしたかって言いたいよ。

――猪木さんは「PRIDE」のリングでビン・ラディンにかけてビン・タディンって言ってましたけど。弱火ですけど（笑）。

橋本　ビン・ラディンより悪党だよ（笑）。

――アハハハ！　まぁ、この号の発売までには、さすがに真撃大阪大会のカードも発表されてるとは思うんですけど（笑）。

橋本　今年最後の真撃だし、きっと何かが起こる！……かもしれない（笑）。

――どっちなんですか！（笑）。

橋本　とにかく見に来い！　以上！

【11月6日／ZERO-ONE事務所にて収録】

12・9『真撃』大阪城ホールにアイアンマンが鳴り響く！

破壊暴走コンビ・橋本真也＆小川直也が暴走戦士ロード・ウォリアーズと正面衝突　という、ある意味驚愕のタッグ対決が有力視されていた真撃大阪城大会だったが、締切間際になって、このカードは消滅に　変わりに決まったのがマーク・ケアーとトム・ハワードのリアル・アメリカンパワーコンビ　小川とハワード、そしてケアーの激突は注目！　破壊王と暴走王の合体攻撃は出るか？　紅白もいいけど、とにかく凄ェ闘いを見せてくれ！

リンクス離脱組がいろんな意味で活躍している昨今、同月の「DEEP」にも参戦が決まっている坂田亘が真撃初参戦！　坂田と言えば相当なプロレス嫌いで有名だったが、噂では自身の道場で逆水平チョップの練習や、オリジナル・ホールド『ワタル・ロック』を完成させたという　一方、星川もオリジナル・ホールド「流星ロック」を持っているが、この試合の最後に決まるのは「ワタル・ロック」か？「流星ロック」か？

毎回、真撃では強豪相手のしんどい闘いが続く田中。今回も元K―1戦士のヌメリックの打撃に苦しむも、ミサイルキックや弾丸エルボーで相手をフッ飛ばすなど見せ場を作った

UWFルールで行われた耕平と田村主宰U FILE大久保の一戦だったが、会場の反応はイマイチ。勝った耕平は田村へ挑戦状を叩きつけたが……正直、実現は難しいだろう

真撃では未だ勝利を掴めていない星川。この日はUPWのヘンダーソン相手にトップロープでの攻防も見せつつ、最後は流星ロックで絞め上げ嬉しい初勝利。さあ、次は坂田だ！

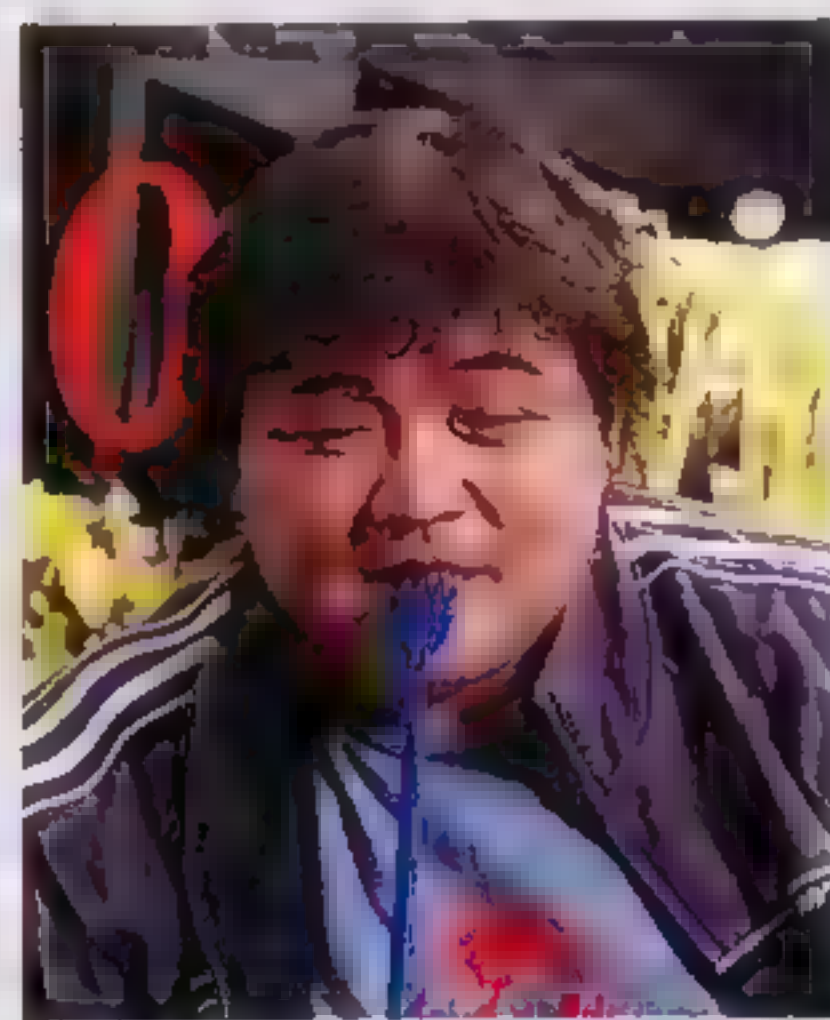
橋本真也の破壊王的人生相談

人生ケサ斬りチョップ

其の参

オイ、ジャイ子はどうした？ 今日も来てねえのか？ しょうがねえ、とっとと人生相談でも始めるか！ なにスペースの都合で相談は2問だけ？ お前ら、もっともっと俺に相談してこい！ 今なら無料キャンペーン実施中だ！ ダーッハッハッハッ！

Q「今の彼氏との出会いは、私の一目惚れ。問題なのはカッコイイ人なだけに浮気が凄いんです 最初は彼も隠していたけど、最近では『浮気はしたけど、本気なのはお前だけ』と開き直る始末。私もそこまでバカじゃないので、それを理由に別れ話をしました。でも、その度に私の顔を殴るんです それも車とか密室の中なので、逃げようもなく怖くて仕方ありません。どうやったら綺麗に別れられるんでしょうか？」（エステ・デ・ミルコ／28歳・エステティシャン・♀）

Aまあカッコイイ奴は大体そうなんだから、そんなの覚悟しなきゃダメだ！ いい男と付き合うなら、それなりのリスク背負わなきゃいけないんだよ。綺麗なバラには、たくさんトゲがあるのと一緒で、イイ男には、たくさんチンポがついている！（笑）。コイツは、そんなカッコイイんならテメエがフラれるってことは、そんなないんだろ。アンタに別れたいって言われたことが屈辱なんだよ。だから、自分から離れて行くのが許せなくて、暴力に訴えてでも止めに来るわけ。でも、お互い冷めてるわけじゃないでしょ？ 会ったら会ったで必ずHしちゃうんじゃないのか？（笑）。エステティシャンってくらいだから、相当のテクニシャンだろ（笑）。本気で別れたかったら別れられるはずだし、まだどっかしら未練はあるんだな。それと「浮気はしたけど、本気なのはお前だ」だって？ それが許されるのは、俺の中では結婚してからだ！ 俺はそれを利用してるんだけどな（笑）。何？『たかじんnoばぁ～』で俺が浮気話をしてたの見たって？（笑）。あの番組は関西だけだから。それはいいとして、結婚を意識するんだったら今のうちに男の扱いを勉強しといた方がいいぞ！ なんでも感情だけで動いちゃうと、将来設計が立たないからな。アンタが、まだ結婚は考えてないって言うんだったら、いろんな人にぶつかっていけ！ 人生なんて短いんだから、恋せよ乙女！ 以上！

Q「私は未だ結婚したことがありません。というのも若い頃、結婚を考えていた相手が白血病で他界してしまい、その後、彼女を超えるような人が現れなかったからです。それからというもの、私は夜な夜な飲み歩く毎日 だからといって心が晴れる日は一度もありませんでした。そんなある夜、行き付けのクラブに行ったところ、新しく入った女性を見て時が止まりました。その彼女にそっくりだったのです。この歳で恥ずかしいのですが、26歳のその女性にすっかりハマってしまい、営業とはわかっていながらも『同伴してぇ』と頼まれれば、間抜けな顔で同伴してしまうのです。こんな老いらくの片想い、どうすればいいのでしょうか？」（タコ社長／53歳・マンション経営）

Aこりゃ最悪パターンだな（苦笑）。飲み屋のねぇちゃんにしたらいい客だよな。でも、俺は、この人の生き方は好きだよ。歳なんか関係なしに、思い出の人を探し続けるなんて素晴らしいと思うよ。ただ一つだけ言えるのは、万が一その子と付き合えたとしても前の女とは違う人なんだから、「あの子はああだった」とか言うなよ！ それは自分の幻想だ。亡くなってから何年も経って妄想が膨らみまくって、もう女神みたいになってんだろ？ 女神と一発やれたらラッキーだけどな（笑）。そんなチャンスがあっても、Hのとき前の女の名前呼んだりするなよ。まあ、恋ってのは歳とってからでも、たとえ恋に破れても、それは素晴らしいことだと思うよ。まあ誰かさんなんか、20以上も離れた嫁さんもらって、今は20の女と付き合ってるんだから凄いよな！ 元気があれば何でもできるってことだよ（笑）。肝心な。ダーハッハッハッ！ その子が本気好きだっていうなら前の彼女と違うってことを、しっかり踏まえた上で追っかけろ！ ただし、ストーカーにだけはなるなよ！ 以上！

【今月の破壊王的名語録】

綺麗なバラにはたくさんトゲがあるのと一緒で、イイ男にはたくさんチンポがついている！

とにかく相談しろ！ 採用されたヤツには

破壊王サイン入りハチマキをくれてやる！ 以上!!

なに、俺が修業不足だと？ 社長はいろいろと大変なんだよ！ でもな、俺は人生相談だったら何時間でも受けきるスタミナがある。これは本当だ！ バットマン嘘つかない！ な～んつってな（笑）

【宛先】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 ダブルクロス「紙プロRADICAL」編集部『狂牛病が怖くて破壊王と言えるか！』係まで

10.25「真撃」そこにUWFはあったか？

――田村さんのインタビューをするのもなんか久しぶりですね。

田村 久しぶりだねえ。オレは「一紙プロ」から干されてたから（笑）。

――別に干していませんよ（笑）。指の怪我はもう大丈夫なんですか？

田村 うん、完治じゃないけど、9割ぐらいは。

――じゃあいつでも復帰できるというか。あとは試合に向けて体を作って練習してって感じですか。

田村 そう[illegible]ね、うん。治っちゃったから[illegible]（笑）。

――治っちゃった（笑）。まあ、その新たな行動の第1弾として、田村さんが久々にマスコミの前に出て来たのが「真撃」の会見だったわけですけど、あれはどういった経緯があったんですか？

田村 最初は僕個人にオファーが来たんだけど、まだ試合を[illegible]って感じじゃなかったんで。……大久保とかU-FILEの選手が育ってるから、若い選手を入れて、また別の枠でウチのジム生が出れるような環境を作って欲しいなっていう話をしたんですよ。それで、どうせだったらUWFの枠を作って、その後、僕も試合に出るならあれは、その枠で復帰[illegible]か

――ということは、今回の「真撃」は田村復帰への前フリですか？

田村 まぁ、前フリっていうか、出ることはまだ決まってないからね。一番の理由は若い選手の闘いの場が増えればと思ってのことですよ。だからホントは、記者会見も出たくなかったの。

――ぶっちゃけた話（笑）。

田村 出たくなかったんだけど、俺が出ないと話が始まんない[illegible]。だから、そういう感じで。

――捉え方からすると、UWFを復活させるための第一歩みたいな感じにも取れるわけですけど。

田村 復活っていうかね、UWFっていうのがなんなのかっていうとね、いま非常に中途半端な感じで取られてると思うんで、その定義――

――それを田村さんにお聞きしたいんですよ（笑）。

田村 UWFのスタイルっていうのはね、ちょっと難しくなるんだけど、プロレスと格闘技の間を行ってるわけでしょ？ そのUWFのスタイルをやるっていうのは、やっぱり両方兼ね備えてないとダメだから、だから「ピカソの絵」なんですよ。

――ピ、ピカソの絵ですか？

田村 [illegible]これは[illegible]さんが[illegible]んだけど、ピカソ[illegible]は見た目は誰にでも書けそうな絵だけど、ピカソは風景画も人物画もちゃんと描けるんですよ。描けた上であそこまで行ってる。UWFスタイルも、ちゃんと格闘技もできてプロレスもできる[illegible]。UWF[illegible]だから[illegible]できるように見せて[illegible]できないのがUWFスタイル。

――逆に言うとUWFをできる人っていう人がいまはいないですよね。

田村 そう、少ないねえ。

――そういう意味で、こないだの大久保選手と佐藤耕平選手の試合は、UWF[illegible]からは「これはUWFじゃねぇよ」って声が挙がってきちゃってるんですよ。それに関してはどうですか？

田村 それは出たんだから[illegible]でしょ。俺だって若い頃にそういうのやって[illegible]たから[illegible]のはできなかった[illegible]。だから[illegible]。それは芸の肥やしにして、磨いていって、彼らがもし5年、10年この業界で生き残って再戦[illegible]形になれば、そのとき[illegible]試合になると思うから[illegible]。それは育てなきゃいけないし。そんなすぐやられたら、俺の立場もないし（笑）。

――[illegible]UWF[illegible]うのが[illegible]選手[illegible]たいな絵を描かなきゃいけないんじゃないか[illegible]たんですよ。

田村 試合の内容についてはね、どうこう言われても、こっちはなんて答えればいいのか[illegible]。[illegible]あれば[illegible]るんだから。その部分じゃなくて、もっと長い目で見て行かなきゃいけないでしょ。「真撃」で大久保一樹っていう名前がどれだけ広がったかっていうのが一番大きいことだと思うし。

――では大久保選手を「真撃」に出したのは田村選手は成功だと思いますか？

田村 成功でしょ？ いや、成功っていうのはちょっと微妙だけどプラスにはなってるでしょ？

――[illegible]も会場で見てる[illegible]違和感があったんですよ。田村さん流に言うと、ラー[illegible]の[illegible]が[illegible]っていうか（笑）。

田村 あ〜、なつかしいね（笑）。俺も若気の至りですね（笑）。

――若気の至り[illegible]

田村 どちらにしてもお客を納得させるかだから。

――大久保選手はずっとU-FILEで格闘技の練習をしてきた選手ですけど、[illegible]「真撃」に出るにあたって、UWFの練習っていうのはあったんですか？

田村 ない！ 格闘スタイルを身につけることがUWFにつながるから。

――え？ 師匠からUWFとはなんたるかを教えたりなんかは[illegible]

田村 それは盗んでいくもんだから。教えることでもないし、自分の感性でやるしかないから。

――田村さんもUWFの頃ってそうだったんですか？

田村 うん。

――見本じゃないですけど、いまUWFって一体どういうものなのか、どうやったらいいのかとか、そういうのが観客も選手もわからないと思うんですよ。

田村 それはね、育てていくしかないの。時間はかかるけど、選手も観客の見る目も育てないとね。

――UWFっていうのは、口で説明するのは非常に難しいじゃないですか。だから田

リンクス[illegible]田村が本格的に始動したのは、奇しくも「真撃」だった。このまま色が定まっていない舞台で、[illegible]しようと、まずは弟子の大久保[illegible]を送り込むことになった

10・25「真撃」日本武道館大会で行われた、[illegible]佐藤耕平vs大久保一樹の一戦は、「UWFスタイル」を踏襲しながらも、ある種それにこだわりすぎたような展開となり、会場はもとより、[illegible]からも「これはUWFじゃない」という声が出るなど、[illegible]

俺も結構意見変えるから。よくわからんけど（笑）。パーリ・トゥードに関しては出た頃から否定してるから。その頃の記事を読んでもらった方が早いかな。

—いま日本人が勝てなくなってきて苦しんでますもんね。なんかみんなそれで潰れていく気がするんですよ。パンクラスで船木さんが苦しんで、KOKで田村さんが去年あたり苦しんで、今年だと桜庭さんと金原さんが苦しんで……。

田村　いや、金原は全然関係ないでしょ。弱いもん。

—あ、関係ないですか（笑）。

田村　彼らのこと聞きたいの？　でも人それぞれの考えがあるから、その考えを基にやっていけばいいと思うし、あんまりあいつにはああだこうだ言われたくないしね。ホントに、もういいよ。もう聞かれたくないし、言われたくもない。

—はい。では話題を変えて（笑）。田村さんが「DEEP」に上がるということはあるんでしょうか。

田村　「DEEP」は[illegible]……ラウンドガールやろうかな？（笑）。

—ラウンドガール!?　くだらないですねえ（笑）。「赤いサンタの頑固者」になるんですか？（笑）。

田村　アハハハハ！　そうそう（笑）。12月だからね。

—ラウンドガール以外ではないんですか？

田村　ラウンドガールしか考えてない。いまは。

—いま考えてるのはラウンドガールのみ!?　ダメだこりゃ（笑）。

田村　でも「DEEP」さんは、ウチの選手を何人か出させてもらってるから、感謝はしてますよ。今度の12月もぜひ成功して欲しい。それは心から思ってるから。頑張って欲しいですね。「って、ウチのジム生が一番頑張んなきゃいけないんだけど（笑）。俺はラウンドガールとして[illegible]するから。

—赤いサンタの服を脱いだら赤いパンツが出てきたりしないんですか？（笑）。

田村　あるかもしれないけど……おもしろいねえ、それ（笑）。

—では、リングスがエスケープありに復活しましたけど、これに関してはいかがでしょう。皮肉にも田村さんが辞めたあとにこういうルールになったんですけど（笑）。

田村　それは別に俺がどうこう言う問題でもないし。リングスさんはリングスさんで頑張って生き残んなきゃいけないから。いいと思いますよ。前田さんが決めることだからね。

—ああいうルールでやってる団体ができると、「田村が言ってたやりたいことに一番近いことやってるリングがここにあるんじゃないか。なんで出ないんだ」って声も出てくると思うんですけど。

田村　流れがあるから。しょうがないでしょ。お互いそういう気持ちがないとダメでしょ？　助けてあげたい気持ちもある[illegible]。向こうが「田村なら[illegible]」[illegible]これまでだし。リングスさんに[illegible]は、[illegible]いるときにそういうふうにやってくれなかったの？」っていう[illegible]もあるよね。[illegible]ときは[illegible]が通用しなかったから。それは自分でやりたいことやるしかないでしょ。

—うーん。

田村　だから、みんながいるときに[illegible]たら、リングスは可能性があったわけじゃない。俺は前も[illegible]よ。その[illegible]かるけど、リングスは可能性のある団体だけど、それが生かされてないし、生かされないんであれば自分で生かすしかない。それで辞めたあとは俺は関係ないからね。

—田村さん的には「いまさら」っていう感じですか？

田村　全然そんなことないよ。だけどいまはリングスの選手でもないし、ニュートラルな状況だから。それはリングスさんが声をかけてくれるんであれば、こっちはある意味チャンスだと思うし。でもリングスも「DEEP」も「真撃」も、俺から見たらみんな同じ条件だから。だからエスケープ作ったからどうこうもないし、ただ面白そうだなって思ったら、こっちからお願いする場合もあるからね。それは話の流れだよね。

—じゃあ、田村さんがこれから上がるリングはルールが問題ってわけでもないんですか。

田村　問題じゃないでしょ。

—逆に言うと、オファーが来た場合、一番魅力を感じる部分てなんですか？

田村　誠意。

—誠意……なんですかねえ（笑）。

田村　たとえば金っていうと汚いでしょ？　誠意（笑）。俺個人の話をするんであれば、自分でどれぐらいのパワーがあるのかもわかんないし、[illegible]っていうのもわかんないから。ただ俺のプライドもあるし。まあ、昔と違ってオレも柔軟性があるから、[illegible]をかけてくれれば、[illegible]も上がる可能性はありますよ。

（01年11月9日／川崎市・[illegible]にて収録）

リングスのルール改正はみんながいるときにやれば可能性があった

聞き手/堀江ガンツ、撮影/菊池茂夫

今も昔も前田は俺達の

タムラ、カネハラ、コーサカは ベリー・プロフェッショナル 彼らともう1度闘えたら最高だね

──今日（10・25「真撃」武道館）のマーク・ケアー戦は、久々の日本でのファイトとなったわけですけど、まずは試合の感想を聞かせてください。

フライ　日本に帰ってこれて凄く嬉しいよ。長いこと試合をしてなかったので、ちょっとナーバスになってたけど、内容は良かったと思う。オレがまだまだ現役で闘えるということをアピールできたんじゃないかな。

──いまだに胸の筋肉がピクピク動くくらい鍛えられていたんで、昔のフライ選手を知っているファンは嬉しかったと思いますよ。

フライ　そうかい？　オレは試合があろうとなかろうとトレーニングは欠かさないからね。今回は調整にあまり時間がなかったけど、次に来たときはもっと凄いファイトを見せてやるよ。

──そしてナイマン選手は今回フライ選手のセコンドで来たわけですけど、初めて「真撃」を見た感想はいかがですか？　メインイベントを非常に楽しそうに見ていたようですけど。

ナイマン　ああ、今回はゆっくり楽しませてもらったよ（笑）。観客も盛り上がっていたし、いいショーだったと思う。オレもそのうち参加してみたいな。

──お二人はしばらく来日が途絶えてましたけど、日本に来ていない間、オランダではどんな活動をしていたんですか？

フライ　オレはジムを経営しているから、そのビジネスが忙しかったね。

──総合格闘技のジムですか？

フライ　いや、フィットネスとエアロビクスのジムで1000人以上の会員がいるよ。そっちの方が忙しかったから試合からはちょっと遠ざかってしまったけど、トレーニングには最高の環境だから、身体はリングス時代と比べても衰えてないはずだ。あとオレには6歳の娘と4歳の息子がいるんだが、二人の子供とのんびりと過ごしてたりそんな生活だな。

──フライ選手はリングス・オランダ大会で毎回メインを張っていたスターだから、フィットネスジムなのに、「格闘技を教えてくれ」という人も来るんじゃないですか？

フライ　ああ、確かにたまに来るね。そんなときはハンスのジムを紹介するんだよ。

──ナイマン選手の方は格闘技のジムなんですね

ナイマン　ああ、空手の道場をやっているよ。生徒は150人くらいかな。ディッキー（フライ）がジムにいるのと同じように、オレも一日中道場にいるから、いまでもきつい練習を毎日欠かしてない。オファーがあればいつでも試合はOKだ。あとはたまにパーソナルセキュリティーの仕事することもあるな。

──ちなみにお子さんは？

ナイマン　ウチは13歳、11歳、8歳、5歳の子供がいる。不思議なことに男、女、男、女と順序よく産まれているんだ（笑）。

フライ　ハンスは子作りのスペシャリストだからな。凄いグラウンド・テクニックだよ（笑）。

HANSE NYMAN

──ガハハハ！　ナイマン選手は"寝業師"でしたか（笑）。ところでヴォルク・ハン選手らと並んで、リングスのトップスター外国人であったフライ選手が、パッタリ来なくなってしまったことが非常に不思議に思ってたんですけど、リングスに上がらなくなった理由を差し障りがなければ話していただけますか？

フライ　……。

ナイマン　それはオレが話すよ。それはマエダがディッキーを切ったからだよ。日本のファンは知っているだろう。ディッキーがどれだけリングスに貢献してきたかを。それなのにマエダはディッキーを切ったんだよ。だからオレも「ディッキーを切るならオレも契約をしない」と言ってリングスとの関係をフィニッシュすることに決めたんだ。

──やはりそれは契約で揉めたということなんですか？

フライ　揉めたとかそんな事ではない。ただ、オレはリングスをスタート時からトップとして盛り上げてきたし、初期のリングスを大きくしたのはオレだと自負している。でもマエダにはそんなオレたちを敬う気持ちなんてなかったんだよ。それとマエダはオレ達がマネーばかり要求していると勘違いしているようだが、それは違う。オレ達はオランダで仕事もジムも持っているし、そんなに金に困っているわけじゃない。でも、プロとして当然の報酬を要求した。それだけなんだ。

ナイマン　マエダはオレ達に対して、言うことを聞かないと「お前らなんか、もういらない」と言う。マエダは自分を"ビッグボス"だと勘違いしているんだ。マエダはオレ達のボスでも何でもなく、単なるプロモーターであり、オレ達にはオレ達の決定権があるんだよ！

──当事者じゃないのでなんとも言えませんけど、選手にとってもファンにとっても不幸なことになってしまったのはやはり残念ですね。

タムラがUWFを復活させるというのは興味深いな チャンスがあれば協力したい

ナイマン オレ達だって残念だがこうなってしまったものは仕方がない。実を言うとWOWOWはオレ達に対して「戻って来い」と言ってくれていたんだ。でもオレはその時リングスに戻る気はもう無かったのさ。ディッキーだってそうさ。

――そうは言ってもフライ選手とナイマン選手を語る上でリングスは欠かせないと思うんで、もうちょっとリングスの話を聞かせてください。お二人はリングス時代を振り返って一番印象深い試合ってなんですか?

フライ もちろんマエダ戦だよ(ニヤリ)。

――おお~！(笑)。それはどの試合というより、一連の前田戦ということですか?

フライ そうだな。ひとつに絞るというのは難しいよ

――一度、試合後にかなり荒れた試合がありましたよね?(笑)。

フライ ハハハ、マエダが試合が終わったあともオレを踏みつけてきたんだよな クレイジーさ！

――どうしてああなってしまったんですか?

フライ さあね。オレに聞かれても困るよ。まぁ、顔面にパンチとキックを思いっきりいれてやったからじゃないか? あとはマエダに聞いてくれよ。

――……それは遠慮しときます(笑)。ナイマン選手はどの試合が印象深いですか?

DICK FRY

10・25武道館。「真撃」初登場でいきなりマーク・ケアーと対戦。打撃のラッシュでダウンを奪うなど往年のフライらしさも見せたが、最後はアッサリ腕十字でタップ。諦めの早さも往年通りだった。

ナイマン オレはコーサカ戦とタムラ戦だな。それに次ぐのがヤマモトとの試合だろう。

――なぜ、その試合が印象深いんですか?

ナイマン プロフェッショナルとして最高の試合だと思うからだよ。コーサカ、タムラは立ち技も寝技もテイクダウンも凄く上手かったな。

――実はその田村選手が「真撃」のリングで、旧リングスのような試合を復活させようというプランをやろうとしているんですよ。

フライ へ～、それは興味深いな。オレもチャンスがあればゼヒ協力したいよ。

ナイマン そういうことならオレはカネハラにも参加してほしいな。

――田村さんと金原さんの関係を考えると、それはちょっと難しいと思います(苦笑)

ナイマン そういうことはよくわからないが、タムラ、カネハラ、コーサカはベリー・プロフェッショナルで素晴らしい選手だよ。コーサカなんかは紳士すぎるくらい紳士でしかもベリー・スマートだ。彼らともう一度闘えたら最高だね。

――いま、リングスもルールがガラリと変わってしまい、旧リングスのスタイルをやる場がないんですけど、やはりこのスタイルは残すべきジャンルだと思いますか?

ナイマン それは当然だろ。オールド・リングススタイルは素晴らしいものだ。リングスの10周年大会もオールド・スタイルでやったフジワラとハンの闘いが一番ファンの声援が大きかったらしいじゃないか。それが答えだと思うね

――ところで、リングスとの契約終了にともない、リングス・オランダも抜けた格好になっているようですけど、いまクリス・ドールマンとお二人の関係はどうなっているんですか?

フライ 以前は友達だったが、いまは普通の関係になった、それだけだよ。

――「普通の関係」ってどういうことですか?

フライ 親しくしているとは言えないが、ケンカをしているわけでもないってことだよ。いまは仕事を一緒にしているわけでもないから、「知人」という言葉が適切だろう。特にいまは会うことも話すこともないから、自分たちはクリスのことをどうこう言うつもりもないよ。

――では、例えばリングス・オランダ大会への出場オファーがあったら受けますか?

フライ もしクリスが興行で自分たちを必要とするなら、協力をすることに異存はないよ。

そして「前田10年分キレた事件」を思わせる試合後の大乱闘。その迫力はさすがであったが、誰もが「それを試合でみせろよ」とツッコミたくなるものだった。ナイマンを含め、次回に期待！

8月にブラジルでファスVTの連中と練習してきた。ノールールもOKだ（ナイマン）

当然、条件にはよるけど、いい話であればOKだ。ただ、やるなら準備期間はもらいたいね。ハンスなんかはいますぐにでもOKなんじゃないか。つい先週もノールールの試合をしてきたからね。いい歳なのにクレイジーだよ（笑）。

——なんという大会に出たんですか？

ナイマン　「イッツ・ショータイム」という大会だ。オランダではちょっと知られた大きな大会だよ。試合はオレがコントロールしていたんだが、ラッキーパンチをもらっちまって負けてしまった。

フライ　それでハンスは見事なブラックアイ（青タン）なんだよ（笑）。

——では、今後の話を聞きたいんですけど、お二人はこれからファイターとしてどんなプランをお持ちですか？

ナイマン　ディッキーはクレイジーだと言うが、オレはノールールだろうがなんだろうが、まだあと10年は現役で闘うつもりだよ。

——10年もですか⁉

ナイマン　ああ。オレはいま42歳だが、今日、出ていたフジワラは52歳らしいじゃないか。フジワラができるんだからオレだって52歳までやってやるよ！（笑）

フライ　オレの方は特に決めてるプランはないけど、オファーがあって、ちゃんとした相手がいて、場所があればどこでも闘ってやるよ。でも、いまはとにかく日本のファンにオレらしい闘いを見せたいと思う。そのためにあと10キロ体重を増やして、マエダをノックアウトしたときの体調にしてくるよ。どんどん試合をしていきたいので、応援してほしい。

ナイマン　オレも「真撃」で出る準備はもうできている。打撃に関してはオレが一番テクニックを知っていると思うから、それを見せてやるよ。それから「真撃」以外にノールールの試合でもOKだ。実は8月から9月にかけて2週間、ヨープ・カステルとブラジルに特訓に行ったんだよ。

——そうなんですか。ホントに練習熱心ですね。どこのジムで練習したんですか？

ナイマン　ファス・バーリ・トゥードだよ。ペドロ・ヒーゾらトップ・ファイターと練習して、とても勉強になった。でも、ブラジルの連中の時間に対するルーズさには参ったぜ（苦笑）。なかなかトレーニングが始まらないんだ。先生であるホベルト・レイタウンだけが時間通りに来て、あとはみんな遅刻してきやがるんだよ。

——ブラジリアン・タイムなんですね（笑）。

ナイマン　オレはヴァレンタイン・オーフレイムより時間にルーズな奴はいないと思っていたんだが、ブラジリアンはみんなヴァレンタインみたいな奴ばかりだったね（笑）

——それでは、ブラジル特訓の成果が見られることを期待してます！

【01年10月25日／都内某ホテルにて収録】

DICK FRY
1965年5月2日、オランダ出身。89年UWF東京ドーム大会のvs藤原喜明戦で日本デビュー。リングスでは旗揚げ戦のメインで前田と闘うなど、初期のエース外人として活躍。サイボーグの異名で一時はWOWOWの顔になる。その後は製闘道にも出場。187cm、112kg。

HANSE NYMAN
1959年9月23日、オランダ出身。欧州空手界で数多くの実績を残す。その実力には定評があり、第1回リングストーナメントで西良典が「決勝はザザvsナイマン」と予想したのはあまりに有名。PRIDEでは藤田のデビュー戦の相手も務めた。187cm、110kg。

12・2大日本、横浜アリーナ大会「ANTE-UP」を

平成プロレスにはないこの凄み

紙のプロレス

スーパースター列伝

"昭和プロレス"の

特攻隊長

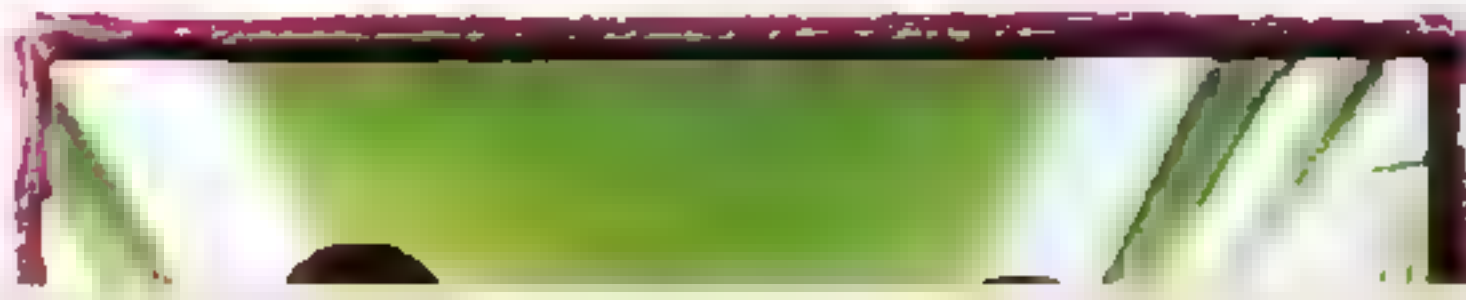
マスカラス・リンチ事件の真相など
知られざる伝説を語り尽くす!!

大日本プロレス12・2横浜アリーナ進出記念インタビュー

グレート小鹿［前編］

燦然と輝いていた日本プロレスでは体を張って若頭を務め日本マット界の歴史と共に生きた時代を知る男グレート小鹿。その小鹿の口から発せられる言葉はプロレスラーの凄みに満ち溢れ、古き良きアメリカマットも体験したこともあってか、誰もが知らぬマット界秘話が次々と飛び出した! 日プロ、全日、そしてビッグマッチを控える大日本と、時代を超えて闘い抜いた怖いもの知らずのグレート小鹿インタビューをしっかり味わうんだ!

聞き手/吉田豪　撮影/斉藤ケロちゃん　designed by

当然、条
Kだ。ただ
ね。ハン
じゃない
してきた
よ（笑）。
—なんと
ナイマン
う大会だ。
きな大会
ていたん
って負け
フライ
（青タン）
—では、
お二人は
8
練

—今日は12月2日に行われる横浜アリーナでのビックマッチ直前ということで、大日本プロレスのボスである小鹿さんのプロレス人生をたっぷり振り返ってもらおうかと思います！

小鹿　ガッハッハッ！　オレの人生か（笑）。

よろしくお願いします！　小鹿さんのことは同じ相撲部屋出身で日プロでも一緒だったミスター・ヒトさんからもいろいろと伺っているですけど、あの口の悪いヒトさんが小鹿さんのことだけは「人さらい」だのと何だのと言いながらも基本的に絶賛してましたからね（笑）。

小鹿　ガッハッハッ！　彼は口は悪いけど、人間味があるっていうか、思いやりがある人間たからね。まあ、1ある話を3倍ぐらいに言う部分があるけど（笑）。

—やっぱり（笑）！　そのヒトさんと中島らもさんとの対談をまとめた『クマとたたかったヒト』（メディアファクトリー）という本でも、やっぱり小鹿さんがいろんなところで登場してくるんですよ。

小鹿　ああ、ちょっと読んだよ。彼との付き合いは長いからね。もう40年ぐらいかな。だから、ボクが要所々に出てくるんじゃないの（笑）。

—40年ですか！　もともと相撲時代は、ヒトさんが小鹿さんの後輩だったわけですよね？

小鹿　3場所ぐらいあとに彼が入ったんだな。あのころはオレは右も左もわからなくて、彼に「いいとこあるから行きましょう！」って言われて、キャバレーみたいなところにいつも連れられて行ったもんだよ（笑）

—後輩に誘われて（笑）。

小鹿　そう！（笑）。安達（ヒトの本名）に浅草の「銀馬車」っていう有名な店で、生まれて初めてビールを飲まされてな。そのころはほとんどアルコール飲めなかったんだけどね。

あ、お酒はヒトさんに教わったんですか！

小鹿　彼との思い出は尽きないなあ……（しみじみと）。彼はパチンコも好きだったんだよね。

ヒトさんはパチプロ級の腕前だったらしいですね。

小鹿　彼は両国の駅前に行くとね、いつもサっといなくなって、帰ってくるとパチンコでチョコレートとかキャラメルとか山ほど持ってきて。初めてそういうものを食へたんたよなあ。

そういうこともヒトさんから教わったんですか（笑）。

小鹿　そりゃそうだよ！　だいたい、肉にしたってオレがまだ北海道にいたときはニワトリとカモメぐらいしか食べなかったんだから（キッパリ）！

カモメの肉ですか!?

小鹿　イカのハラワタを針につけてさ、カモメを釣るんだよ。話せば涙ぐむような話でさ（笑）。

それか、東京で酒やお菓子や夜遊びの味を知って（笑）。

小鹿　だから安達は悪い人間ですよ（笑）。ボクの人生を狂わせてさあ。あの17歳のときの出会いが、いまになって多分にものすごい狂いになってきてるね（笑）。

—ダハハハ！　ヒトさんに人生を狂わされましたか（笑）。ちなみにヒトさんの本には日プロ時代の女遊びの話も書かれてたんですけど、やっぱりそっち方面でも狂わされたわけですか？

小鹿　（不敵に）フフフフ（笑）。もうそっちの話にいくの？

—お願いします！（笑）。

小鹿　ホント、楽しかったもんなあ……（しみじみと）。あのころのレスラーは、み～んなモテましたから（キッパリ）！

みんなモテた！

たけど安達さんが女を口説いてるときには、小鹿さんが「オイ！　安達！　オマエ吉村さんのパンツ洗濯したのか!?」とか言って上下関係をハッキリさせて邪魔ばかりしてたらしいですね（笑）。

小鹿　ガッハッハッハー　ああ、安達が上手いこと口説きそうだなってときはね（笑）。安達だって後輩にやってたんだから、お互いさまだよ！（笑）。

ダハハハ！　そんな状況で全国巡業してたら、やっぱり土地土地に現地妻がいたりするような状態になりますよね？

小鹿　ああ、あのころは全国に20人ぐらいおったね（キッパリ）。恋愛は何人かだけどさ（笑）。

20人ですか！　それって、かなりパワフルですよね（笑）。

小鹿　もちろん練習もしたよ！

—練習も一番厳しかったと言われるような時代ですからね。

小鹿　そうそう。朝10時からミッチリ練習して、夜は目が輝いちゃって眠れなくてな（笑）。

—しょうがないから街に繰り出したってことですか（笑）。

小鹿　安達が「いいとこがあるんです！　もうやめられませんよ！」って悪の道に誘惑するんだよ（笑）。ト●コ風呂、いまでいうソープとかにさ。

その声に逆らえなかったんですね（笑）。

小鹿　また、安達の言い方が物凄いんだよな（笑）。それで安達に「いくらかかるんだ？」って聞いたら「3万円です」って。

それって、当時の相場でいったらかなり高くないですか？

小鹿　だから、テメエの分もオレに払わせてたんだよ！　オレは何も知らなかったから（苦笑）。

—じゃあプロレス界に入っても、やっぱりヒトさんからいろいろ教わってたんですね（笑）。

小鹿　若いころの遊びはみんな安達に教わったよ（笑）。競馬場にも連れて行かれたしね。80万か100万持っていって、5千円しか残らなかったなあ（笑）。

—ダハハハ！　それにしても、若手が大金持ってたんですねえ。

小鹿　だって、巡業終わったらそれくらい持ってるよ（キッパリ）！　あのころは給料袋をポンって投げても封筒が寝なかったんだから！

馬場さんをト●コ風呂に連れていけなかったのは心残りだよねえ

らしいですね。やっぱり当時は稼げる額が違うというか

小鹿　ホント、遊んだなあ（しみじみと）。取った金、ほとんど飲み食いと女に使ったから！

当時はみんなそうだったんですよねえ。あの馬場さんなんかも、ああ見えて結構キャバレーに行ってたって話だし。

小鹿　馬場さんはね、渋谷の「クラブハイツ」が馴染みの店。

—馬場さんの昔の記事とか読むと、アメリカ遠征中にも「いまごろ渋谷のキャバレーは楽しいだろうな……」ってボヤいてたりで、力道山先生が刺されてときもそんなこと考えてたらしいですからね（笑）。馬場さんもマジメだと思われてますけど、ちゃんと遊んでいたというか。

小鹿　……ただ、馬場さんには心残りなことがあるんだよね。これは全日本のときなんだけど、馬場さんに会場で「小鹿、一つ頼みがあるんだけどよォ。今日、オレの母ちゃん（元子夫人）来てねえから言うけど……ト●コ風呂連れて行ってくれよ！」って、お願いされてな（笑）。

12・2大日本、横浜アリーナ大会「ANTE-UP」を

ダハハハ！　それは人聞らしくていい話ですねえ！（笑）。

小鹿　そうだろ？　それで「馬場さん、ホントにいいんですか!?」って聞き返したら「頼むよ――……でも母ちゃんには内緒だぞ」って。それで安達に探すように頼んだんだけどさ。

そこで暗躍するのは、やっぱり安達さんなんですね（笑）。

小鹿　でも、結局馬場さんは行かなかったんだよねえ。

――じゃあ、もしかしたら馬場さんは結局、ソープを知らないまま死んじゃったんですか？

小鹿　そうだと思うよ。あれは心残りたよねえ。あんな楽しい男の天国に連れて行けなくてさ。

男の天国に（笑）。でも、若いころにそんなに遊んでいたら、小鹿さんもあとになってから大変だったんじゃないですか？

小鹿　いや、反対にあの時期たっぷり遊んだからこそ、いまは大人しくなったんだよ。

なるほど！　それほど当時はすごかったわけですね（笑）。

小鹿　オレは吉村さんの付き人たったんたけど、上下関係がピシッとしてたこともあって毎日夜は駆り出されていたしね。

――吉村さんは見るからに人が良さそうだし、付き人やってても良かったでしょうね。

小鹿　あと、オレは豊登さんの付き人もやってたんだよ

それはまた、悪い遊びを教えられそうですけど（笑）。

小鹿　そう？　豊登さんは飲み屋には行かないんだよね。

――だけど、豊登さんといえばギャンブルじゃないですか。

小鹿　そうなんだよ（笑）。豊登さんは巡業中はいつも旅館で麻雀打ってたからね。吉村、馬場、芳の里、星野勘太郎　このメンバーはいつも一緒。オレは麻雀には加わらなかったけど、死んだ林牛之助と隼隊っていう名前を豊登さんに付けられてさ

――隼隊ですか？

小鹿　豊登さんが言うには、「隼隊は戦争のときは凄かったんだぞ。自分の身を挺してお国にために働いたんだ。オマエらはオレのために働け！」って。それで金を持たされて、豊登さんの好みの女を見つけにいつも夜の街に行かされてさ（笑）。

それが、身を挺して働く隼隊の使命なんですか（笑）

小鹿　たけど、あんまり豊登さんのタイプの女の子はいなかった。だって豊登さん、筋肉質なでっかい子が好きだったから、そんなのキャバレーにいるわけないよな。だから、いつももらった金ごまかしてオレはキャバレーでタダ酒飲んでたよ（笑）。

――ダハハハハ！　しかし、それだけ飲んでたら喧嘩することもあったんじゃないですか？

小鹿　何回もしたねえ。興行で岐阜かどっかかなあ、飲みに行ったら多分にヤクザなんだけどね……。いやあ、人間って飛ぶんだよ！（笑）。

道場破りにきた柔道の有段者の相手をしてましたよ

ダハハハ！　ブン殴ったらワイヤーアクションみたいに飛んじゃったわけですか（笑）。

小鹿　イヤ、オレが殴ったんじゃなくてカブキがやったんだけどね。ボ～ンッて殴ったらゴミ箱にそのまま入って（笑）。

――まるでドリフですね（笑）。

小鹿　でも、オレはそんなに暴れなかったよ。トラブルは嫌いだったからね。ガッハッハッ！

-そういえば、小鹿さんも日本プロレス時代に道場破りでやってきた柔道の有段者を相手にしてたりもしたんですよね。

小鹿　ああ、してましたよ（あっさりと）。そんな時代でしたね。

――確かに、話を聞いてると、ホントすごい時代ですね（笑）。

小鹿　あのころは日本プロレスも、押すな押すなでお客がいっぱいだったんだから。それで切符がなくなると若手がお客から直接お金を貰って、そのまま自分の懐に入れちゃってさ（笑）。

――ダハハハハ！　猪木さんもこないだそんなこと言ってました（笑）。「オレはしなかったけど」って言ってましたけどね。

小鹿　オレはそんなやつには喰らわせたけどな。でも、幹部の連中も好き勝手やってたから。

いわゆる「ダラ幹」ってやってすね（笑）とにかく、上から下までやりたい放題だったと。

小鹿　豊登さんなんて、営業部長の岩田ってやつに「ちょっと200万」って言って、会社のお金を持って行くんだから。

――「ちょっと」で200万ですか（笑）。あの当時としたら、もう大変な金額ですよね！

小鹿　当時は300万円あったら家が建つからな。豊登さんは、あるときなんて600万持って「倍にしてくる！」って競馬場に行ってたよ！

――ダハハハ！　なるわけないですよねえ、そう簡単に（笑）。

小鹿　なあ！　だけど、あの人はそんな信じられないことばかりしてたから（笑）。

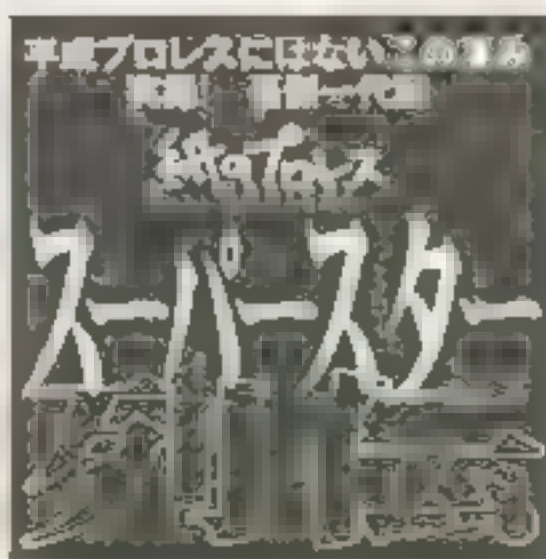
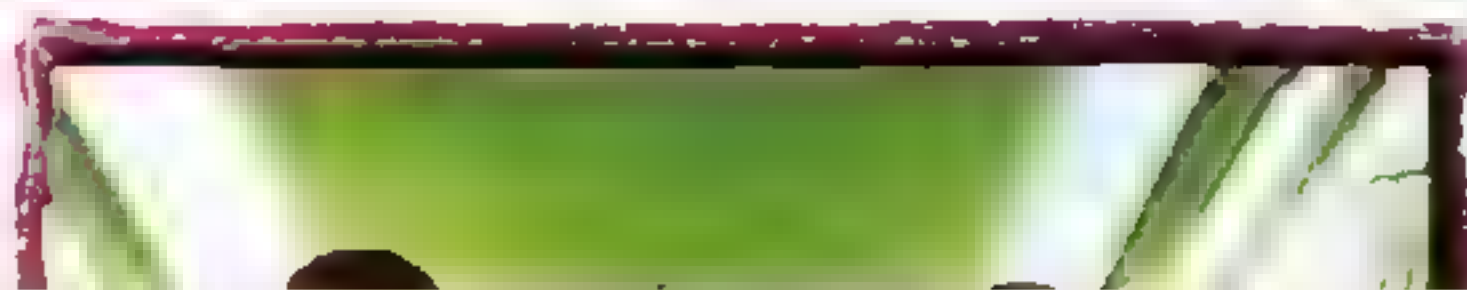
そんなことばかりやってたら、会社も傾きますよね（笑）。金庫から札束を持っていく人とかもいたんじゃないですか？

小鹿　あ、それはない。金庫は●藤●吉が見張ってるから　それで、吉村さんが地方の集金役で売り上げ係。それを会社に持ってくると、●藤●吉が「は～い、お疲れさんです～」って金庫に入れて。それでこれは定かではないけど、そっからポケットに入れてたとか聞いたね。

――当時はかなりドンブリ勘定だったって話ですからね（笑）。

小鹿　ドンブリ勘定どころか、●藤●吉が自分で業者を手配して、代官山の事務所の前に日プロの合宿所を建てたんだけど。それがオープン1ヶ月で雨漏りだよ、雨漏り！（笑）。

――ダハハハ！　ズサンな工事

reat Kojik

で金を浮かせて着服した疑惑が浮上してきたわけですね（笑）。

小鹿　ふざけるなって！　●藤●吉はその金で家を建ててよ！　しかもベンツ乗りやがってね！

――ダハハハ！　ベンツまで乗りやがってましたか！（笑）。

小鹿　それも途中でベンツはどっかの駐車場に止めて、事務所には歩いてきてたんだよ。

――それは会社には内緒で買ってたからってことですか？

小鹿　ああ、会社の金で買ったんだから、そりゃ内緒でしょ！　でも●藤●吉が一番ひどかったのはベンチャーズのとき！

――は？　ベンチャーズと●藤に何の関係があるんですか？

小鹿　大ありだよ！　ベンチャーズのプロモートをしてたのが、田中印刷っていう日本プロレスのポスターとかをやっていたところでね。日本プロレスの選手会には金がなかったから、その田中印刷の社長に「1回でいいからベンチャーズの興行をやらしてくれ」って頼んだんだよ。

――つまり、日プロの選手会でベンチャーズのコンサートをプロモートしたわけなんですか!?

小鹿　そう！　オレのアイデアで横浜文化体育館でやろうって考えてな。

――日プロ選手会主催、ベンチャーズ興行ですか！　それは日本プロレス史上に残る大事件だと思いますよ（笑）。ちなみに、小鹿さんはベンチャーズのファンだったりするんですか？

小鹿　いや、何をやるのかも知らなかった（キッパリ）。人気があるって知ってるぐらいで（笑）。

――やっぱり（笑）。確かに当時のベンチャーズはビートルズ並の異常人気でしたけど、小鹿さんは当時からプロモーターの才能があったんですねえ。

小鹿　切符なんてすぐ売り切れだったからね。売り上げは800万も入るってことで選手会でどっかで旅行に行こうって計画までしてたんだけど……、それを●藤●吉が横取りしてね！

――ダハハハ、またですか！　そんなところでも●藤さんが甘い汁を吸っていたというか（笑）。

小鹿　もう、あったまにきてさあ！　それで馬場vsエリックがあった田園コロシアムの興行の前に、オレと安達と（ミツ）平井、林、星野らで裏の物置に行って、高千穂（明久＝ザ・グレート・カブキ）に●藤●吉を呼んでこさせてな。みんなで取り囲んで「ふざけんなよッ！　ベンチャーズの興行取りやがって！」って、ブン殴ってやったよ！

――喰らわせちゃったんですか!?

小鹿　喰らわせたなんてもんじゃないよ！　メガネも飛んで、ロレックスの時計は壊れて、倒れたところを頭蹴りまくって血だらけよ。「テメエ殺すぞ、この野郎！」って。誰も手を出さない、オレが全部やったよ！

――ダハハハ！　それもまた完全にマット界秘話ですよ（笑）。

小鹿　あの人は、そういう汚いことをやるんだよなあ。

――ボクも●藤さんとは会ったことあるんですけど、ユセフ・トルコさんが「パイプカットはいいぞ～！」って言うから遠藤さんはパイプカットしたけど、実はトルコさんはしていなかったっていうくだらないことで、あの年になっても揉めていて抜群に面白かったんですけどね（笑）。

小鹿　ああ、●藤さんとトルコさんは表面的には仲いいけどね。

――それが節々から感じられたのもシビレました（笑）。

小鹿　●藤さんもね、ある程度年収あるのに若いやつのを横取りするっていうのが、オレは許せなかったんだよ。

――だからって普通なら大先輩を喰らわせたりはしないじゃないですか、どう考えても（笑）。

小鹿　ホントはダメですよ（笑）。でもみんなの総意だからね。誰かがやらなきゃいけない場合はね、やっぱりオレは隼隊だから。

――血が騒いだんですね（笑）。猪木さんもそんな日プロの不透明な金銭面問題が原因でクーデターを始めたわけですけど、ヒトさんなんかは「猪木さんは面倒見も金払いも悪い」とかってボヤいてるじゃないですか（笑）。

小鹿　まあ、猪木さんは飲む人じゃないからねえ。いま考えれば多分にオレらと合わなかったんだと思うよ。昔から、猪木さんは練習もしっかりしてたしね。とにかく自分の名を売ることをずっと考えてたよ。

――当時から、やっぱりギラギラしてたわけですね（笑）。

小鹿　一番ビックリしたのは、まだ「アントニオ猪木」っていう名が知られてないときに、満席だった飛行機の切符を「アントニオ猪木ですが、何とか取れないですか!?」って電話して切符を取っちゃったんだよ！　あれはビックリしたけど、そういうことには本当に長けていたよ。自分を売り出すってことに関しては尊敬する部分があるよね。

――誰よりも自分を光らせるし、それでいて対戦相手もちゃんと光らせるんですよね。

小鹿　ホーガンだってそうでしょ、上田馬之助だって光るようなレスラーじゃなかったじゃん。あれは猪木さんが光らせたから、花を咲かせたんでしょ。

日プロ選手会の主催でベンチャーズの興行をやるはずだったんですよ

――引退しても、やっぱりあの人には誰も敵わないですからね。

小鹿　猪木さんが30年前に言っていたことが、ようやっと自分の思い通りになって。それでもまだあの人はまだこうやればって考えているんじゃないの。人のことを考えないでね（笑）。

――レスラー・猪木は最高だけど、人間・猪木は最低だって、みなさん言いますよね（笑）。

小鹿　オレはあんまり付き合いがないから、わからねえなあ（笑）。まあ、一度ロスで飲んだけど、猪木さんは話せば普通の人ですよ。

――そのときはどんな話をしたんですか？

小鹿　将来の日本プロレスをどうするこうするってね。

――それは東京プロレス旗揚げの前ぐらいですか？

小鹿　それの何ヶ月前ですよ。猪木さんは「こういう改革しよう！」って。オレも「猪木さん、いいですね！」って意気投合して、立ってションベンできないぐらい飲んでさ（笑）。

――どんな酔い方ですか（笑）。それにしても、猪木さんはアメリカ遠征時のころからそういう野望があったんですね。

小鹿　まあ、東京プロレスの発端は豊登さんの借金問題だよな。

――かなりの借金があったっていう話ですからね。

小鹿　豊登さんが「力道山先生が東京と大阪にプロレス団体を作って対抗戦やればもっと儲かるって話をしてたな」って言いだしてな。それで「日プロをやめて大阪プロレス作るから、若いモン半分譲ってくれ。借金はその退職金で棒引きしてくれ」っ

a t ojika

12·2大日本、横浜アリーナ大会「ANTE-UP」を

猪木さんの日プロ復帰反対の声はオレが抑えたんだから！

ていう話になって

　つまり、豊登さんは自分の借金をなくした上に、日本プロレスと大阪プロレスの対抗戦で儲けようとしたわけですね。

小鹿　当然、芳の里さんは反対してさ。「そんなのはオヤジ（力道山）から聞いていない。退職金は何とかするけど」と。でも豊登さんは「イヤイヤ、それでは困る。やめたら日本プロレスにいられないんだから」って。そりゃあ、そうだよ。退職金もらったらいられねえよなあ（笑）。

―ホントにやめたいわけじゃないわけでしょうからね（笑）。

小鹿　それで、豊登さんは当時、外国人女性と結婚して住んでいた池尻のマンションで強引に会議を開いたんだよ。

―エ!? 豊登さんは外人女性と結婚されてたんですか!?

小鹿　知らなかったの？ そのマンションに馬場さんや芳の里さんらの幹部連中を除いた選手を集めて「淳ちゃん（芳の里）とも話したんだけど、大阪プロレスを作ることになった」って、そこから大阪プロレスに行く連中を勝手に選び出してさ（笑）。

―ダハハハー　また随分強引に話を進めちゃいますね（笑）。

小鹿　オレは豊登さんに「芳の里さんはそうは言ってなかった」って問いただしたんだけど、「バカヤロー！ 何言ってんだ！ オメエー」って怒鳴るから、高千穂と一緒に芳の里さんを探してマンションに連れてきて。そしたら豊登さんは何も言えないくてさ。でも芳の里さんが帰ってたら「バカヤロー！ 余計なことしやがって！」って、また怒鳴るんだよ（笑）。それで、選んだ選手が田中忠治やマサ斉藤、（ラッシャー）木村、高崎山（猿吉、魁勝司＝北沢幹之）とかな。

―ああ、後から東京プロレスに参加する選手たちですね。

小鹿　そう。結局、その選手たちがついていくんだけどトップの選手がいないから。それで豊登さんがハワイで猪木さんを説得して、東京プロレスというかたちで旗揚げになるんだけど。

　スタートの時点から、かなりキナ臭かったわけですね。結局、豊登さんの目論見通りには行かずに東京プロレスは崩壊して猪木さんは日プロに戻ってきたわけですけど、やっぱり日プロ内部には猪木さんに反発する人も多かったみたいですね。

小鹿　そうだよ。それで、オレがその声を抑えたんだから―

　小鹿さんがですか!?

小鹿　やっぱり日本プロレス、プロレス界のこと考えたらね。

　それで復帰した猪木さんは馬場さんとのタッグで一時代を

Great

1995年11月3日 後楽園ホールで行われたターザン後藤戦での小鹿の旧日本軍コスプレ姿。日本刀をキラつかせコスプレとは思えないこの迫力！ 老いても軍隊が感じられるのだ。この試合では後藤に試合前から大流血をさせられたものの往年を彷彿させるファイトを展開したがラリアットの前に沈んだ。

築きつつも、結果的にはクーデターへと至るわけですよね。

小鹿　あのクーデターのとき、多分に猪木さんはKっていうやつの言いなりだったの。

——そのKさんっていうのは、猪木さんが設立していた会社の経理を担当してた方ですね。

小鹿　オレは「そんなどこの馬の骨かわからないの入れないで、自分たちだけでやりましょうよ！」って言ったんだけどな、そのKっていうのは●藤●吉が合宿所を建てたときの建設会社の人間だったんだよ！

ああ、だから信用できなかったわけなんですね（笑）。

小鹿　そのKがアーダコーダ言うから、役員会議のときに裏の部屋に安達、桜田（ケンドー・ナガサキ）を待機させて「いざとなったら、もうやっちまうぞ！」ってこともあったよ！

ダハハハハ！　しかし、いちいち隼隊なんですねえ（笑）。

小鹿　あれはね、吉村さんと芳の里さんと林とで新宿の「九州」というスナックで飲んでいたんですよ。そうしたら上田さんから電話が掛かってきて「大変なことが起こりますよ！　明日みんなゴルフ行ってる隙に、猪木が役員会議を開いて会社がひっくり返しますよ」って。「そんなバカな、誰がそんなことを」思ったら「馬場、猪木、オレです。でもホクは向こうに行きません」それで飲んでいたスナックに馬場さんを呼んで、事情を聞いたんだよ。

そんな重要な話をスナックで聞き出したんですか（笑）。

小鹿　そしたら馬場さんも「クーデターには乗り気じゃない」ってことでな、そのとき、多分に元子さんが送りに来てたよ。

それで、馬場さんらとの歩調が合わなかったのか猪木さんが暴走したためか、クーデターが失敗に終わって追放された猪木さんが新日本プロレスを設立することになるわけですけど。

小鹿　猪木さんが大きくなったのは、坂口（征二）が日プロか[illegible]

——つまり、日プロを放映していたNET（現在テレビ朝日）が、[illegible]新日本に付いたことが非常に大きいと。

小鹿　[illegible]どうなったかわからなかったな。

[illegible]あれはそれぐらい重要な出来事[illegible]きく変わっていったんだから。

[illegible]それによって、日プロが崩壊してしまったわけですからね。

小鹿　[illegible]けどな、坂口らと一緒に新日本とやるっていう話もあったけど[illegible]

[illegible]まあ、それも人生だな。

[illegible]

ヘイスタックスを殴ってやったよ！　キッドなんてビビってたじゃねえか！

合のときは、新日本との合併交渉が大木さん側と決裂したこともあって、坂口さんたちは木刀持参で会場を出たっていう物騒な状況だったわけですよね？

小鹿　桜田は、新日本に移籍するって決まってた大城（大五郎）を試合で半殺しにしちゃったりとか、そんな不祥事もあったね。

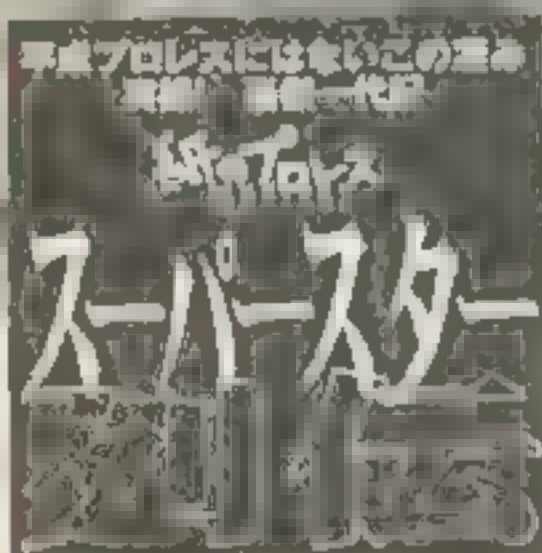
半殺しですか!?　そういえば、この前出たダイナマイト・キッドの自伝にも小鹿さんのそんなエピソードが出てたんですけど（笑）。読まれました？

小鹿　ああ、ちょっと読んだよ。

——キッドから「とにかく日本ではガンガン行け！　思いっ切りだ」というアドバイスを受けたジャイアント・ヘイスタックスが小鹿さんにガンガンいったら、小鹿さんは「なめてるのか！」って試合後の控室で鉄拳制裁を喰らわせたそうですけど。

小鹿　（厳しい目で）いや、つまりセールしかなかったんだよ（キッパリ）！　アイツは全日本では馬場さんがトップだからセールする

見てみい 全日時代、馬場に付き添う小鹿の鋭い眼光！ これではダイナマイト・キッドが「小鹿の家系はヤクザと関係があるという噂がたったのは事実」と自伝に書いてもおかしくないのだ いつ何時でも凄み溢れる昭和のプロレスラーの姿がこれである

スーパースター

アメリカじゃ馬場さんがメインを張ったって お客は入らないですよ

Great Kojika

けど、オレは5番目ぐらいの下のやつってことで見下した態度で試合しやがってね……。

——ああ、キッドのアドバイスで「髪を掴んでは引きずり回す」っていう試合をしたらしいですからね。

小鹿 プロレスっていうのは、相手のいいとこ見せてやるもんなんですよ。こっちはセールしてやってるのに、自分だけいい格好して試合を終わらせて。「なめやがって！」ってブン殴ってやったよ！

——それでまた隼隊の魂が騒ぎ出したと（笑）。

小鹿 ああ！ キッドなんてビビって隠れていなかったじゃん— バカヤロウが！ それにあいつ、オレがヤクザと関係があるとか書いてるんでしょ？

——「小鹿の家系はヤクザと関係があるという噂が立っていたのは事実」と書かれてますね。

小鹿 悪いけど、ヤクザだったらこんな貧乏してないよ（笑）。

——まあ、大熊（元司）さんとの極道コンビっていうのはありましたけどね（笑）。

小鹿 ガッハッハッ！ それがヤクザっていうかどうかわからないけどな（笑）。まあ、リングに上がったらヤクザだろうがなんだろうが関係ないんだよ。プロレスは2人でやるもんなんだから。カール・ゴッチみたいに自分のやりたいことだけやっていたら、いつもまで経っても所詮は第1試合目でね。オレがアメリカに遠征したとき、あのゴッチが10分1本勝負の扱いだったからね。

——ゴッチさんはプロとして何かが致命的に足りなかったから、商品価値が低かったってことでしょうね。いくら技術があっても、淡々と無表情で技を出すプロレスじゃダメだっていう。

小鹿 ただ強いっていうだけじゃダメなんだよ。アマチュアと違って、プロはお客を引きつけなきゃいけないから。プロレスという商売にしても、アメリカは日本の10年先をいってたからね。オレはアメリカの4年間で、ものすごく勉強になったよ。

その小鹿さんのアメリカ遠征時代にも伝説が多いですよね。特にマスカラスがロサンゼルスで行われたバトルロイヤルでリンチされて負傷したときに、小鹿さんがリンチをやめさせようとしたって話もあるんですけど。

小鹿 マスカラスは試合で自分のいいところしかやらないから、他のレスラーもみんな怒るんだよね。

——相手の良さを引き出さない部分があるわけですよね。そんなマスカラスも、「あのときのコジカは本当のサムライだった」って言ってるみたいですよ（笑）。

小鹿 安達みたいに3倍ぐらいに言ってるんじゃないの（笑）。

——しかし、マスカラスみたいにある種ワガママな試合スタイルって、小鹿さんが嫌ってもおかしくはないと思うんですけど。

小鹿 オレは好きだったよ。だってマスカラスとやればメインに出れるし、金にもなるし（笑）。オレはマスカラスとは1週間で6試合ぐらいやってたからな。

ロスにはメキシカンが多いこともあって、マスカラスは大人気だったらしいですからね。

小鹿 だから、レスラーが足を引っ張ってくるんだよな。ロスのメイン会場だったキールオーデトリアムは選手の控室が個室になってるんだけど、マスカラスの控室に他のレスラーが2、3人ズカズカと入って行くんだよ……。

——その中では何が行われてたんですか？

小鹿 ……袋叩きだよ。

——ホントですか!?

小鹿 （無言で頷く）。だって腕の一本でも折られたら試合できないじゃん。それでメインを張る人間が落ちれば、他の選手が上がれるわけだし。

そういうことが普通に行われていたんですか!?

小鹿 たまにたね。

——たまにって（笑）。

小鹿 そういう雰囲気は常にあったんだよ。だから、オレは舐められないようにサバイバル・ナイフを3本持っててさ。わざとブッ飛んだ目をしながら、それを無言で自分の体や首に当てたりしてたよ。

——ダハハハハ！ それは他のレスラーに怖がられるっていうか、かなり嫌ですよね（笑）。

小鹿 だって、オレなんか体重は95キロぐらいだったでしょ。周りはみんな150キロとか200キロの怪物連中ばっかだったから。あとは本物そっくりなオモチャの拳銃をわざとらしくタオルに隠してな（笑）。「アイツはヤバイ……」って思わせて。そういうのが、メインを張るための技術なの！

控室から心理戦が始まってるわけですね（笑）。

小鹿 もちろんハッタリだけじゃダメだよ。オレなんかはね、まだ黒人と白人の差別問題が激しい時期にアーマン・ハッサンっていうスーダンの黒人レスラーとやることになったんだけど……（無言でシュートサインをする）。

まさか、そんな物騒な時期に仕掛けちゃったんじゃないでしょうね!?

小鹿 そいつが「ロスでは差別で黒人レスラーを使わない。オレは強いのに！」ってあんまり騒ぐからミスター・モトさんに頼まれてな。当時一番人種差別問題が激しかったテネシーでのテレビマッチで1分ぐらいでギブアップさせて、頭の上であぐらかいたことがあったよ（キッパリ）。

場所も場所ですし、しかもテレビマッチで！ 「いざやれば強い」って部分もしっかり植え付けたわけですね。

小鹿 そういうのを見てるからオレには手を出さないんだよ。

確かにキッドの本なんかを読んでいると、向こうはリング内でも外でも笑えないイタズラが平気であってすごいらしいですからね（笑）。舐められないためには、

平成プロレスにはないこの凄み

スーパースター列伝

何が起こるかわからないから試合前には相手にドス効かせたよ！

それくらいやらなければいけないっていう。

小鹿　オレは控室で笑ったことなんてないから。だから、こんな顔付きになっちゃって（笑）。

――自然とヒールの顔つきになったんですね（笑）。そんな凄みが、後にヤクザ映画に出るのにも役立ったんじゃないですか？

小鹿　ガッハッハッ！　いいか悪いか別にして、勉強にはなったな（笑）。

実際、メイン級の試合でもいびつな試合が行われるようなこともあったわけですか？

小鹿　そりゃあ、人間のやることだからね……。さっきも言ったけど、メインの選手が落ちれば上にいけるわけだからな。だかオレは、試合前には「オイー　オマエ、何も考えてないよな！」って相手にドス効かせて言ってたよ……。

ホント、何が起こるのかわからなかったわけですね……。そうやった実績を積んだからこそ、馬場さんがアメリカ遠征したときに、馬場さんを差し置いて小鹿さんがメインを張るまでになったわけですね。

小鹿　馬場さんがメインを張ったってお客は入らないですよ（キッパリ）。馬場さんはあくまでゲストなわけであってね。プロレスっていうのは因縁とかいろいろなものを積み重ねることによって、やがてメインまでいけるわけですから。

――それをやってきた小鹿さんが馬場さんよりも上の扱いになるのは当然の話だったんですね。

小鹿　だいたい、オレとシークの試合がデトロイトでメインを張っていたなんて信じられないでしょう？

――正直、信じられませんでしたけど、小鹿さんは当時大人気のマスカラスからベルトも奪っているんだからすごいですよー

小鹿　オレが「GKマスカラス」ってマスクを被って試合をしたときは、事務所に抗議文が来たって言ってたけどな（笑）。

グレート小鹿【本名・小鹿信也】1942年4月28日生れ59歳・北海道函館市出身・183cm、102kg。角界廃業後、日本プロレス入りしでのマシオ駒戦でデビューする。日プロ崩壊後は全日本プロレスに移籍し大熊元司の極道コンビで活躍。ケガにより一時は引退しマット界から離れたがWARの営業を経て大日本プロレスを旗揚げをする。大日本のリングではでは自らも選手として復帰し、抜なコスプレや新日本との対抗戦などで話題を集めた。12月2日の横浜アリーナでは久しぶりのリング復帰を果たす

ダハハハ！　まあ、桜庭さんがマスク被って入場したときも怒ってらしいですからね（笑）。

小鹿　だけど、多分にマスカラスもオレのことはそんなに悪くは思ってないんじゃないの？　今回も連絡したら、すぐOKの返事がきたしさ。

――やっぱり、小鹿さんはサムライなわけですからね！　それで、今度は横浜アリーナでタッグを結成するわけですけど、小鹿さんはだいぶ試合からは遠ざかってたんじゃないですか？

小鹿　だって、オレが出ると雑誌とかの大日本のページを取ってしまうわけだよ。だったら、ちょっとあとに引いて若いやつに譲ろうと思ってね。でも、今度は横浜アリーナだからね。練習しないとなぁ（笑）。昔みたいな体にするのは無理にしてもさ。

何かマスカラスとの合体技とか考えてるんですか？　2人で合体ドロップキックとか（笑）。

小鹿　何かやらないといけないけど、オレは3メートルぐらいしか飛べないからな（笑）。

十分じゃないですか（笑）。

小鹿　まあ、昔の1970年代の試合が再現ができればいいね。

――古き良きアメリカンプロレスを現代に蘇らせると。しかも、対戦相手はテリー・ファンク！

小鹿　テリーたってね、単なるビジネスだけでくるわけじゃないから。全日のときはアマリロに行って何度かやってるし、ビジネス以外の繋がりがあるわけでさ。

同じ時代を共に生きてきた仲間みたいなものですかね。

小鹿　まあ、あのときは子供が生まれたばっかでアマリロには行きたくなかったんだけどな（笑）。（ドリー・ファンク）・シニアのブッキングで選手から来るだろう。あっちで選手がいなくなるなら、日本でいいヒールはいないかって話になって。

――それで小鹿さんが選ばれたわけですね。

小鹿　馬場さんが「行ってくれ！」ってしつこいからさ。また、都合がいいときだけ馬場さんは「小鹿、小鹿」なんだよ。

日プロ時代が相当楽しかったのはよくわかりましたけど、それと比べると、全日本プロレス時代はどうだったんですか？

小鹿　そりゃあ、日プロの方が断然楽しかったよ（キッパリ）。不満がかなりあったからね。

それはなぜですか？

小鹿　やっぱり殿様が人の言うこと聞かなかったからでしょ！

つまり、馬場さんがですね。それは元子さんの力によるものでもあったんですか？

小鹿　多分にね。それは最後の方になれば元子さんの力も強かったんだろうけど、最初のころは馬場さんが思うようにやってたんじゃないの？

全日での元子さんの影響力が強くなったのはいつ頃からなんですか？

小鹿　まあ、噂なんだけども……。

――後編に続く

隼隊魂炸裂の小鹿！　次回は全日時代の隠された秘話を中心にお送りする。次回を待て！

12·2大日本、横浜アリーナ大会「ANTE-UP」を100倍楽しく見る方法

〜これを読めば、アナタもきっと大日本が見たくなる〜

目前に迫ってきた12·2大日本横浜アリ大会
元気のない日本マット界において、地方も後楽園も
分け隔てなく盛り上がりを見せているのが大日本
『紙プロ』から、このビッグマッチを前に大日フリークの
ライター3人による『大日本を100倍楽しく見る方法』を
お届け！ しっかり読んで横浜アリに集合！

構成／松澤チョロ　designed by matsu (Two three)

メインイベント　BJWデスマッチヘビー級選手権試合
時間無制限1本勝負

松永光弘(王者)vsザンディグ(挑戦者)

セミファイナル
60分1本勝負

関本大介vs大谷晋二郎(ZERO-ONE)

第7試合　GKドリームタッグマッチ
60分1本勝負

グレート小鹿&ミル・マスカラス
vsテリー・ファンク&テリーボーイ

第6試合　CZWアイアンマンヘビー級選手権
60分1本勝負

ジャスティス・ペイン(王者)
vs ニックゲージ(挑戦者)

第5試合　ファーストメインイベント4WAYバトル
時間無制限1本勝負

ワイフビーターvsマッドマン・ポンド
vs葛西純vsヴァンハマー

第4試合　ジャパニーズ"ハードコア"マッチ
60分1本勝負

シャドウWXvsバッドボーイ非道

第3試合　最侠タッグ6人タッグリーグ優勝カップ争奪戦

「神風」&保坂秀樹&松崎駿馬vs
大黒坊弁慶&アブドーラ・小林&沼澤直樹(スキンヘッダーズ)

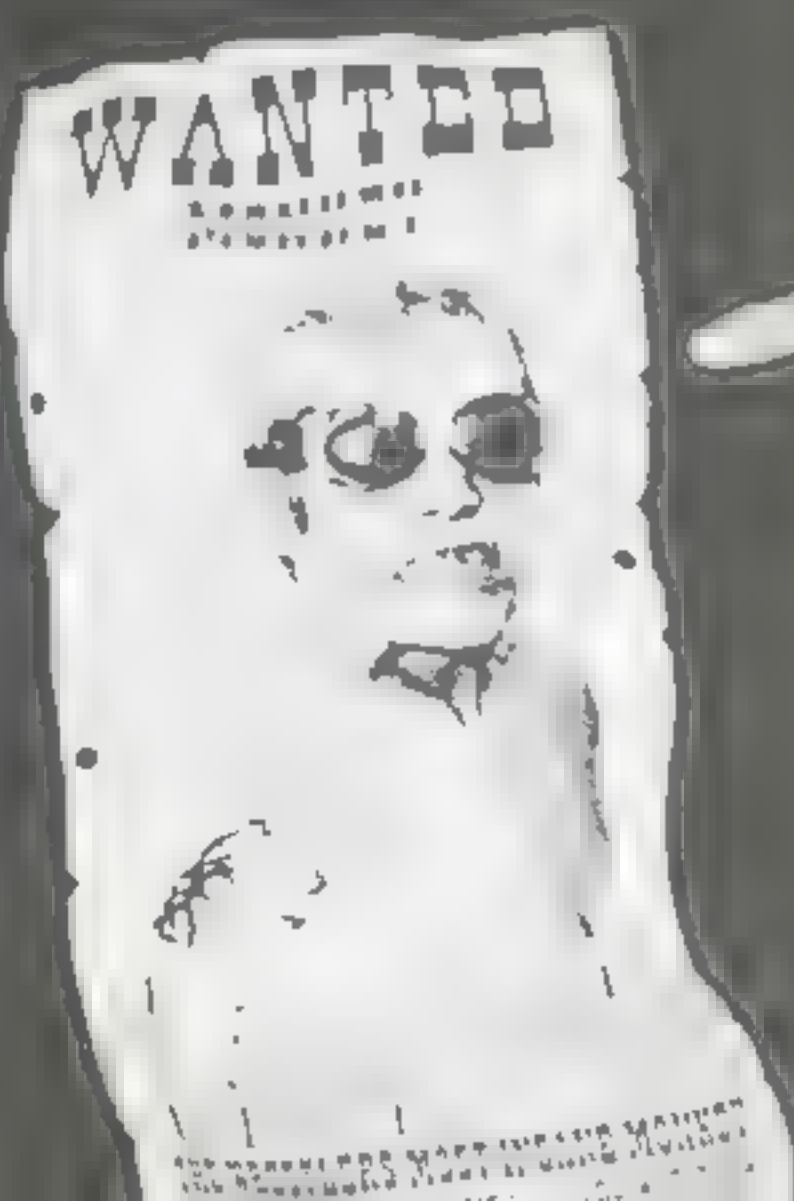
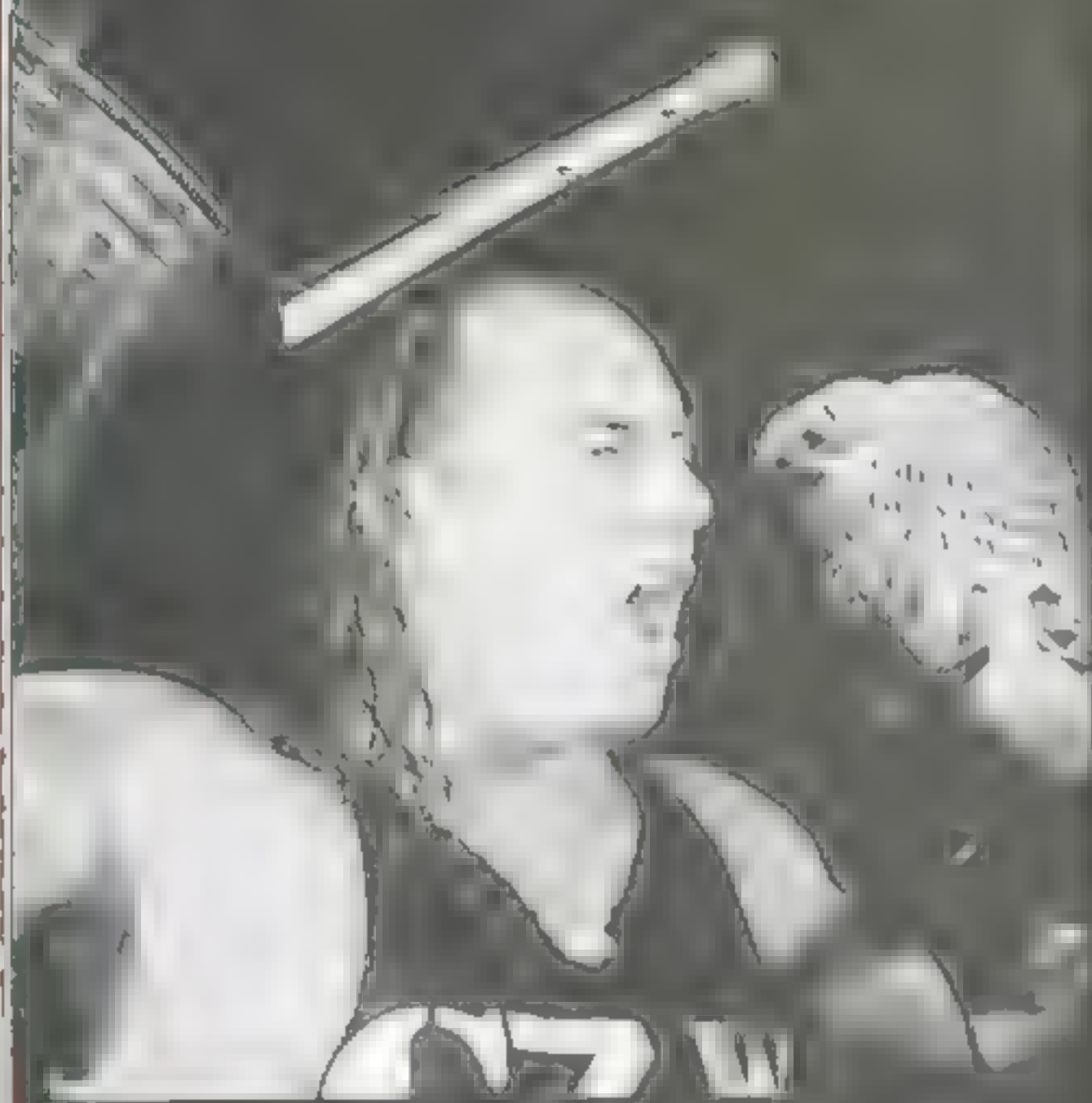
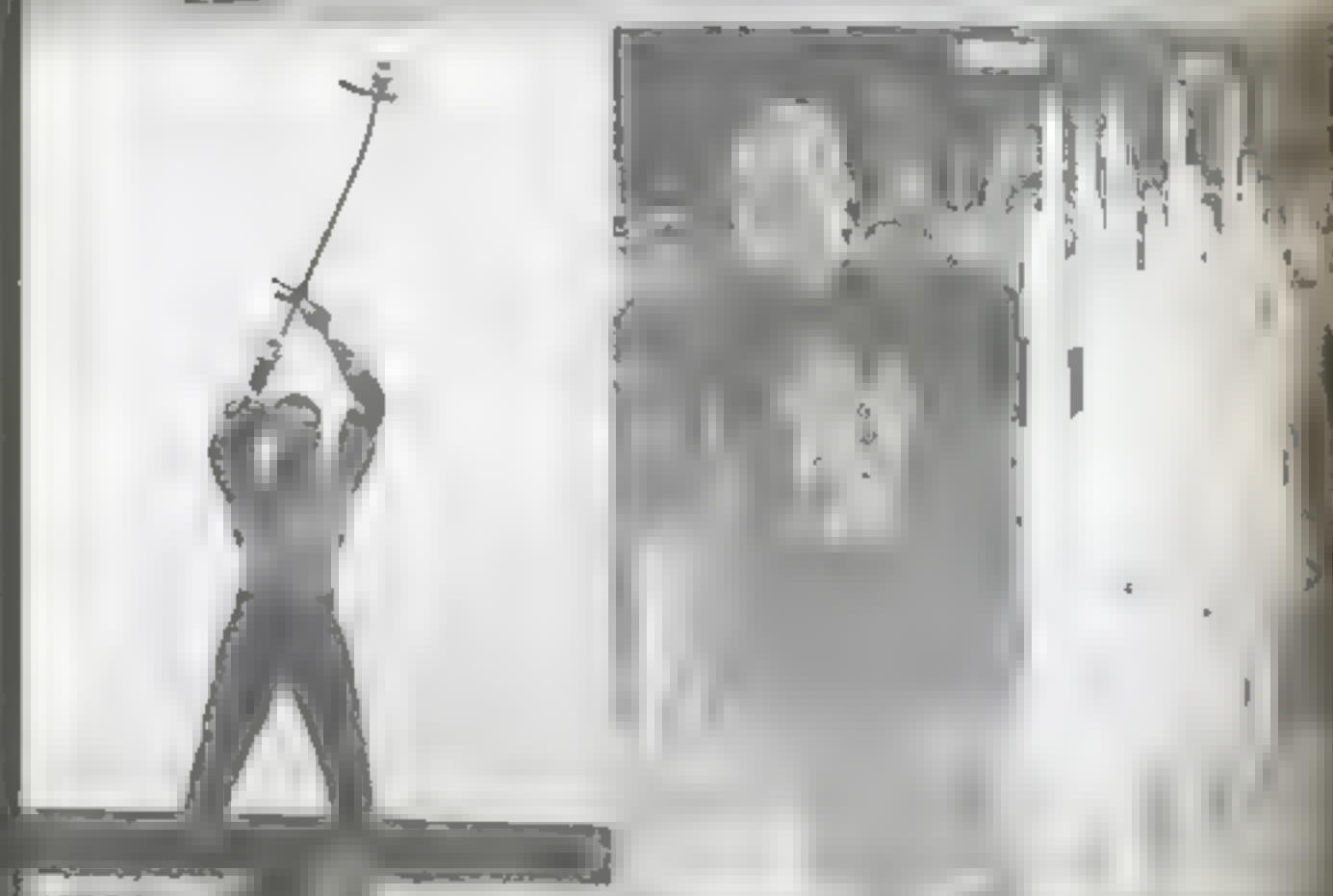
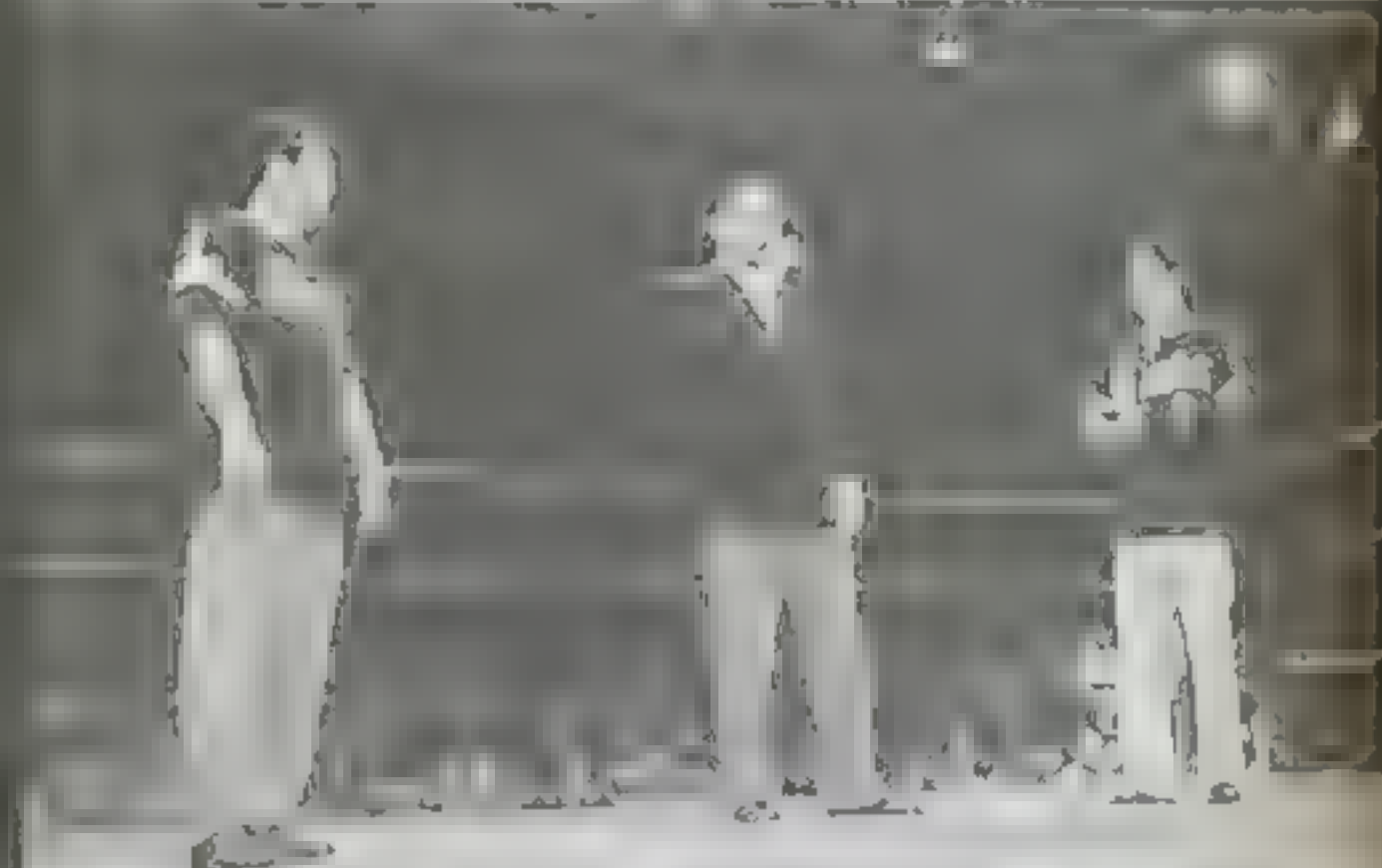
第2試合　BJW&CZW Jrヘビー級ダブル選手権
60分1本勝負

ラッカスvsアシッド

オープニングマッチ　ミックストタッグマッチ
20分1本勝負

伊東竜二&矢樹広弓vsファンタスティック&マルセラ

総合好きの貴方にこそ贈るCZW入門

文・大坪ケムタ

「総合格闘技とデスマッチ系プロレスのカタルシスは全く等価である」

これがパンクラスと大日本の後楽園大会は欠かさず通ってるワタクシの持論であります といっても伊東竜二のハイブリッド（風）ボディはビーズ・ラボに通ってるからとか、山田学が引退したあと実はザンディグと山田の間で「親分」の称号引き渡し式があったとか、ムリヤリな意味つけをするつもりはナイ しかし試合を見て受けるショックの度合いは確実に同レベルなんです！

例えば桜庭でも高阪でも菊田でも誰でも良いけれど総合系のリングで以下のシーンを想像してください。有利なポジションに位置する→腕を取る→こらえる相手選手→腕ひしぎ逆十字の体勢になる→こらえる相手選手→ギリギリと伸びる腕→必死にクラッチを離すまいと耐える相手→一気に引きちぎる！→完全な逆十字の体勢→悲痛な顔でギブアップする相手選手……という会場がドカーンと盛り上がる光景がありますやね

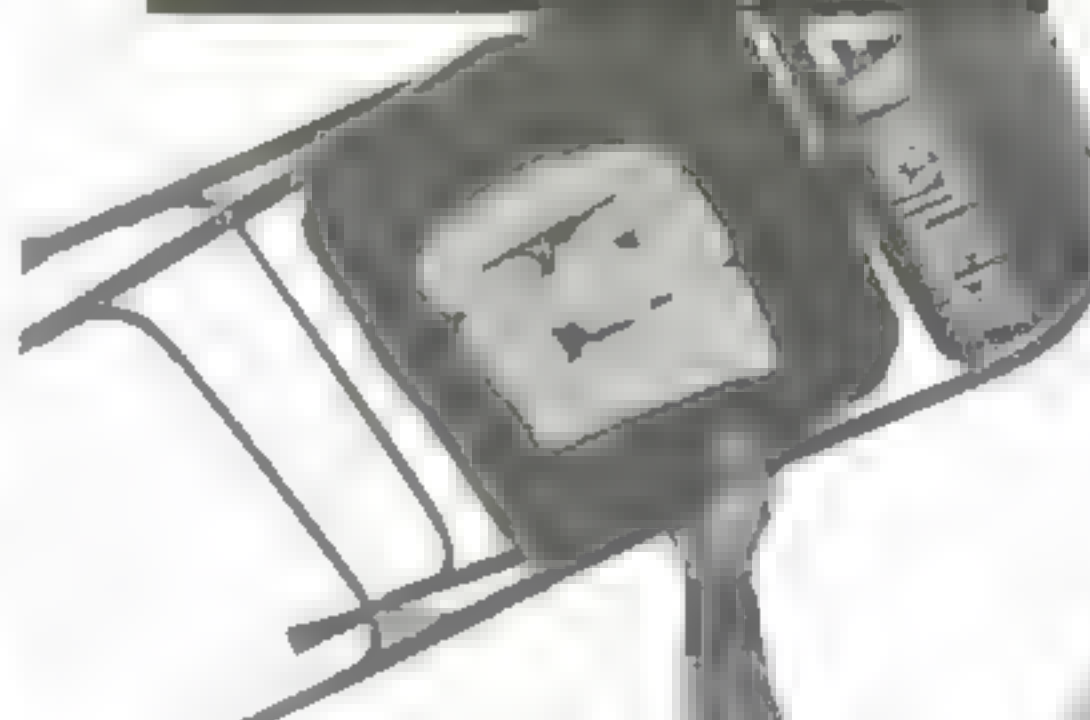
これに対してデスマッチ系で盛り上がるこんな光景 テーブルと蛍光灯タワーをリング上に用意する→雪崩式パワーボムの体勢完了→こらえる相手選手→何度も力を入れる→リバースで返そうと必死な相手→一気に持ち上げる！→炸裂音と共に叩きつける→悲痛な顔でキャンバスを転がる相手選手…… その過程は全く同じでしょ？ と書くと、「それってメジャー団体でも同じじゃん」と言う人もいるでしょう。確かにプロレスの魅力という「決まるか？ 決まらないか？」というスレスレの所を見せる部分というのがある。でも新日・全日は2・9プロレスの乱発によって「絶対的なもの」というのが薄まりつつあるのが現実。一言で言えば、一撃 の技に説得力がない！

それに対し総合はガチというリアリティの元に関節技・KOという「絶対的なもの」を、デスマッチ系は有刺鉄線やガラス・画鋲・爆破というアイテムにより「絶対的なもの」を手にした 絶対的なインパクト、これを巡る闘いという意味で総合もデスマッチも等価だと断言できるのだ！ と言いつつデスマッチだけじゃないのが大日本の魅力なんですけどね

特に普段、総合しか見ないという「紙プロ」読者にこそ見て欲しいのがCZW。彼らには総合におけるノゲイラや桜庭級の「絶対的なもの」を見れると断言する！ 昨年の初来日以降そのインパクトは薄れるコト無し、シリーズごとに参戦する追加メンバーもハズレ無し！ 過去に○○軍団的な形で来日した外人選手集団は数いれど、ここまで上質・大量・長期に渡ったグループはいなかったのではないだろうか？

特にそのリーダーであり、今回外人選手でありながらBJW&CZWの代表として松永を迎え撃つのが我らがザンディグ！ リング上でのまさにウルトラバイオレンスな暴れッぷりとリング外で見せるどこか哲学的な佇まいは、同じく外人ながらファンに愛されたデスマッチファイター、カクタス・ジャックを彷彿とさせる。来日当初の「ヤバすぎる暴れん坊」から「新デスマッチのカリスマ」へ。それは自らトップロープを飛び越えての場外有刺鉄線ボードブチ破りバンプ、ディスカスエルボーで相手の首を叩き折るといった、バイオレンスな部分だけで勝ち取った称号ではない

CZW・JAPAN時代、葛西とタッグで勝利し父子のように抱き合った時の喜びの顔。その葛西に裏切られ、弱々しく頭を抱え込むあの悲しみの表情 試合前、マイクを奪い取っては敵を罵倒し怒鳴り散らす、あのガラ声。ひとつひとつの表情であれだけ魅せられるレスラーはなかなかいない。特に悲しみをあれだけ感じさせる選手なんて…他に誰がいる？

今回の松永との闘いはまだ正式に対戦方式が発表されていないが、ガラス爆破＋時間差アイテム投入デスマッチとなりそう。10月25日のノーコンテスト以来の今度はヘビー級ベルトを賭けての闘い。新旧デスマッチ王の最終決戦というだけでなく、横アリクラスの会場でデスマッチはどこまで何を見せられるのか？ というテーマが今回はある。従来のファンに「やっぱり後楽園ぐらいがちょうどいいねェ」と言わせても負け、その位厳しい闘いなのだ

その上、ザンディグ自身「客入り次第ではCZW日本撤退も」とマイクで言い放っている。集客・試合内容・結果。全てにおいて完全勝利しなければいけないザンディグ危うし！ マジで少ない髪も抜け落ちそうな危機一髪の横アリ、ザンディグの日本ラストファイトにさせないためにもこの一戦、見逃す手はナシ！

今回横アリにしては……と言われるカードではあるが、後楽園でも日本人絡みより盛り上がるCZW純血カード2試合に関しては内容保証 BJW・CZW両ジュニア王座が賭けられた第2試合はキャラ良し飛べて良しのラッカスvsアシッド。アイテムだけでないCZWのまた違った一面を見せるハードコアマッチ必至！ もう一つの純血、アイアンマン王座戦は夏以来の来日となる王者ジャスティス・ペインにニック・ゲージが挑戦 日本では準レギュラーなためボンドらより知名度は落ちるが、本場CZWでは主役張りまくりのペインがアリーナ全体を巻き込むどんな試合を見せるかが何とも楽しみだ。大日本では珍しい4WAYマッチもタダで終わるとは思えない。CZWに裏切られた葛西、同じく敵対しているヴァン・ハマー、おなじみマッドマン・ポンド&ワイフビーター。2vs2の形になるのは想像がつくが、ホントにそれで収まりがつくのか……？

「PRIDE」や猪木軍、ZERO-ONEといったプロレスの今年の話題の中心になった団体の数々

これらが試合の前の部分、サイドストーリーで話題を作ってきたのは否めないだろう WWFを見習ってストーリーをガッチリ作るのは十分アリ。しかし煽りだけ煽って内容が伴わない、ハッキリ言えば「PRIDE.17」のような興行を見た後だと逆に理屈抜きのものを見たくなるでしょ？ もしそう思っているのならCZWを刮目して見よ！ ストーリーや柔術テクなど知らない素人でもノゲイラの関節技には驚嘆出来るように、12月2日、横アリに行けばザンディグの強烈バンプが全ての人の目からウロコを引っぱがしてくれること間違いなした！

葛西"狂猿"純を見に横浜アリーナに行こう!

文・三浦店長

BJW12・2横浜アリーナ『ANTE-IVP』大会で誰に注目するかなんてつまんねーこと聞いてるんじゃねえよ どう考えたって葛西"狂猿"純しかいねえんだろが

葛西観すしてBJW&CZWは語れずってところは、今や常識の範疇たよな

2001年、葛西の試合とマイクに外れはなかったんだよ

「紙プロ」読者にとってBJWなんてデスマッチ団体は、まったく視野にはいってないかもしれないけどよ、その視野の外では信じられない程の熱く壮絶な試合が行われてきたんだよ

黙殺するならそれでも結構 たが、食わず嫌いは感心しねぇな。メジャーだってインディーだって、ストロングスタイルも王道もデスマッチも、プロレスはプロレス 自分の目て確かめてから判断して欲しいもんだぜ。

そしてBJWの会場では、葛西に期待し、葛西に注目するんだよ

そのコチコチに固まった"プロ格"頭と狭い常識なんぞは、一瞬にして破壊されちまうのがオチだからよ

特別に教えてやるけどよ、今一番プロレスらしいプロレスは、実はBJWのデスマッチやハードコアファイトの中にありっていうのは知る人ぞ知る事実だぜ。マニアを常に熱狂させ、地方大会では一見さんの老人や子供にも満足感を与えながら、巡業では細かく全国を回り続ける旅芸人的団体なんてのは、そうそう残ってねえたろう

地方大会でもけっして手を抜かずに逆に、札幌、博多の様に周辺部からムーブメントを起こすなんてことはもうメジャーにも難しいだろう

そして、その中心となってBJWをかき乱し走り続けているのが葛西純なんだよ。血まみれの旅芸人がアリーナで吠えるぜ。今の葛西にとっては、ちょっと手狭な箱たけとな

オッとそれから古い読者なら覚えていると思うけと、葛西は元本誌のハガキ職人の過去があるんだよ。満更知らない仲でもないんだから未見のファンの皆様、まあよろしく頼むわ

そもそも葛西がブレイクしたきっかけは、もちろんCZWとの出会いた また、まだ、グリーンボーイ臭を漂わせていた彼に、巨大ホチキス、芝刈機の洗礼を浴びせ、血の覚醒を促してしまったのだ

血の味を知ってしまった葛西は、その後のファイアーデスマッチで山川に勝利するなどの大爆進を続け、松永とのタッグ結成、そして対戦と目まくるしく動きまくった

そして気づけば、CZWの重要な一員となってBJW本隊との闘いの中にあった

サンディグが、CZWのプレジデントでありながら会場ではベビー人気をも獲得し、そのカリスマ性をアピールし始め、葛西はクレイジーモンキーとして一躍ブレイクした時点で、BJWマットの勢力地図は一気に塗り変えられた

デスマッチ四人衆、BJフォーフォースメンなどという、今聞けば懐かしさすらたたよう名称の本隊の大黒柱達か一人減り2人消え、いつのまにかBJWはCZWの軍門に下ったかの様相となってしまった

そして既に日本の枠におさまりきらなくなった葛西は2000年、心の故郷そして現在では出身地のヒラテルヒア(ネイティブな葛西流発音)に遠征 CZWの本場でのハウスショーでも大暴れを見せる

コアなCZWの観客達を前に、「ここまでやるか」と絶句させるほどのバンプを見せ、当然ながらファンの大声援を獲得 この試合の壮絶さはCZWのHPでも公開されたので、背中の大裂傷を気にもせす試合を続け、血まみれでインタビューを受ける画像を目撃したファンも多いであろう

この連載では元ECWのトミー・ドリーマーとも乱入という形で肩を合わせたか、今のカッサーイの前では過去の人としてくすんでしまう程の存在感を示した

そして、このヒラデルヒアの生活の中で、マッドマン・ボンド宅にホームステイしていた運命の男と出会うこととなる。単身アメリカで闘いを続けていた"非道くん"だ

2人はすぐさま、意気投合し、アメリカでの遊び友達として夜のマットでも大暴れを続けたのた

会場で葛西を観たファンなら知ってると思うけどよ、ヤツはカッコいいだろ。狂猿になってからの葛西は過去を捨てて別人になったんだよ

シュニアの範疇に入るその小さな体を目一杯使ってファイトし、目一杯の危険なバンプを取りまくっている姿を見れは、成功するよな

昔、黄色いパンツをはいた人がさわやかなデスマッチなんて言ってたけど、結局は葛西流のファイトがファンの心をつかんでしまったじゃねーか

バイオレンスだけども、人間味が見える闘いが葛西流だよ

毎試合て必ず完全燃焼する姿に、シビレちまっているんだよ

一般的な知名度なんて、とーたか知らねえけとな、会場人気は常に一番たろ

会場は知ってるんたよ、誰が一番カッコいい男かってことをな。

横アリはBJWにはビックマッチらしいけどな、ワールドワイドな葛西にとっては、単なる地方の大きめの大会ぐらいの感覚て、いつもとうりに闘うせ

でもよ!、このカードはなんなんだ。なせ4WAYなんだ 焦点かホケちまってるじゃねーか。BJWの大会が葛西色に染まるのを怖れた、大日本のフッカーTことメンズ・テイオーの陰謀かよ。ここでは当然、非道くんと組んでのタッグデスマッチたと思ったけとな

まあ、いいや。どんなカードを組んでも結局は、興行の主役は葛西が持っていっちまうんたからな

マスカラスだテリー・ファンクだって騒いでるようだけどよ、今が旬の葛西の前では当然くすんでしまうだろうぜ

当日はよ、横アリ全体をマットとして、もっとも会場を有効に利用したレスラー、そしてもっとも多くの血を流したファイターとしての冠も増えちまうんだろうな。楽しみだぜ

ビッグマッチのメインで松永光弘のW★INGでの夢爆発！

文・イナズマ★K

さて、横浜アリーナで注目するとなると、やはり頭蓋骨骨折の重傷から遂にエキシビションながら復帰を果たす山川選手。雑誌でもいろいろ書かれていたけれど、もうこればっかはやってみるしかない。回りで騒いでも何ごとも最後は本人の決断しかないのだ。復帰後、レスラーとして目を見張る活躍でレスラー山川は凄いと言わせるのか、またケガをしてほれ見たことかと言われるのか、どっちかだ。こうなったら僕はレスラー山川選手の凄さを存分に見せて欲しい。頑張れの意味でも、選手の兄貴分・山川竜司の復帰は、大日本のビッグマッチに相応しい、ファンにとっても、団体にとっても素晴しい出来事のように思えてしかたない

そして、メインをとるザンディグvs松永光弘。大日本のファンの中でも、なんで団体外の選手がメインを張るの？という声も聞かれる。ザンディグはCZWを率いて実質的に大日本を引っ張ってきただけに問題なしだろう。きっと「？」は松永選手に対してのもの 現時点でザンディグとの対戦相手で一番良い試合をできそうなのは、彼をおいて他に見当たらないのもマッチメイクのポイントにはなっている。でも果たしてそれだけの理由でこのカード、松永選手がメインなのだろうか

やはりこの横浜アリーナ大会というのは大日本プロレスにとって、記念すべき一大ビッグイベントだというのを再確認しよう

これまでに大日本は多くのエース級の選手が出入りをくり返し、何度かのピンチを乗り越えてここまで成長を続けてきた その中でもデスマッチ路線が明確になって、現在の大日本の色になったといえる

そのデスマッチ路線を導いたのは誰あろう松永選手だ 以前山川選手も言っていたけれど「松永さんが入って選手の意識が変わった」「常に危機感を持たないとっていうのを教えられました」。松永以前・松永以後では、団体の空気感や面白さでも格段の差がある

松永選手も、当初大日本参戦前には「ここまで身を落とすことはないだろう」と考えたという 当時の大日本はまだそういうポジションの団体だったのだ。野暮ったい印象しかなかったもんなぁ 当時のことを思い返せば今なんか全然おしゃれな団体に見えるよ（また充分野暮ったいが）。そう、ミスターデンジャーはデスマッチをやる為に大日本に乗り込んできたのだ

そもそもの参戦理由は、ちょうど大日本で、呼ぶ予定だったレスリングベアーのテリブルテッドとの対戦に興味をひかれたのだ たが動物愛護協会などの横やりでそれは実現しなかった。そこで松永はFMW在籍時に実現できなかった数々のデスマッチアイディアを実現させてくれるという約束をとりつけ、大日本参戦を承諾したのだ 端から見てたら、熊の代わりに我らがデンジャー参戦というのにちょっと笑ってしまった。でも非常に嬉しかったのも事実。その頃はホントに面白いデスマッチを見せてくれる団体はほぼ消滅状態。インディ団体も下降線をたどってる時期だった

そこに救世主のごとく現れた松永だった。あの凄かったW★INGのかけらが見れるかもしれないという期待感もあった

大日本もここで一歩抜けないとという思いも強かったことだろう。そういういろんな思いが全てプラスの方向に向かった

そこで松永選手がいろんなデスマッチを繰り広げたからこそ、山川、WXなどが成長したのだ。本間も含めた新世代デスマッチというのだって、やはり松永の突拍子もないアイディアから生まれる数々のデスマッチがあったからこそ育成された

CZW勢だって松永やW★INGに対する憧れというのは大きい。見てみ、マッドマン・ボンドのW★INGリストバンドをもらった時の嬉しそうな顔を

今の大日本のお客さんはそういった松永初期参戦時の活躍ぶりを見たことの無い人も多い。確かに若い選手にくらべればスピードも落ちる。プロレスだって決して上手くはない。アイディアのハチャメチャさについていけないって気持ちも分かる。でもスピードに関していえば、ハードすぎる闘いの結果、膝のケガなどでテンポを落とさざるをえなくなってしまったのだ

アイディアに関しても、あれだけネタ出ししてれば当たり外れはあるってもんだ現在、大日本の象徴といえる蛍光灯だって、最初は松永のアイディア。数々の大日本の危機を救い、団体の流れを導いた松永の存在は、ECW初のPPVでメインに出場したテリーの姿とダブるような気もする そういう意味でもメインに登場する松永の存在意義は文句なく正解なのだ

そして今度のアリーナではカラスクラッシュ・デスマッチを遂に敢行する。ここにもW★INGでの夢（？）が垣間見れる。かれこれ8年も前に発表され実現しなかったW★INGの「キング・オブ・デンジャー」トーナメント決勝戦として行なわれる予定だったあのデスマッチ。ポーゴいわく「首がちょん切れちまうかもしれない」一戦を越えたデスマッチが、遂に実現するのだ これが吉と出るのか凶と出るのか全くもって分からないが、とにかく凄いものであるのは間違いない。以前、山川選手が首に蛍光灯が刺さってしまった時「デスマッチだから何やったっていいんだ！」って叫んでいたのを思い出す。皆だんだん蛍光灯にしても軽いもののように思いはじめてるけど、デスマッチなんだ 一歩間違えれば死と直結してしまうものなのだ。でもきっと選手は、ファンが思ってる以上に、覚悟を決めて闘いに挑んでいるぞ。それだからこそ、デスマッチは緊張感があって、スリリングで、面白いのだ

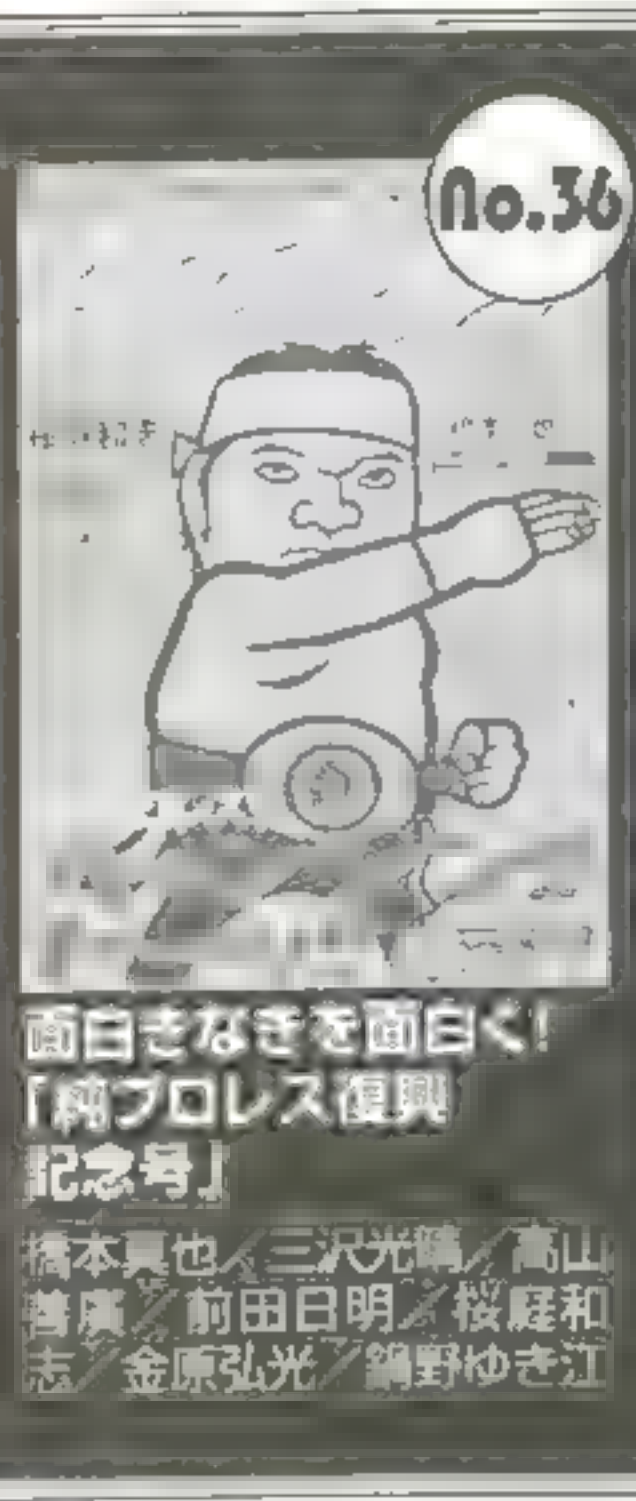
ハードコア・マッチとは違う？ 何言ってんの、一緒ですよ

そう、今回の横浜アリーナは、大日本の現時点の集大成でもあり、なおかつ、デスマッチの歴史の集大成といった意味も込められてるのだ ここにきて、なんと山川のメイン出場（タッグ戦）なんて話も浮上してきた

今からでも遅くはないぞ、「行けば良かった」は通用しないぞ、12・2の横浜アリーナを見逃しちゃダメだ！

紙のプロレス Back Number Information

中川画伯イラスト表紙バックナンバーを購入してカラーで拝めッ!!!

No.35
「純プロレス」を考え倒せ!「純プロレス」徹底検証号

No.36
面白きなきを面白く!「純プロレス復興記念号」
橋本真也／三沢光晴／高山善廣／前田日明／桜庭和志／金原弘光／鍋野ゆき江

No.37
小川と三沢が遂に結んだ!! 純プロレス戦国絵巻号
小川直也／橋本真也／安田忠夫／村上&小路／田村&ヘンゾ／アブダビ大特集

No.38
高田の"忘れ物"は小川!! ラスト・オブ・「もうー丁ッ!!」
高田延彦／小川直也／ジェラルド・ゴルドー／阿修羅原／力皇・杉浦

No.5★高田延彦、樹海へ……ヒクソン戦直前大特集号

No.7★田村潔司・「紙プロ初のロングインタビュー記念号

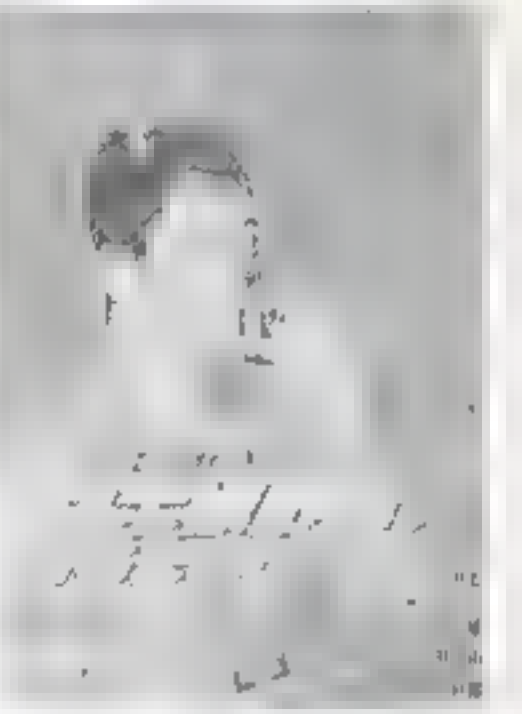
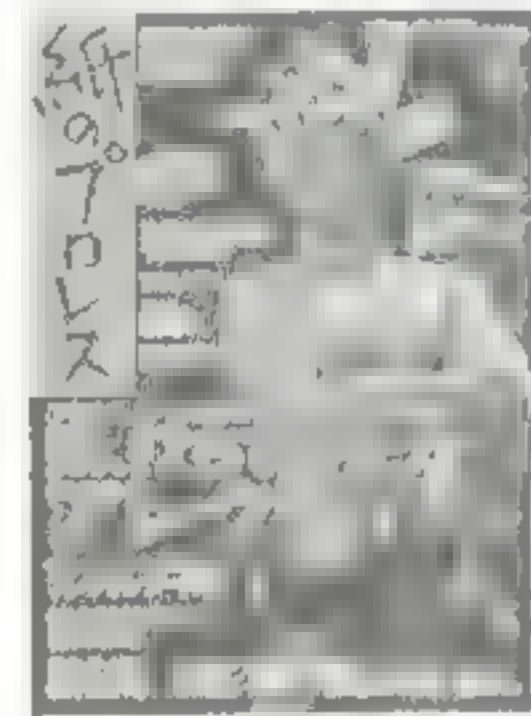
No.10★前田日明vsエンセン井上スクープ対談実現記念号!

No.11★衝撃対談・高田延彦vsエンセン井上か実現!!

No.13★アレクサンダー大塚・PRIDE 大ブレイク記念号

No.15★小川直也、橋本を破壊! 1・4ドーム大激震号

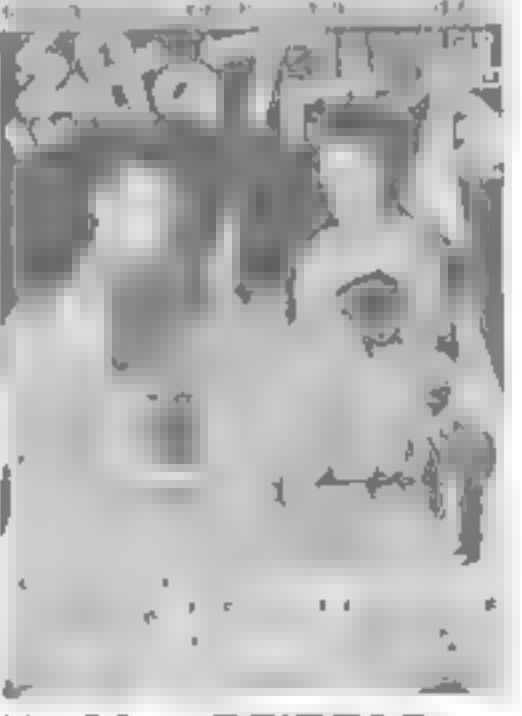
No.16★猪木! 前田! エンセン! ロングインタヒユー連発号

No.17★UFO襲撃三昧! オーちゃん大特集号!

No.19★今度はM・ケアー! 高田延彦の新たな挑戦!!
小川直也／高田延彦／前田日明／佐山聡／宇野薫／成瀬昌由／ドン荒川

No.24★頭打ちすぎたかアレク!!「PRIDE」GP特集号

No.25★格闘ロマン続行ーッ!! 藤田和之「紙プロ」初登場記念号

No.26★世紀の大一番ホイス戦直前! やっちゃてくれサク!

No.28★オーちゃん、ヒクソン襲撃準備完了記念号

No.29★ノアの鍵を握るのはこの男! 秋山準「紙プロ」初登場記念号
ノア勢フルメンバー／桜庭和志

No.30★ PRIDE10直前! 燃えよ! 闘魂の火種!!
秋山準／小川直也／村上一成／金原弘光／桜庭あつこ

No.31★歴史に残るベスト興行「PRIDE.10」大特集号
小川直也／桜庭&TK／永原道／ユセフ・トルコ／語録／田村潔司

No.32★リングスvs新日! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!

No.34★「猪木祭り」、「長州vs橋本戦」を斬りまくり! 特大号

No.39★どうなるんだ! リングス!? 前田isデッド!?

No.40★ボクらが望んでいるものは地上最強のプロレスだ!!

No.41★Can you カミングアウト? "最後の黒船" WWF襲来号

No.42★アントニオ猪木なら何をやっても許されるのか!?
小川直也／高田延彦／橋本真也&ドン荒川／宮戸&金原&高山／津谷章嘉／仲野信市

No.43★サクと「PRIDE」のケツに火がついた!!
桜庭和志／ブラジリアン・トップチーム／金原&サスケ／大谷晋二郎／中野巽夫／前田日明

バックナンバー申し込み方法

● 【郵便振替】00130-3-769154(株)ダブルクロス　【現金書留】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702(株)ダブルクロス

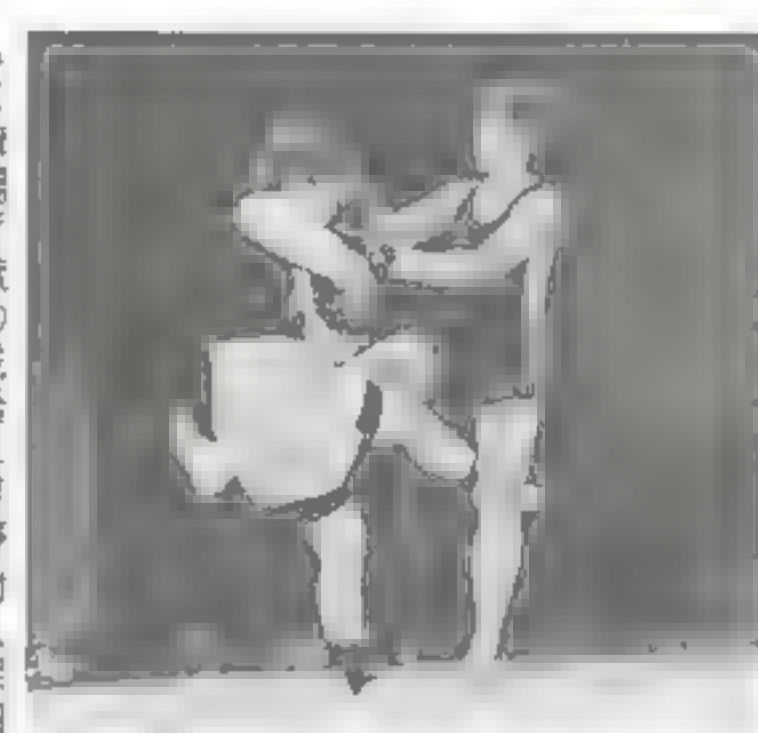
★NO.1～NO.4/NO.6/NO.8,NO.9/NO.12/NO.14/NO.18/NO.20～NO.23/NO.27/NO.33は、完売しました★

AX

女子総合格闘技「AX」超満員でスタート！

ただの格闘少女のマァ☆ティンは見たくない!!

スマックガール頂上決戦！久保田有希から判定勝ちを収めるもマァ☆ティン、キョトン！

AX旗揚げ戦の成否は星野対久保田の試合内容に懸かっていたと言っても過言ではない　セミまでの試合とは明らかに違う空気が会場に流れた

2人のハ　クオーンは柔道なのたが総合ファイターとして練習を積み重ねる両者は打撃で激しく打ち合った　星野は久保田のパンチで鼻血ブ　に

お互いスマックでは負けなしで、一部では女子総合の頂上決戦と言われたこの一戦　柔道時代の実績では久保田の方が上たが、星野も踏ん張る

さすがに体格差があるためか、いつものようにハイキ　クは多用しなかったマァ　ティンたったが、身長差をもろともしない鋭いハイも決めた

前へ前へと積極的に攻めていくマァ　ティンたったか　投げかすっぽ抜け、久保田に上になられる場面も何度か見られた　ルールを利用して30秒カメになって粘くマァ　ティン

試合後、いつものようにマイクを向けられたマァ　ティンは思いどおりの試合かできなかったからか、クシャクシャの泣き顔に　しかしバックステージに戻り一息つくと、一転　満面の笑みが飛び出した

数ヶ月前まで某大学の柔道部で寮生活をしていた星野育蒔にとって、取材だなんだと周りからチヤホヤされることなんて想像すらしていなかったことだろう

スター性があり、センス抜群、もちろん実力も兼ね備えているマァ☆ティンこと星野育蒔、気が付けば当たり前のようにスマックガールのエースとなっていた

「最強になりたいだけ」のマァ☆ティンは、練習面だけではなく生活面も保障してくれる『AX』を選択した。

規則正しく仕事と練習に明け暮れたマァ☆ティンはテクニックもコンディションも確実にアップしているのだろう。

そして迎えた『AX』旗揚げ戦。

スマックガールにも出ていたレースクィーンやケーキファイターが登場してのアマチュアルールの試合が2試合

その後に行われたキックのエキシビジョンマッチでは、これまたスマックにも出場していたランバー夫人・吉沢紀子とアイドル格闘家・角田絵美の一戦。セコンドからはチャチャが入り、選手同士も仲良く楽しそうに笑みを浮かべながら闘っていた。可愛くて強い女子格闘家は歓迎するが、そういった馴れ合いの闘いは人前で見せるものではないだろう

続いて行われたサンボのエキシビジョンマッチではスマックで衝撃の総合デビューをはたした、しなしさとこと藤井恵がサンボの華麗なテクニックを次々と披露し、レベルの高さを見せつけた。

セミでの元女子プロ対決がアッサリと終わると、いよいよ真打ちマァ☆ティンこと

ご機嫌な、いつものヤツを見せてくれ！ 頼んだぞ、マァ☆ティン

星野育蒔の出番である

これまで星野が闘ってきた相手の中では、体格も総合的なバランスも群を抜いている クールファイター 久保田有希。

修斗の下北大会を思い起こさせる、まさに 格闘技 な空間に、引き締まった顔、そして引き締まった体で、お馴染みのテーマ曲に乗って現れたマァ☆ティン

いつもならワクワクするその入場シーンも会場の雰囲気に消され高揚感は感じられず。ゴングが鳴ってもセコンドの指示どおり操られるように、久保田に向かって行くマァ☆ティン。打撃の技術が格段にアップしているのもわかるし、総合の練習を積み重ねている様子もよくわかる。

しかし、観客を沸かせるためではなく無意識に繰り出していたアップルニュートン、プロレス技だとは知らず炸裂させたDDTといった大技や、闘うことが楽しくてしょうがないといった感じのマァ☆ティンは、この日はなりを潜めてしまっていた。

もちろん、相手が強敵だったというのも、その要因の一つだと思うが、「格闘技」の会場で、勝利だけをひたすら追い求め、ひたすらセコンドの指示どおりに闘う星野育蒔の姿は、マァ☆ティンであってマァ☆ティンではない気がした

天然格闘少女 から天然が取れ、格闘技ジムとかに通っている、イチ格闘少女になってしまった感がある AX 旗揚げ戦でのマァ☆ティン

追い求めるのは 最強 でかまわない とにかく、ご機嫌な、いつものヤツを見せてくれ！ 頼んだぞ、マァ☆ティン!!

『格通』でお馴染みのフジメグがAX登場！ しなしも凄いぞ！

明らかに、それまで登場した選手とのレベルの違いを見せつけたサンボの藤井恵としなしさとこ。エキシビジョンとはいえ、その華麗なテクニックに客席からため息もこぼれた。星野対しなし戦が見たい。

スマックガールで『PRIDE』やK—1を超えたい!

東京喧嘩娘
篠原光

スマックガールプロデューサー
篠泰樹

ミクロの決死隊
ナナチャンチン

活動休止も噂されたスマックガールが

として再出発!

『紙プロ』でも大特集し、会場にも満員の観客が詰めかけ、上昇気流に乗っていたかに見えたスマックガール しかし、エースの星野育蒔が新プロジェクト『AX』へと活躍の舞台を移すと次第にトーンダウン。一部では、そのまま消滅か? とも噂かれているが…スマックガールプロデューサー篠泰樹氏に今後の展望を聞いてみた

――『SMACKGIRL』(以下「SMACK」)なんですが、評判は登り調子でお客さんも入ってましたよね

篠 ありがとうございます ムフフ

――ところで、『SMACK』は、潰れちゃったと思っていいんでしょうか?

篠 は、潰れた?

――活動休止ってFAXが流れて、こういう場合、得てしてこのまま無くなっちゃう場合が多いんですよ

篠 何言ってるんですか、来年の1月から再開ですよッ!!

――えっ、1月にですか?

篠 まぁキリがいいってことで、正式に来年1月から毎月1回、都内で定期興行を再開します ムフフ

――休んでいた理由はズバリ言って『AX』が旗揚げしたからですか?

篠 『AX』だけじゃなくて、他にも女子の総合格闘技を立ち上げようといった動きがあるんですよ。そんな中で、自分達をどう位置付けるのかを考える期間が欲しかったっていうのが1つ。もう1つは、正直に言って精神的に落ちた部分かな? ホント、「どうしようかッ!」って考えたんだよね 「選手は不満をもっている」って言われて、ボクだって不満だらけですよぉ(笑) 不満があるなら最初から付き合わなければいいのになぁーと思ってね

――そりゃそうですね

篠 嫌われてるなら、やめようかと思っていたら、何人もの選手から連絡があって、「不満なんか無いから続けて欲しい!」っていう連絡をもらったんで、あらら? これは落ち込んでいる場合じゃねーぞっていうことで、活動再開に向けて動き出したわけです

――選手に『AX』に出場することを止めたという話しも聞きますが……

篠 ぜんぜん、それは全くないよ! 今、ホントにいい形で女子格闘技っていうのが盛り上がっている中で、足の引っ張り合いをするつもりはないです 過去、そういう足の引っ張り合いで、両方潰れてるケースが多いじゃない?

――ただ、『AX』に星野育蒔っていう、『SMACK』でメインを務めた選手が行くような形になって、その打撃は正直あったと思うんですが……

篠 打撃受けて、全治3ヶ月(笑)

――3ヶ月で済みましたか(笑)

篠 結果論だけで言うと、興行的にはダメージないね だって動員は上がってるくらいだから 個人的には精神的なダメージがデカかったけど(笑) まぁ、星野育蒔って、本当にほれぼれする存在なんだよね ホントに魅力的な選手なんで、やっぱり『AX』にお願いしたいことは「星野をね、頼みます」っていう。育ての親の気持ちみたいな(笑) で、木村浩一郎のこともボクは好きだし、彼がやりたいだろうなってことも理解できるし、やっぱり一緒にやっていくと流れでね、「やりたいことは違うんだろうなぁ」ってわかってたんでね

――『AX』について、何か情報は?

篠 うん、聞きましたよ

――聞いた上で、どんな感じで判断しましたか?

篠 やりたい方向性が違うよね 評判聞いたり、いろんなコメントとか含めて見てね まぁ、彼らがやりたいのは純粋な格闘技 純粋な格闘技をやりたいんだろうなって

――やっぱり『AX』みたいな純粋な格闘技っていうのは、やりたい方向とは違うんですか?

篠 ボクがやりたいのは、ショービジネスとしての格闘技 観る人に喜んでもらえる格闘技をやりたい 『SMACK』はボクの中ではある意味、プロレスなんですね ソフトとして格闘技をとらえた時、エンタテインメント色がないとダメだと思ってるんで 純粋な格闘技も、もちろん好きだけど、個人的にプロデュースしていきたいのは、ショービジネスとしての格闘技 万人に受けるものを目指したいです

――『AX』は「別に外人選手を呼ぶつもりもないし、デカイ会場とかでやろうとか、そういう欲はない」みたいなことを言ってるんですけど……

篠 『AX』は『AX』だからね ボクは『PRIDE』や『K—1』を超えたい ズバリ言って、超えるものを創れると思うし(キッパリ)、それは、かつて女子プロレスがものすごいブームになった時期があるわけで、地上波のテレビ

放送も週に三回あって、興行もほぼ毎日あって、それがどこも満員なわけです それがあったんだから、女子の格闘技がブームにならない方がおかしな考え。この前のオリンピックだって女子が大活躍してたでしょ？ そういうマーケットはあるんだよ。インターネットや衛星を通じて全世界にソフトを配信できる時代になってるんで 言葉がいらないエンタテインメント として、格闘技は需要がある だから、女子格闘技っていうモノを日本から世界に配信しようって、今もそういう動きをしてるんです。今後も外人を呼んで、ワールドカップみたいな大会もやるし、世界各国にうって出て行く準備も進めてます

『SMACK』は女子格闘技初のレギュラーPPV放送だったわけですけど、今後はどうなるんですか？

篠 詳しくは後日伝えますけど、一応テレビメディアに関して、放送は予定してます。メディア関連の話で言うと、ここ一年間やってきた『SMACK』や『ReMix』みたいな格闘技と、『渋谷系女子プロレス』みたいなドラマを総括したものをスタートします。

それも1月からですか？

篠 そうですね。今までやってきたこと全て総括するものとして……ね。

——単純にその言葉だけ捕らえると、『渋谷系女子プロレス』に出てくるような子が『SMACK』みたいな舞台で闘うということですか？

篠 詳しくは後日（笑）。まぁ、試合する選手のキャラクターをより強く出すための方法論を実行します。ストーリー性を持たせた『SMACK』って感じかな？

——それは形が変わっちゃいましたけど、本来は『渋谷系女子プロレス』で構想していたことですよね？

篠 『渋谷系女子プロレス』に関してはテレビ放映に伴って、局の担当者と考え方の相違があったんでプロジェクトから降りました。まぁ、会社としては係わってたんで、細かな部分で手伝ったりはしたんですけどね。期待していた人達には本当に「ごめんなさい」と謝るしかないですね。そのぶん、来年の『SMACK』を盛り上げます

出場選手については、9月の興行の時にリング上で「SMACKでやっていく」と宣言していたナナチャンチンや篠原選手あたりは確実に？

篠 でしょうねぇ。禅道会さん、三晴艶さんを含めて、いくつかの団体からは「協力体制をとって盛り上げていきましょう」って言ってもらってるんで、今後も力を合わせて、女子格闘技を盛り上げてやろうじゃないかって思ってますし、芸能界からも素質のある人材を引っぱり出そうと思ってます

——例えば、桜庭あつこのような、芸能人を出すっていうのは、『AX』との色分けっていう部分も当然あるんですよね？

篠 それは『AX』云々っていうよりも、やりたかったことなんです 『ReMix』で桜庭あつこが芸能人にも出来るってことを実証してくれたんで、実現に向けて整理していきます。

——世間に対する話題性っていうのも、やっぱり大きいですよね。

篠 だから、あえて 女子総合格闘技って言い方を止めて 格闘エンタテインメント という一歩進んだスタイルを目指します。大会タイトルも仮称だけど『SMACK GIRL'（ダッシュ）』とちょっと進化してるんです（笑）。

1月からのスマックガール、リングを捨て ステージを使用との噂

——格闘技は格闘技？

篠 格闘技ですよ。闘うからね（笑）。そこに、結末が決まっていない物語として 魅せる っていう要素を加えて構築していこうと思います。もう一つ、リングも進化させて、新たな工夫が加わります

リングも今までとは違うと？

篠 詳しくは秘密です（笑）

うーん、リングが変わるってことはルールも変わるんですか？

篠 グラウンドブレイクの時間を変えたり、体重別の階級をつくったり……、それからタッグマッチもはじめます

——格闘技戦でタッグマッチ！ 『コンテンダーズ』でもやってましたけど。

篠 はい。最強タッグリーグ戦とかやりたいです（笑）。すでに大物タッグチームも獲得してます。それから、今までアマチュアルールっていうことでヘッドギアを着けて試合をしてもらってたんだけど、ショービジネスって観点からすると、顔が見えないというのは大きなロスポイントだと思うんで、ヘッドギアを外して、顔面攻撃を禁止したルールも作り上げます

一方的な論理ですけど、やる側じゃなくて見てる側だと「女は顔見せろ！」っていうのは当然ありますからね

篠 選手サイドに立った考え方もあるけど、やっぱりお客さんがいて初めて成り立つものを創っていくつもりなんで、常に観客の論理っていうのを主軸に置いて考えていたいですね。強いだけじゃない部分を見に来てる人もいっぱいいるわけですよ。強さ っていうベクトルで考えてくと、男子の方が強いわけだからね

キリないですもんね

篠 最強 っていうのは、一つの見せ方としてはあっても、女子の格闘技は最強論うたっても、それだけじゃ観客は引き付けられないんですよ

女子だったら特にそうですね

篠 もちろん選手には勝ってもらいたいけど、決してそれだけじゃないっていうことをわかってもらってね、ナナチャンチンみたいな試合もあって、そして技術レベルの高い選手の試合もある、幕の内弁当状態な興行が『SMACK』の大きな魅力だと思うんですよ。こういった構成は今後も続けていきます。そういう意味で、そのナナチャンチンも続投って形で出場するし、まぁ篠原みたいな技術はなくてもパワーはあるよっていう選手も出てくるし、技術を持った高橋洋子選手やしなしさとこ選手なんかも出てくるし、もちろん、角田絵美選手や久保田有希選手、星野育蒔選手にも出てもらいたいと思ってるし、みんな出りゃあいいじゃんって！

楽しみですね

篠 『ReMix』ってのを始めて、まだ一年経ってない状況でね、ここまでもってこれた。今、いろんな人たちと話して、「あ、知ってます」って言ってもらえるようになったんでね。今後は現役で格闘技をやってない子でね、『SMACK』っていうステージを使って有名になってやろうっていう、紙プロで一番最初のインタビューの時に言ったように、街のヤンキーにも出てきてもらえるステージを創りたいね。もちろん、現役の実力派選手にも交渉してますけどね

みんな最初の『渋谷系女子プロレス』の構想は期待して見てたわけですし、『SMACK』も評価されていたわけですから、それをミックスしたものが来年から見られるなら期待できますよね

篠 格闘技界のつんく♂を目指して頑張りましょう（笑）

女子格闘家をガンガン、プロデュースしていくと……。

篠 男子格闘技界にならって、団体の垣根を超えた女子格闘家のユニットを作って、女子プロレスの興行に殴り込みをかけたりしたいですね（笑）

SMACK軍対女子プロレス！

篠 今の女子プロレスって低迷してると思うんですよ。でも、夜明け前が一番暗いって言うじゃないですか。だから、来年は女子の格闘技で一大ブームが来てもおかしくない 映画の世界でも、女子のアクション映画がヒットしてるわけです。『SMACK』っていうフィールドから、そういうスターがね、出てくる可能性ありますよ 出てきた時には大ブームが起きるんで、出せるようにね。ダイヤの原石探しと、磨くのを怠らないようにします（笑）。

（11月10日／東京・六本木 ボディプラント にて収録）

スマックガールと言えば、レースクィーンやら佐賀のビックリみかんやらキャラクターの宝庫 その中でも群を抜いてキャラ立ちをしているのが"東京喧嘩娘"篠原光と"ミクロの決死隊"ナナチャンチンである 2人は今後どうするのか、ざっくばらんに語ってもらいました

今後、対戦したい相手ですか? 馬場元子さんです!(笑)

今後はもちろんスマックガールで活動していきます。色モノでも構いません(キッパリ)。この間の『AX』よりは、まだまだやってることはホントなんで。こしかなと思います(笑)

この前の『AX』はチケットを5千円出して買ったんですよ。ご祝儀代わりに(笑)。でも、『AX』を見てみて、木村さんの言ってることは違うかな〜と。やっぱり星野選手と久保田選手との対決は、ちょっと早かったようなカードと思うし。『AX』の客寄せカードみたいな。なんか操られてるような気かして。試合を見てたら、なんかマァ☆ティンらしく動いてなくて。なんか、誰かに操られてる様な感じ。人が変わったみたいでかわいそうだった。"天然格闘少女"っていうのは抜けちゃったみたいな。だから、試合を見てもすごい心が、痛かった……。半ベソかいてました(笑)。

新生スマックでは、やっぱりK-1とか『PRIDE』を超えるように一生懸命やってきたいし、「喧嘩ファイターは何処まで強いのか!?」っていう自分の賭けもあるし、「喧嘩で何処まで強くなれるか!?」っていう、そういう自由さもあって。だから、スマックで頑張っていきたいな〜というのはあります。

今、ダイエットしてます。やっぱり、デブでブサくて、そんな女が寝技しても誰も喜ばないし(笑)。気持ち悪いだけだし応援するのは、同じジムの人かマニアの人ばっかり。やっぱり、一般の人に見てもらいたいから〜、一般の人も、やっぱりある程度かわいくて、スタイルも良くて、そんな子がやられちゃったら、「おおー 大丈夫かッ!」っていくけど、メス豚みたいなのが血まみれになっても、誰も心配しないと思う(笑)。

強くて、痩せてて、美しい。セクシーだけど強い。強くてカッコイイ、WWFのリタの様な。そういう喧嘩ファイターになりたいです。

年が明けたら、今度はプロ格闘家として、ヘッドギアを取って、頑張っていきます。何かよく周りに「試合と喧嘩は違うよ」っていつも言われてたけど、運もあると思うんですよ。喧嘩ファイトで3回重ねてきて、「まぁ、次はプロで大丈夫かな?」と思ったんで ヘッドギアを取って、多分ガンガン殴られまくって鼻血ブーッになっちゃうかもしれませんけど、プロ転向で頑張ります。

あと、第2の篠原光が出てきて欲しいですね。凄い喧嘩が好きな子達にドンドン上がってきてもらいたい。だからこそ、エンターテイメント格闘技たと思うから、そういう子達にもドンドン来てくれたらな〜、凄いうれしいですね。来るなら来て下さい。タイマンしましょう(笑)。

今後、対戦したい相手ですか? 馬場元子さん(笑)。ネグリジェで出てこられたどうしようかなって。その時はちょっと負けちゃいます(笑)。

【11月10日/東京・六本木 ホティプラント にて収録】

篠 原 光

ヤクザの■、太陽●アと付き合っていた女、■役キャバクラ嬢、喧■無敗と数多くの肩書きを持つ篠原光。来年には篠原本を出版する予定もあるという。スマックでは現在3連勝中!

私はスマックから(総合格闘技を)スタートしたんで、そこを極め・た・い、と。やっぱり自分が決めた場所なので、中途半端には出来ないです。やっぱりそこで、ナナチャンチンっていうものを見てくれた人に恩返ししたいもので。スマックで頑張りたいっていう気持ちは、今、あります。

試合の方は、「絶対、勝ちたい!」っていつも思ってるんですけど〜、やってみると、いつも作戦が立てられないんです。もう自分の体力とスタミナしかない感じで。もう、マァ☆ティンとやったのが信じられない。まぁ、よくやったと(笑)。順番間違えちゃった感じ。(マァ☆ティンと闘ったことは)もう、光栄

マァ☆ティンとは一緒にデビューして、すごい差が付いたけど私の目標です!

です。でも、それが自分の中でも残ってるし、マァ☆ティンが今すごいってことで、覚えてて下さった人達にマァ☆ティンとやったことがすごい残ると思うんですよ。それがうれしい。一緒にデビューしてすごい差が付いちゃったけど、やっぱり私の目標です。

今後のスマックガールは、いいと思いますよ。しかも、やっぱりエンターテインメントもあり、で、まぁガチンコで勝負……いいと思います(笑)。やっぱり、いろんなものがあって、かわいいもの、喧嘩のする人とかいろんなことがあって、見てて飽きないっていうか、楽しい格闘技を広めて。で、ドンドン新しい子も出てきてくれれば広まる(と思います)。まぁ、ずっと輝いていられたら、スマックガールでノー スマックガールのナナチャンチンでッ!(なぜか「でッ!」を強調)残りたいですよね、ハイ。

この前の『PRIDE』でボブチャンチン選手、負けちゃいましたね。私の教えた通りにやらなかったから〜……。あ、あの高田さんの試合(対ミルコ戦)を見たら、私も打撃系の選手とやる時にはああいう戦法をとろうと思ってましたね〜。だって、私なんか誰とやったってリーチ全然違うんたから これでも打撃、すごい一生懸命練習してるんですよ! でも、ジャブ当てる前に相手のストレートの方が先に来ちゃいますね〜。ああいう高田選手の(闘い方)は、いいと思います(笑)。

私も格闘技やり始めて、わかった部分、さらにわかんなかった部分も沢山あるんで〜。私もちゃんと技術を身につけて。もちろんやってるからには形もキレイに、プロが見ても「ああ、いいフォームだね」ってなるように。教えて下さってる人もいるんで、カッコよく見せたいですね。で、いずれはやっぱり、(こっそりと)勝ちたいし。ま、ゆっくりと、ケガのないように、もうちょっと身体作りして。

全国3万人のナナチャンチン・ファンの皆さん(笑)。これからも、ナナチャンチンは、ナナチャンチンのままで、スマックガールのナナチャンチンとして頑張って行くんで、よろしくお願いします。応援して下さ〜い!

【11月10日/東京・六本木 ホティプラント にて収録】

"ミクロの決死隊"というキャッチフレーズが現すとおり、その小ささと年齢不詳のルックスがウリの日本最弱(?)の女子格闘家ナナチャンチン。スマックでは未だ勝ち星なし!

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

なぜかいまさら「前田日明、戦慄のリンチ発覚！」だのと騒がれ始めた今日この頃。それとは関係なく、こんなタレコミを紹介したい。「私の高校のときの日本史担当教諭が、慶應で安生選手のお兄さんと同学年だったのです。で、私の先生は自治会の会長だか役員だかをやっていて、安生兄が結成した「プロレス同好会」を認可しなかったところ（安生兄はあまり人望がなかった）、ものすご～～～く恨まれて、後夜祭だかコンパの席だかで後ろから一升瓶で頭を割られたそうです」とのこと。これこそ、まさに安生イズム！　当然、安生イズムよりもゴッチイズム（後藤真希＝ごっちんイズムではない）を信奉する男の書評コーナー（e-mail:go@kamipro.com）

『PRIDE大百科』

東邦出版／構成・藤本かずまさ&佐瀬順　952円

異常なまでの桜庭特需が前回の東京ドームで完全に終わり、PRIDEへの期待感がすっかり消え失せたいまになって一足遅くリリースされたPRIDE公式ガイドブック。

しかし、個人的に面白かったのは94ページに掲載された写真に、桜庭を笑顔で見つめる森下社長と並んで、なぜか鋭い眼光で睨みを効かせる元『紙プロ』、現『SRS-DX』の柳沢忠之社長（毒カレー林真須美似）の勇姿が写り込んでいたことぐらいだったというかハッキリ言ってPRIDE公式ホームページの方が数十倍楽しめるんじゃないかと思えるくらいに読むべき部分皆無な一冊であり、ここまでヌルくなるんだったら、「高田は許せない！」とか吠えまくるガチバカな非公式本の方がずっといいとさえ思えるほどの内容なんだが、近頃のPRIDEファンにはきっとこれぐらい完全初心者向けの作りにした方が丁度いいのだろう、きっと

ただし、桜庭特需の恩恵に最もあずかった　ほく　と同じ版元&構成者ゆえか、桜庭がPRIDE常連選手にコメントしたり桜庭がルールや技術を教えたりと、とにかく桜庭大フィーチャリングによる構成は非常にタイミングが悪く、いまとなっては寂しさばかりが感じられてしまうのであった。

そして、こんな状況になったからこそどうしても引っ掛かる記述がこれなのである。

まず、**「桜庭はほぼ毎日なんらかの取材を受けていた。大好きな昼寝をするヒマなんてほとんどない」**、と。そこまでは紛れもない事実なんだろうが、**「桜庭はお昼寝の時間を削り、『これはありがたいことなんだ』と思いながら、連日にわたる取材攻勢をうまくハンドリングしていった」**と表現しているのは、果たして本当なのだろうか？

ボクが見る限りでは、桜庭が本当にありがたいと思って取材を次々と受けていたとは到底思えるわけもないし、できることならそんなもの受けたくもなかったはずだろう。

ましてや、連敗が決して許されない状況だったシウバとのリマッチの前では当然だ

つまり桜庭の敗因は、新間や宮戸といった参謀にリング内外でもガードされていた猪木や前田なんかとは違って何のカードもないまま広報役として膨大な数の取材を受け続け、そして否応なしにメインの重圧と絶対に負けられないプレッシャーを強いられた上でガチンコを続けるという、かつてないほど苛酷な位置に立たされてしまったためじゃないかとボクは確信した次第なのである

そんな桜庭にいくら勝ったところで、シウバはまた本当の意味で桜庭に完全勝利したことにはならないだろう　もし本当に桜庭を超えたいと思うのなら試合の1か月ぐらい前から日本に乗り込み、ノーギャラでもいいから強引に売り込んで媒体を選ばす片っ端から取材を受けまくってみせるべきなのだ。

それだけメディアに露出した上で試合でも圧勝することができたなら、嫌でもスターの座に就けるはず　たからこそ、いまシウバがやるべきなのは、タバスコがたっぷりかけられたスパゲティを食わされたり、ラッキィ池田の振付でクネクネ踊ったり、『スピリッツ』で人生相談をしたり、学生服姿で就職情報誌のCM（外国人留学生でもできるバイト特集号とか）に出たりすることなのであった。

もっと頑張れ、シウバ！

『プロレススーパーゲーム列伝』

馬場レイ&大地将／ソニー・マガジンズ／1400円

原田久仁信先生が馬場と猪木の対決を描いた表紙だけでも、確実にボクみたいな　列伝直撃世代のボンクラなら即買い必至だと思われる、その名の通り家庭用ゲーム機でリリースされたプロレスゲームの完全ガイド

企画自体は悪くないが、このジャケながら梶原テイスト皆無なのと、プロレスとゲームの両方が好きじゃなければ楽しめない内容なのが非常に残念な一冊なのであった

そもそもこの手のガイド本を作るのであれば、読んだだけでゲームをやった気になれたり、もしくは思わず中古で探したくなるほど購買欲を無駄にそそらせたりというように、面白さもつまらなさもとことん増幅させてゲームよりも文章の方が面白く感じられるようにしなければいけないはず。そういう意味では、あまりにもこの本はゲームと等身大でしかないというか（つまり8ビット級？）。

もうちょっと、**「サソリ固めが必殺技の韓国人選手キム・リキ」**（ゲームボーイ『プロレス』に登場）といったタチの悪いキャラに脚光を当てたりするシュートな姿勢があれば良かったと心から思う次第なのである

そういう意味では、前田日明をモデルとする主人公がファミコンプロレスの象徴・馳浩に「お前がプロレスを駄目にした！」と噛み付いたり、いいヤツ・山崎一夫と共に悪の権化・安生&宮戸をプロレス界から追放しようとしたり（この宮戸と山ちゃんの評価がやがて逆転することになるんだから、世の中わからない）といった94年当時のプロレスファンのシュートな思いを凝縮させたシナリオを『ファイプロスペシャル』で披露した須田剛一氏（当時はヒューマン所属）のインタビューを収録する姿勢は、とりあえず正しい。

もちろん、月刊化した直後の13号『ファミコンプロレスの逆襲』で早々と彼にインタビューしていた旧『紙プロ』本誌は、もはや正しいなんてもんじゃないだろう。

ところが、この本の作者たちはかくも偉大な旧　紙プロ　を**「当時不定期刊行物であった」**だの**「〝人生とプロレスをする雑誌〟のコピー」**だのと評していやがるのだから、本当に腹立たしい限り　ウチのコピーは〝世の中とプロレスする雑誌〟だよ　同じ版型で「リングで人生するメディア」（後に「リングで人生する雑誌」）へとコピーを変える。なんだよ、それ……）なんて恥ずかしいコピーを付けていやがった旧『プロレスの達人』なんかと混同するんじゃないってー

他にも**「現在もWWFで活躍してるのは、ナスティ・ボーイズ（サッグス&ノッブス）」**などという「ダッドリー・ボーイズ辺りと間違えたのかなあ」と思うしかない失言も含めて、ちょっと気になる間違いも目立つのであった

「ヒューマンが許しても、このアタシが許さない！」（PCエンジン『ファイプロ女子憧夢超女大戦　全女vsJWP』に収録された北斗晶のセリフより）

『プロレスの経済学』

野呂一郎／オーエス出版社／1300円

英国国立ウエールズ大学経営大学院東京校教授といった経営方面での華々しい実績を引っさげた筆者が、なぜか**「プロレスこそ生きた経済の教科書である」**だの**「プロレスの現象こそ、現代に生きる個人と組織の経済行動を理解するのに最適な題材」**だのと想像も付かないことをブチ上げる、ちょっと不可解な一冊。

彼氏、大学での講義で**「教科書に沿ってオーソドックスに教えようとして打ちのめされた」**結果、**「プロレスを題材に授業を続けていく」**こととなったそうなんだが、いまでは**「タイガーマスクの覆面をかぶって登場したり、4の字固めやSTFを教壇で学生にかけたり、かけられたりは、もう当たり前の光景になっ**

てしまった」というのは、かなり痛い告白なんじゃないかとボクは思う。

まあ、それでも「ここ10年間新日本プロレスから本当に個性的なレスラーが輩出されたかと考えると、クエスチョンである。なぜだろうか？ ここにナレッジ・マネジメントの逆説がある」と、「ビジョナリー経営」「ナレッジ・マネジメント」「コア・コンピテンス」「ジョブ・アナリシス」「PQ分析」といったボクにはサッパリわからない経済用語を使って平成の新日を否定し、猪木とノアを絶賛しまくる姿勢はまったく問題なし

たとえば「三沢VS藤波 リーダーシップ比較論」なる企画だと、三沢は「断固たる決断力を併せ持つ」「誰もが認めるリーダー」だが、藤波は「一応は社長だが、橋本に反旗を翻され、武藤、蝶野にはやりたい邦題を許し、常に創業者猪木の顔色を伺わざるを得す」。それだけではなく、「選手としてのカリスマを確立したとは言いがたい」し「ドラゴン・ボンバーズ、無我もリーダーとしては中途半端な終わり方をしたことも尾をひく」し、「若手からの尊敬はいまいち」だのと藤波をとことん糾弾しまくるのであった。そもそも、最初から三沢と藤波を比べること自体が間違っているはずなんだろうか

そして「新日本プロレスのレスラー＝東大生」なる持論をブチ上げると、「東大生に魅力を感じる人が少ないように、新日本プロレスのレスラーにも魅力を感じないとしたら？ 両者とも実力は有り余るほどである。自信もプライドも半端じゃない。しかし、現状打破の気概はない」「新日本プロレスのレスラーも、東大生も、自分という者を喪失している気がしてならない。新日本プロレスのレスラーよ、東大生のままでいいのか？ 目をさませっ！」と、今度は小川直也ばりにアジり始める始末なのだ。

さらにはプロレスラーがNHBで結果が出せないことについても、「たかが喧嘩自慢の荒くれものに一回や二回負けたからといって、卑屈になる必用はない。それは“プロレスラーのお仕事”というものの大変さを理解すればわかる」と、田中忠志ばりにスバリ断言！

てっきり「お仕事」方面のシュート活字的な表現に踏み込んでいくのかと思ったら、どうやら彼氏、新日本などで行われる異種格闘技戦をPRIDEなどの競技と同じものだと誤解している様子なのであった……

「先日の七月二十日の札幌ドーム大会で中西、永田が相次いでプライド戦士グッドリッジとコールマンに討ち死にしたのは記憶に新しい。このファイトで特徴的だったのは、中西、永田とも、決定的に有利な場面で攻め込まなかったことだ。例えば中西はグッドリッジを逆エビで攻め立てて、青色吐息にした。永田はローキックでコールマンを戦闘不能直前にまで追いつめた。しかしそのあとたたみかけずに、リング中央で余裕のポーズなどしていた二人」

それはボクが思うに、漫才で言うところの「ツッコミを待つためのボケ」に他ならないはずなんだが、彼の解釈はこの調子

「プロレスラーは本能的に『客に見せる』ことを勝利よりも優先する。技術論を言えばきりがない。中西が打撃に慣れてなかったとか、マウントで攻めきれなかったとか、永田がコールマンのタックルを切れなかったなどとは、いくらでも言えるだろう。しかしそんなことよりも問題なのは、こうした異種格闘技戦において、レスラーは『いい試合をしなければならない』プレッシャーとも戦うというハンデを負っている事実である」

は？ つまり、そのプレッシャーゆえ中西や永田は客に対してアピールした隙を突かれて負けてしまったってことなのか？

その手の不可解さは、「ミスター高橋は、シンの凶器攻撃を見てみぬフリをしたり、猪木がフォールにはいるとわざとカウントを遅くしたりして、タイガー・ジェット・シンの“味方”をした」だのと、まるでミスター高橋の名著『プロレス、至近距離の真実』（講談社）あたりで学んだような知識を披露する部分にもやっぱり感じられたものである。

なんと、ミスター高橋が「シンに味方することで、観客の怒りをヒートアップさせ会場を盛り上げていた」ことにしても、彼は「猪木もそんなことは知らなかったから、ミスター高橋を本気で怒ったのである。そのリアリティがまた観客の熱狂を呼んだ」と言い切る始末だったのだ。そんなわけないだろ

とにかく、ボクにはこうした彼のプロレス知識がどうも単なる付け焼き刃でしかないような気がしてならないのであった。

それは、タイトルだけでもちょっと理解し難い「桜庭をブレイクさせた高田延彦のコーチング」なる章を見れば明白だろう。

「高田に『桜庭の成果と能力を改善する方法をあみだす能力』はあるか？ 十分にある。たしかに反論もあろう。しかし、高田というコーチがいて、実際に桜庭はグレイシー一族のホイラー、ホイス、ヘンゾ、ハイアンに4タテを食らわせると言う、前代未聞の快挙を成し遂げたという事実は動かない」

……って、おい！ そんな事実はいくらでも動くよ！ どう考えても「桜庭の勝利は高田のコーチのおかげ」ってことはないだろ？

おそらく、PRIDEに関する最低限の知識を持ったファンなら確実にそう思うことだろうが、彼は気にせずこう続けていく

「もし、高田が桜庭を将来のエースにするつもりで、キングダムを作り、満を持して桜庭をUFCに送り込み、そしてプライドで開花させたとするならば、高田はプロレス界最強の戦略家といえる」

それ、「ドリフの大爆笑」ばりの完全な「もしも」トークだよ！ そもそもキングダムに高田は一切関係ないし、むしろ戦略家の称号は安生の方がずっと相応しいはずだって！

ところが、彼は「もし、これが計算づくで行われていたのであれば、コーチング・プログラム作りは見事というしかない」「結論として、高田のコーチングはほぼ、コーチング理論と合致し、コーチとしての高田延彦の能力の高さが証明された」と、なぜか勝手に結論付けてしまうのであった……。そんなの全然、証明されてないよ！ 結論を急ぎすぎ！

結局、彼は経済についていくら詳しくても、プロレス、なかでも猪木のことはこれっぽっちも理解できていないのだと思われる

「猪木自身は、なぜ自分の人生に最大の屈辱を与えた最も憎いはずの上田（馬之助）をリングにあげたかとの問いに、

理由はないね、別に。プロレス界のなかで必用な役割というのがあれば、それを全うしてもらえばいいだけで。プロレス界はもちろんのこと、新日本プロレスだって俺の私物じゃないんだから

と語っている。しかし、これは猪木一流の照れだ。困っているレスラーを、いくら自分にひどいことをしたといっても、救う。これが猪木なのである」

猪木が困っているレスラーを救う!? 猪木は「スキャンダルを経営に結びつけられない経営者は失格である」とのモットーを持ち主だから、本物の確執こそが巨大なビジネスに繋がるとの思いだけで馬之助とデスマッチをやったはずだとボクは確信していたんだが、彼に言わせればそんなものは大間違い

「単なるビジネス上の計算としてやっただけ、スキャンダルをリングに持ち込むのが猪木流、そうみることも可能である。しかし、ファイトを含めいたるところにヒューマニズムの影がみられる猪木の実像に照らすと、それはあまり説得力を持たない」

そう、なんと猪木はヒューマニズムの人だったのである！ あんなにタチの悪いヒューマニストなんかいるわけないって！

「そもそも猪木のファイトは『風車の理論』。つまり相手の力を実際以上に引き上げて発揮させ、それ以上の力でしとめるのが流儀である。このこと自体、対戦相手の力を発揮させ、目立たせてあげているわけで、相手に対する思いやり、やさしさといえる」

それは、タチの悪い猪木が相手の良さをとことん引き出した方が自分もより強く見えると考えただけのことじゃないのか!?

「“キラー猪木”だって考えようによっちゃ、やさしさの一表現だ、といったらいい過ぎだろうか。相手を傷つけてはいるが、プロレスの凄みを観客に見せ付けることによって『相手も生きた』と考えればやさしさに他ならないとはいえないか」

……これはもう完全に猪木を誤解しきってるなあと思ったら、やっぱり参考文献の中にサンクチュアリ出版の駄目本『猪木イズム』が紛れ込んでいやがったのである。

きっと彼氏、「猪木イズム＝強く優しいアイアンハート」という明らかに間違った定義の上で書かれた「世界でいちばん強く、いちばん優しいメッセージブック」の中身をすっかり鵜呑みにしてしまったんだろうが、そんな駄目本を読むぐらいなら参考文献の中に入っていなかった奇跡の名著『アントニオ猪木自伝』でもキッチリ熟読しろって！ それでまず、最低限の知識を身に付けろ！

本文中の「三沢光春」「アレキサンダー・大塚」「中西百恵」「高橋早苗」といった人名のミスや、「プロレスに学ぶ『安定経営』のビジネスモデル」なる章の扉にバトラーツ・島田裕二レフェリー（「『プロ格』時代の名レフェリー」だそうだ）のイラストを使うセンスなど、あまりにも間抜けなミスが目立ちすぎるのも問題ありすぎ。バトは「安定経営」じゃなかったんだから、そこに学んじゃ絶対駄目だろ

「この原稿締め切りの直前になって、バトラーツが猪木軍入りのニュースが飛び込んできた。つまりこれは猪木のパブリシティ効果にあやかろうというもの。筆者の分析の正しさが証明されたか？」

その直後にバトは崩壊してるんだから、結局は筆者の分析の駄目さ加減が証明されただけでしかないのであった。残念！

負けたーーッ

（しかも前歯飛んでるよッ！）

それでも猫が好き

キャットファイト

宮城県の入澤さんから「チョロのキャットファイト通信が読みたい」とのハガキが届いた（同様0通）。読者に優しく、女にゃやらしい俺は早速行動開始。プロレスTシャツでお馴染みのバンバンビガロがキャットファイトありの興行をやるとの話を聞きつけ直談判！　前々回のビガロ興行で猫の穴のメイプルちゃんに敗れている俺は、猫の穴とのリベンジマッチを要求。その要求があっさりとおり、ビガロの社長GAMYさんとタッグを結成し、猫の穴のPP-7＆慧和との対戦が決定。GAMYさんは前回の興行で猫の穴軍団に敗戦。俺と2人で負け猫タッグとなった。しかも当日渡されたパンフを見てビックリ俺のリングネームは“猫ハンター”小林チョロ明となっていたのだ。安っぽいズラと真っ赤なパンタロン（風のジャージ）を受け取り、身も心も小林チョロ明に。歴史に残る大熱戦の模様を下のキャットファイト通信で紹介！

今月もエースで四番

「掟さん、自分も考えました　福田さんがハルク・ホーガンで、後藤さんがブレット・ヒットマン・ハートで、飯田さんがジ・アンダーテイカーで安倍さんがマッチョマンで高橋さんがストーン・コールドで保田さんが“ミスター・パーフェクト”カート・ヘニングです。ほとんどビョーキ!!（山本胃也風）」●画伯、イラストありがと。でも中川画伯特製T……

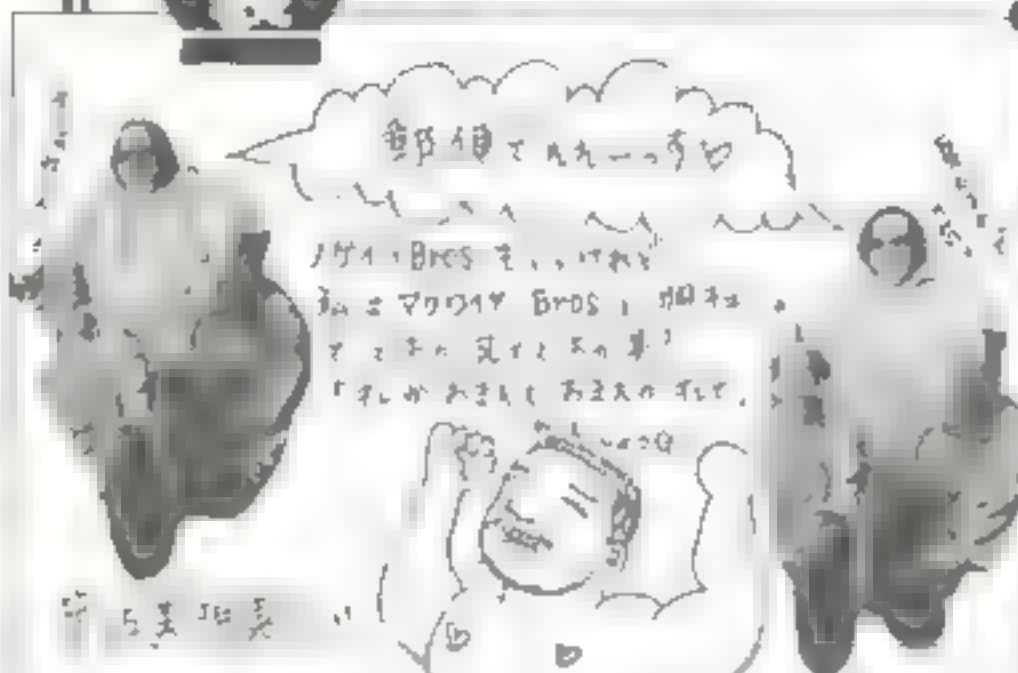
今月の男なら……

今月のもう一声!!

ほんとにショック係に届いた、たっつあんの作品　ここに掲載されても中川画伯特製Tシャツはもらえません　ガックシ

まいちゃん、いつもメールありがと。アンリミテッド王者までもう一声！でも、もう一声でも中川画伯特製Tシャツはもらえません。なんでだよ！

今月のアンリミテッド王者

理恵ちゃん見事、防衛!!

今回も文句なし！　「紙プロ」認定アンリミテッド王座3度目の防衛に成功したロックに胸キュンの宇佐美理恵ちゃん。あと3回防衛すれば理恵ちゃんには50万円が贈られます。引っ越しだってできちゃうね。うらやましい。今回もマァ★ティンの公式HPでの「ふがふが日記」をどうぞッ！「またポケットにドングリ入れたまま洗濯しちった　ちっちゃい頃はダンゴ虫をよくポッケに入れてた　しかも大量に両ポケットに　よく怒られてたなぁ　お昼前からバイトして、その後、プライトを観に行った　チケット2枚あったから、今度出るテレビの打ち合わせの連絡網て、たまたま前の日に電話してた久保田さんと行ってきた　東京ドームの中に入るの初めてで、めっちゃ大きくてビックリした。試合は9試合もあって、全部おもしろかった。その中でも特にマァチンを魅了したのはセミファイナル。スピリッツのぶつかりと駆け引きとテクニックをすごく感した」　それにつけても、なんでポケットにダンゴ虫？

10・20バンバンビガロ興行北沢タウンホール

女子供と闘うときにゃ、これに限る　顔色も真っ青の超高速ジャイアントスイング（29回転・歳の数だけ）でブン回してヒーヒー言わせてやりました！

しかし、俺たって小林チョロ明として負けてはいられない。本家コバクニも顔負けの華麗なソバットを何度もも繰り出した。しかし、一度もヒットせず

運動不足の俺にとって今回の相手は、ちっとキツかった。なにしろ、この試合の前の月にイギリスでキックのタイトルマッチに挑戦している慧和ちゃん

自画自賛レビュー

小林チョロ明●GAMY（21分32秒 スクール・ガール）PP-7 慧倭○

今月のおめでとうさん

前号のほんとにショック掲載者、目が覚メタロウさんから中川画伯特製村上Tを着た写真が届いた　欲しいか？　スルメイカ？

2丁目 読者の声

★「NOAHの記事が少ない！ 新日派の『週プロ』長州派の『ゴング』、『紙プロ』はNOAHでしょ！」【東京都・菅巣真己・30歳・会社員】
➡正直、初耳

★「面白かったのは大谷晋二郎の人生相談。大谷の暴走（妄想？）っぷりがおもしろすぎ。新日やめてよかった〜」【福岡県・中島由香里・26歳・販売】
➡正直、火祭り

★「面白かったのは谷津&グッドリッジ。これぞプロレスラー。何か全て結果オーライって感じ」【大阪府・山内義久・33歳・自営業】
➡正直、荒武者

★「面白かったのは中野インタビュー。読む前は、どーせ又、勘違い発言をかましているんだろうな〜、ぐらいの感覚で、大して期待もせずに読んでみたら本当にその通りだった。でも何があろうとも変わることのない不器用な生き様に、何とも言えない愛おしさを感じてしまったのも事実。今時こんな男がいるなんて……」【埼玉県・試衛館周斎】
➡正直、野武士

★「11月放送のスマックガールを見ました。もちろんはじめてです。感想は面白いの一言！ 最初からみておくべきだった。『紙プロ』で毎号特集されていたにもかかわらず見なかった私が全て悪い！ チョロさんすいません。スマック再開を切に願います」【山口県・柏戸秀介・22歳・学生】
➡正直、11・30フジTVの深夜番組・日本放送教室にマッ……ティンとかと出るから見て

★「面白かったのは紙の新聞。最初はレスラーに対して尊敬の念がない様な記事って思ってましたが最近はこの記事こそ真実かな？って考えるようになりました」【香川県・国方和也・17歳・高校2年】
➡正直、直道！（意味なし）

1丁目 読者の声

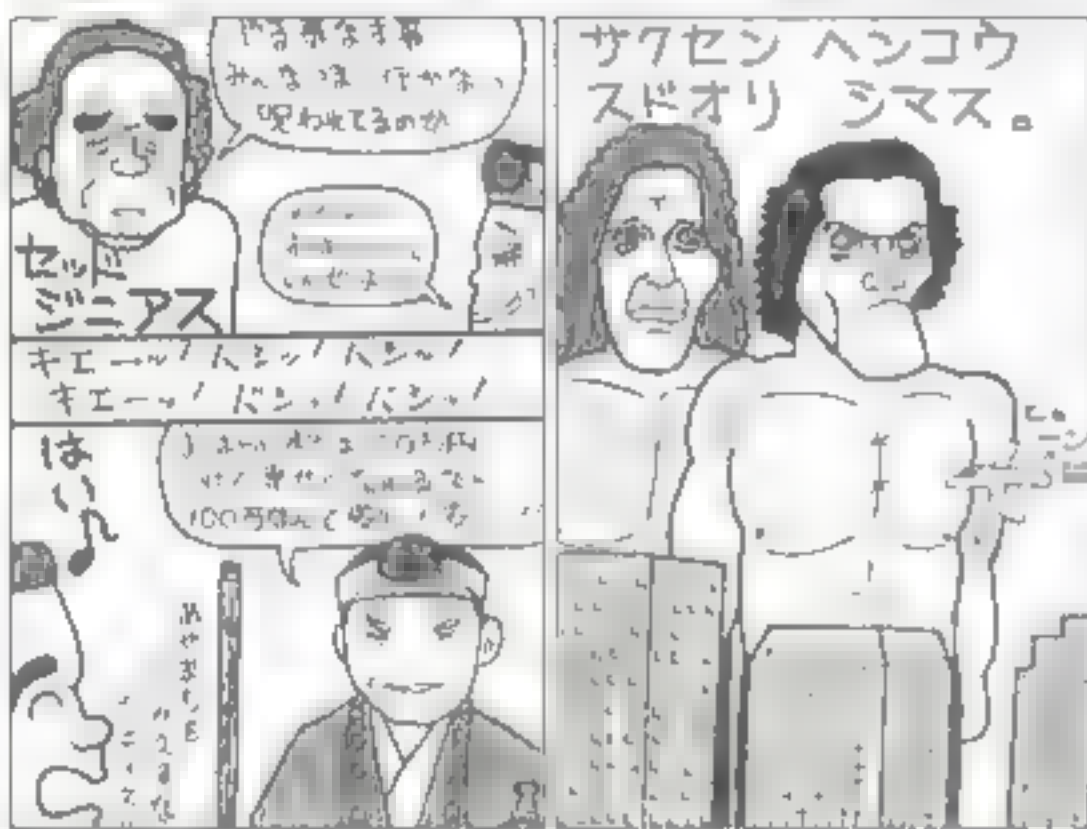
★「面白かったのは、金原×サスケのプロレス学校トーク！ プロレス歴10年の私はこれまで金原氏はいてもいなくてもどうでもいいレスラーだった（正直スマン）。しかし一連のUインター伝説や今回の対談ですっかりファンになりました。金原・高山に今回インタビューが面白かった中野氏も入れた対談も願います」
【大阪府・三宅徳仁・26歳・風俗店員】
➡正直、大阪といえどもボクに割引券下さい！

★「面白かったのは金原×サスケ対談。金原選手とサスケの意外な接点が知れてすごく興味深かったです。それと、あれだけ、しんどいことをやり続けている金原さんが、今だにいまひとつ日の目を見れないという格闘界の現場には一抹の寂しさと怒りをゴゴゴゴーッとJoJo的なムカツキを抱いてます」
【埼玉県・沢田純】
➡正直、段ボール一箱の永井豪グッズを贈ってきてくれたアナタは何者？

★「つまらなかったのは片山ぼんポートレート。紙のムダづかいだと思う」
【東京都・片岡健太郎・26歳・春から学生】
➡正直、俺もそう思ったけど、まだ金借りっぱなしだから何も言えない！

★「面白かったのは中野インタビュー。野武士Tシャツもカッコイイが、それ以上にサングラス姿は破壊王とタメが張れるくらいステキだ」
【北海道・藤原章男・29歳・会社員】
➡正直、俺も野武士Tシャツはカッコイイと思ったけど小原Tも捨てがたい

★「面白かったのは大谷晋二郎の『俺を信じろう』。正直、抜群に面白かったが、意味が分からないところもあった。ひとつだけ確実に分かったのは、女性ファンが減ることを、しきりに気にしていた晋二郎クン」
【山口県・ゆずっ子・22歳・ローソンガール2年目】
➡正直、大谷と飲みに行ったことのある女から話を聞いたが、やっぱり面白いって！

今月のそりゃないぜセニョリータ!!

雄大3連発スペシャルでGO 「天コン&角田&小錦、そして太田章を相手に綱引きて勝っちゃう大分コスモレディースのおばちゃん達は正直凄すぎ!!」「ジャイアント・シルバの『オ〜ウ！』ってのと『イエ〜イ！』ってのが最近のMy流行語」「ジニアス選手のハーリー・レイスインタビューは面白かったんで、もし機会があったらインタビュアーとして起用して欲しい」というわけで次号もよろしくマッドドック！

今月の「井川遥ちゃんはグラビア界のBI砲です（一人だけど）」

[illegible]

ボンジュ〜ル！ 井川遥ちゃんはグラビア界のBI砲だぴょんでマドモアセル？ 吉岡さんの言うとおり、ギンギラギンにさりげなくアピールしてみたんだぴょん！

今月のいろんなもの募集!!

キャットファイト界の大物PP-7（ノアヲタ）と安物のズラと前歯無しのマヌケ面が貧乏臭い小林チョロ明。闘い終わってノーサイドの巻！

大量の永井豪グッズを送ってきてくれた沢田純くん、一言ありがとう！ 炭疽菌以外ならハガキ、イラスト、小包、メール、何でもござれ。あと前回同様『紙プロ』では編集者&編集見習いを小募集！ 基本的に[illegible]で、普通免許は持ってて欲しいどす。希望する方は下記の住所まで連絡を。メールでも結構！
choro@kamipro.com
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ケ谷3・11・3・702（株）ダブルクロス『ディック・ツライ』係まで。

現役女子プロレスラー、ミス・モンゴルをはじめ、最近は様々な団体が乱立し、猫も杓子もキャットファイターになっているという嘆かわしいご時世。皆様いかがお過ごしでしょうか？ ぶっちゃけた話、ブサイクな猫戦士ほど見ていて痛々しいものは有馬記念。でも、憎らしいけれど強くてかわいきゃオッケーの美少女キャットファイター集団『猫の穴』は数あるキャットファイト集団の中でも、かなりハイレベル。そんな子猫ちゃん達の活躍はwebマガジン『デスクトップGALコレクション』内の『それゆけ猫の穴』で確認しろ！
http://www.digiadv.co.jp/dgc/bigiobe/index.html

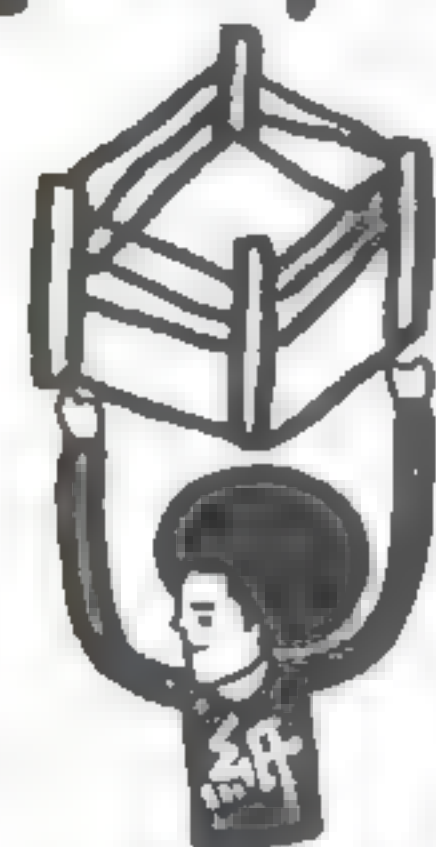
最後は合体シャイニングウィザードからバックブロー3連発、すかさずスクール・ガール（なんじゃそりゃ！）で丸め込まれ哀れ撃沈！ また明日生きるぞ！ と言いたいところだったが、翌日、全身筋肉痛であえなくダウンああああああああ■ああああああああ■

オイオイ、女子プロレスラーじゃないんだから、そんな身体は柔らかくないの。全く近頃のキャットファイターときたら加減の一つも知りやしない！

試合時間が15分を過ぎると、すっかりへろへろとなり打撃を喰らいまくりの小林チョロ明。強烈なハイキックを顔面で受け前歯が吹っ飛ぶおまけ付き！

キャットファイト界の売れっ子ファイター・PP-7。TAJIRIのオリジナルホールド・タランチュラをサラッと決めるあたりは、さすがの一言

紙のプロレス

紙プロ発足10周年&『紙プロ』RADICAL
創刊5周年記念イベント

【日　時】2001年12月26日(水)
開場:PM8時　開演:PM9時〜翌AM4時　完全無礼講オールナイト

【会　場】ism　渋谷区道玄坂1-14-9 ソシアル道玄坂2F
TEL 03-3780-6320

LA MAMA
ism
HOTEL FUJIYA
109
MARK CITY
INOGASIRA LINE SHIBUYA
YAMAGA
Q-FRONT
MOAI-ZO
JR/TOHYOKO LINE SHIBUYA

【料　金】前売券¥3.000 当日券¥3.500
消費税込／記念品付(非売品)
ドリンク¥200〜　軽食¥300〜

【定　員】ホントに
200名限定!!

【司　会】ユリオカ超特Q(ドラゴン・パフォーマー)

【ゲスト】「紙プロ」はすでに数十人のゲストを
確保した(新間寿調)
ハルク・ホーガンも来る!(これはウソ)
でもホントに10周年に相応しい
超大物ゲストが続々登場!

前売券入手方法その❶(会場の下見がてらに)
11月23日.24日.26日.27日.28日.29日.30日PM4時〜8時
会場ismにて販売
前売券入手方法その❷(前田日明サイン会のついでに)
12月8日(土)PM1時〜3時までグレートアントニオにて販売
前売券入手方法その❸(いま時原始的な現金書留のみ)
チケット代金+送料¥500(何枚でも)現金書留で
下記の住所まで送って下さい。
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス「紙プロボンバイエ2001」係
12月7日(金)消印有効

問い合わせ　ism　TEL03-3780-6320　11月23日以降PM4時〜8時まで
ダブルクロス　TEL03-3403-5142　随時

au、ツーカー、セルラー——
『EZ WEB』ユーザーに朗報です!!
『紙プロ』が『EZ WEB』で見れマスカラス……
くだらねぇな、これは(アントン調)
日々何かが起こるマット界のニュースも
『紙プロ』テイストで見よう!!

↓【アクセス方法】

トップメニュー ▸ EZインターネット ▸ スポーツ ▸ 紙のプロレスHand

見てみ、この充実度!
紙のプロレス
Hand

★日々のニュースをどこよりも速く濃く送る「メガNEWS速攻&試合速報」
★マット界の流れをもう一度見たいときに「メガNEWS保存版」
★コボレ話的な話題や情報もフォローする「マット界ブッコミTOPICS」
★団体別にニュースや情報を整理した「団体別TOPICS&団体別試合速報」
★12月からは動画対応の機種なら、動画も見れる!!
★10・26バト沖縄大会で突如折れた鉄柱なんかも画像で見れる「VISUAL-NEWS」
★『紙プロ』表紙や、とんでもない画像も、あなたの携帯にダウンロード!「画像ギャラリー」
★1週間ごとに見れる「試合SCHEDULE(スケジュール)」
★『紙プロFils』には「マット界噂の万華鏡」などのお手軽に読めて濃い読み物も満載!!

ブラジリアン・トップチーム名誉会長(?)ボボ・ブラジルも絶賛のコラム。ボボ笑っちゃいます。

ラインナップ

Bobo Brazil

Title&Illustration/Jerry Ukai for ADS

※今回は石神秀幸さんの「闘魂★たべある記」と武田いづみさんの「ディスカバー・シンニホン」はお休みです

スポコラム

桜庭残念、はじめのテイクダウンの後にアキレスいってたらどうなってたんだろう。復帰戦はコンテンダーズ（もしくはアブダビ）でなんてどうでしょう。いいと思うんだが。

ヘンゾより体重あるくせに何もしない小原に腹も立つのだが、あれだけの大舞台でプロレスラーのダメさを披露してると思えば許せて見えた。新日やGKのことを思うといい気分だ。どうせまた出場するんだろうが、次はハイアンとかはやめてほしいな。自分より体重軽

「ソードフィッシュ」の女優よかったなあ（しみじみ）

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

くて名前（グレイシー性）あるオイシイ選手（判定や引き分けでもOK、勝てれば万々歳、負けてもしょうがないと言われ安心）といきなりやるのは、もうカンベンしてちょーだい。

小原や石川は、次出るんなら「プロレスの格」的にリスクある松井とかとやってほしいよ（もちろんマジ試合で）。それか、スペーヒー、ニンジャ、ヘンダーソン、メッツァーなど強くてオイシクない人とやってくれ。「オレ達、プロレスラーはVTなんていつでもできるけど、奴らはプロレスできないよ」なんでしょ？　だったらやってくれよ。

でもこの日の大ノゲイラvsヒーリング見て思ったけど、桜庭や高阪や金原達以外のプロレスラー達があーゆー試合いつでもすぐにできるとは思えないよ。できるのは、小原や高田や石川みたいな試合じゃないのか？　どうなのGK？

ミルコ戦に手を挙げた高田はオイシイな（総合の練習5年vs数ヶ月）と思いつつも、「健介などはなぜ名乗りをあげない」とか「小川は総合からプロレスへ逃げてるように感じる」などまったくいいことばかり言ってくれるの

でとても好感持てていました。いざ試合見ると、だんだんとロアングリになってしまい、あの好感が消え怒りに変わる。骨法が出てたマンガ『闘将ボーイ』のシーザーもどきと猪木もどきの試合を思いだした（猪木もどきは笑いながら座って余裕たったが）。

だが、怒りもその日だけでおさまるようになった。健介や橋本よりは高田のがいいよ。あえて一言ちょとよろしいかしらすると、寝技の得意な選手に「さあ寝技しよう」と誘えばロマンが出てくると思うが（桜庭vsホイラー戦）、寝技のできない打撃の人にそれやってもロマンはないのでは？　例えばミルコにではなく、ヒクソン戦で高田が「さあ寝技で勝負しよう」とアレやったら「オオー！」ってなるでしょ。

そして数日後に『東スポ』一面で「オレは悪くない。ミルコこそ女々しい！」と堂々反論する高田に、もうあぜん。完全に突き抜けてしまっている。これにはもう脱帽！　なんかビンスのノリを感じた。結局WWFに上がれなかった高田だが、こうしてプライドにマジのWWFを導入してるのか？

それにしても改めて驚いたのがニンジャの強さ。よく郷野は引き分けたなと、いまさら感心。でも今回の判定（ヘンダーソンの勝ち）おかしいよね。

松井対ペレ以来納得いきましぇん。

グラバカはパンクラス制圧したらプライド上がればいいのにね。勝ってる

余談だが、奥田民夫は顔や雰囲気が日に日に談志化していると思う。

時だけが花の世界だからじゃんじゃん輝いたほうがいいよ。シウバとか、菊田の相手いっぱいいるし。

スペーヒーも強かったナリ、完勝で会場シーンとしちゃったね。ブラジリアントップチームとシュートボクセがプライド制圧したとき、それに対抗して日本トップチーム（桜庭・高阪・金原・菊田・美濃輪・小路・藤田・郷野など上の階級の人達）が生まれれば面白くなるのにな。それにズタズタに負けてほしいプロレスラー（健介や橋本）があがってくれればカンペキ。まさにドリームステージだよ。

談志や清原や窪塚がきてフジが放送してるプライド、そこのヘビー級チャンピオンの大ノゲイラをそれでもまだ「大阪で人気あるお笑いの人レベル」と切り捨て相手にしないのか小川!?「プロレスはK-1やプライドに負けちゃいけないんだ」と言って、それが橋本とのタッグでプロレスを盛り上げることだなんて、腰がくだけちゃうよーヘナヘナしちゃうよ。

「小川vs大ノゲイラ」「保田がモー娘。を卒業という名のリストラ」「大槻教授を気功でふっとばす」、どれだけ国民のみんなが期待してると思ってんだ。UFOはプライドと大槻教授の上に飛べばいいんだよ。

はなくま・ゆうさく■今月のオアシスはキングダムか？　バレットvs今成ってカード最高♥

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の

柔☆勝ちます

『掟ポルシェ（山口日昇認定・頭のおかしい人）のプロレスインポ日記』の巻

【11月3日】

「PRIDE」やってるなんとかドーム（場所すら知らない）ではなく、現代のキング・オブ・スポーツことモーニング娘。横浜公演でもなく、その日、俺は北海道にいた。友人の結婚式に列席するためだった。慶び事の晴れの良き日にも関わらず、俺だけは地獄の底からラーメンを出前しに来たような素晴らしくふてくされた表情を浮かべていた。何故、今俺の目の前に石川梨華がいないのか。何故、お約束のPPPH（アイドル応援に古くから伝わる気持ちの悪い風習。Bメロになると曲調に合う合わないを全く無視してパンパパンヒュー！とハンドクラップ3発十その場でジャンプする。端から見るとゲームのコントローラー～を誤動作させたときの中途半端な昇竜拳に見えるが、やっている本人の本気度やモチベーションはただごとではない）ではなく、ケント・デリカットみたいなモルモン面をしたウェディング専門インチキ神父の号令でアーメンとか言わされているのか。腹が立って仕方がなかった。己の運命を呪った。そういえば今日はプッチモニ。の新曲も御披露目されているはずではないか。あぁ、ごっちんの笑顔にノックアウトされたい、よっすぃーの元気を分けてもらいたい、保田の（略）、とにかく頭の中は娘。のことばかりだ。

あまりにも横浜アリーナに行きたい思いが募りすぎたのだろうか、途中から俺は新郎新婦をモーニング娘。に見立てていた。結婚、つまりこれから二人はグループである。グループといえばモーニング娘。と一緒。新郎が着ている衣装はもちろんモーニング娘。であることからも考えて、結婚式とモーニング娘。には奇妙な接点が多いそう思えばなんだか結婚式って非常に素晴らしいものに思えてきた。俺の頬を一筋の涙がつたった。♪人生って素晴らしい……やおらマイクを掴んで『I WISH』を熱唱し、新郎モーニング新婦モーニングに代わってウェディングケーキに手刀を入刀。親族という名のハロプロメンバーたちと本気で殴り合ったあの日も今では美しい思い出だ。

【11月4日】

桜庭が負けたらしい（風の噂で聞きましたレベルの情報力）。天才が同じ相手に対して2度負けたという事実。それはまさに後藤真希のソロシングルが2枚連続でコケた事象に酷似している。ごっちんの場合、あゆを愛聴するバカ女系リスナー層を取り込もうとして馴れない今風R&Bテイストの駄曲を歌わされ、モーヲタとバカ女とちらの客層にも焦点を絞りきれずに、結果セールス枚数が伸びなかったのだった。天才アイドルにR&B歌謡の食い合わせは否なのか？　天才といえとも弱点があるとあきらめてしまうべきなのだろうか？　イヤ、後藤真希には天才として生涯を生き抜くべき天命があるのだ。それは桜庭も然り。「PRIDE」の命運が桜庭の勝利によってしか満たされないものである以上、シウバに勝たなきゃ昨日に逆戻りだ。桜庭のいない『PRIDE』なんて後藤真希のいないモーニング娘。と同じ。手の合わない相手にも勝利しなければならない。天才とは辛い商売だ。

ということは、シウバとはR&B歌謡のようなものなのだ。そう思うとどことなくシウバの顔がジェシカ・シンプソンに似ているような気がしないでもないではないか。ジェシカの顔は全く見たことはないが、多分そんなカンジだろう（適当）。

夜、前橋にてモーニング娘。コンサートを堪能。一緒に行ったノブ、ジャイ子、ガンツも帰りの車中多幸感に包まれ放心状態。『紙プロ』編集部の偏差値を一夜にして20は下げた様な気がした。

【11月7日】

杉作J太郎先生も言っていたが、「モーヲタになると頭が悪くなる」ものだ。モーニング娘。を好きになるとそれ以外の世の中の出来事が全て些末事に思えてくるため、娘。のこと以外に頭脳を使用しなくなるどころか以前から持ち得ていた知識容量を削除してまでも脳みそを娘。に割こうとしてしまうのである。

プロレス界の現状に興味を失うだけでなく、過去のデータ容量の全てを娘。関連に書き変えてしまったがために、色々なことがわからなくなっている。タイガーマスクの正体は誰だったか？　佐野？　笹崎？　確かに頭文字は「サ」だった気がするがなにか決定的に違う気がする。佐…藤勝昭？　プロ空手出場後はマスクマンに転身？　…そんなわけはないか。サ…桜庭あつこ？　ボッチャリしてはいたがそこまで巨乳じゃないだろう。まぁ、いいや。忘れてしまうぐらいのことならきっと大したことじゃない。…いくら考えてもわかんないものはわかんないんだよ！（逆ギレ）。

というわけで、『紙プロ』読者の皆さん、もしどこかで俺にあったらその時はタイガーマスクの正体をコッソリ教えて欲しい。但し、ドン荒川だとかユセフ・トルコだとかいう、いかにもバレバレの嘘を耳打ちしてきたら、その場で水月にローリングソバットをブチ込む所存なので覚悟しなさい。

おきて・ぽるしぇ■ガチンコでお馴染み竹原のCDシングルが欲しくてたまらないが自主制作盤のため未だに未入手。注文するのが面倒臭いので誰かプレゼントして下さい

BEST OF THE スパコラム

桜庭のいない『PRIDE』なんて後藤真希のいないモーニング娘。と同じ

プロレスが好きな人、この指止まれ!!

構成／イナズマ★K

PROFILE

No.19 ユリオカ超特Q

NHKの爆笑オンエアバトルやCSパラダイスチャンネルなどで活躍するユリオカ超特Q。彼は大竹まことの唯一の弟子だ「大竹さんはプロレス興味ないのにWWFだけは見てるんです」会場で新日の中西選手や邪道外道に声をかけられ「藤波のマネで"頑張れ"って。そのあと新日参戦決定ですよ（笑）」。他にも成瀬選手をはじめ選手と交流があり、ターザン山本は大学の先輩、さらにI編集長との喫茶店トークも体験済みだ　なかでも千春は昔からの知人。「平成の千春書として、なんなら僕が結婚してもイイかなと思ってるんですけどね（笑）」ジャンルにこだわらない彼は「97年は27団体見ましたね。高田対ヒクソンからジニアスまで（笑）。どんな団体も藤波イズムで受け入れますよ」

藤波社長のものまねがプロレスファンやレスラーの間で「あまりに似すぎ！」と話題をさらっているお笑いのユリオカ超特Q。プロレス好きの多い芸人さんの中でも、ここまで目の付け所のステキな人はなかなかいない。ますはドラゴンへの熱い思いをノンストップでどうぞ！

ユリオカ　藤波さんはジュニアの頃から好きでしたけど、やっぱり長州との名勝負数え歌の頃ですね。クラスの大方が長州派だったんですけど、僕はあの体が好きで藤波派でした。当時は割れた大胸筋の選手っていなかったし。でも今考えると7・3分けなんですよ（笑）。あの悲愴感の漂ってる顔も好きでね。流血戦も似合うし、やられた時に絵になるんですよ。それになんと言ってもドラゴンコールですから。当時は二ックネームで声援される人いなかったし。それに奥さんを初めて見た時キレイでね。昔の『デラプロ』で、ハワイのビーチで小さいパンツの藤波さんとビキニのかおり夫人と並んでるのを見て憧れましたねぇ。

——それ以来、ドラゴン熱は冷めずに？

ユリオカ　一時ちょっと波が引いたけど、社長就任でまた火がついて（笑）。顔が変わってきたでしょ。今はなんか変なこと言ってる人みたいに思われてるんで、ファンとしては、ちょっと複雑ですね　まあ紙の新聞の影響もかなり大きいと思いますよ（笑）。でも最近、バレてなかっただけだと思ったんですけどね（苦笑）。

観る側のキャラ設定がだいぶ変わりましたよね。

ユリオカ　藤波さんは受け身をとって引き立てられる人なんですよ　今、猪木ブームじゃないですか。あれは藤波さんが陰の仕掛人なんですよ（キッパリ）　今、猪木さんに振りまわされてるって言われてますけど、あれは実は藤波さんが猪木さんのやることを許してるんですよ。猪木さんは藤波さんの手のひらの上にいるんだけど、それをあえて言わないのが藤波イズムですから。だからボクも普段は言わないんですよ。そんなの戯言だと思われるし（笑）。猪木さんはそれに気づいてないと思いますよ。このことに気がついてるのは僕と藤波さんだけなんで（笑）

さすがは藤波信者ですね（笑）

ユリオカ　でも藤波信者って、なかなかいないんですよ。猪木さん、長州さんは敵も多いけど味方も多い　でも藤波さんは敵も少なければ味方も少ないんですよ（笑）。身内から評判悪いとか聞くと、僕が応援しなきゃどうするんだと。たぶんね、猪木さんはピシャリとシャッターを閉められる人なんですよ。でも藤波さんは閉めた反動で開いちゃって、そこから人が入ってきちゃうっていう感じなんで（笑）。そんなとこが人間的で好きですね。

藤波さんの好きな試合は？

ユリオカ　やっぱりナマで観た前田戦ですね。前田の体調が一番良い頃でヘビー級の蹴りをあんなに受けた人はいないでしょ。防御なんか顔でしてるし（笑）。ある意味、藤波さんは負けることが恐くない人なんですよ。それに藤波さんは張り手が以上に早くて強いじゃないですか。唯一の説得力というか（笑）。身を捨てられる凄みはあるんですよ。天龍戦も鼻折れてたし。長州対橋本戦で、「殺し合いじゃないんだ」って言ってたけど、その前の藤波対橋本戦の方が殺し合いに近いですからね（笑）その試合で橋本にナックルで仕掛けてますからね。みんなが思ってる以上に藤波さんは一線を越えられる人なんです。わかりづらいんですけど（笑）。

——藤波さんのものまねはいつから？

ユリオカ　ものまねって生まれた日があって、僕は飛龍革命の時の猪木さんと藤波さんのやりとりを何度も見て紙に書き起こして、ジョーダンズの二又さんと一晩中練習したんですよ。それから最近のテンションの低い藤波さんもできるようになって。飛龍革命を再現することで僕の中にも飛龍革命が起きましたね。まあ、これも中途半端にならないようにに気を付けないといけないですけど（笑）

——春さんとの絡みも見たいですね

ユリオカ　春一番さんは、猪木さんのマイクの使い方をマネして革命を起こしたじゃないですか。そういう意味では藤波さんは「ある部分」って、よく言うんです。なんかのインタビューで2ページに「ある部分」が32回出てきましたから（笑）。春さんが「超特Qくん似てるよ。これは『ある部分』革命だね」って（笑）。初対面の時に春さんの家行って2人で飛龍革命を再現したんですよ　オーディエンスは春さんの奥さんだけでしたけど（笑）。それから春さんには良くしていただいて、電話で（猪木マネで）「元気ですかーッ！」（藤波マネで）「いや猪木さんもねぇ」って言い合ってますからね（笑）　いつかライヴで、春さんとの飛龍革命パーフェクトコピーをやるっていうのが僕のささやかな夢ですね。

——他には誰のマネができるんですか。

ユリオカ　ボクはものまね芸人じゃないんだけど、なぜかプロレスものだけはできるようになって。ちなみに、藤波さんの前にやってたのが竹内宏介ですから（笑）　で、この間、バンバンビガロ興行でプロレスネタだけをやらせてもらったんですけど、藤波が基本で前田と中西、金本を披露しましたね（似てる！）。プロレスファンだったら一度聞いていただけたら衝撃受けると思うんで、是非ライブに足を運んで欲しいですね。

一度はナマで見るべきですね。

ユリオカ　藤波さんはホントに好きだし、やっぱり、ものまねはリスペクトないとできないですからね。僕も藤波さんのものまねをやることで他の人のまねもできるようになったり、こうしてプロレスファンにもアピールできるようになったんで、周りがなんと言おうと僕の中では確実に飛龍革命は起きてるんです（笑）

ちょっと見づらいかもしれないが、これがユリオカさんが藤波マネをはしめるきっかけとなったと言う飛龍革命の全発言メモである。正直、スゴイ!

木曜夜は渋谷へらっしゃい！

ユリオカ超特Qが放つ週イチライブイベント「渋谷ダイナミック」。これまで、くどめやダンプ松本、さらには成瀬昌由といったプロレス＆格闘技ファンにお馴染みのゲストも多数出演している。ちなみに12月13日のゲストはキッスの世界だ！
詳細は03-5456-8130まで

プロレスとエロどっちも裸のおしごとです

文・大坪ケムタ

エロ・サムライ

vol.10 エロとTシャツと私の巻

「プロレス出来なきゃ只の社会不適合者」というレスラーがいる。世の中、レスラーに限らず「呼ばれるように」その職についたという人は多い。他のことはてんでダメでも、その仕事だけは超一流。そんな〝才能〟と〝仕事〟の幸せな関係の状態を〝天職〟というのだろう。

ならばプロレスとエロにまつわるお仕事に必要な才能は近いのではないか？　と改めて感じさせるお人が、レイプAVの老舗インディーズAVメーカー・（株）アタッカーズ広報の岩渕秀明さん。これまでも『紙プロ』プレゼントコーナーに素敵なレイプAVを提供していただいたり、「語ろう藤波」座談会に出演していただいたりと、『紙プロ』には昔から縁深いお方。

そして岩渕さんのもう一つの顔がプロレスTでお馴染みのバンバンビガロの「初代マスクド店長」その人なのだ！

「店にいたのは96年から2年半ぐらいですね。当時は今ではお売りすること出来ないTシャツばっかり作ってたんですよ（笑）。最初の頃は客のリクエストに応えたりとかね。自信がなかったら12枚とかそんなノリですよ。売れなかったのといえば、アドリアン・アドニスとかフリーバーズとか。今着てるヤツいないんじゃないかな？　持ってたらレアですよ（笑）、自慢してもらっていいぐらい。ショップTシャツもインディーズAVも96年ぐらいがちょうど商売として成立し始めた頃なんですよね。だから当時は面白かったですね～（感慨深そうに）。いろいろと売ってたんですけど、実際Tシャツが一番喜んで一番買ってもらえてたんですよ。それで入ったお金でステッカーとか次から次へと作っていって……　ホント、プロレスファンのおかげですよ」

ちなみに岩渕さんと僕は普段からAVメーカー・ライターとしての付き合いがあるのだけれど、初めて紹介された時の彼の格好は『猪木&藤波・紋付き袴で握手Tシャツ』。そりゃ記憶に残りますって。

「あれは正月記念の限定Tでしたね（笑）。プロレス見始めたのがタイガーマスクちょい前で藤波がジュニアの時代ですからね、もうその時からドラゴンバカで（笑）。最初行ったらいなくて、かおり夫人に『明日4時ならいるわよ』って言われてまた翌日行ったんです。今度は藤波さんいたんですけど、『僕、弟ですけど』ってボケられたんですよね（笑）。でも『え、藤波さんですよね』って返したら『バレちゃったかー』とか言ってるし。当時ツッコミなんて知りませんでしたからねぇ（笑）」

プロレス絡みの仕事はそれだけではない。以前当コーナーで紹介した「レッスルボーイ」にライターとしても参加しているのだ。

「当時、学生援護会で働いてたんですよ。それでバイト募集の欄見てたら『プロレス雑誌の編集』って書いてあって、『えぇー！』って。でも3号で休刊ですからね、もう入ったのは先っぽ程度で本番ヤることもなくって感じですよ（笑）。松澤さん（当時編集長・現『ビデオメイトDX』編集長）はいろいろ好き勝手にやらせてくれたんですけどねー（しみじみと）」

また、今はAVメーカーの広報ということで直接プロレスとは関係ない仕事ではあるけれと、やはり様々なプロレスとの共通性は感じるという

「撮影現場に行くようになってなおさら感じるようになりましたね－。オーソドックスなAVって純プロレスと通しるものかあるから　正常位とか、普通たと男たったら亀みたいになって覆い被さっちゃうじゃないですか　でもビデオの絵的には女のコのオッパイ揺れてる所が見たいわけで。だから胸張って相手の全身を見せつつヤんなきゃいけない。『2階席にも伝わるプロレスをしなきゃいけない』ってのと同じですよね（笑）」

闘いとSEX、いずれも本能的な行為でありながら、外から見るところは見てる。その主観と客観の同居がプロレスラーとAV男優の共通する部分でもある。それが出来てこそ本物のプロ。

「プロレスもAVも『ごっこ』じゃダメなんですよ。素人がAVマネしても、顔射みたいな汚いことは対戦する者同士の心が通じ合ってないと成り立たないんです。だから素人男優とか来て自分だけ気持ちいいみたいな感じでヤラれちゃうと、イタい感じの作品しか上がらないんですよね」

いま岩渕さんが広報として活躍されているアタッカーズの主力作品はレイプAVドラマあり暴行あり、最後は中出しでシメという男の潜在欲望に乗っ取った古典的・王道のビデオであるゆえ固定ファンが多いメーカーである

「ウチはラモーンズであり水戸黄門であり全日本ですからね、お約束の世界。でもAVってインディーズが出てからファンとブラウン管の距離が近くなったと思うんですよ。それは細かいニーズに応えられるようになったとか、汁男優（大量顔射AVの撮影の際呼ばれる、女の子に精液出すためだけの男優）として誰でも出演出来るようになったとか（笑）。それって最初のインディープロレスの大仁田が、初めてのファン参加型プロレスをやったのと通じるのかなぁなんて思いますね」

とAVとプロレスの両インディーズの共通点を分析する岩渕さん。やはりエロとプロレスの才能は共通なのか!?

「というか、何でもエロの人ってプロレスと無理矢理繋げちゃうんですよね。夜12時越えるとリングアウトとか時間切れとか言うし（笑）」

要は屁理屈野郎が多いということか、確かに！

おおつぼ■けむた■年末は[illegible]ですな[illegible]日はもちろん[illegible]春風亭昇太独演会まで[illegible]年末進行のな[illegible]『紙プロ』は[illegible]

スペースローン・ワイフ

真下純子の

ひりきな奥さん

VOL.7『プロレス負ける』の巻

冬ですね。冬がやってきました。冬も甚だしいです。冬にも程があります。と申しますのも今これを書いているのが『PRIDE17』直後。

寒がりやさん出ておいで（by三田寛子。若い方はわからなくてよし）って感じです。

プロレスラーが勝つとか負けるとか、そういうことに今更拘ってはいけないのでしょうか、この頃は。

そういえば、『PRIDE17』以前にもかなりしょんぼりするものを見ました。10月中旬頃TBSで放送された『フードバトルクラブ』。ご覧になった方も大勢いらっしゃるかと存じます。日本全国から集められた大食い早食い者や海外招待選手らが、とにかく食べて早さや量を競う、という今頃のアフガンのことを考えたらちょっとアレな番組でした

その番組に、キングコング・バンディがひょっこりと、うっかりと、出てきたのです

WWF所属レスラー（そうなの？）おやつ代わりにステーキ2キロ食べる猪木を破った男（そうでしたっけ？）と謳われて。

番組中『フードファイター』と呼ばれていた大食い者の方々は、普通の人より胃酸が強かったり、延髄の中にある嘔吐中枢が人より働かなかったり、血糖値が上がりにくくて満腹中枢が刺激されにくかったり、と身体的にはワケありだけど見た目は至極普通のかわいらしいお兄ちゃん達です

その中にバンティ[illegible]青キュウリ畑の中[illegible]です[illegible]

しかし、この番組でのバンティの役割は一見掛け倒しの巨漢　大き目のかませ犬。なのでした。

時間内に食べられるだけ食べ、増えた体重を競うステージで、バンディはバンディが食べられるだけの量を食べる。他のフードファイター達はバンディなどお話にならない量（11キロとか）を食べる。

プロレスファンじゃない視聴者だとて『バンディ負け役』とわかってしまうのです。「このプロレスラー全然だめじゃん、と。レスラーは食べるのも仕事のうちなんじゃなかったの？」と。

バンディじゃない他の大食いレスラーでも、一度の食事で10キロもの体重を増やす身体的、医学的にワケありなフードファイター達には適わないのかもしれません。でも、少しは食い込んで欲しかった。「さすがレスラー、見事な食いっぷりです」と梶原しげるに言わせたかった。

チャンピオンの体重測定を見ながら「信じられない」といった感じで首を振るバンディ。こんなところでもプロレスが負けてる。しかも素人のお兄ちゃんに負けてる。これはプロレスファンにとって、とても寂しい光景でした。

この番組を見ていて唯一救いだったのは長身（193センチ）馬場声の超新星が細身・二枚目の前チャンピオンを破ったことでした。

デカイ→強い（よく食べる）という図式はわかりやすくて好きです。このデカい新チャンピオン、なんとなく馬場さんっぽいんですよねえ（でも、馬場さんて若手にステーキ食べさせて自分はホットケーキ食べてたりしたんですってね）

とにかく、もうどんな場所であれ、プロレスラーがショボショボしてるところはあまり見たくないものです。バンディさん、これからはこんな仕事は断ってください。お願いします

ました■じゅんこ■大食い[illegible]でレスラーは完膚無きまでに叩きのめされました[illegible]たが「大酒飲み」ならどうでしょう　アイスペールでルミー[illegible]一気飲み勝負とか、人道的に無理ですか　しかし[illegible]れでも素人さんにレスラーが負けたら[illegible]ば、いよいよわたくしたちプロレスファンの心のよりどころがなくなります

ザ・検証

プロレス点と線

今回のザ・検証はやはり2人とも「PRIDE」ネタ。ボクもバックステージで見た裸同然のコスチュームを身にまとったプライドガールに度肝を抜かれました。しかも控室から次から次へと出てくる出てくるプライドガール。お前ら一体何人いるんだよ！ 小原のセコンドは誰か教えろよ！

ザ・検証

【今月の検証】

検証日記

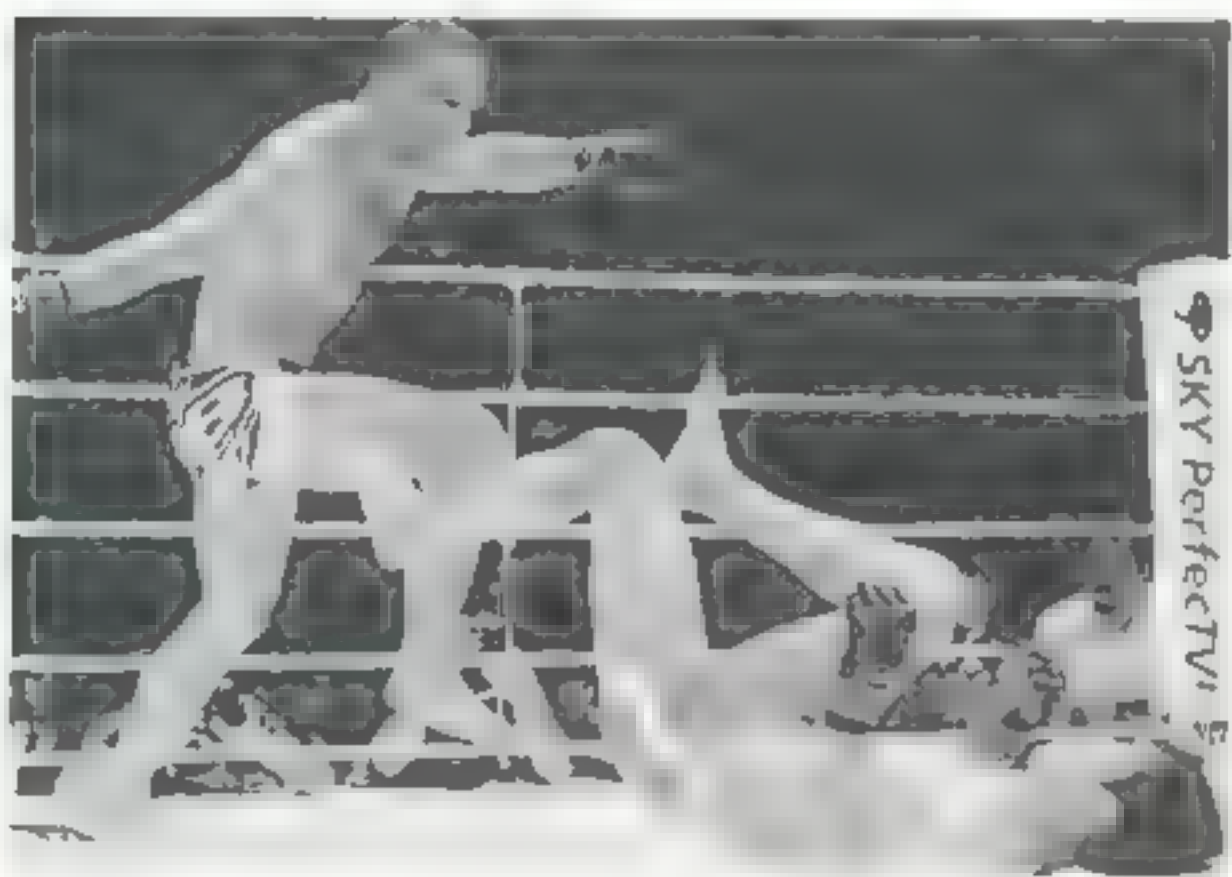
by椎名基樹

○月×日

今日、『PRIDE17』を見に東京ドームに行きました。桜庭選手がヴァンダレイ・シウバ選手に負けました。これで2連敗です。ショックでした。アクシデントさえなければと思いました。

でも、後でテレビで見たら完敗だと思いました。桜庭選手はタイガーマスク以来の、僕のスーパーヒーローなので、頑張ってリベンジして欲しいと思いました。

その他、ノゲイラ選手がよかったです。柔術がやりたくなりました。でも、この所、体力の低下が顕著です。悔しく思いました。

あとは、バックステージで見た、長谷川京子さんのあまりの美人ぶりに度肝を抜かれました。なぜか、グラビアアイドルの中根かすみさんもバックステージにいました。彼女のファンで、この間コンビニで魔が差して彼女のDVDを買ってしまった僕ですが、長谷川京子さんと比べると、京子さんの美人ぶりが際だっていました。でも、僕は33才、とても悔しく思いました。

©SKY PerfecTV!

○月×日

夢に佐山サトルが出てきました。

殺されるかと思いました。精神安定剤を飲みました。

○月×日

ネットオークションで買った、アイドルコミック「実録漫画・藤波辰巳」が届きました。

藤波選手が小さい頃、ジフテリアにかかったことを知りました。

やはりただ者じゃないと思いました。

○月×日

友人の家に遊びに行ったら、「木戸修の引退試合見る？」というので、喜んで見ました。試合は飛ばして、引退式を見ました。

木戸選手の最後のマイク。感動でした。生真面目さが伝わってきました。

よくよく、考えて見ると、木戸選手は幼稚園の頃から見ています。すごいことだなあと思いました。

木戸選手ご苦労様。

○月×日

某メジャー団体の現場監督が浣腸好きというのは、もしかしてゴッチイズムではないかと気づきました。

現場監督はゴッチイズムを否定していましたが、こんなところだけ受け継いだとは、やはりただ者じゃないと思いました。

以上、お終い。

担当編集・チョロのクイズコーナー!!

問題！ この豪邸に住んでいるプロレスラーとはいったい誰でしょう？

見てみ、この家！　広大な敷地の中に何台ものリムシン。こんな大豪邸に住んでいるプロレスラーはいったい誰なんだ？　■か？　お前か？　正■は153ページからの紙の新聞へGO！

【今月の検証】

高田と小原、ショックを受けたのはどっち？

by せき詩郎

対ミルコ戦の高田のように、私も寝転んでみる。草の香り、目の前に広がるのは、空。

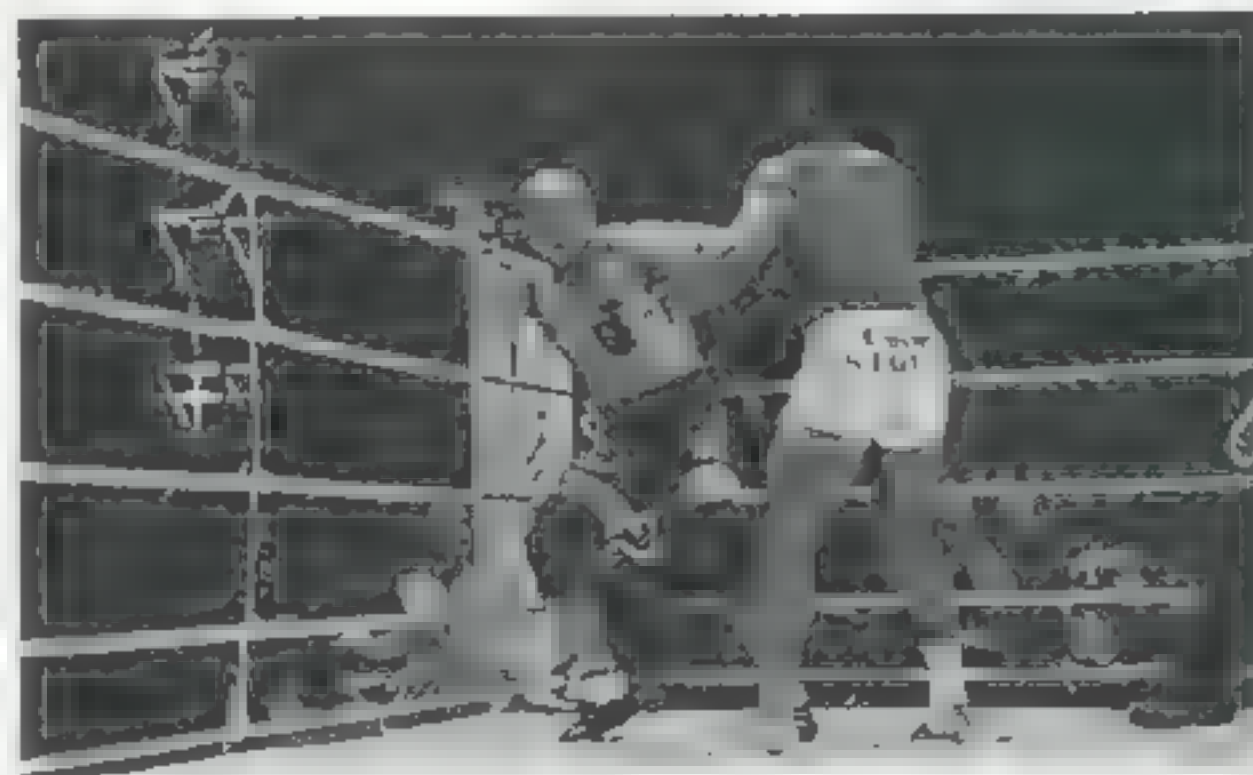
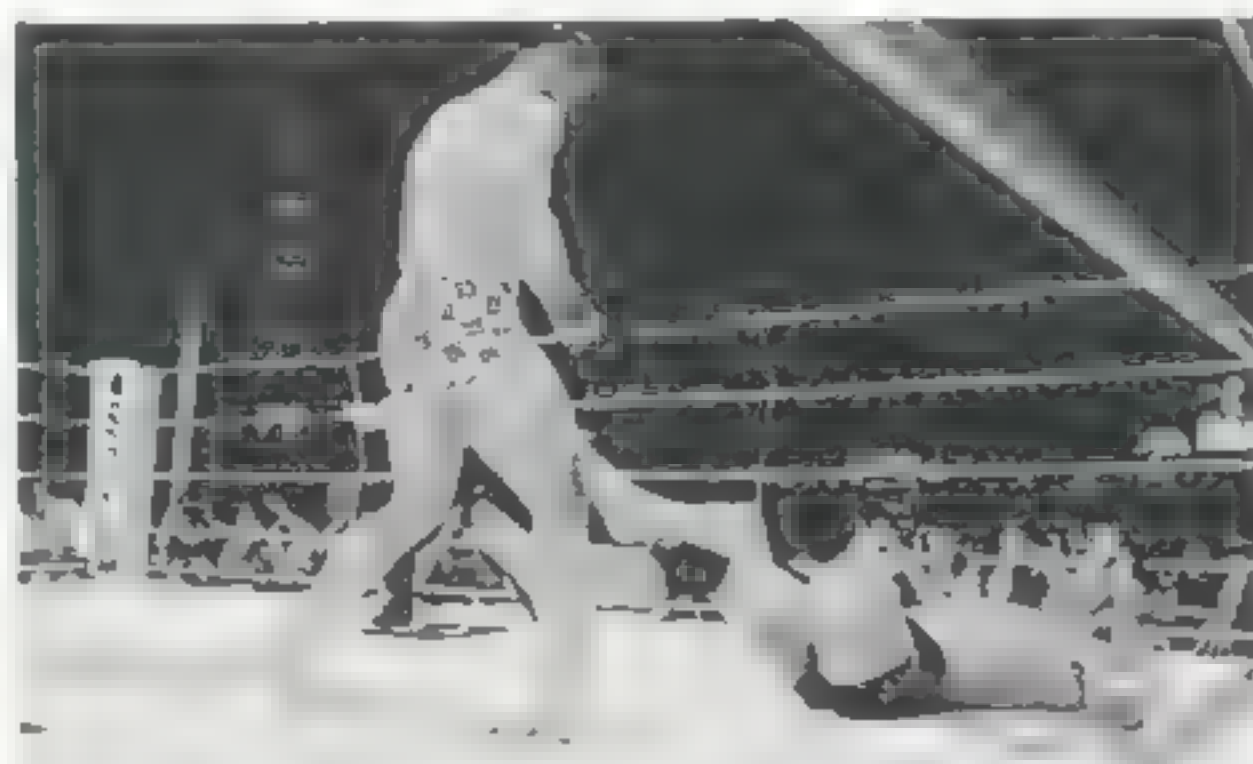
空ってこんなに広かったんだ、改めてそう感じる。いつ以来だろう、気がつくといつも下ばかり見て生きるようになったのは（落ちてる小銭を探すため）。なんだか自分がちっぽけな人間（身長150センチくらいの中年）に思えてくる。あれこれ悩んでいたこと（奥山佳恵の結婚とか）が馬鹿らしくなる。なんだか少し元気になったよ、高田。高田が寝なければ、私もこうして真似することはなかっただろうし、空を見ることも、清々しい気分になることもなかったはずだ。ありがとう、高田。高田！

青い空には白い雲。風に逆らうことなく、自由気ままにその形を変える。さっきまではタモリに当たったゴルフボールみたいな形をしていた雲が、今は渡嘉敷勝男の世界タイトル挑戦者決定戦で相手に食べさせようとした毒入りオレンジのような形になった。あっちの雲は高田純次が口に入れた清川虹子の指輪みたいな形をしている。

そんな雲を眺めているうち、私は昔自分で書いたことを突然思い出した。高田は雲。雲の高田。高田は南斗五車星の雲であると私は確かに書いた。なぜ雲なのか、なぜジュウザなのかは忘れた。多分、無理矢理こじつけたに違いない。

「俺は食いたいときに食い、飲みたいときに飲む」。あの試合でどんなにブーイングを浴びようと高田が寝つづけた理由は、高田はただ単に寝たかったから、それに他ならない。

まさに雲！　そんな高田に対してミルコは怒った。ミルコは直線的なファイター、いわば剛の拳である。どちらかというとラオウタイプだ。怒るのは当たり前であろう。

木の上に鳥の巣。その中の卵を取るにはどうすればよいか。「いい方法をみせてやる」とミルコは木にパンチ！　ミルコの強烈な剛拳に木は折れ、倒れる。「さあ取るが良い」とミルコ。しかし卵はすでにそこにはない。「必要以上のものまで取ってしまう。へっへっへっ、いかにもお前らしいやり方だ」と何時の間にか奪った卵を手に高田が言う。「高田……。ならば貴様ならどうするというのだ」鋭い視線を投げかけるミルコ。「俺か!?　俺は食うだけ」とあっけらかんとした表情で卵を食べてしまう高田。この態度が気にいらないミルコは「上等だ」と高田に詰め寄る。しかし高田は「へっ、へっ、ムキになるなよ」と笑いながらミルコの顔に卵を投げつけた！　卵はミルコの顔面を直撃。「おのれ!!」ミルコの怒りは頂点に！　しかしそこにはもう高田の姿はなかった……。

新聞等を見るとミルコは相当怒っているようだ。しかしそれではすでに高田のペースであることにミルコは気づいてはいない。「怒るな、ミルコ。怒ればヤツの術中にはまるぞ」石井館長はそうミルコに忠告しなければいけないだろう。

実際、あの試合を見て怒った人は多いと思う。そういう私も怒った。今まで何度高田の試合で怒ったかわからない。しかしその度、試合後の高田の発言にガクッとなり、笑ってしまい、またしても高田の術中にははまってしまった自分に気づき、反省する。今回も例外ではなかった。

「誰も藤田の敵を取らないから俺がいく」みたいなことを真面目な顔して言うもんだから、またコロリと騙されてしまった。そして試合後の「もう一丁」的発言。怒ってしまった自分が恥ずかしい。相手は高田である、そんな基本的なことを忘れてしまっていたなんて。

そしてもうひとつ、私たちが忘れてはいけないことがある。それは「小原はヒール」と言うことだ。

小原対ヘンゾ。会場は大ブーイングに包まれた。老若男女、学歴も前科も恋人いない歴も一目惚れを信じる派？　それとも信じない派？　など関係ない。客のほとんどが小原に対してブーイングを浴びせた。それはまるで反日感情の強いアメリカの州で試合をする日系レスラーと同等かそれ以上に違いない。

しかし、小原はヒール。ヒールはブーイングを浴びてナンボである。今のマット界にあれだけのブーイングをもらえるヒールはいない。そう考えると小原は偉大なのだ。プライドのリングでヒールとしてのスタイルを貫き通し、見せ付けたのだ。

あのブーイングの大部分は、試合で小原が何もしようとしないことに対してであろう。レフェリーが「アクション！」と何度言おうとも小原は何もしなかった。当たり前だ。何度も言うように小原はヒール！　レフェリーの言うことを素直に聞くヒールがどこにいるというのだ。ヒールじゃなくても、「勉強しなさい」と親に言われたら、その途端勉強したくなくなるはず。「今やろうと思ったのに！」と怒り、「そう言われたら逆に勉強する気がなくなるんだよね」と屁理屈を言ってしまうもの。そんなヒール心というか、微妙な心理をくみ取れなかったレフェリーが悪い。「ドントムーブ！」って言えば、小原は逆に動いたかもしれないのに……。

ヘンゾのパンチを警戒しすぎたのも動かなかった理由のひとつだと思う。しかしあれは藤波と健悟が悪い。二人ともボクシング経験があるはずだ。それなのになぜ小原にボクシング対策を授けなかったのか。藤波は維震軍入りした時もそうだった。何もせずかき回すだけかき回して……（中略）……維震の袴を脱ぎ捨ててもらったら困るんだよ。大体、控室にもあんまり入ってこないようじゃ困るし、健悟は健悟で……（中略）……一蓮托生でみんな元気に練習やってるところに顔を出さないっていうのはどういうことだっていうことだ。小原は悪くない。あの二人が悪い！

などと、「うちの子に限って！」と親バカ的に、他人のせいにしながら、これでもかというくらい無理矢理、小原をかばってみたところで、個人的には小原が動かなかったのは、プロレスラーとしてより柔道家としての意識が強かったのではないかと思う。〝みせる〟というプロの意識よりも、負けるわけにはいかないという勝敗にこだわるアマの部分が強かったというか。まあ、これは個人的な意見で単なる推測に過ぎない。

あの時小原がどういうことを考えていたかなど小原にしかわからない。もっと単純でちょっとしたことが理由かもしれない。ドームにある長嶋のセコムの看板が気になってしまったとか、「そういえばガスの火を消してきたっけ」と気になって気になって仕方なかったとか。今ごろ近所の子供が野球していて、打ったボールが小原宅の窓ガラスを割り、それが侵入者としてセコムに通報され……そんなことを考えていたとか（推測のみ）。

そういうわけで、高田にまたしても翻弄されたことと小原の敗戦が普通にショックで悲しいので、今回検証する予定だった『幸作とは何か？～幸作は果たして死ぬのか？』はお休みします。

プロレス小僧だった頃に戻ろう

ULTIMO・DRAGON GYM JAPAN

闘龍門17ページぶち抜き大特集

メジャー団体がどうも物足りない、『PRIDE』もなんだか盛り上がれない、WWFは生で見れない、インディーなんてみたくもない。ああ、プロレスが面白くない。そう感じているならば闘龍門の会場に行こう。そこに行けば、誰もが、ただただプロレスが好きだったあの頃に帰れます。

photo Shinya Inui

ULTIMO·DRAGON
GYM
JAPAN

今、最もプロレスの面白さを幅広い客層に伝えているのは闘龍門である

今、世界で一番面白いプロレス団体は闘龍門JAPANなのだ。光速スピードを売り物にする若さ溢れる華麗なるジャパニーズ・ルチャと、会場に笑い声を巻き起こすアメプロ風のアングル展開が合体した時、毎月一度の東京での定期戦はチケットの入手が困難な、世界で最もホットなプロモーションとなった。

文/田中正志　撮影/乾晋也　design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

11月8日の後楽園ホール大会、第一試合からマグナムTOKYOが登場。恒例の入場時のダンスで南側の客席をゆっくりと降りてきた。最前列には若いお母さんが連れてきた二人のお子さんの姿。マグナムはためらうことなく娘の方の顔に、リズムに合わせて腰を振って魅せた。まだ小学校にすら行ってなさそうな年齢だったので、男性自身を突きつけるポーズは教育上はよろしくなかったが、お母さんも大喜びだ。そしてこのグループは最後の試合が終わるまで、夢のような三時間弱の興行の間、歓声と悲鳴と奇声を上げ続けていた。

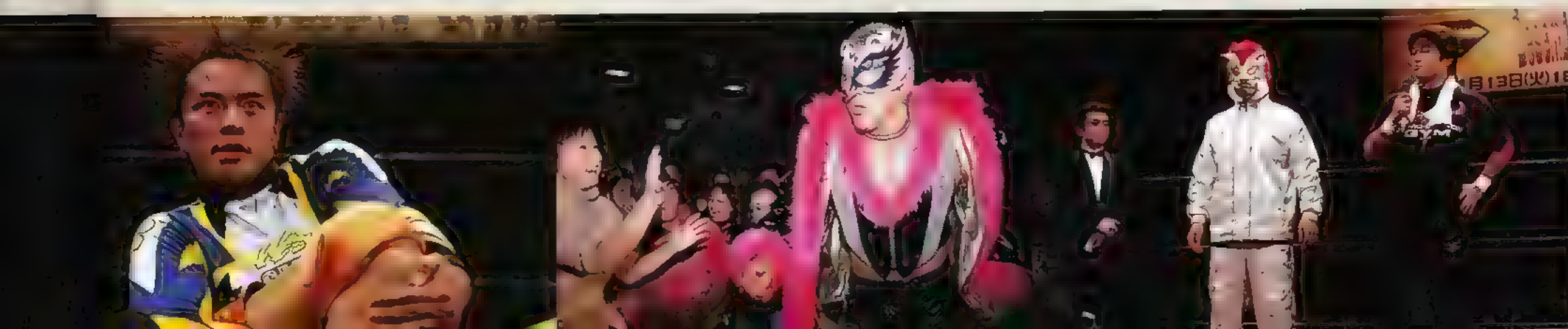
マニアしか会場に来なかった光景を見慣れた昭和のプロレス者には、それは驚きをともなう新鮮な光景だった。プロレス初心者が気軽に入場できる、敷居の低さが素晴らしかったからである。そして、名物のオカマちゃんたちを含めると、多いときで65%が女性客という客層の匂いにむせかえることになる。新日本プロレスもK-1も『PRIDE』にも興味がなさそうな、いわゆる一般のお客さんが闘龍門という謎だらけのライブ・エンタテインメントを楽しんでいる。

闘龍門は一体どこが新しいのだろうか？

全盛期のWCWで活躍したウルティモ・ドラゴン校長率いる闘龍門は、それまでプロレスと縁のなかったような入門者と、大人の常連客の両端から絶大に支持されていて、アメプロ・ブームの原型を作ったのと同様の、理想的な客層の比率を実現してしまった。現在は、三つのグループの抗争に明け暮れている。プロレスラー養成学校としての闘龍門がスタートした97年から、ウルティモ校長の右腕だったマグナムTOKYOは正規軍のリーダーとなった。入場時に女性客からお札をパンツに入れてもらう、男性ストリッパーのギミックはすっかりお馴染み。飽きられてないのは本人に本物の華やかさが備わっているからだ。そこに高速回転の空中殺法では、世界にマネのできる者がいないドラゴン・キッドがいて、一升瓶を抱えて登場するトラック野郎で、石頭が売りのアラケン（新井健一郎）も控えている。

軍団の最小ユニットである3名からスタートして、あっという間にブレイクしたのがクレイジーMAXだ。エースとなったCIMAのプロレスは、全盛期のエディー・ゲレロすら超えてしまい、写真集やトークショーでの活躍を含めて、もはやカリスマになってしまった。同じく大阪出身で、大相撲の経験もあるビッグフジは、舞台裏でのアイデアマンとしての役割を含めて、興行になくてはならない存在に登りつめている。一匹狼志向のSUWAは、実人生でも21世紀版のタイガー・ジェット・シンになってしまった。この3名にWARでの選手経験もあり、仕事のできる大柄のTARUが加わって厚みが増した。

そこにまた、別種のヒール軍団として結成されたのがモッチー（望月成晃）率いるM2Kだ。この知恵袋、北尾光司から武輝道場を譲り受けたことでも格闘技ファンに覚えられていた空手家だが、実は空手修行の前からプロレスファンだったらしい。このM2Kはちゃんとスカジャンにキックボードという独自のコスチュームと入場の仕方を守っているので、初心者が観戦してもどの選手がどちらのチームなのかがスグにわかる。しかもモッチーは、「今日は誰が勝つのか教えてやろう！」と試合前にマイクしてみたり、「両リン推進委員会」を名乗るなど、危ないケーフェイ・ギャグで年配のマニアをも喜ばせてきた。

こうして各軍団のキャラを紹介する

だけで、闘龍門の何が新しいのかがわかるだろう。徹底したスポーツ・エンタテインメント志向が、夢中で楽しめるライブ空間を創り出したのだ。ベルリン・マラソンで優勝した高橋尚子は、多くの日本人を感動させてくれた。しかし、競技の世界では記録は破られるためにある。わずか一週間後のシカゴでは、早くも高橋の記録は塗り替えられてしまった。おまけに日本での大騒ぎを横目に、北米の有力紙は高橋の薬物疑惑を書きたてたのだ。やっかみとはいえ、競技の世界の空しさを見せつけられたと感じたのは私だけではないだろう。

もはや競技の感動にすらケチをつけられるなら、作られたスポーツに熱中する方がとことん興奮させてくれる。0.1秒早く走る闘いよりも、毎晩正確にラ・ケブラーダを決めることの方が難しいかもしれない。そう発想を変えた瞬間、闘龍門の格闘技としての完成度が見えてくる。ここは、選ばれたエリート・アスリートだけがリングに上がることを許されるのだ。それは至福の感情を共有できる、至宝のスポーツ芸術なのである。

ライブで勝負する闘龍門は一度会場で見てしまえば、そのインパクトにKOされてしまうこと間違いなし。登場人物が多くて複雑だが、それぞれのキャラが際立っているから連続ドラマにはまってしまう。たとえば「弱虫でお笑い」のストーカー市川は、いないと興行が寂しくなってしまうほど愛される存在になってしまった。贔屓の選手が気になりだした頃には、もう中毒患者にさせられて毎回会場に足を運ぶことになるわけだ。

脇役までキャラが強力なのは、M2Kのモチスス（望月享）の抜群のセンスと正確なタイミングだけでも明らかだ。名勝負製造屋として、NWAウェルター級王者がしっかりとサマになっていた。その王座を奪ったのがサイクリング姿の斎藤了。昨年からの「藤井さん、僕の自転車を返して下さい！」マイクで、日本版のWWFが十分に成立することを証明してしまった。リングネームのビッグフジでなく、本名で呼びかけてしまう直球式の天然キャラだからおかしいのだ。この二人は今年のMVP候補だろう。つまり、もう旗揚げ時のトップたちに肉薄する、次の世代が育っているわけだ。

これだけ層が厚ければライブは面白くなるハズである。その盗まれた自転車を巡る愛憎劇はまだまだ続いていて、11月8日では、6月10日の後楽園ホールで観客に受けまくった、斉藤了と藤井さんことビッグフジとの「自転車兄弟」組が復活。仲良く二人乗りの自転車がリングの上でも一周した。一方、出世競争でもくすぶっていたサーファー野郎の堀口元気は、ついに正規軍を裏切ってM2Kに電撃加入。この日は親分モッチーと組んで、その自転車兄弟とメインで激突した。立派にトリが務まったのである！

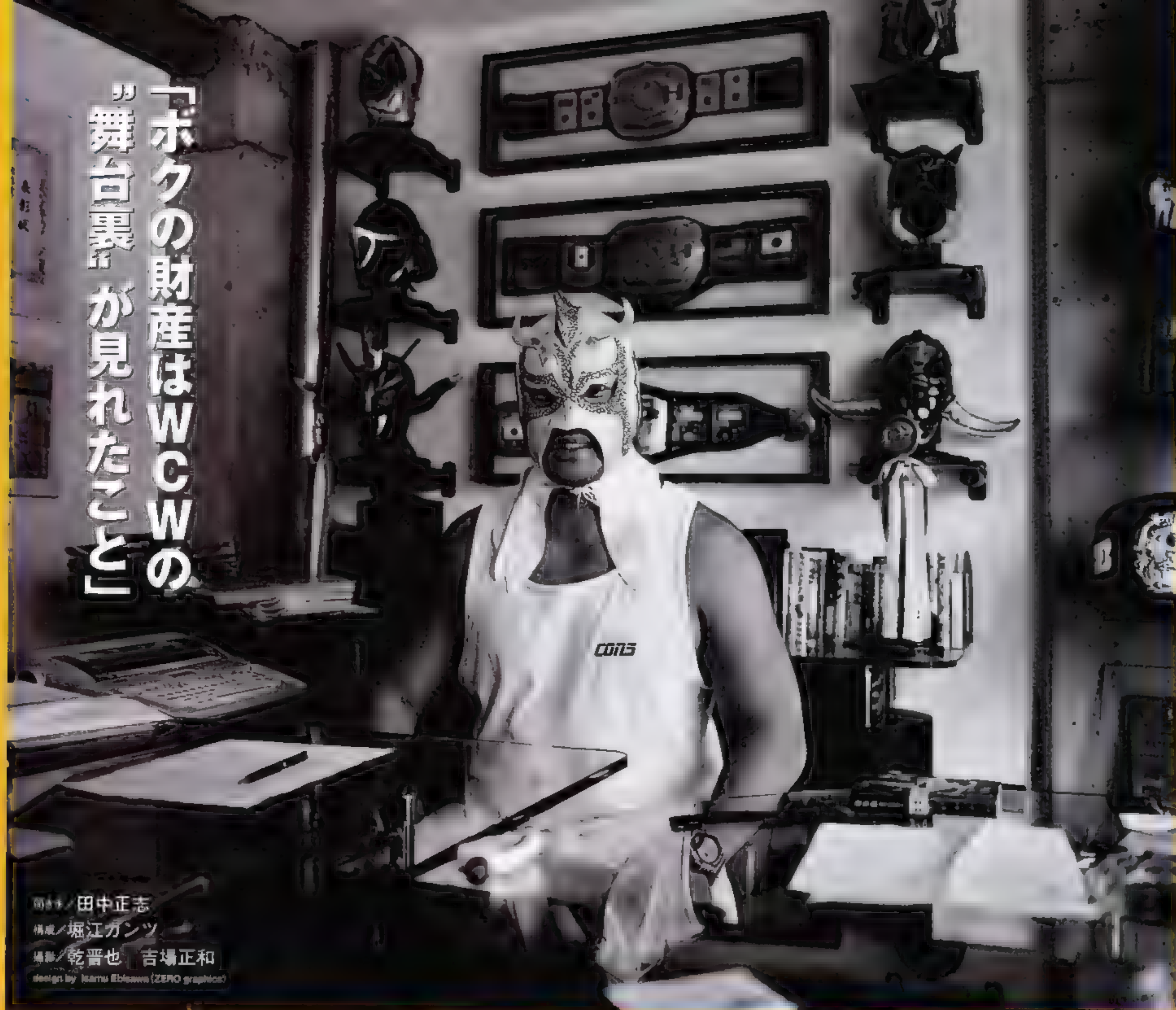
斎藤了がピンチになるたびに沸き起こる「RYO」コールは、お客さんの感情を揺さぶる新しいスターが認められた瞬間でもあった。その了がモッチーを押さえ込んで、ハッピーエンドとなるハズだったが、お化け屋敷のドラマはそこでは終わらない。ウルティモ校長が医者から「現役復帰のGOサインが出なかった」哀しい実話を伝えたあと、モッチーに「選手だけでなく、プロデューサー業まで乗っ取ってやる」と宣告され、袋叩きにあってしまったのだ。モッチーの舞台裏での権限を推測させて、スマート層が喜ぶ図式となる。そう、これで興行は次回に繋がったわけだ。校長はビンス・マクマホンをやってしまったのである。

今、最もプロレスの面白さを幅広い客層にわかりやすく伝えられる闘龍門。次の大会が待ちきれなくなったら、貴方もドラゴンの魔法の虜になったのだ。

追記：闘龍門のわかりやすさと、面白さを記事で再現してみるなら、この日の大会前までに張られていた伏せんと、終幕でばらまかれた今後への期待がいかに一体化しているかを紹介すればよい。ケガで戦線離脱していたCIMAの早期復帰は成功だったのか？　予定では第一試合に名前が載っていた、ハゲだといじめられていた堀口元気の運命は？　そして復帰を公約していた浅井校長の、しびれたままで動かないヒジはどうなってしまうのだろうか？

12月10日、駒沢オリンピック公園屋内球技場でCIMAとモッチーの大将戦が実現。校長が「ただし条件がある。カベジュラ・コントラ・カベジュラのランバージャックデスマッチだ！」とスペイン語と英語の入り交じった専門用語を発表すると、すかさず望月が「ランバージャックって何すか？」とボケる。笑いを取ると同時に、プロレスに詳しくないお客さんに試合形式を噛んで含めて教えてあげるわけだ。こんな親切心は週刊専門誌と東スポしか読まない関係者の頭からは出てこないもの。しかし、プロレスを大衆化させるためには絶対必要なものである。

そう、あとは貴方がご自分の目でライブの刺激を体感してもらうだけなのだ。

「ボクの財産はWCWの"舞台裏"が見れたこと」

聞き手／田中正志
構成／堀江ガンツ
撮影／乾晋也、吉場正和
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

闘龍門の校長は日本の"ビンス・マクマホン"だった!?

ウルティモ・ドラゴン（前編）

ULTIMO DRAGON GYM
JAPAN

闘龍門で誰もできなかった日本式アメプロを実現させ、いままたT2Pで理想のプロレスを作り上げようとするウルティモ・ドラゴン校長。一体闘龍門と他団体はどこが決定的に違うのか？　U・ドラゴンと親交の深い田中正志氏が、2号に渡りその秘密にせまります。

――「食わず嫌い」って言葉がありますけど、まだ闘龍門を見たことがないばかりに偏見を持ってる読者も少なくないと思うんです。ですから、まず闘龍門の簡単な紹介を校長の口から語ってもらえませんか？

校長　設立したのは97年5月からですね。選手養成のためのプロレス学校がコンセプトですよ。ただメキシコが本拠地という特徴はありますけどね。それが幸運にも、自然と団体という形に発展していっただけなんです。

「虎の穴」が現代に実在したってことですね。アメリカでも学校は流行ってるし、日本もジム制度でやってる団体は多いけど、教え方が違うから入門者が絶えませんよね。だけどそのメキシコのルチャリブレのイメージもあって、未だにプロレスファンの間でも「なんか体の小さい奴等がやってる団体」とかそんなことを言う向きも……。

校長　（質問をさえぎるように）桜庭選手だってヒクソンだって、そんなに大きくないんじゃないですか？　ウチは一般客というか、まぁ若者全般を対象にして、わかりやすいプロレスで楽しんでいただくコンセプトなんですよ。だから選手たちにも「クラブに行け」とか、若者が興味を持ってるカルチャー全般に興味を持つように教えているしね。他のプロレス団体を見たからって、何がトレンディーなのかはわからないですから。

――では、まず闘龍門2000（通称T2P）の話題からいきましょうか。この取材は8日、の収録なんで、まだ肝心の興行は見させてもらってませんけど、GAORAで放送している「みちのくルチャTV」で、選手の一部が先行して紹介された回から判断するなら、正直、それほどインパクトは残せてない気がします。

校長　でも、最初にJAPANの一期生らが逆上陸したときのことを思い出してもらえれば、実力的には変わらないですよ。優秀な人材、ダイヤモンドの原石が揃ってます（キッパリ）。ただ、プロレスはキャリアのあるほうがウマいんだから、当然に単純比較すればJAPANのほうがよく見えるでしょうね。それに、これはどのプロレス団体にも当てはまりますけど、与えられたポジションの宿命ってあるんですよ。なんでJAPANが成功したかというと、今トップ取ってる連中は、最初からトップだったんです。だからウマくいった。しかしT2Pは後輩ということで、同じJAPANに入って、徐々に上がっていくのは大変なんですよ。

——確かに同じ団体だと、なかなか「後輩」のイメージは拭えませんよね。

校長　だけど、今の闘龍門JAPANの試合をみて、これ以上の試合ができますか？　もうピークですよね。じゃあ世の中、逆の価値観で地味にいくのがT2Pだと。それにいまはいいですけど、いずれJAPANだってどうしてもマンネリになる、人気が落ちる前に先手を打つんですよ。落ちてからでは遅いんです。

——もうそこまで見越してるわけですか！

校長　はい、レスラーは昨日、今日では育たないですから。それにウチは団体である前に学校じゃないですか。卒業したなら発表会の場を用意してあげないと。だから僕は、T2Pは採算を度外視して私財を投入してるんです。自分に対する投資と宣伝ですから。これを実現させることでウルティモ・ドラゴンという人間の価値を高めたい。理想の興行を自分の手で実現したいんです。それで結果論として、たまたまマスコミとかに評価されなくてもイイんです。そりゃお金だけで言えば、自分なんかはWCWで選手している方が儲かったんです。だけど学校を始めた責任がありますからね。

——さきほど「T2Pは地味に行く」とおっしゃってましたけど、そのために学校でのカリキュラムも1期生達とは変えたんですか？

校長　ええ、「ルチャ・クラシカ」がテーマで飛ばない、関節技中心ですから。でも地味だから面白くないのか？と言われたらそんなことはない。最初は「つまんない」と言われるかもしれないけど、UWFだって、そう言われてたんですよ。でも「これが本物なんだ」と言ったら、みんな黙ってたでしょ？　まずは70点貰えればいいんです。そこからの出発ですから。将来的なプランはいろいろな組み合わせを考えてますけどね。ま、それは今後のお楽しみということで……。

——では闘龍門JAPANの人気分析に戻しましょう。ここでは『紙プロ』読者を喜ばせる、秘密を語って欲しいんですよ。

校長　秘密？　そんなものは無いですよ（アッサリ）。まぁ、あえて言うならウチはセクシー路線はやらない、とかね。だってせっかく女性のお客さんが多いのに、嫉妬を買うような女マネジャーを登場させてもしょうがないですから。

——でも旗揚げ当時はいましたよね？

校長　だからあれば僕の判断でやめさせました。マグナムTOKYOの入場時のダンスもプロのダンサーが二名一緒に踊りますよね？　あれだって、最初のビジネスパートナーは強固に女性を主張したんですよ。だけど自分は、「いや、これは男三人が踊るから面白いんだ」、と。それが成功してるでしょ？（ニッコリ）

ドラゴン校長が約2年掛けて旗揚げにこぎ着けた"理想の団体"T2P。六角形リング、そしてルチャリブレ・クラシカは初心者からマニアまで驚かせた。

——あと、闘龍門では凄惨な流血試合とかも避けてますよね？

校長　ありませんね。アクシデントはしょうがないですよ。藤田（和之）選手がミルコ（クロコップ）のヒザを受けて、顔面がパックリ割れてしまったこともあるように、プロレスでも格闘技でも、コンタクト・スポーツは事故がつきものですから。ただね、団体として意図的にはやらないということ。じゃあ、そのためには凶器を使わなきゃいいんですよ。それだけのことでね。ウチのポリシーは「小道具は使わない」ですから。

——一般の方とプロレスの話題になって、一番辛いのが「プロレスは血がでるから嫌い！」と言われちゃうことなんですよ。だから闘龍門は、そのポリシーを守って欲しいですね。

あと浅井さんといえば、北米での大活躍を抜きにして語ることはできません。90年代としては、ショーン・マイケルズと並んで、やる側の選手たちにもっとも影響を与えた存在として神格化されている。実際、校長に影響されてプロになった方は世界中で発見できますからね。そのWCW時代、あるいはアメリカで学んだ一番大きなことはなんだったんでしょうか？

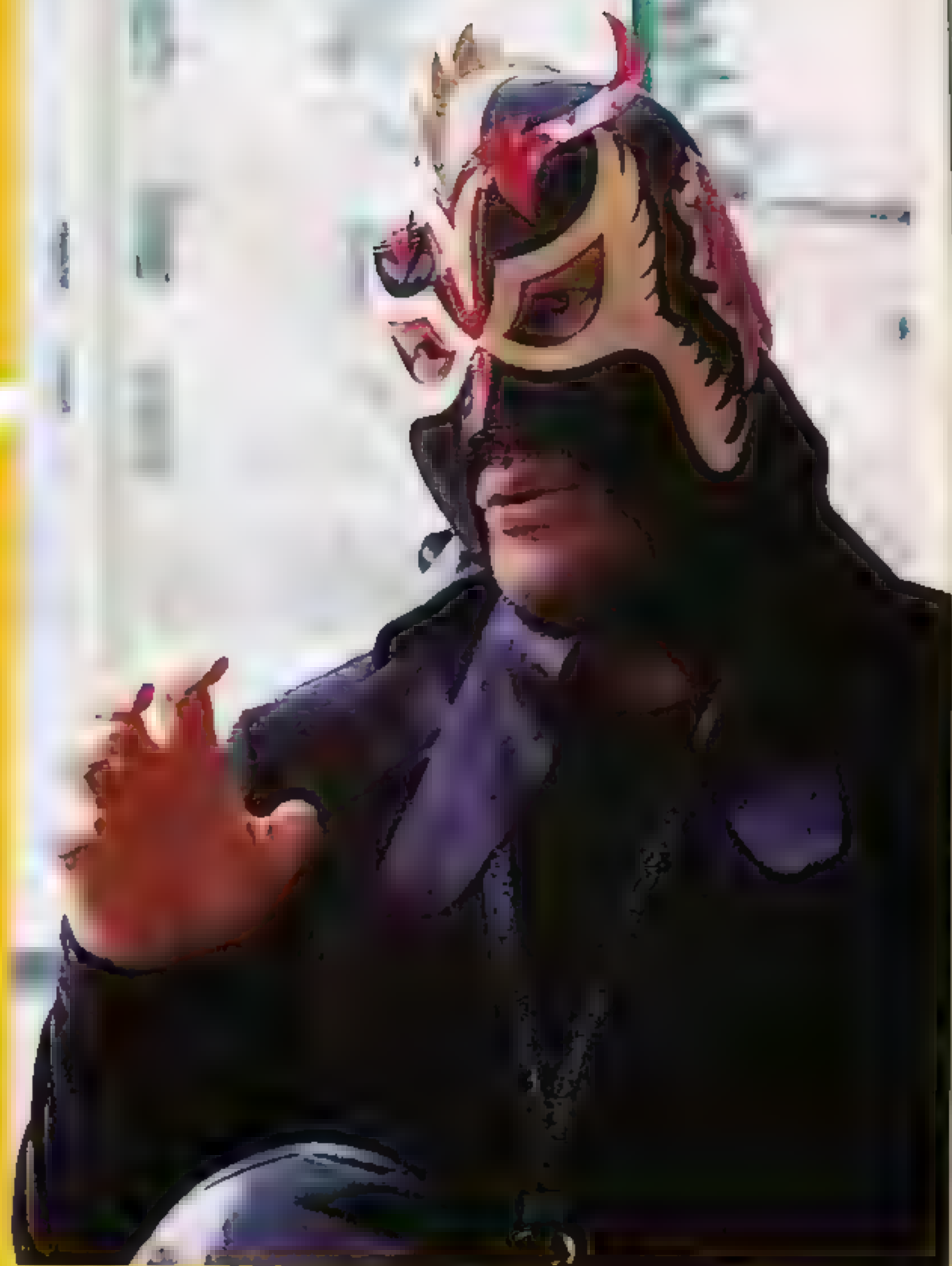
校長　日本とアメリカの比較を一言で説明するなら、「舞台裏の違い」ってことに集約されるんです。やはりスタッフの数とか、それぞれの役割など、もう規模が余りにも違いますからね。ほら、日本の場合は「個人商店の発想」ってことが言われるじゃないですか。ところがTBS（テッド・ターナー会長）という大資本をバックにしたWCWというのは、TV局が団体を運営する、日本とは根本的に違うものでしたから。

——資金面から来るスケールの違いはどうしようもないですよね。

ドラゴン　あと、わかりやすく言えば、日本のプロレスは格闘技だけど、アメプロはショービジネスなんです。だから日本でもエンタテインメントと割り切ってやればいいかっていうと、ちょっと違うと思う。アメプロをそのままやるには莫大な資金が必要なんですよ。だからFMWさんも苦戦してますよね。今の力では無理なんです。

——闘龍門というのは、「日本版のアメプロなんや」と、自分なんかはそう紹介して回ってるんですけど……。

校長　う～ん。ちょっと違うんだよね。どうすれば安い経費で、面白い中身を提供できるかっていう知恵比べだし。全くのマネは駄目ですよ。日本人、アメリカ人、メキシコ人、みんな笑うポイントが違うじゃないですか。WWFの放送が日本でも地上波で始まったそうだけど、抗争の面白さを全部は理解されてないと思います。不倫がどうしたとか、万国共通でわかる部分もありますけど、文化に根ざしていて、対立する意味が細部で不明なのも少なくな

理想の興行実現のためにT2Pは採算度外視。私財を投入しています

WWFをそのままやってもダメ やはりアレンジは必要なんです

い。同時通訳だって一そのままの直訳じゃ駄目でしょ？ だから僕なんかはWWF、WCWを見て、「日本に置き換えるとこういうことなんだな」と考えていた。やっぱりアレンジは必要なんですよ。

――なるほどね。

校長 自分のWCWでの経験は、舞台裏の意向をよく聞いて、最終的に物語が帰結する方向性を意識して各試合を組み立ててましたから。次のPPVまで三～四週間あるわけですから、ただその日に言い渡された対戦相手と試合してたんじゃ駄目なんです。だから2年半のWCWでの勉強の成果というのは、スポ根路線の日本と、エンタテインメント・ビジネスの違いを見極める闘いだったんです。

――エンターテイメントということで言うと、その宣言をしたことで、アメ

プロの場合は本物の国際企業が、順番待ちでプロレス番組のスポンサーをしてましたね。その効果でどんどん番組も増えて黄金時代がきました。ところが日本の場合は一流企業に相手にされてない。そりゃそうですよ。「真剣勝負でございます」と言っても重役連中はますます信用してくれません。ちゃんとエンタテインメント宣言して、きちっとビジネス・プランを説明できないなら、資金なんて集まるハズがないんです。そこが日本の最大の問題点じゃないかと僕は思うんですけど。

校長 う～ん、その前にエンタテインメントとは何か？ ということですよね。それじゃインチキなのか、と。そうじゃないんです。例えば格闘技は「攻めるだけ」なんです。でもプロレスは「受けるのが仕事」なんです。そんなことをある総合の選手と話してたら彼はこう言うんですよ。「受けるってのは怖くて出来ない」と。「アンタらのやってることは凄い、攻める方が簡単だ」って言ってくれたんです。

――それはいい話ですねぇ！

校長 だからFMWさんやDDTさんのエンタテインメント宣言ってのはあいまいなんですよ。日本とアメリカは違うんです。肉体の限界まで極限までやるっていうが日本ですから。そうじゃないとこもありますけど、紙一重なのは事実なんです。ただ、格闘技とプロレスがゴチャ混ぜという現在の状況、これは非常にマズいですよね。そこにレスラーが担ぎ出されて、それで負けてしまう。でも負けるのは当然なんです。それ用の練習や準備を十分にやった専門家には勝てないですよ。もっとも、あいまいな状況はしばらく続くでしょうね。

――そのあいまいがいかんと思うんですよ。

校長 田中さんの言うように、ショービジネスということを前提としてやるのがいいのか、それとも力道山時代から続いている「プロレスは格闘技だ！」がいいのかは僕にはわからないですよ。ただ現場を預かる身としては、日本の人ってのは武道の精神があるから、難しいんですよ。じゃあ「プロレスってのは真剣勝負なんですか？」と聞かれて、僕なんかは「それでは真剣勝負ってなんですか？」と聞きたいですね。ルールがあるなら真剣勝負とはいえませんよ、と。だったら『PRIDE』だって〝ケンカ〟じゃないんです。

――〝命を賭けた〟果し合い〟とは違いますからね。

校長 だから「ジャンルが違うもの」でいいじゃないですか？ 闘龍門は見て楽しんでもらえればそれでいい、と。うちは勝ち負けは関係ないですよ。プロレスに関しては。

――よくわかります。ただ、大人のファン向けメディアや、企業の重役の前でまで、「真剣勝負です」ってのは困るんです。逆に世間との距離を広げて、信用されないだけですから。そこにゴールデンの時間帯から深夜放送に追いやられている、マット界の元凶があるんです。

校長 だから僕もそれは言わないですよ。アメリカで仕事してて、一般メディア用には選手たちも本当のことをしゃべっていたのを見てますからね。ただね、よくわからない部分にプロレスの価値があることも事実なんです。政治、宗教、プロレスも一般人にはわけわからない部分がありますよね。はっきりいって、業界の中にいる人ですら、「ホントなのかなぁ？」「どこまでマジなんだろう」って。それがプロレスの価値だと思うんですよ。だから僕は「いや、わからないですね」と。

――う～ん、参ったなぁ……。

校長 だからすべてこうなんです、あぁなんですと言い切ってしまったら、そこで一般の人の興味がなくなってしまう。たとえば「ドレッシング・ルームでもめてる」と。……僕にだってわからないですよ。現場にいてもわからないんだから（笑）。プロレスってのは非常に奥が深いんです。WWFの舞台裏って凄いでしょ？ 政治力と陰謀と駆け引きが渦巻いていてね。だから「連続ドラマ」とまでは言わないですけど、まぁそれに近いもの。お客さんに楽しんでもらえればイイです。闘龍門はまだ、定義したくないんですよ。田中さんも長年のアメリカ生活から日本に戻ったばかりじゃないですか。自分も生活基盤はメキシコだし。それで僕ら海外組には、日本はいろいろ窮屈なんですよ。言いたいこともはっきり言えないし。ま、少しずつ変えていくしかないですよ。

当初、紙プロさんから闘龍門特集のお話があった時、私の方から校長との対談をお願いした。本人の口からエンタテインメント宣言をさせますから」「日本の論点も豊富にあります」と企画案を説明したのだが、実際の会見ではあっさり、それはできません、と却下されてしまう。もっとも、そこに至る思考回路のプロセスが明らかになって、面白い内容になったのではなかろうか？ いよいよ、次号にはJ-Cupトーナメントの反省など、中身の濃い衝撃の告白が続く……

ウルティモ・ドラゴン

本名・浅井嘉浩（あさいよしひろ）。1966年愛知県生まれ。メキシコ在住。88年に史上最年少のUWA世界ウェルター級王者となる。91年にEMLLに移籍、ウルティモ・ドラゴンとなった。94年にはNWA世界ミドル級王者。96年から米国WCWで大活躍。世界のスーパースターとなる。

闘龍門が本格的に興行を始めたのは、99年1月31日の後楽園ホール大会から。奇しくもジャイアント馬場さんが亡くなった日でもある。

田中正志（たなか・ただし）

1959年大阪府生まれ。「プロレス・格闘技、縦横無尽」（集英社95年）と「開戦！プロレス・シュート宣言」（読売新聞社97年）の二冊で、活字プロレスに対抗するシュート活字を提唱。インターネット上ではカリスマとなる。朝日新聞夕刊の「月刊・格闘技」に登場、日本の団体もカミングアウトすべきだと提言して物議をかもしだし、アントニオ猪木までを怒らせる。

アメリカ在住合計17年を経て、東京の住人となったばかり。浅井校長とはWCW時代から親交が深い。ロックバンド〝シャイニング・ウィザード〟は12月1日大久保水族館でライブ。（※このプロフィールは田中氏自身によるものです）

TORYUMON
2000
遂にベールを脱いだT2Pのエース
MILA
COLLECT
PARADISE
A.T.
A.T.
「最も新しいクラシック」
Libre
11月13日、後楽園ホールにて、遂にその全貌を現したT2P。初公開の六角形リングで繰り広げられたルチャリブレ・クラシカ。その古くて新しいルチャリブレをもっとも体現したのがミラノコレクションATだ！ "56のジャベを持つ男"の鮮烈なる衝撃に酔え！
聞き手／堀江ガンツ
撮影／吉場正和

プロレスファンに言いたい。「君たちなんて格好をしてるんだ？」と（笑）

――ミラノ・コレクションATという選手はどんな選手なんですか？

ミラノ ボクは雑誌でモデルをやってたんですけど。そこから出てきた選手って感じですね。こういう格好をしていることでもわかるとおり、自意識が強いですから。あらゆる面で「自分の方が上なんだ」というのをアピールしたいんで、対戦相手もファンも見下していきたいっていうか（笑）。

――ファンまで見下しますか！（笑）。

ミラノ そうですね。だからまずボクがプロレスファンに言いたいことは、「君たちなんて格好をしてるんだ？」と（笑）。

――ガハハハ！ そこを突きますか！（笑）。

ミラノ まあ、闘龍門はセンスのいいお客さんが増えているとは思いますけど、ボクから言わせるとまだ甘いですね（笑）。

――闘龍門でダメなら、他の団体だったら大変なことになってますよ！（笑）。スタイル的にはどんな選手なんですか？

ミラノ メキシコでは、日本のファンが見たこともない奥深いメキシコの関節技を勉強してきましたんで。大技はあまり連発しないで、そういうグラウンドのムーブを出しながら、〝ジャベ〟で極めたいですね。

――ジャベ？ ……ってなんですか？

ミラノ スペイン語で「鍵」っていう意味なんですけど、メキシコでは関節技や固め技を総称して〝ジャベ〟と呼ぶんですよ。僕はメキシコで56のジャベを身につけたんで、それをひとつひとつ見せていきたいですね。

――56のジャベ！ キン肉マンみたいでいいですね（笑）。ここまで聞いていると「ルチャリブレ・クラシカ」っていうのは、「メキシコの無我」みたいな感じがするんですけど。

ミラノ そうかもしれないですね。でも僕はまったく空中戦をやらないわけじゃなくて、関節技の攻防の末に出す飛び技のインパクトっていうのは凄いと思うんですよ。だから関節技があり勝負どころで飛ぶ、本来のルチャリブレ。中でも今まで陽の目をみなかったルチャの技で勝負したいですね。

――では、この辺りでミラノ選手がプロレスラーになる前からの「ミラノ・ヒストリー」的なものをうかがっていきたいと思います。まずプロフィールを見ると、生まれは「I県M市」とのことですけど（笑）。

ミラノ Iはイタリアか岩手、Mはミラノもしくは盛岡だと思います（笑）。

――もしかしたら東北出身かもしれない（笑）。もともとプロレスファンだったんですか？

ミラノ イタリアにいたときはファッションが好きで、モンテナトレオネ通りっていう高級な店がたくさんある場所ばかり遊びに行っていたので、プロレスはあまりわからなかったんですけど。日本に帰ってきてからプロレスが好きになりましたね。

――岩手に来てから（笑）。

ミラノ そうですね（笑）。でもやっぱり僕はモデルですから見た目から入っちゃって、ハヤブサ選手に憧れましたね。だからハヤブサ選手みたいな長身で華麗に飛べて、雰囲気とか、オーラでパッと見てわかるレスラーになるのが目標です。

――いつからプロレスラーを目指していたんですか？

ミラノ ホントは高校卒業したらすぐプロレスラーになりたかったんですけど、「受験から逃げてるだけだろ」っ

メキシコは最悪でしたね、1ヶ月で13キロ落ちましたから

ていう親の大反対にあったんですよ。だから逃げてるわけじゃないところを見せようと思って、毎日10時間以上勉強して国立の大学に合格したんです。

――プロレスラーになるために猛勉強って新しいタイプですね（笑）。

ミラノ　ところが、そうしたら親が「せっかく受かったんだから行け！」って。

――逆効果になったんですね（笑）。

ミラノ　ボクも大学で体を作るのもいいかなって思って大学に行ったんですけど。しばらく行ってるうちに疑問がわいてきて。それで1年で中退して上京したんです。

国立大を中退ですか!?　ご両親はかなり怒ったんじゃないですか？

ミラノ　勘当ですよ。だから上京する際の資金援助なんて一切ありませんでしたからね。自分で不動産屋回って部屋を借りて。でもボクの第一印象が良かったのか、家賃を2万5000円から2万3000円にまけてもらえたんですけど（笑）。

――どんなアパートだったんですか？

ミラノ　斜めのアパートでした。

――斜め!?

ミラノ　炊飯器で米を焚くじゃないですか。そうすると水が斜めになるんです。傾斜がある部屋ですね（笑）。そこに家具は炊飯器とテーブルだけ置いて。そういう生活を1年ぐらいしてました。

――ミラノコレクションらしからぬ絵に描いたような下積みぶりですね（笑）。ジムはどこに行かれたんですか？

ミラノ　（アニマル）浜口さんのジムに行きました。ここなら間違いないだろう、と（笑）。

――その時期にジムにいた人でレスラーになった人とかっているんですか？

ミラノ　SUWAさんがいたんですよ。あとFMWの森田（友和）君や新日本プロレスの井上（亘）さん、juni.comさん。そしてどこにいるかわからないですけど、本間さん（笑）。

――けっこういるんですね。さすが浜口ジム（笑）。あとミラノ選手は小路晃さんがやっていたころのA3ジムにも行かれてたって聞いたんですけど？

ミラノ　闘龍門JAPANの道場ができる前に行ってました。A3に入る前は一時期プロレスラーになるのをあきらめて普通に働いていたんですよ。でも、テレビでマグナムTOKYOさんの姿を見かけて再び火がついて、それでもう一度ジムに行こうと思って何かわからないけど、A3ジムに（笑）。

――A3ジムのAの一つに「諦めない」ってのがありましたからね。プロレスラーを諦めないという意味かと（笑）。

ミラノ　「飽きない、諦めない、明るく」ですね（笑）。小路さんのジムで体験入学みたのがあって、それが楽しかったんでここにしようって決めたんです。あと、やっぱりプロレスをやるなら、格闘技を身につけないといけないと思ったんですよ。僕は格闘技経験がありませんでしたから、最低限グラウンドを覚えようと。

――A3でプロレスラーの下地を作っていたんですね。

ミラノ　でも2ヶ月ぐらいしかいなかったんですよ。入ってすぐに雑誌で「闘龍門JAPAN道場オープン」って載ってて、「ああ、オレを呼んでいる」って思いまして（笑）。

――タイミングが良かったんですね。でもミラノ選手は闘龍門に入ってもすぐメキシコに行ったわけではなくて、まず日本で練習していたんですよね？

ミラノ　そうですね。日本でふるいに

かけて、選ばれた者だけがメキシコに行けるっていうシステムなんです。ボクだけ同期より2ヶ月遅れてでしたけど（笑）。
――それは何か事情があったんですか。
ミラノ　大阪で秘密特訓をしてたんです。
――秘密特訓！
ミラノ　プロレスとは全く別の特訓だったんですけど。その競技の道で世界4位の方にいろいろ教えてもらったんですよ。何の競技かはまだ言えないんですけど、ボクの試合を見ればわかると思いますよ。空中姿勢とかが違いますから。見てのお楽しみですね。
――では、いよいよメキシコの話なんですけど。
ミラノ　はい。メキシコに住んでる方やメキシコが好きな方には大変申し訳ないんですけど……最悪でしたね。
――最悪（笑）。
ミラノ　あんなところ、もう行きたくないですよ。少なくともボクには合わないですね。ボクはメキシコに着いてすぐ風邪、下痢、頭痛、結膜炎が一度に襲ってきましたからね（苦笑）。歯を磨いただけでお腹は壊すし、目を洗っただけで結膜炎になるんです。
――凄まじい破壊力ですね（笑）。
ミラノ　一度に全部重なってきて病院にかつぎ込まれて、1ヶ月で13キロも体重が落ちたんですよ。
――1ヶ月で13キロ！　せっかく体を作ってきたのに（笑）。
ミラノ　悲しくなりましたよね（笑）。でも、最近は慣れてきたらしくお腹壊さなくなったんですよ。
――腹の中になにかが住みついて（笑）。
ミラノ　得体の知れないものが育ってますよ（笑）。
――じゃあ、歯磨きなんかもミネラルウォーターでしているんですか？
ミラノ　いや、もう水道水でも大丈夫です。微量でも飲まないテクニックを身につけたんで（笑）。
――ワハハハ！　ジャベだけでなく、そういうテクニックも磨いてたんですね（笑）。
ミラノ　まあ、だから修行する場所としてもこういう経験するのもいいかなって。ハングリーさとかも身につくじゃないですか。
――そういう環境では、やっぱりメキシコまで行っても挫折しちゃう人とかいるわけですよね？
ミラノ　自分の同期でもいましたね。合宿所は2階がリビングになっていて、1階がリングが置いてあったり、ウエイトトレーニングなどの練習する場所だったんですけど、同期が「練習いってきます！」ってウエイトのベルトをしめて1階に行ったままいなくなっちゃったことがありました。
――いかにも練習するような格好で（笑）。
ミラノ　はい。自分の荷物とか全部置いて。
――夜逃げならぬ、昼逃げ（笑）。
ミラノ　いや、夕方でしたから、夕逃げです（笑）。
――でも全ての荷物を置いていくわけですから、よっぽど追いつめられていたんですね。
ミラノ　そうですね。その荷物は使えるものがあったんで使ってましたけど（笑）。
――弱肉強食だなぁ（笑）。そこで生き残った選手だけがデビューできるんですね。合宿所での食事面はどうだったんですか？
ミラノ　練習生がチャンコを作るんですけど、まずかったですねえ。材料が何か違うんですよ。調理料にしても醤油とかはあるんですけど、微妙に味が違うんですよね（笑）。
――醤油みたいなもの、っていう（笑）。
ミラノ　そうそう（笑）。それで日本料理屋もあるんですけど。カップラーメンのどん兵衛とかがこっちの値段で600円。
――600円！　高ッ！　メキシコは物価が安いんじゃないんですか？
ミラノ　日本食だけ高いんですよ（笑）。タコスとか100円ぐらいで5、6枚食べられたりするのに納豆だって3パックで600円もしましたから。もうバカらしくて。でも、どうしても食べたくなるから買ってしまって。お店の作戦に負けてますよね。わかっていながら買っちゃうんですよ（笑）。
――食事面でそういった状況なら、お腹壊さなくてもかなり痩せたんじゃないですか？
ミラノ　必要なものまで全部そぎ落ちちゃいましたよ（笑）。あっちでは体は作れないですね。校長（ウルティモ・ドラゴン）はメキシコで食えたらしいですけどね。
――さすがですね。校長はメキシコの女性とも結婚していますし。
ミラノ　でも、校長からは「国際結婚はするな！」っていつも言われてました（笑）。
――それはなぜなんですかね（笑）。
ミラノ　う～ん（笑）。
――ミラノ選手はかなりもてそうですけど、メキシコ人女性となにかあったりしなかったんですか？（笑）。
ミラノ　いやぁ（笑）。
――もしあれだったら、カットするんですけど（笑）。
ミラノ　いや、ホントにないですよ（笑）。
――TARUさんなんかはスペイン語を覚えるためにそれが一番だろうってことで（笑）。
ミラノ　そういった意味では、ボクは日本語がうまくなりましたね（笑）。
――は？
ミラノ　意味わかんないですか？　向こうにもいるんですよ。（周りを見渡して）やっぱり日本人の女の子は綺麗ですね（笑）。
――ミラノ選手的にはメキシカンはあまりお好みじゃないと（笑）。
ミラノ　みんな太ちゃってるんですよね。まん丸しちゃっていて、清潔感がないんですよ。
――でも、メキシコでも女性ファンに人気があったんじゃないですか？
ミラノ　そんなことないです。ビールや砂をかけられたりしてましたから。
――それはまた酷い仕打ちですね（笑）。
ミラノ　ルードだったこともあるんですけど、メキシコはみんなロングタイツじゃないですか。ショートタイツはオカマだと思われるんですよ（笑）。[illegible]入場すると、まず最初に笑われるんです。
――日本とは全然反応が違うんですね。向こうでのデビューはいつごろだったんですか？
ミラノ　昨年の5月13日に行われた自主興行で本名でデビューしまして、その後はミラノコレクションATですね。
――ミラノコレクションATというキャラクターはやはり校長が考えたんですか？
ミラノ　そうですね。「お前、肩幅広いな。足も長いな。じゃ、モデル」みたいな感じで（笑）。
――ガハハハ！　簡単ですね（笑）。
ミラノ　実際、[illegible]タ時代にモデ

MILANO COLLECTION A.T.

ミラノコレクションA.T（本名 アキヒト・テルイ）、1976年8月27日、I県M市出身。181cm、81kg。2000年5月13日、アレナ・ナウカルパン [illegible] 戦でデビュー。アルマーニをこよなく愛し、入場はキャットウォーク。[illegible] T2Pのエース。得意技はパラダイス・ロックとATロック。どんな技かは各自調査

六角形のリングによって、技のバリエーションは何倍も増えます

ルも少しやってたんですけどね。でも、最初はもっととんでもないリングネームになるところだったんですよ。

――どんな名前ですか？

ミラノ　チ○ポリオ・シャブリーノとかチ○ポリオ・フェラチーノとか(笑)。

――ガハハハ！　いちおうイタリア風で(笑)。

ミラノ　相手に「なめられちゃいけない」という意味が込められてるそうです(笑)。

――ガハハハ！　気を取り直して次に行きます。向こうでの練習は、最初からルチャリブレ・クラシカの練習を仕込まれたんですか？

ミラノ　初めは基礎の受け身とか教わって、それからは関節技ばっかりですね。だからスタイルは今の闘龍門JAPANの人たちは全然違うと思いますよ。

――ホルヘ・リベラという専属のコーチがついていたんですよね。どんな方なんですか？

ミラノ　まあ、ルチャもやるけど、バレ・トド、何でもありでも強い方なんですよ。本当にいろんな関節技を知ってて、普通日本の関節技だと腕極めたらおしまいじゃないですか。でも彼の技は腕と足と首が全部極まってたりとか。やられてる方はどんな態勢になっているかわからないんですけど、見ていて芸術的なんですよ。

――それは早く見たいですねえ！

ミラノ　派手な動きではないですけどね。だから普通のお客さんだったら「どこか違うな」ぐらいにしか感じないと思いますけど、目を凝らしてみれば腕の取り方から全然違うんで、じっくり見てほしいですね。ボクが見せる関節技は古いですけど、みんな見たことない技ばかりだから新しく見えると思います。

――T2Pの旗揚げ戦では会場に来た人を驚かせる自信はありますか？

ミラノ　正直、それが受け入れられるかどうかわからないんですけど。じっくり見ればわかると思いますので。そこからルチャリブレ・クラシカの世界に入っていただければしてやったりですね。

――事前には発表されてないですけど、リングが六角形なんですよね！　やっぱり普通のリングとはやっていて違うもんなんですか？

ミラノ　全然違いますね。今までの四角形のリングより走れる方向が二つ増えるわけじゃないですか。コーナーも増えるわけですし。コーナーやロープを使った動きのバリエーションは何倍にも広がりますから、斬新で面白いと思いますよ。

――それはメチャクチャ楽しみですよ！　それなら関節技中心でも地味ってことはなさそうですね。

ミラノ　でも自分からロープに飛ぶとかはあんまりしたくないですね。安易な動きとか言ったらあれですけど、そういう部分をちょっと抑えて関節技でやっていきたいんですよ。関節技が基本で、それプラスアルファでそういう動きができて、広がりが出てくればいいですね。

――いまは道場でも六角形のリングで練習してるんですか？

ミラノ　馴染まないといけないんで、もう六角形でしかやってないです！　メキシコのAAAが六角形のリングなんですけど、最初にそこのビックマッチ出たときは戸惑ってしょうがなかったんです。だから今回、JAPANの選手も出場するじゃないですか。かなり戸惑うと思いますよ(笑)。その隙にジャベで固めてやりますから。

――ところでミラノ選手はT2Pのエースってことで、どうしてもJAPANの選手たちと比べられるとは思うんですけど、プレッシャーはありますか？

ミラノ　ありますけど自信もありますから。ただJAPANが初上陸したときと比べてもらうのはいいんですけど。いまのJAPANの人たちは凄いですからね。ボクはあんまり人のこと褒めないんですけど、ホント凄いですから！　でも全く別物で勝負するわけですから、違った目で期待してほしいですね。ボクはJAPANの人ができないことをやりますから。

――いやぁ、久しぶりに、想像力をかき立てられますね。ちなみに今回の日本初上陸シリーズのあとの予定はどうなってるんですか？

ミラノ　とりあえずメキシコで自主興行があるので帰ります。また日本に戻って来ますけど、次がいつになるかは決まってないです。

――では、今回T2Pを見逃した人は、次にいつルチャリブレ・クラシカが見れる機会が来るかわからないわけですね。きっとこのインタビューを読んで行かなかったことに後悔してる人は多いと思いますよ(笑)。

ミラノ　それは今回来なかった人が悪いです(笑)。何で来なかったのって。きっと来なかった人は、プロレスだけじゃなく、ファッションの流行にも取り残されてるんじゃないですか？(笑)。

――ハハハハ、ミラノコレクションATらしい、ファンを見下した発言が出たところでお開きにしましょう(笑)。今日はありがとうございました！

ミラノ　グラッチェ！

【01年11月8日／都内「ジョナサン」にて収録】

これぞ闘龍門! 日本初の同キャラ"おっきいのと小っちゃいの"が高らかに吠える!

俺らがT2P面白くしたる!

先の10・28闘龍門、ディファ大会でT2P勢が紹介された時、一番人気だったのが、このTARUシートである。まんま技もコスチュームもまんまTARUのちっちゃい版というTARUシートは、果たしておっきい方のTARUとはどんな関係なのか?

聞き手/堀江ガンツ
撮影/吉場正和
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

TARU

──TARUシート選手は、普段からTARU選手のような黒ずくめの格好なのかと思ってましたけど……普通の方ですね(笑)。

シート まったく普通で来ちゃいましたね~。

TARU 普通というか、撮影やからちゃんとしてくる思うたけど、その辺の子みたいやないかい! ビックリするわ!

シート 朝、焦って飛び出してきたもんで……もうしわけないです(笑)。

TARU ボクの頭ん中では、もう同じカッコさしてね、髪型もね、一緒のパーマ屋で同じようにしてきたんですけど……(ギロリとシートをにらむ)。まぁ、メキシコから帰ってきたばっかやからしゃーないな。まだわかってない、取材の仕組みが(笑)。

シート すいません!

──ところで、TARU&TARUシート。お二人の関係っていったいどんな関係なんですか?

シート えっとですねぇ……。

TARU まったくの他人です(アッサリ)。

シート 自分この前、TARUさんの隠し子だって聞いたんですけど?

TARU まぁ、ボクが20数年前にある女性と関係を持って、その子供が「プロレスラーになりたい」と言って、メキシコに渡ったんが、TARUシートやという噂をチラホラ……まぁ、そんなことはないんですけどね(笑)。まったく関係なく、ウルティモ・ドラゴン校長が、「顔がTARUに似とる」とか言って、勝手にTARUシートにしたんですよ。ボクは似てないと思うんですけどね。

シート でも校長の中では似てるんでしょうね。

──校長の中では見た瞬間に「あ、TARUシート」って感じなんですかね(笑)。

TARU 校長いっつもそうなんです。チョコフレーク(KI-CHI-)っていますよね? あの選手も見た瞬間に「お、チョコちゃん!」っていきなり呼んでるですよ(笑)。本人なんでチョコなのかまったくわかってない(笑)。ただ、色が黒いからなんですけどね。そういうパッとしたひらめきで全部校長が決めるんです。

──闘龍門の選手はみんな校長のひらめきリングネームですか(笑)。

TARU　マグナムもそうですよ。マグナムなんかもパッと見で、ナンパ野郎のAV男優みたいに見えただけですから。ホント冗談みたいな話ですけど、それが本気になっていくという。だからボクも最初、校長から「TARUさんの小さい版作ったから」ってアッサリ言われたとき、ウソやろう、どないなんって思ったら、ある日、「メキシコからです」ってこいつ（シート）から電話かかってきて、なんやと思ったら、「今日、TARUシートでデビューさせていただきました」「ええ〜〜!?」言うてね（笑）。

シート　一応電話させていただきました（笑）。

——事後承諾で（笑）。

TARU　ホンマ万事がこんな感じなんですよ（笑）。

——では、お二人が共にメキシコに渡る前のお話を聞かせていただきたいんですけど、TARUさんはそもそもなんで、コワモテ空手家がよりによってルチャリブレの本場メキシコに行かれたんですか？

TARU　……なんでやろ？（笑）。だいたいボクがプロレスラーになったところからおかしかったんですよ。街でケンカしとったら、一緒に空手やっとった岡村（隆志＝闘龍門JAPAN社長）に「お前、街でケンカしとって、相手ケガさしてお金払うんやったら、相手殴ってお金もらえよ」って言われたのがきっかけで、「じゃあ、そうするわ」って武輝道場という空手を中心した団体に入ったんですよ。

——元・北尾道場ですね（笑）。

TARU　そうです元横綱の。どこ行ったかわかんないですけど（笑）。この団体にいて、ボクは空手をすると思ったんですよ。そしたらプロレスのルールも何もわからないのに天龍源一郎さんと闘ったりね。「なんじゃこれ？」っていう（笑）。

——わけもわからず天龍戦ですか（笑）。

TARU　そんでプロレスラーと闘って、投げられるじゃないですか。ボクら空手やから投げられたことないのに、後ろ向きなんかに投げられたら、ホントもうシャレにならないですよ。これは腹立つから「プロレス技も覚えたれ」と思って、当時WAR所属選手だったウルティモ・ドラゴン校長が岡村と仲良かったんで、「一度プロレスっちゅうものを真剣に教えてください」って頼んだんですよ。そしたら、校長のことですから「いいよ！」って簡単にいっていただいたんはいいんですけど、「じゃ、メキシコ行きましょう。あした」「え!?　あした？」って（笑）。

——ガハハハ！　早いですね（笑）。

TARU　校長はメキシコと日本行き来してるじゃないですか。それで「行くからには覚悟してくださいね。できるまでは帰れませんよ」って言われて、わけも分からずメキシコに渡ったんですよ（笑）。でも向こうに行ったはいいんですけど、ハッキリ言ってプロレスの用語も知らなかったんですよ。「じゃ、ロックアップやって」って言われたとき、ロックアップって何の技やろ？　って（笑）。そっからですよまず。

——偏差値40からのプロレス入門って感じですね（笑）。

TARU　望月成晃はプロレスラーになりたくて空手やってたらしいんですけど、ボクはハッキリ言って、街でケンカ売りに行って負けたくないから空手やってただけですからね（笑）。だから全然、技とか知らなかったですね。

——では、他の闘龍門の練習生よりプロレスを知らないプロレスラーだったと（笑）。

TARU　闘龍門に入ってくる奴はプロレスラーになりたくても、身長が足りなくてなれない、落ちこぼれプロレスマニアがいっぱいいるじゃないですか。だからボクが闘龍門の中で一番知識がないのは自信ありますね（笑）。ボクか岡村ですね。

——社長も知らない（笑）。

TARU　岡村なんて武輝道場時代、いまのWWFのクリス・ジェリコ、当時のライオン・ハートにブレーンバスター教えてもらってましたから（笑）。それまでは「ブレーンバスターってなんじゃい！」って言うてましたからね（笑）。

——プロレスラーの発言とは思えないですね（笑）。

TARU　彼はプロレスをやってた期間、一回も背中をつかないレスラーでしたから（笑）。とにかく受け身をとらない、っていうか知らない！　そういう人間やったんですよ。でも、彼は外人レスラーの中で人気があったんですよ。

——どうしてですか？

TARU　彼は当時、関西のテレビ局のやらしい番組に、なんでか知らないんですけど、エッチな男の人をしごく罰ゲームのような空手の先生として出たことがあったんですよ。それをたまたまクリス・ジェリコがホテルのテレビで見てたらしくて、それから岡村のあだ名は「ポルノスター」になったんですよ（笑）。

——ガハハハ！　空手の先生なのにポルノスター（笑）。

TARU　で、ボクが闘龍門に入って校長にWCWに連れてってもらったときに、控え室いったらクリス・ジェリコとかビガロとかWARに出てた外人がいたんですけど、会うなりみんなが「オ〜、久しぶり。ポルノスターは元気か？」って言うんですよ（笑）。

——そうとう印象深かったんですね（笑）。

TARU　だから彼はいま闘龍門の社長やってますけど、やってなかったら外人からはポルノスターだと思われっ

ばなしだったと思うんですけどね（笑）。
——思いがけず岡村社長ヒストリーを聞かせていただきました（笑）。それでさっきTARUさんが言ってた身長が足りなくて、闘龍門に入った筆頭というと、TARUシート選手なわけですよね？
シート　そうですね、はい。
——TARUシート選手はプロレスファン歴が長いらしいですね。
シート　幼稚園のときからアニメのタイガーマスクを見まして、もう「これしかないな」と、そんとき思ったんですよ（笑）。
——幼稚園でプロレス入り決意！（笑）。それで中学卒業と同時にプロレス入りしようとしていたわけですか？
シート　いや、ホントは周り流されて高校は一応入学したんですけど、「なんか違うなぁ」と思って、もう一週間で辞めまして。
——一週間！　TARUさん以上に見切りが早いですね（笑）。
シート　でも、こんな身体ですし、プロレスラーになるのは「日本じゃ無理だ」ってわかってて、じゃあメキシコ行こうって。それでメキシコ行くにはお金が必要やとなりまして。運送屋さんの仕分け作業のバイトをして、お金がたまったころに、プロレス雑誌で「大阪プロレス設立につき新人募集」っていう記事をみつけたんですよ。しかも「年齢身長問わず」と書いてあるんです！
——これは千載一遇のチャンスだ、と（笑）。
シート　しかも名前が「大阪」プロレス。もう、大阪人の魂に火がつきまして、すぐに応募したんですけど、結果は落とされて。ここでホントにメキシコ行く決意して、闘龍門に入らしてもらったんですよ。
——それでお二人とも実際、メキシコに行かれてどうでしたか？
TARU　いやもう……ひどい！
——ひどい！（笑）。
TARU　もう、ビックリしましたね。海外って凄いいいもんやと思ってましたし、メキシコも凄いいいイメージあったんですけど、行ってみたらヤバイ！「なんだこの貧富の差は」っていうぐらいで、街は汚いし。もうTARUシートの出身地みたいですよ（笑）。
——そんな所だったんですか？（笑）。
シート　そんな所だったんですよね、自分の地元は（笑）。
TARU　地元メチャメチャガラ悪いですよ、大阪の西成ですから（笑）。メキシコはそこぐらいちょっとヤバイところですから。
——メキシコは西成ですか（笑）。
TARU　もう人がその辺に昼間からゴロゴロ裸で転がってますからね。線路の脇に勝手に家建てて住んでる人がいっぱいいますし。だからあそこは海外旅行で行くところじゃないですよ。修行にいくところですよ（しみじみ）。
シート　でも、メキシコはボクにとっては住み易かったですね。実家の近所と変わらないんで（笑）。
——なつかしいぐらいの（笑）。
シート　そうっすね。でも行く前から「お腹は壊す」って聞いてたんですけど、タコスのおいしいとこだって聞いてたんで、食べたくなって食べたら、もちろん噂どうりの結果になりました（笑）。
TARU　ボクも一回当たったんですよ。それも普通の当たりじゃないですからね、死ぬんちゃうか思うくらいの、かなりのヒットですよ（笑）。腹痛であんだけヒットしたのホント産まれて初めてですからね。「お腹がいたい」とか、そんな次元超えてますから、「痛い」じゃなくて「しびれる」とかね（笑）。
——しびれる！（笑）。
TARU　あと熱が下がらないとか、もう上からも下からも出るとか、もうホントにヤバイ状態ですよ。日本だったらね、ホント裁判もんですよ（笑）。それが向こうは平気ですからね、「ああ、当たった当たった」って注射一本で終わりですからね。
——メキシコ人は食べても大丈夫なんですか？
TARU　いや、年間に相当な数が死んでますよ。
——タコス食って死にますか！
TARU　やっぱり不衛生なんで。犬が怯えてる国ですから、人間も死にますよ（笑）。
——やっぱりそういう厳しい食生活や練習できる環境で、闘龍門の練習生はプロレスラーに改造されていくわけですか。
TARU　はい、ボク以外はみんなそうですね。ボクはず〜と遊んでましたから（笑）。
——メキシコに何しに行ってるんですか（笑）。
TARU　いやね、ボクはスペイン語が話せないから、なんとか覚えなアカンな思って、どうやったら覚えるかなって考えたんが、やっぱりおねぇちゃんと話すのが一番やと思ったんですよ（笑）。
——ベッド・スパニッシュが（笑）。
TARU　それでおねーちゃんを手当たり次第ちょっと仲良くしようとしてたんで、練習よりおねーちゃんとおる時間の方が長かったような気もするんですよね（笑）。でも、それを校長に見られて、「あんた何しに来たんだ」ってことになったんですけど（笑）。
——その成果はあったんですか？（笑）。
TARU　ちょこっとだけ（笑）。そういやTARUシートはスペイン語ペラペラなんですよ。
——となると、TARUシート選手もTARU選手のちっちゃい版として、おねーちゃんの方も（笑）。
シート　いえいえいえいえ、ボクもおねーちゃんと話すのが一番やとは思うんですけどね。ボクの周り男しか集まって来なかったんですよ。だからボクの場合、身体がちっちゃくて、身体も弱くてよく体調崩してよく練習休んだんで、デビュー遅れちゃいましたけどね、なんとかデビューできたんですけどね。
——ところでTARUシート選手ってどんな選手なんですか？
シート　TARUさんと同じ選手です（キッパリ）。
——同じ選手！（笑）。
TARU　ボクまったく知らなかったんですよ。それで校長に聞いたら「いやぁ、TARUさん似てるよ。ドリラーとかTARUさんの技みんなするから」って。それで校長ひとりで受けて笑ってるんですよ。「TARUシートと大柳錦也はいつ日本に帰っても大ヒットー！」って言ってましたからね。
——TARUシート選手は校長のお墨付きなんですね（笑）。
シート　いえいえ（照）。
TARU　お墨付きですよ。この間のディファ有明でボクが「今日は素敵なゲストを呼んでます。……TARUシ

ートー」って言ったら、「キャ〜」ーいう女の子の黄色い声援飛んでましたからね、凄い人気ですよ。

シート　肝心の本人は緊張してて何も聞こえなかったんですけど（笑）。

――ぶっちゃけた話、最初に校長から「ミゼットレスラーになれ」って言われたときどう思いました？

シート　おいしいなと思いましたね。

最初に言われたのはまだメキシコに渡る前なんですよ。JAPANの道場の食堂でいきなり校長に「野村君（TARUシートの本名）、メキシコいったら、オレのちっちゃいのとやらせるかもしれないけど、我慢してくれな」と言われまして。最初は「ウソやろ」と思いまして「ハイ」って返事したんですけど、まさかホントにミゼットになっちゃうとは思わなかったっスよね（笑）。でも、それはそれで「おいしいな」と思いまして、身体活かした階級なんで。

大柳錦也をスターにできるのは俺しかおらへんやろ（TARU）

【TARUシート】本名・野村[illegible]司、1981年[illegible]、大阪市西成区出身。154cm、60kg。2000年10月20日、アレナ・ロペス・マテオス、対ミニ・マックス戦でいきなりミニ・エストレージャとしてデビュー。コスチュームなど、まんまTARUの小型版。

【TARU】本名・多留嘉一。1964年8月23日、神戸出身。21のころより岡村隆志の元で空手を学び、95年に31歳にして武輝道場でプロデビュー。その後、闘龍門に移り、C−MAXの一員となる。ストーカー市川との果てしない抗争は闘龍門名物。

――実際にウルティモ・ドラゴン・シートとは試合したんですか？

シート　はい、何回も。

――何回もやってますか！（笑）。

TARU　向こうの有名どころのシートとは全部やってるんですよ。

シート　負けてばっかなんですけど（笑）。

――それではいよいよ今回『ルチャリブレ・クラシカ』が披露されます。そこで素朴な疑問でなんですけど、なんでT2PじゃないTARUさんが出てるんですか？（笑）。

TARU　そうなんですよね（笑）。

――しかも相手は大柳錦也（笑）。

TARU　でも、そこがポイントなんですよ。

――大柳選手とやるのがポイント？

TARU　そうなんです。いま闘龍門JAPANって人気ありますよね？　それと同じようにT2Pの人気をボクの力で上げたいんですよ。ボクは闘龍門JAPANでもストーカー市川とはつかりやらされてきて、最初これはメキシコで練習もせずにおねーちゃんと遊んでたボクに対する校長のイジメやと思うんですよ（笑）。でも、ずっとストーカーとやっていくうちに、やっぱりストーカーっていうキャラクターが確立されてきて人気が出たじゃないですか。

――いまや闘龍門の名物カードですもんね。

TARU　これは闘龍門の中で一番でかいボクというキャラクターとストーカーの、デカイのと細いの、おっきいのと弱いのっていうコントラストがハッキリしてるから受けてきたと思うんですよ。みんなはボクらの試合を「お笑い」ってバカにしてるかもしれませんけど、興行の中一番のポイントだと思うんですよ。やっぱりそういう部分がないとお客さんも面白くないだろうし。そんで今回、大柳っていうストーカー市川に匹敵するキャラクターが出てきた。それならボクが「大柳を絶対スターにしたろう！」と。それでボクから校長に志願したんですよ。

――TARUさんの志願だったんですか！

TARU　そうです。大柳をスターにできるのはオレしかいない。T2Pをもりあげるのはオレしかおれへんやろ、と。闘龍門の中でいまM2Kとかやってますけど、面白くないですもん。

――今度はこっちでJAPANより面白いことやってやろう、と。

TARU　そうですよ。バチバチするのはCIMA、SUWA、フジに任せて。ボクはやっぱり娯楽の部分で、プロレスを始めて見た人たちのために、見やすい環境を作ってあげるのがボクの役割やと思いますね。年齢も年齢でうから（笑）。

――いやぁ、素晴らしいですね。それはやはりWCWでビガロなんかを見て、そういう役割を知ったんですか？

TARU　いや、ビガロとか個人名は出ませんけど、WWFでも何でも「あ、いまコイツが人気あるんは、この人のおかげやな」とか、そういう目で見るようにはなりましたね。

――なるほど、これからの大柳錦也戦期待してます！　では、最後にTARUシート選手から、T2Pと自分の見どころを話していただいて終わりにしましょう。

シート　そうですね。おっきな会場にいる、ちっちゃいボクを皆さん、みつけてください！　「TARUシートを探せ」みたいな感じで（笑）。

TARU　ちっちゃすぎるやろ！（笑）。プロレス馬鹿にしとんのか、って。

――自信はありますか？

シート　はい、人を喜ばせるのが好きなんで。よろしくお願いします。

――では、またぜヒお二人にはインタビューさせていただきたいと思いますんで、今度はしっかりTARUさんのコスチュームでお願いします（笑）。

シート　あ、もう次は全部揃えてきますので！　もう、……すいません（笑）。

TARU　オレは着てきたんやぞ。オレひとりで街歩くの恥ずかしかったわ（笑）。

シート　もう次は家を出るときから、ペイントしてフルコスチュームで来ますんで（笑）。

TARU　ホント、もうたのむわ（笑）。

【01年11月8日／水道橋・「ファイティングカフェ・コロッセオ」にて収録】

取材協力：ファイティングカフェ　コロッセオ

11.13 T2P clumn★2

T2P 新たなる伝説のスタート

文 田中正志　撮影 乾晋也

リングは黒のカーテンに覆われていた。パンチ田原リングアナが、まるでメガネ屋さんのときのようだと念を押した。配られた蛍光灯ライトが超満員の暗闇の後楽園ホールにカウントダウンを告げる。

おおおおお、なんとそこに登場したのは六角形のリング。こうして噂のルチャリブレ・クラシカは謎のベールを脱いだ。

「フル・[illegible]・コーナー」。新たなるプロレスの出現。そして、すべての試合のフィニッシュが、全部日本初公開の技という緊迫の構成。

メインイベントのルチャクラシカ3本勝負は、栄光のUWFの21世紀版。1本内で3回のロープ・エスケープが許されるネオUWFの再現。そしてドキモを抜いたミラノ・コレクションA.T.の完全無欠のデビュー。現NWA世界ウェルター級王者の斎藤了を決めまくり、場内にはなつかしの「エスケープ」のアナウンスが響き渡る。

これこそが、なんちゃってVTに対する地球の裏側からの最後の反撃だったのだ。

地球を一周した大航海を終えて、新たに旅立った船は、日本伝統のUWFとルチャの結合という究極の様式美を発見する。すべてのムーブを日本のファンがみたこともない新しい複合技でつなぎ、それぞれの勝負を約7分かけて次々にエスケープを奪うミラノ・コレクションA.T.。56の技を習得し、本日公開したのは14に過ぎないと試合後に豪語。そして一本目はパラダイス・ロック、2本目は4つのエスケープのあとに必殺のATロックが決まった。

こうして日本マット界は、新たなるスターの誕生を目撃した。

恐るべしT2P。11月13日。あらたなる伝説が始まった。

文／ターザン山本
撮影／乾 晋也
design by Isamu Ebisawa ,ZERO graphics

「闘龍門」にはプロレスがある。11月13日、T2Pが日本逆上陸。後楽園ホールで旗揚げ興行をやった。会場には六角形のリング。メキシコのプロレスなのに〝空中殺法〟がない。打撃、投げ、関節技の攻防とハイスパートで見せる試合。これを称して「ルチャリブレ・クラシカ」と言う。

そんなことはどうでもいい。とにかく「闘龍門」に行け。行くしかないぞ。わかるヤツにはわかる。わかるヤツだけわかればいい。『週刊プロレス』の佐藤編集長、「週刊ゴング」の金沢編集長に告ぐ。君たちは何を考えているんだ？ 11・13、T2Pの試合を見に来ていないだろう。わからないヤツにはわからない。そういうしかないか？

しかし仮にも君たちは〝編集長〟だよ。佐藤編集長は〝プロ格病〟。金沢編集長は〝新日病〟。ああ、君たちは病気なのだ。病んでいるのだ。〝メジャー病〟にかかっているので一生わかりっこないか？ 要するに鈍感なんだよ。自信がないんだよ。勇気もないんだよ。才能がないと言ったら一番わかりやすい。オレだったら「闘龍門」を表紙にするぜ。だってここにはプロレスがある。

じゃあ、プロレスって一体なに？ それがみんなわからなくなっているんだよ。混乱しているんだよ。一番簡単なことが見えなくなっているんだよ。プロレスはプロレスなんだよ。「闘龍門」はそれをやっているだけなんだよ。だから今、最も面白いんだよ。プロレスの故郷に帰った気分になれるんだよ。プロレスのふるさとなんだよ。

新日本プロレスも全日本プロレスも、みんなプロレスのふるさとを失っているよ。どうしてふるさとがなくなったの？ プロレスふるさと論って必要なんだよな。ボクの心の中に、オレの心の中に、お前の心の中に、君の心の中にプロレスはあるのに、リングに、試合にプロレスがなくなった。どこかへ消えていった。それが問題なんだよ。

ウルティモ・ドラゴンは「闘龍門」でただプロレスをやっているだけなんだよ。そこにプロレスがあるからプロレスをやる。お笑い、あり。UWF、あり。パフォーマンス、あり。2・9プロレス、あり。なんでも、あり。

あり、あり、あり。でも、そこにジャパニーズスタイルがなかったらだめ。あり、あり、の中にある日本スタイル。それが技の攻防、激しいプロレス、厳しい攻め。

いろんな、いろんなエッセンス。プロレス的エッセンス。見ればわかるさ。行けばわかるさ。行って見ろ「闘龍門」。そこにはオレの好きなイッツ・ア・スモール・ワールド。

のぞいて見ようぜ。手をつなぎ輪を作ってみようぜ。イッツ・ア・スモール・ワールド。小さな、小さな、目立たない、目立たない、男たちのおとぎの国のリング。これもイリュージョンですから。一つの夢ですから。一応、王国ですから。

小さな王国「闘龍門」。インディーズなのに、なんであんなにお金かけて、わざわざ六角形のリング、作ったの？

メジャーでもやらないこと。メジャーでもしないこと。ウルティモはオレに言った。「あれも、これも、何もかも、みんなボクの趣味ですから。だから六角形のリングも趣味で作らせてもらいました」。何？ 趣味？ やられたよ。そこまで言うか、ウルティモ・ドラゴンー

ぜいたくな男よ。「闘龍門」は趣味なんだ。人生も、プロレスも、趣味なんだ。青春してるよな。左の腕の手術ミス。それで大、大、大、大好きなプロレスができなくなった男。

それもまた試練。それもまた運命。神は自らが最も深く愛した人間だけ大きな試練を与える。ウルティモ、君は神に選ばれた人間なんだ。

もっと言おう。もっと言ってしまおう。君は結局、神から愛された人間だよ。だって手術ミスがなかったら、君は闘龍門を作っていないだろう。あれは神が君に作らせたものなんだよ。よかったよ。運がいいよ。それがなかったらCIMAもマグナムTOKYOもSUWAもストーカー市川もみんな、みんななかったんだよ。

T2PもミラノコレクションATもなかったんだよ。だからオレは「闘龍門」は神が君に作らせた神からの贈り物だと思っている。君がウルティモ・ドラゴンが、どんなにプロレスを好きか、誰よりも神が一番よく知っていたんだよ。

純度100%のプロレス。イッツ・ア・スモール・ワールド。「闘龍門」。プロレスチルドレンの男たちが作る小さな青春の王国。21世紀最初のプロレスは、小さな者たちから始まった。

治外法権!!
夜もノーフィアー!! 超新星を絶賛!!
高山善廣
[FREE]
越する巻末スペシャル企画」
承対談

リングの内も外も
知られざる伝説が今、明らかになる!!
杉浦貴
[NOAH]
聞き手／堀江ガンツ&ス
撮影／森廣博　試合写真／
designed by hisa (Two Three)
「プロレスと格闘技の壁を超越
怪物伝

もう大変ですよ!
みんなスギの顔色伺ってますからね!

意外な組み合わせと思うかも知れない。なぜこの2人なのか……。だが読めばわかる!! 怪物は怪物を知る!! とにかく読め!!

――いやぁ、いい写真が撮れましたよ!

高山 もう今回は、写真だけ載せてもらった方がいいんじゃない?

杉浦 表紙でね。

高山 ……ホント偉そうだね、お前(笑)。

――ハハハハ! 最高ですね(笑)。今日は"怪物伝承対談"ということでおふたり……というか主に杉浦選手のリング内外での強さと魅力を縦横無尽に探っていきたいと思うんで、よろしくお願いします。お二人がよく一緒にいるところを見かけるんですけど、どんないきさつで一緒に行動するようになったんですか?

高山 こいつは相手にしてくれないときは全然相手にしてくれないんですけどね、ある一定の地域に行くスケジュールが近づくと突然僕の携帯にスギ(杉浦の愛称)からメールが入るんですよ。巡業のバスは別々なんですけど、「いま自分のバスが出ました。高山さんはいかがお過ごしですか?」とかね(笑)。さっき会ったばっかなのに。

――つまり、それは何かお誘いですか?

杉浦 (恐縮して)そんなことないです。

高山 そういえば、お前! こないだ●●にいたらしいじゃん。

――その●●●というのは?

高山 六本木のキャバクラ(笑)。そんなことは俺の耳にすぐ入っちゃうんだよ!

杉浦 (慌てふためいて)ちょっと、えっ? なんで知ってるんですか?

高山 元Uインターはその店によく行くんですよ。あそこじゃ君の好きないろんな行動はできないでしょ?

杉浦 高級感ありますね。もうちょっと庶民的な方が自分には合ってますね。

高山 お行儀よくしてないとな。

杉浦 いい男を演じないと(笑)。

高山 お前が演じられんのかよ(笑)。

杉浦 そうなんですね。なりきれないですけど、酒入ると……ダメですね(笑)。

――以前から、杉浦選手はキャバクラ好きを公言してましたけど、そういうところに一緒に飲みに行ったりしてるんですか?

高山 巡業中には行きますよね。僕の知り合いがいろいろ面白いところ連れてってくれるんで、そういうときにはスギを連れてくとね、みんな喜んでくれるんで。

――杉浦さんのどんなところが好かれる要因なんですかね?

杉浦 嬉しいと子供のようにハシャぎますから(笑)。

フ■スティング明けの高山はお茶、対する杉浦は当然ビール、乾杯も自信たっぷりだ!

高山 わかりやすいんだよ。自分の都合だけで顔色変えますから。こないだ京都でキャバクラ行ったときに、みんな女の子付いて、スギだけ横に付かなくてスネちゃったんですよ(笑)。そしたら、そこに連れてってくれた人が「スギが不機嫌になるから、この店もうダメだ。出るぞ」とか言って店を替えて。そこで横にちょっとエッチそうなお姉ちゃんが付いたら、もうニコニコ顔で、連れてってくれた人も「あ、スギが楽しんでるからよかったわ」って(笑)。もう大変ですよ。みんなスギの顔色伺ってますから。

杉浦 いやいや、ホントにそんなことありませんからッ!

――リング外でも大物ぶりを発揮してるんですねぇ(笑)。ちなみに高山さんが杉浦さんと初めて会ったときの印象とか、どんな感じでした?

高山 始めて見たときねぇ……スーツ姿で挨拶に来てたんですけどね、スーツがツンツルテンなんですよ(笑)。キツくなったスーツを無理矢理着てて、あんまりお金のない子が中学1年のときのサイズの制服を3年生になっても着てるような感じ(笑)。ケツとかムチッと出ちゃって、「なんだこいつ!? 人間離れしてるなぁ」と思って(笑)。

杉浦 プロレス入るんで体重を増やしてた時期だったんですよ!

――じゃあ、逆に杉浦さんは高山さんにどんな印象を持ちましたか?

杉浦 「怖い人だな」という感じですよね。ファンの頃から見てましたから。

高山 よく言うよ! 最初はオレのことを相手にもしてくれなかったじゃん。たしか試合前にリングの上で練習してるときも、新弟子は「お前はあっちで腕立てやってろ」とか言われるんですよ。で、こいつが一人で黙々と腕立て伏せをやってるところに、俺がチョロチョロ見に行くんですよね。そしたら「俺に寄って来るなよ、こいつ」みたいな目で迷惑そうな感じで見るんですよ(笑)。それで「大丈夫?」とか聞いても、かったるそうに返事して(笑)。僕のこと嫌いなのかなと思いましたよ(しみじみ)。

杉浦 (恐縮して)いや、練習中にあんまり喋ると怒られるかなと思ったんで。

高山 俺が話してんだからいいじゃん!

杉浦 ……そうですね。

高山 そんな感じで思いっきり避けられてたんですよ(笑)。

――距離が縮まったきっかけは?

高山 それがですねぇ(笑)。スギの地元の名古屋にいい飲み屋さんがあってね、お前が行きたくても行けないようないい店だったんだよね?

杉浦 そうなんです。

高山 名古屋の有名な高級店とか、知ってるけど飲みに行けなかったらしいんですよね。でも、僕がそこの社長さんと知り合いで「俺なんかしょっちゅう行ってるよ」って言ったら、それだけで「あ、この人に付いていかなきゃ!」みたいな態度で接してきましたからね、急に(笑)。ついさっきまで「お前、寄って来んなよ」って感じだったのにキラキラ光った顔しちゃってね。

杉浦 それで決めました(キッパリ)。

高山 あ、やっぱそれで決めたんだ(笑)。俺の人間性じゃねぇのかよ!

杉浦 そういうわけじゃないですけど、

長いお付き合いしたいな、と（笑）。
高山 そういうキッカケだったんですよ。
杉浦 いや、自分はもともとUWFが好きでしたから。
高山 あ、そうなの？ じゃあUWFに入ればよかったじゃん。
杉浦 いや、自分がプロ入りするときには、UWFはなかったんで。
――ファンの頃に見た高山さんの印象ってどうでした？
高山 こいつ、覚えてないですよ。
杉浦 Uインターのときは……えーと（と考え込む）。
高山 ホントに記憶にないから困ってるよ（笑）。ちゃんと正直に言えよ！
杉浦 高山さんが全日本に入ってからの方が印象深いですよ。僕は佐山聡さんがいた頃のUWFのファンだったんです。
――Uインターはあんまり見てない？
杉浦 TVでやってなかったですからね。あっ、UWFもTVでやってないですよね、そういえば（笑）。ビデオ借りて見てたんですよ。
高山 Uインターのビデオは借りなかったんだ？（笑）。
――アハハハ！ 杉浦さんみたいな選手をホントに「新人離れしてる」って言うんでしょうね（笑）。
高山 むしろ「人間離れ」ですよ（笑）。
――なかなかこういう豪快なプロレスラーって少なくなってきてますよね。
高山 あんまりいないでしょ。スギか藤田（和之）かっていうぐらいで（笑）。ホントに豪快というか、何も考えてないのは（笑）。
杉浦 僕は考えてます！
高山 考えてんの？ じゃあ、あっちは何も考えてないんだ？
杉浦 いや、わかんないですけど……。
高山 お前、いまそう言ったろ！（笑）。そういえばスギと一緒に遊んでたときに、たまたま藤田選手とバッタリ会ったんですよ。そしたら二人とも「ウォー」とか言って、日本語喋んないんですよ。なんか猿が出くわして挨拶してるみたいで（笑）。

今年1月13日、ノアの大阪大会で6人タッグながら両者は初激突している。杉浦から挑んだグラウンドでの攻防などもあり、非常に見どころの多い対決だった。

――言葉がなくてもわかりあっちゃってるんですか（笑）。たしかプロ入り前に面識はあるんですよね？
高山 そうみたいですね。で、二人して「ウォー、ウホウホ」って言いながらお互いポンポン体を叩き合っただけで別れんの（笑）。
杉浦 ちゃんとしゃべってましたよ！
高山 でも、スギもこうやって見るとゴリラみたいですけど、「藤田選手と並べると、お前はゴリラじゃないな」って言ったら、こいつ嬉しそうな顔して「やっぱオレ、人間ですかね」とか言って喜んでるんですよ（笑）。だから「バカ！ 向こうがゴリラなら、お前はチンパンジーだよ！」って。決して人間ではない（笑）。
――アハハハ！ お二人はリング外では行動を共にすることも多いみたいですけど、リング内でも練習を一緒にしたりするんですか？
高山 そうですね。でも、そんなの最近ですよ。オレが『PRIDE』に出る前、巡業中にスギとレスリングをしてましたけど。「相手がこう来たときは、こう返した方がいい」とか、いろいろ教えてもらって。さすが、無駄に10年間もアマレスやってないですから。
杉浦 む、無駄にぃ？（笑）。それを言うなら「伊達に」じゃないんですか？
高山 そうか（笑）。でも伊達にやってたのは最初の5年ぐらいでね、あとの5年は無駄だったらしいですよ（笑）。
――えっ？ そうなんですか？
高山 スギはアトランタ・オリンピック（96年）に行けなくて、次のシドニー・オリンピック（2000年）出場を目指して自衛隊に残ったんですよね。それで頑張ったけど結局行けなくて。
――その後、プロレス入りですよね？
高山 いや、もっと早くプロレス入りしてれば、もっとモテたと思うよ（笑）。
杉浦 どうですかね？
高山 あるとき巡業先で飲み屋行ったら、その飲み屋にノアのポスターが貼ってあったんですよ。で、僕はポスターにも写真が出てるじゃないですか？ そしたら飲み屋の姉ちゃんが「あ、ポスターに出てる人だ！」とか言って、僕だけモテモテで。スギなんか写真が載ってないから、そのまま放っとかれて（笑）。「俺もあと4年早く入ってれば……」って悔しそうに呟いてましたからね。それだけじゃねえんだけど、ポスターに写真が載る載らないの差だと思われてんですよ（笑）。
杉浦 でも、あのとき高山さんも言ってたじゃないですか!?「俺も高田（延彦）さんの付き人をやってたときに、同じことを思ったことあるんだよ」って。
高山 そうそう。俺も高田さんの付き人時代にそういう店によく行ってて、「やっぱスターになると違うんだなぁ」と思いましたよ。でも俺は高田さんと同じ時期に入ったとしても、同じようなスター選手になれるとは思わなかったぞ！ そのへんがお前と違うとこだよ（笑）。こいつはあと4年デビューが早けりゃ同じぐらいモテるもんだと思ってるから。
杉浦 はい（キッパリ）。
――素晴らしいです！（笑）。
高山 うん、そういう欲は必要だと思いますよ、絶対に。「のし上がっていけば俺もこうなれるんだ！」っていう希望はきっとバネになるから。
――スター選手になれば、高山さんみたいにいい車にも乗れるし。
高山 そうそう。いい女と乗ってね（笑）。まあ、スギの場合は素敵な奥さんがいる

ちょっと、え？ なんで（六本木のキャバクラに行ったの）知ってるんですか!?

怪物伝承対談
高山善廣
杉浦貴

高山さんは女性にスマートなんですよ!
焼き肉屋行っても焼いてあげたりして

から、それは難しいかもしれないけどさ。
杉浦　そうですね。
杉浦さんは、ホントそういう〝欲〟が人一倍強そうですよね。
高山　「そういう〝欲〟」って？（笑）。
――いやいや、そこに限定してるわけじゃないんですけど（笑）。じゃあ、リング上の杉浦さんはどうですか？
高山　デビューしたばっかの頃は練習を見てると、「動きが固くて●●さんみてぇだな」ってよく言ってたんですけど（笑）。
杉浦　はい。受身とかも「●●さんみたいだ」って、よく言われました。
高山　ロープに走る姿は●●さんソックリだったんですよ、見事に。最近はそういうのが消えてきましたけど。あんまりあちこちの団体を渡り歩かなくって済むんだなって（笑）。
杉浦　いやぁ……それは（と口ごもる）。
――かなりの成長ぶりなんですね。
高山　成長というか、もともと強いから。無駄に10年もアマレスやってたし。
杉浦　「伊達に」です！（笑）。
高山　あ、そうか（笑）。だから、やっぱり強いんですよ。強いけど、うまく回せなかっただけだと思うんです。プロレスに入ると「プロレスはこうなんだよ」って教わっちゃうじゃないですか。たしかに、それも基本の一つだけど、お前の武器を使えよって思ってるんですけどね。
――自分が持ってる強さをいかに出していくか、と。
高山　いまはちょっと出だしたぐらいじゃないですかね？
――まだまだ埋蔵量はあるんですよね？
高山　あると思いますよ。でもあんまり出し惜しみしても、腐って使えなくなるかもしれないし。だから、もっと早くいろんなことをやって欲しいんですけどね。
――いろんなことっていうと？
高山　遠慮してるわけじゃないんだろうけど、さっさと戦力になってくれないとね。こいつは30歳ぐらいで奥さんも子どももいるのに入ったから。それなりに普通の新弟子とは違う扱いを受けて入ってるんだし、言葉は悪いですけど、こいつは詐欺やってるようなもんなんですよ。20歳の子と一緒に成長するの待ってたら40歳になっちゃうでしょ。人よりある程度もらうものをもらってんだから、早くやれよ！っていう。
杉浦　（恐縮して）それは感じてます。
――デビューから1年経って成長の実感みたいなものはありますか？
杉浦　いや、まだまだっていう気持ちの方が強いですね。デビューした頃に比べたら、ちょっとはリング上で気持ちも出せるようになったんですけど……やっぱり、まだまだですね。
――あれは衝撃のデビュー戦でしたねぇ。
高山　衝撃でした？　ふ～ん。（杉浦に向かって）お前、衝撃なんだって！
杉浦　でも、あの試合が終わった後、高山さんに「ドロップキックは使わない方がいい」って言われましたけど（笑）。
高山　ガハハハハ！　しょっぱいとか、そういうのもあるんだけど、カラーじゃないなって思ったから言ったんだよ。そんなことをやって失敗するより、もっとスギの本来の動きを出してお客さんを引きつけた方がいいに決まってるんだから。普通の新人だったら「ドロップキックもっと練習しろよ」とか言うけど、スギだったら飛ぶ必要ねえよと思ってね。アチャーッて感じでしたからね。せっかくレスリングの動きで「ウォーッ」ってなったのに、ドロップキックで笑いを取った、みたいな（笑）。
杉浦　僕の中では、「飛び技も出来るんだよ！」っていうのを見せるつもりでやったんですけど……失敗でしたね（笑）。
高山　こいつ、勘違いするんですよ。自分がカッコいいもんだと思ってんの（笑）。リング外でも一緒ですよ！　さっき話に出てきた名古屋の社長さんと食事に行ったときも、僕と社長さんが話してるのに、スギは上の空なんですよ。「なんだよ、スギ！」と思ったら、こいつの横に凄い可愛くてオッパイデカい子がいて、その子のことばっか見てんですよ（笑）。
――じつに杉浦さんらしいですね（笑）。
高山　また別の日に食事に行ったとき、今度はあまりにもおとなしくしてるから、「なんだよスギ、今日は乗ってないじゃん」って言ったら「いや、高山さんのようにカッコよく決めてみようかと思って」って（笑）。そういうわけわかんないゴマを擦ったりする。それで怒ったんですよ。「スギ、お前を連れて来た意味がない！　お前はお前でいろ！」って（笑）。
杉浦　う～ん、高山さんは女性に対してスマートなんですよ。焼肉食べに行っても、焼いてあげたりとか。僕なんかは自分で食うことに夢中ですから。しかも女をチラチラ見ながら（笑）。その点、高山さんは余裕があるんですよ。大人だなぁと思いましたね。そう言ってるボクも今年で31歳なんですけど（笑）。だから、ボクもちょっとそういうオトナっぽさを出していこうかなと思って。
高山　でもオレは容赦なくダメ出しするよ、そういう行為には。それ、リング上でも同じですよね。「お前は違うんだ！　そういうんじゃない！」って。秋山選手にも同じようなことを言われただろ？
杉浦　言われました。
高山　「お前はそうじゃないんだよ」って。秋山選手はスギの私生活までは知らないだろうけど、こいつはリング外でも同じなんですよ（笑）。
――アハハハハ！　どこにいても期待を裏切らない（笑）。
高山　連れて歩くには最高ですよ（笑）。
――そういう理由で連れて歩いてたとは思いませんでした（笑）。
高山　だって凄い面白いんだもん（笑）。みんな喜んでくれるから。「杉浦君ってどういう人？」ってみんな聞いてくるんですよ。「ただのバカ」って言って連れてくと、みんな喜んでくれて（笑）。
――その説明も凄いですけどね（笑）杉浦さんみたいな選手は、ホントに久しくなかったキャラですね。
高山　久々っていうか、新種だよ。
――昔、よく〝トンパチ〟って言われてた人たちとはまた違いますよね。
高山　それとは違いますね。これで、もう30歳でしょ？　20代を過ごした自衛隊では大変だったんじゃないの？
杉浦　そんなことないです。真面目にやってましたよ。年と共にずる賢いこと覚えていくじゃないですか。
高山　お前、ずる賢いんだ？（笑）。
杉浦　ずる賢いって言葉は語弊がありますけど……要領がよくなるというか。
高山　あ、要領いいんだ？（笑）。
杉浦　……何て言えばいいんですかね？
高山　お前はが要領よかったら、これだけ俺にハメられないよ（笑）。あるとき一緒に遊びに行って、結構楽しかったんですよ。そしたら「ありがとうございました」とかメールが来て。そこで終わりゃいいのに、「僕は高山さんの心の付き人です」とか、わけわかんないこと送ってきて（笑）。それを僕がみんなにバラしたんですよ。そしたら小橋（建太）さんがそ

れを聞いたらしくて、「お前、多聞ちゃんのお陰で入れたくせに、そんなこと言えるのか！」って怒られたんでしょ（笑）。

杉浦さん的にはギャグだったんと？

杉浦（即座に）そうです！……あ、いや、ギャグっていうか、あ、いや……。

高山 ふ～ん、ギャグだったんだ？

杉浦 いや、あの、お世話になってるんで、高山さんに感謝の気持ちもありますけど、別にそれを言ったからって、本田さんがどうのこうのとかじゃないんです。

高山 みんな大事なんだよな？ そういうことは、もっと言っといた方がいいよ。

杉浦（棒読みで）皆さんのお陰でいまの僕がありますから、皆さん大事です。

高山 もっと言った方がいいよ！

杉浦 ……う～ん、もう出てこないです。

――アハハハハ！ いや、ホントこういうやりとりもいちいち面白いですね（笑）。お二人は試合でも何度か当たってますよね？ いかがですか？

高山 オレと試合やるときは「いいな」と思うけど、他の人とやるときより、わざと俺のときだけキツくやるから。

杉浦 いえ、誰とやっても同じです。でも高山さんは真正面から受けてくれますから、思う存分向かって行けるんですよ。

高山 なんかね、他の選手とスギの試合を見てると、俺とやってるときと全然違うじゃんっていう場面がいくつもあるんで、ムカつくんですよ。オレのことは踏んづけといて。な？

杉浦 ……すいません。

高山 オレの真似して踏んづけフォールとかやってんだよね？ パクりはまあいいとしても、そういう憎たらしいことをオレにやるんだったら、もっとやるべき相手にもやれよ！ あのブタ（＝橋本真也）と当たった試合も雑誌の記事を読んだかぎり、遠慮じゃないんだけど、そういうのが見えてきたから。そういうのをなくしてください。

杉浦 ………………（黙って頷く）。

高山 なにカッコつけてんだよ！（笑）

杉浦 いや、その通りです。

――将来こうなりたいという目標っていうのは見えてますか？

杉浦 考えてないですね。

高山 飲み屋ではいろいろスギにアドバイスしてるんですけどね。名古屋の飲み屋さんで、ブラジルのお姉ちゃんがいるところがあるんですよ。明るくてオッパイ大きい子がいて、その子が「私、『PRIDE』好きなの」って言うから「誰が好きなの？」って聞いたら「ビクトー（ベウフォート）が好き」って。そしたらスギが「よし、俺が倒してやる！」とか言いだすんですよ（笑）。

――アハハハハ！ 即決だ（笑）。

高山「俺の方が強いから、俺にしとけ」みたいな感じで（笑）。そんなことばっか言ってますよ。

杉浦 あれは酒の席でのバカ話ですよぉ！

高山 その話、高田さんに言ったら大笑いしてたよ。

杉浦 もし実現したら、知ってる人は笑うでしょうね（笑）。

――「あっ！ あのときの因縁の対決だ！」って（笑）

高山 大変だよ！ 彼女リングサイドに呼ばないと（笑）。

杉浦 ビクトーは何の因縁かわかってないのに、僕だけやたら気合入っちゃって、「ブッ殺してやる！」みたいな（笑）。

高山 笑っちゃうけど、そういうのって大事だと思うんですよ。確かに純粋に「強くなりたい」とか、「プロレスが好きだ」っていう人もいるだろうけど、「ホン

「タダのバカです」って言って連れていくとみんな喜んでくれますよ（笑）

スギみたいな色気がなかったら お客さんも魅力感じないでしょ

怪物伝承対談

高山善廣
杉浦貴

トにお前、それだけか？　ホントに強くなりたいだけか？　その先はないの？」って僕は思うんですよ。こいつみたいに、冗談半分でも言うってことは、多少はそういう気があるってことだから。色気がなかったら、お客さんも魅力感じないだろうし。大事だと思いますけどね。

――そういう色気は杉浦さんから、かなり漂ってますよね。

高山　色気だけって話もあるけど（笑）。

――じつは次期シリーズのかなり早い段階で、お二人の一騎打ちが組まれてますけど、なんと会場が因縁の名古屋なんですね（笑）。

高山　だから、いつもは名古屋で遊ぶんですけど、さすがに一騎打ちだから今回はお前と遊べないな。たまたま例の社長さんが『PRIDE』も好きで東京に来てたんですよ。で、一緒に飯食って、「今度は名古屋でスギと試合するから、スギは連れてけません」って言ったら凄い寂しそうだった（笑）。残念だね。

杉浦　ホントですか、それ？

高山　俺らがリングで一生懸命闘っても、試合が終わってから一緒に歩いてたら「あんな試合をやったって、プロレスだから終われば仲よくしてるよ」なんて言われて、俺らの流した汗が無駄になるじゃん。

杉浦　なるほど……カッコいいッスね（笑）。

高山　だから君は今回ダメ！

杉浦　じゃあ、部屋で待ってます。

高山　別にいいけど、部屋に何かあんの？

杉浦　いや、なんもないッス。

――アハハハハ！　より一層激しい試合になりそうですね。杉浦さんは高山さんと当たってみて、どうですか？

杉浦　う～ん、打撃とか重いですし……パワーとか凄いですし……。

高山　褒めるとこないけど、無理矢理褒めてるでしょ。だから歯切れが悪いんだろう。な？

杉浦　そ、そんなことないです。試合以外のことで、僕は高山さんから学ぶことが凄くあって。

高山　試合ではなにもないみたいじゃん。

杉浦　いや、違います！　レスラーとしての佇まいとか、考え方とかは影響されてますね。

高山　考え方なんて話したっけ？

杉浦　いや、まあいろいろ。っていうか、あの、その……いろいろ。

高山　なんだよ（笑）。読んでる人は全然わかんないよ！　褒めるとこないから適当に言ってんだろ⁉

杉浦　違いますよ！　マスコミで高山さんが言ってたじゃないですか。『PRIDE』出てくときとか、K―1に対してとかも。プロレスラーのあり方というか、姿勢として、僕もこうありたいなって思ったんです。

高山　誌面では「彼は僕と近いものを持ってるんだよね」って言ってたことにしようよ（笑）。

杉浦　「彼」なんて言いませんよ（笑）。

――杉浦さんから見て、『PRIDE』の高山vs藤田戦はどうでした？

杉浦　あの試合はですねぇ、自分の気持ちが入りましたね。ホント、男同士のぶつかり合いでしたから。ああいう試合ができたらいいなって思いましたね。刺激になりました。

――高山さんは12月のノアのシリーズの後に『PRIDE』に出場するという噂がありますけど。

高山　そうですね、まだ決定ではないですけど。やる気持ちではいます。

――シリーズ後だと、体調的にはかなり大変だと思いますけど？

高山　大変は大変ですけどね。でもこないだの『PRIDE』もかなり最悪の状態でやったんで、そういう意味ではなんとかなっちゃうかなって。凄い雑な言い方ですけど。万全な体調でって考えたってね、リング上でなにができるかわかんないじゃないですか。決まったらそこに行くだけで。もし決まったても、スギは来てくれないらしいんですよ。「そんなもん、行ってらんねぇよ」って言われましたから（笑）。

杉浦　次の日に試合ありますから。

高山　次の日に帰りゃいいじゃん。

杉浦　いや、福岡まではちょっと……。

高山　飛行機代出してやるよ。

杉浦　それは悪いッスよ。

高山　全然悪くないよ、その代わり雑用するんだから。でも、ホントは別の目的があるんじゃないの？

杉浦　いや、別に。中洲ぐらいしか（笑）。

――アハハハハ！　そこで大いに刺激を受けていただいて、プロレスラーとしてのキャパシティーを広げていければいいですよね。あと、今年は秋山さんが新日本に上がったりして、今後ノアと他の団体の選手の試合も増えてくると思うんですけど、そういう試合についてはどうですか？

杉浦　出たいです、注目されますから。

――具体的に誰と？

杉浦　いや、誰とかはなくて。一戦一戦をキッチリとやりたいです。

――高山選手からの注文は「俺とやるときみたいに他の選手ともやれ」と。

高山　ホントに。現状に納得しないで、その反発した気持ちを試合にぶつけてほしいね。

――是非2年目は更に大きくなってもらいましょう。

高山　まだ2年目なんだね。もう5年ぐらい一緒にいるみたいな感覚だよ（笑）。

【01年11月10日、品川駅前「さが野」にて収録】

高山のツッコミにも怯むことなく立ち向かう杉浦。プロレスラーたるもの、「強さ」はもちろんだが「色気」も大事！　素敵な男達に乾杯！

プロレスリング・ノア大会日程
"Navigation in raging Ocean"

11月22日（木）岡山・岡山武道館 18:30～
11月23日（金・祝）福岡・西日本総合展示場 15:00～
11月25日（日）名古屋・愛知県体育館 16:00～"TV"
11月27日（火））東京・後楽園ホール 18:30～"TV"
11月30日（金）札幌・北海道立総合体育センター 18:30～"TV"
12月1日（土）北海道・千歳市スポーツセンター 18:00～
12月3日（月）北海道・函館市民体育館 18:00～
12月6日（木）福島・白河市中央体育館 18:30～
12月7日（金）仙台・宮城県スポーツセンター 18:30～
12月9日（日）東京・有明コロシアム 15:00～

●マット界の1ヶ月丸わかり●

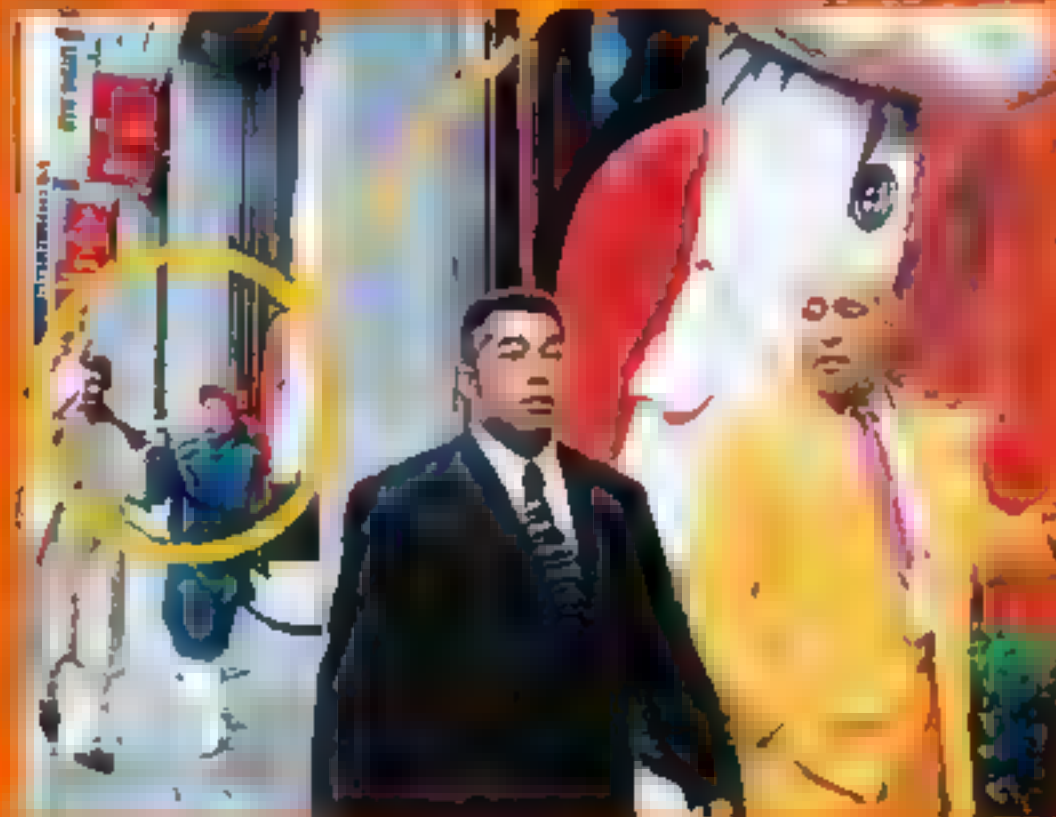
紙の新聞

編集長／堀江ガンツ
助手／ジャイ夫

10/16 ➡ 11/15

「ザ・検証」の答えは、タイガー・ジェット・シンでした!!

ナンバルワン！　というわけで、クイズの答えはタイガー・ジェット・シン親子でした。この親子抜群ですね。親子抗争を繰りひろげたNOWがなつかしいです。ついでに下の「平成の伊勢丹襲撃事件」も最高なので載っけときました。では、今月も紙の新聞、締め切りギリギリの炎のやっつけ仕事、いってみよう!

10/29

【真撃】日本武道館

高岩が藤原に完敗「10年早かった」

ノアのGHCジュニア王座を奪取しノリに乗る高岩竜一が、この日、藤原組長と「真撃」ルールで対戦。終始頭突き、関節技で防戦一方の展開を強いられ、唯一の見せ場となったデスバレーボムも二発目を脇固めで切り替えされ、ギブアップ。いいところなく完敗を喫した。試合後、高岩は「スタイルが違って、僕のいいところが全然出なかった。藤原さんとやるには10年ぐらい早かったですかね」といい人集団ZERO−ONEらしく謙虚すぎるコメントを残した。それにしても52歳の選手相手に10年早いジュニア王者って一体……。

10/[illegible]

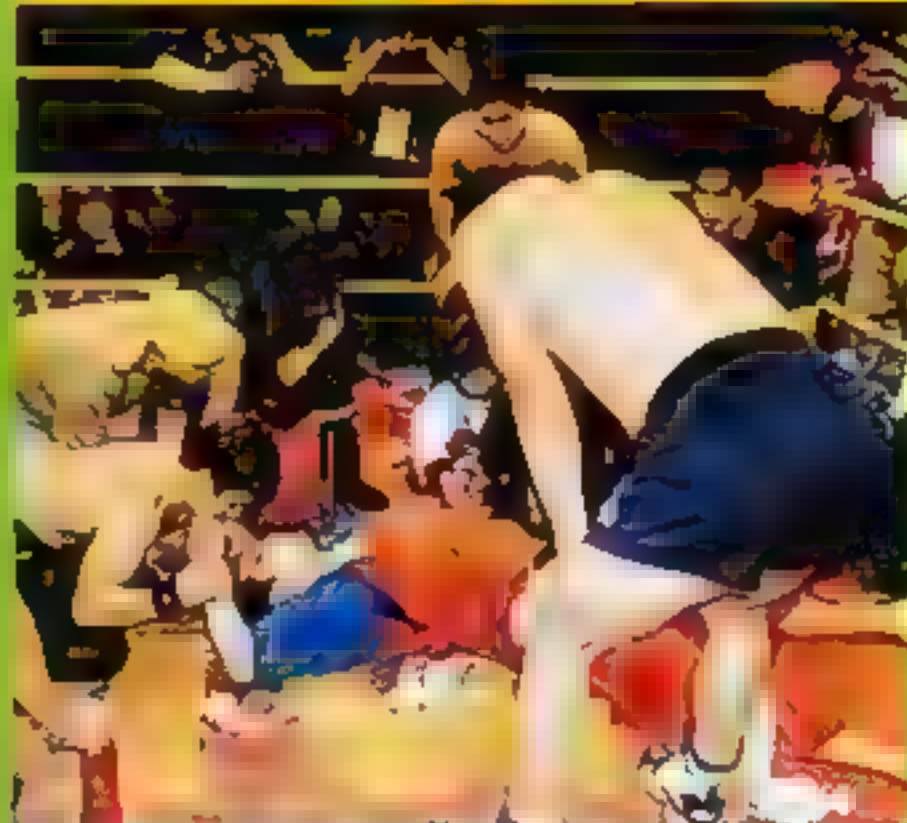
【新日本プロレス】

ドラゴン、恒例の全日出場宣言

ドラゴン歓喜！　自らが提唱したことはことごとく無視され、逆に頑なに否定するしたことはアッサリ実現してしまうという、逆社長権限を持つ男、藤波辰爾（47）。しかし今回、まさかのIWGPタッグ王座奪取時に訴えた、世界タッグとのダブルタイトル戦が遂に実現することとなったのだ！　この決定に興奮したドラゴンは、「IWGPタッグが他団体に流出する危険はある。でも、プロレス界の活性化のために、個人の枠で考えたくない」と、この試合があくまでマット界のためであることを主張。しかし舌の根も乾かぬウチに「世界タッグを取れば武藤の3冠まで手が届く。そうなれば全日本マットに上がれる」と、やっぱり私利私欲に走る得意の皮算用を披露。期待通りのドラゴンぶりであった。

10/23

【FMW】
後楽園ホール

[illegible]、ハヤブサ[illegible]

FMWのエースハヤブサが試合中に負傷。選手生命も危ぶまれる重体となってしまった。この日、セミファイナルでマンモス佐々木と対戦したハヤブサは、リング内の佐々木にセカンドロープに飛び乗ってのムーンサルトを決めようとした際、ロープを踏み外しそのまま頭部から転落。頭を強打し、意識こそあるものの、上半身、下半身ともに麻痺。長期欠場どころか、選手生命すらピンチになる可能性が出てきた。現在、FMWの発表によると麻痺が取れた箇所が少しずつ増えており、徐々にではあるが快方に向かっているようだ。不死鳥のように蘇れ、ハヤブサ!

10/16

【新日本プロレス】宮崎

正直、早すぎ! 健介8秒殺

半年間に渡るバーリ・トゥード特訓の成果を、ゴングと同時にラリアットという形で見せた面白人間健介が、なぜかドームではセミに登場したにも関わらず、今さらながら前座第1試合を志願。健三相手にわずか8秒、腕ひしぎ逆十字で秒殺勝利を挙げた。しかし、健介はこんな勝利では満足しない。目指すはエース復権。そのためにはまず28日福岡での1・4ドームの巴戦進出をかけたトーナメントに永田、中西、安田らを破って勝ち抜かねばならない。「巴戦はプロレス界で一番重要な戦いになるかも知れない」と、大まじめに大袈裟な予感を口にした健介だが、ファンの間ではちっとも話題になっていないのに気付いてはいない。

10/31

【新日本プロレス】

武藤が「川田はイジケ虫」

王道女神(©スポーツ報知)馬場元子社長の絶大なる信頼と寵愛(?)を受ける、三冠王者武藤敬司が、ちっとも目立たない"全日本のドラゴン"もとい、"全日本のエース"川田にカツを入れた。「まったくあの野郎は…。イジケ虫相手にしてるみたいで面白くねえ。やりたいんだか、やりたくないんだか、はっきりしろ!」と、一向に全日の至宝・三冠王座を奪い返そうとしない川田を一喝。しかし、よく考えると「1・4ドームで奪い返したい」等、川田は再三挑戦表明をしてきたはず。しかし肝心の王者・武藤には「え?そうだったの? 全然知らなかった…」と、ちっとも通じていないのであった。

10/30

【IWAジャパン】
新宿・ホストクラブ『愛』

現役ホスト松野行秀がプロレス・デビュー!?

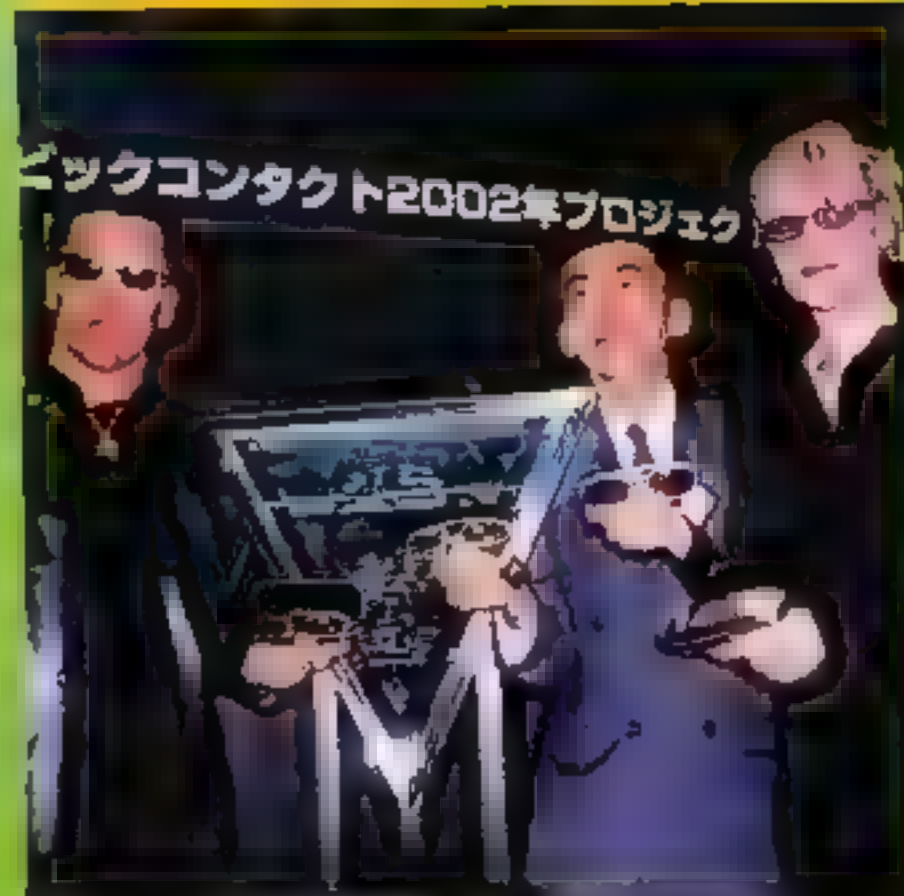
一昔前に各局ワイドショーで沢田亜矢子との泥沼離婚劇を繰り広げた松野行秀氏が、突如プロレスデビューするという怪情報が舞い込み、この日記者会見が開かれた。会見は現在、松野氏が務めているホストクラブで行われ、内容としては、松野氏がタイガー・ジェット・シンのマネージャーをするというものだったのだが、見てみい、この絵面! ちなみに、松野氏のリング・ネームは『ゴージャス松野』。4日に行われたIWAの試合で見事マネージャー・デビューし、一宮に平手を張るなどハッスルしたが、きっちり失神KOされたとさ。

10/28

【新日本プロレス】
福岡国際センター

[illegible]

1・4、東京ドーム大会で行われる巴戦(小川、藤田が参加)の最後出場者を決めるトーナメントがこの日に行われ、決勝で「正直、大変身!」こと、佐々木健介がケサ固めで永田裕志を下し、見事地元で巴戦に参加する権利を勝ち取った。「勝ったぞ! 1・4、小川待ってろ! それともうひとつ、藤田逃げるな!」と、至極わかりやすいマイクアピールをみせた健介は、巴戦への秘策としてSTK(スペース・トルネード・健介)を用意してるとのこと。1・4でアリゾナ修行の集大成を見せる。ていうか、モロにパクっちゃいましたね…。

10/26

【アリストトリスト】
ビックカメラ有楽町店

蝶野にビッグなパートナー

プロレスのリング上では、テンコジや焼き肉屋ヒロなどの裏切りにあい、パートナーを失っていっている蝶野であるが、サイドビジネスでは文字通りビッグなパートナーを得ることに成功した。マルティナ夫人が社長を務める蝶野ブランド「アリストトリスト」とビックカメラグループのビックコンタクトの業務提携が成立。今後、ビックコンタクト5店舗でアリストトリストのサングラスが独占販売されることになった。これについて蝶野は「いまT2000には230センチコンビっていうビッグなメンバーがいるけど、リング外でもビックコンタクトさんとコンビを組んで、ビックビックで売っていこうと思います」と蝶野ギャグでコメントを出した。

11/2

【新日本プロレス】
横浜文化体育館

木戸引退興行でアントンが木戸番

"いぶし銀"木戸修がこの日、33年間のマット生活にピリオドを打った。引退試合では、長州と組んで木村・ドラゴン組に挑み、往年の木戸ムーブ(キド蹴り、キドクラッチ、ワキ固め、足で額をチョンパってする技等)を炸裂。さらには、ドラゴン相手に掟破りの逆ドラゴン・スクリューまで披露し、見事ファンを木戸ワールドに誘い込んで有終の美を飾った。また、猪木が成田会見で発言した「木戸の木戸番でもやろうか?」というアントン駄洒落を本当に決行。その日の会場で実際に木戸番(チケットのモギリ)を約15分間やってのけ、ファンを喜ばせた。当のアントンは「これで少しは売り上げも伸びたでしょう。ムフフフフ」とご満悦でした。

【新日本プロレス】

[illegible]

10・8ドームでのオーちゃんのアピール以来、1・4ドームでの巴戦に頑なにこだわるドラゴン。しかし、藤田が早々とボイコット宣言、さらにオーちゃんは「巴戦なんかにこだわってねえ」健介は「小川を倒す」と、各自が巴戦を無視してバラバラなことを宣言。またしてもドラゴンプランがいつものように反古にされかかったが、ドラゴンは「一度、発表した以上は必ず開催する。基本方針は変えない」と毅然と言い放った。そして代案として「藤田の代わりに永田が出てもいい」とメンバー変更も示唆。でも、そうなるとトーナメントで勝ち上がった健介の立場は?

【UFO】

[illegible]

10・28福岡でトーナメントを勝ち上がり、1・4での巴戦出場権を得た佐々木健介に対し、小川直也が、眼中になしとばかりに痛烈にコキおろした。「頭を剃って強くなるなら、俺も頭の皮をはぐ。そういう理屈なら、頭の中が透けて見えるキカイダーが一番強いってことだな」「STK(スペース・トルネード・ケンスケ)を開発した? 猿マネはやめろ。頭剃ったら猿になったの?」と言いたい放題。しかし相変わらず巴戦をボイコットする藤田に対しては、「本人が出たくないならそれでいい。巴戦にこだわってるわけじゃないから、俺と佐々木のシングルでいいよ」と一転して、健介とのシングル戦に目を輝かした。暴走王の真の狙いは一体なんだ?

10/27

【新日本プロレス】

[illegible]

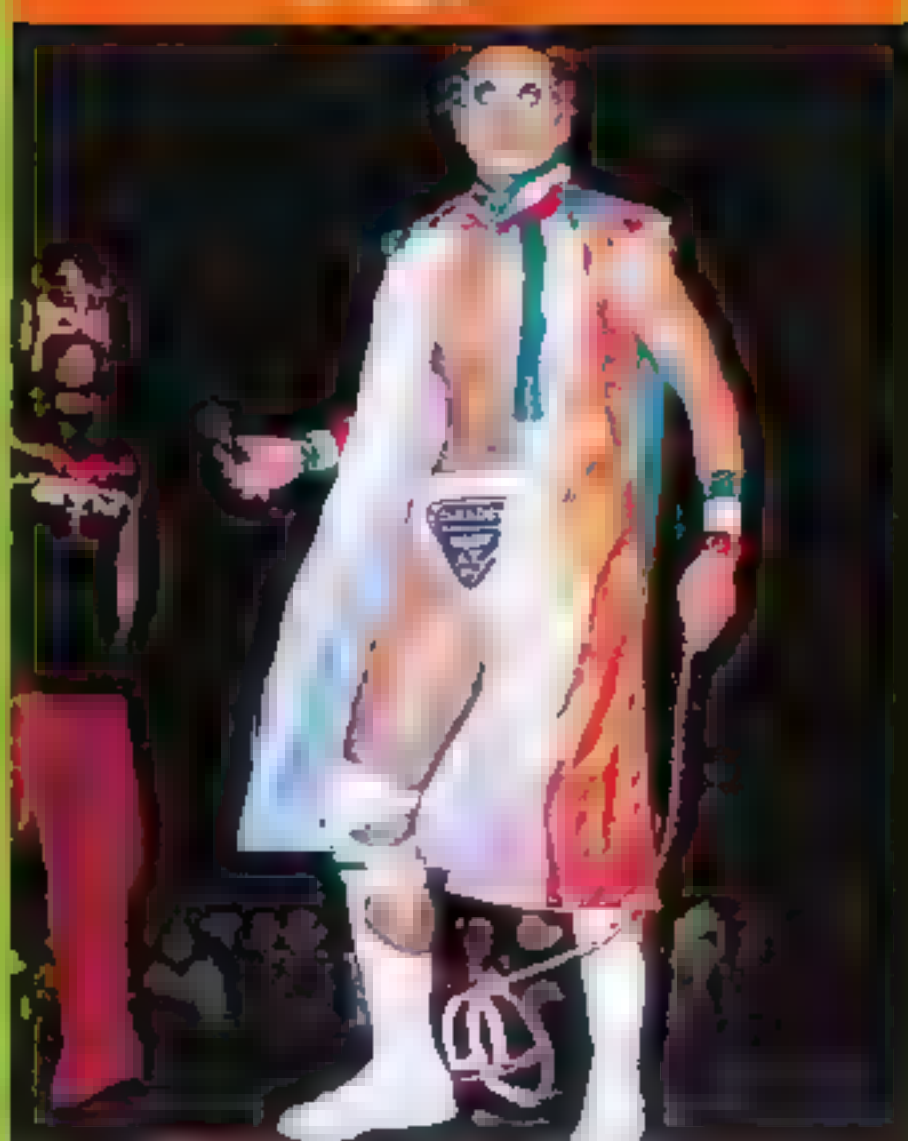
武藤&ケア組とのIWGP・世界タッグのダブルタイトル戦が決定しただけで、「世界タッグを取れば武藤の3冠まで手が届く。そうなれば全日本マットに上がれる」と得意の皮算用を披露し勝手な妄想をブチかましていたドラゴンだが、いざ試合となると大方の予想通り完敗で、あっさり1ヶ月で王座から転落した。しかし、最近すっかりずうずうしくなったドラゴンはそんなことじゃへこたれない。「今度は三冠に挑戦したい」「チャンスがあればもう1回やりたいね」と、自分の年齢も省みず、さらなる勝手な自己の私利私欲を垂れ流していた。

11/15

【新日本プロレス】

ドラゴン、またしても三冠獲得皮算用

12・11新日本大阪大会で行われる武藤の三冠戦の挑戦者に「藤波だったら確実に防衛できる保証があるから」という素晴らしい理由で指名されたドラゴンが、持ち前のコンニャクぶりをいかんなく発揮して、この日も煮え切らない態度に終始。それどころか「(3冠挑戦を) 先に長州に譲って、後でおれが勝った方に挑戦するってのもいい」なんていう勝手な理由で、左ふくらはぎ肉離れで全治2ヶ月の長州に挑戦権を譲ろうとしたりと不可解なドラゴンぶりを全開。さらに「万が一おれが3冠を取れば、迷わず我々の世代でベルトを回し合う」と恐怖の予告をするなど、呪いの呪術師らしいところもみせていた。

11/13

【T2P】後楽園ホール

六角形リング、ルチャクラシカ初公開！

メキシコ闘龍門から派生した第2の団体「T2P」が満を持して、旗揚げ戦を行った。この「T2P」は、闘龍門第5期生、6期生が中心となった新団体。闘龍門ジャパンとはひと味違い、メキシコのプロレス・ルチャリブレの関節技&ストレッチ技を主体にした「ルチャリブレ・クラシカ」が試合スタイル。エースのミラノコレクションATを始めとして全選手が、見たこともない新技を披露。六角形のリングと共にリング上での闘いでも観客を驚かせた。いま、プロレス界では一番元気のある団体・闘龍門の頭脳、ウルティモ・ドラゴンの仕掛けは完全に成功したようだ。

11/11

歌舞伎町で狂い咲き！ 葛西純イベント大盛況

11月11日とイチ並びで何だか縁起が良さげな日曜日。トークショーのメッカ・新宿歌舞伎町にあるロフトプラスワンで、12月2日横アリでビッグマッチを控える大日本プロレス・葛西純イベントが開催された。もちろん、この日のギャラはバナナ。大好物とはいえバナナに釣られてヒラデルヒアくんだりから飛んでくるんだから、たいしたもの。有料トークショーにもかかわらず会場は立ち見も出るほどの大盛況。お店では特製のバナナカクテルまで用意するほどの力のいれようだったが、ステージ上で「飲み物は何にしますか？」と尋ねられた葛西は「バナナカクテルもいいんだけどよぉ、ゴリッチュくれ！よ、ゴリッチュ！」。いつの間にか、猿からゴリラへと進化を遂げていた葛西だった。

11/6

【DEEP2001】

DEEPにも程があるでしょ？

この日、「DEEP2001 "3rd IMPACT"」(12月23日・ディファ有明)の記者会見が行われ、全カード及び大会詳細を発表をした。それにしても、ヤノタクがセミというだけで十分DEEPなのだが、ドスJrの今回の相手が太刀光ってところがイヤって程DEEPな雰囲気を醸し出している。しかし、最もDEEPなのが豪華（?）ラウンドガール陣。キューティー、くどめ、府川というその筋にはタマラナイ(シッシー調)ラインナップで、しかも、衣装はクリスマス・バージョン！ DEEPな格闘技ファン以外にもDEEPな人種が集まるのは必至だ！

番外

総合格闘義塾G-スクエア

世界のTK、小田原でも教えますよ。

12・21、リングス・横浜大会でヴォルク・アターエフと対戦が決まっているTKが、この日自身のクラスが出来た小田原の格闘技教室に出張。クラス生に対し熱心な指導を展開した。この日TKは、小田原まで来た開放感からか「相手次第では、来年他団体に出ます」と衝撃的な発言をぶっ放した。しかし、12・21の相手であるアターエフについては、「(ルールが変わって)打撃に有利になるのは間違いないですね。(アターエフは)ハッキリ言って分かんないです」と消極的発言に終始した。

【問い合わせ】
総合格闘義塾G-スクエア
03-3280-5557

11/14

【怪獣王国】

佐竹国王、高田を擁護

ミルコ戦の闘いぶりに各所から非難轟々の高田に援軍！ 怪獣王国国王・佐竹雅昭が、件の高田を擁護する発言をした。「ケガがなかったら勝っていた。ああいう状態になってマウントに行かなかったミルコには"チキン"という資格はない」「バッシングは逆にオイシイ。叩かれながらはい上がるのが本当のプロ」と、自身の「PRIDE」での立場を考えると"諸刃の剣"とも言えなくもない形で高田を弁護。また佐竹は、「呼ばれたら一皮剥けた佐竹雅昭を見て欲しい」と猪木祭参戦アピールした。一皮剥けた佐竹を一回見てみたい気もするが…。

11/13

【新日本プロレス】

なぜだ？ 武藤、三冠挑戦者にドラゴン指名！

6冠王者として、年間MVPが確実視されている武藤が、今年最後の試合となる12・11新日大阪大会で、三冠防衛戦を行うと宣言。その挑戦者になんと、よりによってドラゴンを指名した！ もちろん防衛戦を行うには全日本の承諾が必要だが、「藤波なら確実に防衛できる保証があるかあるから、全日本も簡単にOKするだろう」という理由でノー問題。しかし、肝心のドラゴンは「このまま挑戦したら、今年は武藤で始まって武藤で終わっちゃう気がする」との不可解な理由で、挑戦を保留。武藤で始まり武藤で終わっても、ドラゴンの「殺し合いじゃない」で始まり、ドラゴンの三冠戦で終わる年より遙かにいいと思うが。

11/8

【UNW@クローズしました】

鳩山由紀夫&"悲しき天才"電撃合体!?

デルタ航空のエコノミークラス・トーチャーラックによる左足神経機能不全症に見舞われた"悲しき天才"セッド・ジニアス。デルタ航空側に日本語で対応してもらえず、日本で取れない診断書を要求され、毎日夜中に国際電話がガンガン…。そんな"悲しき天才"に強力な助っ人が現れた。民主党党首・鳩山由紀夫である。「デルタ航空が外資系企業として日本に進出している以上、日本社会に対応する義務があるはずです。無法地帯になっており泣き寝入りした日本人が沢山いるはずです。日本人の為に国としてしっかりとした行政指導をして下さい」と鳩山氏に要求!? どうする鳩山!? どうする日本国!? JALの船で行けというのか!?

嫌いなテーマ曲でも1位、『紙プロ』認定ベストガウンと見事3冠に輝いた佐々木健介さん

前号アンケート「今年の名言」

“正直、スマン”ブッチギリでトップ!

健介3冠記念 読者プレゼント

前号の「今年の名言アンケート」は来月号で大発表!
それまで受け付けるのでステキな名言を送ってくれ!

ノゲイラ爆勝記念!

FRONT

NOGUEIRA

BACK

BRAZILIAN TOP TEAM

1

**ノゲイラ&スペーヒーサイン入り
フラシリアン・トッフチームTシャツ**
PRIDE 制圧! 破竹の勢いのフラジリアン・トップチームTシャツにノゲイラとスペ ヒ ーかサインが入ってプレゼントだ! これは三角締めて失神するほどのモノだ! 【ノゲイラさん、25歳 提供】

2

**ノゲイラ・リンクス時代
テーマ曲入り目覚まし時計**
伝説なっているリングス時代のノゲイラのテーマ曲「バスゴ・ダ・ガマ」が帰ってくる! PRIDE でも使用されるのを熱望されながらもノゲイラかなくしてしまったあの名曲を編集部が極秘ルートでゲット! 目覚まし時計に録音してプレゼントするぞ! これで寝起きが良くなること間違いなし! 【編集部提供】

歴史に残る写真集!

見てみい! このショット! 488ページで脳髄に直撃だ!

5

大乱闘
見てみい、このショット! プロレスを扱った写真集では最高のものといってもいい出来映えだ! キャットファイトの絵もたまらないぞ 488ページにも及ぶハードカバー、じっくり堪能しろ! 【タッシェン提供】
●お問い合わせ
洋販TEL.03-3208-0183

花くま先生オリジナルTシャツ

3

一番星★GRAPPLING
本紙「リングの汁」でおなじみの花くまゆうさく先生のオリジナルTシャツが完成したぞ! これは絶対手に入れるナリ!
【花くまゆうさく提供】

キング・オブ・スポーツグッズ

3

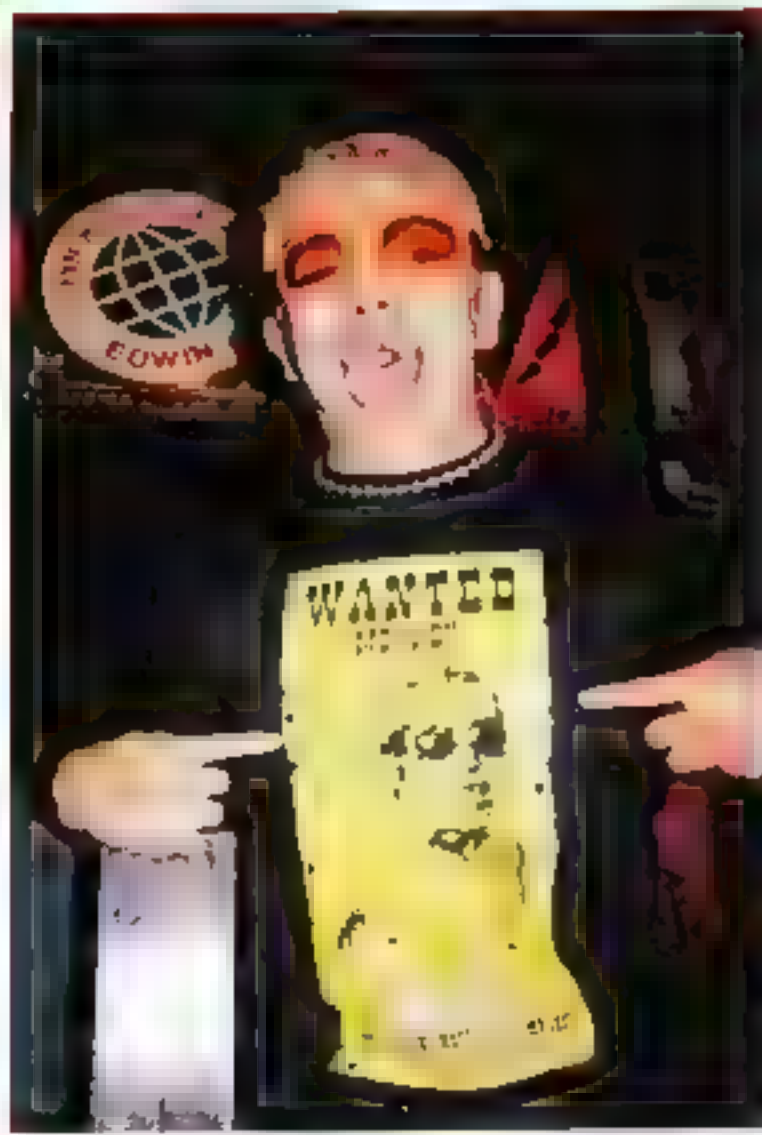
闘魂タイピンク列伝 迷わす打てよ
武藤、蝶野、長州ら名勝負が再現ムービーが流れる中、タイピングか学べるキング・オブ・タイピングソフト! ヤクザ・キックな打ち方をマスターしろ!
【アド・リンク提供】

3

**アントニオ猪木
サウント・マネーハンク&ストラップ**
「オレはヒンタ人!」とは叫ばないが、おなじみの「1、2、3、ダー ハ」が十分に聞ける貯金箱! 現金があれば声が聞ける! ストラップも付けてセットで!
【コミュニケーションプランニング提供】

お問い合わせTEL.03-3358-5777
サウンドバンク¥3980 ストラップ¥1000

横浜アリーナ進出記念

1名

葛西純 限定Tシャツ

植地毅がデザインした50枚しか作られてない限定Tシャツ！ 何が何でも手に入れろ！ 【植地毅提供】

きっとデルフィンが好きになる！

1名

テルフィンTシャツ　えっぺさんTシャツ　くいしんほう仮面Tシャツ

大阪プロレスのオフィシャルTシャツが西の地より見参！ 東京モノとの差をつけろ！ 【雪崩式提供】

●URL http://hullsreed to/nadareshiki

ロックマニア必見！

3名

ハナブトラ2Tシャツ

あのロック様が出演した大ヒット映画「ハナブトラ2/黄金のピラミッド」のビデオ・DVD発売を記念してTシャツをプレゼント！ さあ、ロック様の妙技を味わいな！

【ソニー・ピクチャーズ エンターテインメント提供】

12月21日リリース　DVD¥3,980/ビデオ¥16,000

時は来た!!

1名

真撃大阪決戦を控え、「バトルブレイス」の真撃グッズが進撃だ！ 新日本や他団体のグッズも扱う北千住店では一部を除く商品がなんと半額セール！ これは進撃するしかない！ お台場店にも行け！ 【バトルブレイス提供】

●お問い合わせ

北千住店TEL.03-3881-7770

お台場店TEL.03-3599-8743

破壊王顔面Tシャツ

ノアテーマアルバム

2名

ノアテーマ曲CD

ノアのテーマ曲アルバムが秋山の新テーマ曲と泉田のテーマが追加されて登場だ！ ノアマニアはショップに走れ！

【バップ提供】

まだまだ！ もう一丁！

高田、サクの写真集、スパーリング風景を収めたDVD、そして限定Tシャツがセットになった特別限定ボックス！ またまた、もう一丁と思わせる公認グッズ！ 【フォーフリック提供】

●お問い合わせ　www so-net.ne.jp/pride/　www.takada-dojo.com

2名

高田道場に来年はあるのか!?　サクの復帰、高田のもう一丁をこれで指折り数えて待つんだ！

【高田道場提供】

TEL 03-5749-5030

オマエはトラになれ！

1名

タイガーキング　**タイガーマスクグアテーラ**

E-FORCE JAPANは大和魂だけではあらず！ タイガーTシャツも最高だ！ 吠えまくれ！

【E-FORCE JAPAN提供】

●お問い合わせ

TEL.047-378-6400

ジェット・シン来日記念

10名

IWA偽造手形

ビデオ発売される「IWAレッツゴー2001」VOL 5〜7を予約するともらえる偽造手形！ 世界中に貼りまくれ！

【IWA・JAPAN提供】

●ビデオ販売のお問い合わせ

TEL.03-3352-3366

vs猪木軍団目前！

2名

プレイステーション2「K-1 WORLD GRAND PRIX 2001」

K-1ファイターが総勢18名登場！画面狭しと暴れ回る！ もちろん、寝っころがるやつなんていないのでミルコも安心なゲームだ 【コナミ提供】

12月6日発売予定

応募要項

❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名
❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼今年のベスト&ワーストレスラーは誰ですか？

【宛先】

151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）タフルクロス
紙プロRADICAL 編集部
打倒ヒクソン 係まで

締切は2001年12月18日（火）当日消印有効

ビデオ・DVDはヴァリスにまかせろ！

3名

新日本プロレス 激闘、感動の名勝負BEST50パート1&2

1991年から1996年までのベストバウトを50試合も収録したたまらないセット！ これは徹夜で見るしかないぞ！

武藤敬司&グレート・ムタ13年間の軌跡

武藤敬司の13年間を振り返る不吉な一本だが、内容はもちろんLOVEに包まれているぞ！ 天才を振り返れ！

龍魂 藤波ドラゴン伝説

「紙プロ」読者待望の特集ビデオ。キミはまだ本当のドラゴンを知らない！ しっかりドラゴンムーブを研究だ！

【ヴァリス提供】

●お問い合わせTEL.03-5351-5181

!! コンニチワ、リングアフロ!!

紙プロ旗揚げ10周年だけに、10要なお知らせです!
……くだらねぇな、これは!!

約8年半前、まだ版型がちっちゃい頃の「紙プロ」本誌に、突如シンボルキャラとして登場した「リングおじさん」。まだ、花くまゆうさく先生が工場に勤めながら漫画を描いていた時代の作品だ

そしていまや花くま先生も売れっ子となり、柔術漫画家となった。シンボルキャラも世代交代! これからマット界を支えていくのは「リングアフロ」だ 若くてイキがいい(?)のが取り柄です

Kapraパーカー
Kapra
チャコールグレー
¥6,000
[サイズ] M or L

朗　報!!

衣料部発足3周年を記念して「リング・アフロ」「Kapra」お買い上げの方全員に紙プロオリジナル特製缶バッジ(非売品)を差し上げます(初回製造枚数のみ。6種類のうちいずれか1個。申し訳ないけど選択不可です。お楽しみに)。
※通販方法は、P161を参照して下さい。

巷で評判の「紙プロ」特製ピンバッジ(非売品)を、P158～159に掲載の「リングアフロ」or「kapra」のTシャツorパーカーお買いあげの人にプレゼント とうよ?

リングアフロ満を持してデビュー!!

「1991年旗揚げ以来、お陰様で『紙プロ』発足10周年&RADICAL創刊5周年を迎えることが出来ました。これも皆様のおかげで～す。ありがとうございま～す。へ、へ、へ、へ～ックション!!」(カトちゃん風)

10周年? 私個人としては、「勝手に10年も経っちゃって、歳が増えた、皺が増えた、脂肪も増えた、オマケに借金も増えた。増えた増えたの四重奏だけじゃ～ん!」と100回くらい吠えたい気分で～す。ダメだこりゃ(いかりや長介風)

ついでに地味ながら衣料部も、〈誰も気付いてない〉3周年を迎えちゃいました。「良く頑張ました。花○」と自分で自分を誉めてあげたいで～す。

そもそも衣料部などを始めるハメになっちゃったのは、何年か前に我らが鬼畜編集長(山口日昇)に「し、資金繰りが苦しいんじゃぁ～」という話題をしちゃった時に、「経理なんて鼻くそにもならないことやってないで、自分で生産性のある仕事しろ!」と、一刀両断されたことが始まりでした。ブブウ～(白豚風)。

生産性? 経理の仕事は生産性ないの? 「全国、いや世界の経理の仕事に携わっているみなさ～ん、聞いてくださ～い。この人こんなこと言うんですよ～ん」と、また吠えたくなっちゃいました。ブップー(黒豚風)。

そこでヘックションは考えました。生産性=現金収入=なぜかTシャツ。

衣料部の誕生です。コレがけっこう評判で、無事3周年を迎えるわけで～す。

いつだったかスモーノブが、口をポカンと空けて「たまには、給料袋が立つぐらい給料をもらいたい」とふざけたことを言ったので、給料日に全部500円玉(通販の送料)で渡して、「立つでしょ! 末広がりに― 重いでしょ?」と言ってやりまし

サヨウナラ、リングおじさん!!

リングアフロデビュー作品だ!! 紙のプロレス 旗揚げ10周年限定記念Tシャツ

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ

グレー×ブラック

¥4,500 [サイズ] S or M or L

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ

ブラック×グレー

¥3,800 [サイズ] S or M or L

2002年もパロリスト!! 紙のプロレス 創刊5周年記念Tシャツ&パーカー

Kapra半袖Tシャツ

ホワイト

¥3,500

[サイズ] S or M or L

Kapra半袖Tシャツ

グレー

¥3,500

[サイズ] S or M or L

Kapra半袖Tシャツ

デニム

¥3,500

[サイズ] S or M or L

た。

そんなスモーも退社して半年になりますが、いまもなぜか会社帰りに来て、口をポカンと空けて、ホワイトシャツにネクタイ、下はジャージ姿で編集作業をしています。またお手伝い料（ギャラ＝もちろん500円玉）を渡す楽しみが増えちゃいました。

そんな訳でもうしばらく、いま時原始的な、現金書留による通販につきあってくださいませませ。

話は変わりますが、事件が起きました。小さな版型のころの『紙プロ』第6号から『シンボルマークとして活躍してくれた『リングおじさん』が「引退したい」とつい先日言い出したのです。

突然、私の目の前に現れてリングをリフトアップして、「マット界の底上げを一緒にしよう！」と言った、リングおじさんとの約8年半前の出会いが思い出されます。

引退の理由は「もう俺の役割は終わった。紙プロも大きくなった。だから闘うリングも重くなった。これからは『リングアフロ』がそのリングを支えるんだ」と言うのです。

ところで「リングおじさんは何処へ行っちゃうの？」と聞くと、「世界一周闘いの旅へ出る」と言うのです。そしてこんなメッセージを最後にくれました。

『最初は背中を向けていても、闘うときは、地球を一周してでも相手と向き合って、正々堂々闘うんだ』

ありがとう、リングおじさん！　こんにちわ、リングアフロ！

そんなリングおじさん最後の思いを込めたのと、『紙プロ』発足10周年&RADICAL創刊5周年を記念して、新作Tシャツ&パーカーを発売します。

これからマット界を支える役割を背負わされた『リングアフロ』は、まだまだ若くて頼りないですが、みなさんぜひ可愛がってくださ〜い。衣料部もガンバリマ〜ス。へ、へ、へ、へ〜ックション!!（ダメだ、こりゃ）

林〝ヘックション〟一枝

18年の時を経て クイック・キック・リー 復活!!

Tシャツ発売記念! 日明兄さんがサイン会!

【日時】12月8日(土) 【場所】グレート・アントニオ
【参加方法】当日にグレート・アントニオ(11:00開店)でクイック・キック・リーTシャツ・パーカー、12月21日リングス横浜文化体育館大会のチケットなど、いずれかを買われた方。
【お問い合わせ】グレート・アントニオ TEL.03-3219-9550

日明兄さんサイズなため世界で2枚しかない(1枚は日明兄さん所有)サイン入りTシャツは、「紙プロ」10周年イベントでゲットできるぞ!ほしいやつは来い

「紙プロ」がおくる リングスグッズシリーズ第2弾

完成予想図

Front

Back

OH! クイック! 限定パーカーも完成!

KWIK KIK LEE

クイック・キック・リー パーカー ¥6.500
[サイズ] M or L

© RINGS CO.,LTD TOUR DIRECTOR/DOUBLE CROSS INC.LEAD BUS DRIVER/GREAT ANTONIO

[イエロー] Front / Back

[ホワイト] Front / Back

KWIK KIK LEE

KWIK KIK LEE U.K. TOUR

クイック・キック・リーTシャツ ¥3.800
[サイズ] XS orS or M or L

★クイック・キック・リーTシャツは「紙プロ」通販、リングス会場、グレート・アントニオで購入できます。通販方法はとなりのページを参照してください

No.44
2001年12月25日発行

No.45は12月20日発売予定!

※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

●編集兼発行人
山口日昇

●編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
斉藤ゲロちゃん
八木賢太郎

●スーパーバイザー
吉田豪

●スーパー助っ人
スモーノブ

●助っ人
中村カタブツ君
佐藤耳男
木村滲子

●アートディレクター
出田さん(TwoThree)

●デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
ヴッチー
タニやん(以上TwoThree)
トメさん
はなえちゃん(以上さおとめの事務所)
海老沢勇(Zero graphics)
石田理恵

●出前
出前持ち入江(TwoThree)

●カメラマン
斉藤ユーリ
森廣博
遠藤政文
戸﨑義則
松本敬
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫

●試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

●ふされ気味
ジャイ子

●お勘定&衣料部
林"ヘックション"一枝

●フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所

●印刷
図書印刷株式会社

●印刷人
大杉すぎすぎ晶也

発売元●株式会社ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地 TEL.03-3357-2911(販売・営業)
発行元●株式会社ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 TEL.03-3403-5188(編集・制作)

「田村は『UWF、UWF』って言うけど
UWFとは何かがわかってないんだよ」

田村潔司さんでもわからないUWFがよくわかる? 1文字違いのこのTシャツ!?

大好評! U.M.F. Tシャツシリーズ

U.M.F. トリムシャツ（白×黒）
¥3,000 S or M or L

陰謀によってマット界に生まれた純粋で真っ白な軍団UWF! そんな思いをTシャツにしてみたぞ!

U.M.F. トリムシャツ（白×青）
¥3,800 S or M or L

ああ、オレたちはまたまた青かった そんな挫折を決して忘れることなく残した一枚だ!

U.M.F. Tシャツ（黒×黄）
¥3,800 S or M or L

会場でのレーザー光線がまぶしかったオレたちのUWF! あの輝きがTシャツになって再現!

紙のプロレスRADICAL おもいっきりロゴT
¥3,800 S or M or L

21世紀を記念して作られた「紙プロ」ゆかりの関係者がロゴで総登場Tシャツ!! 背中で語れ!

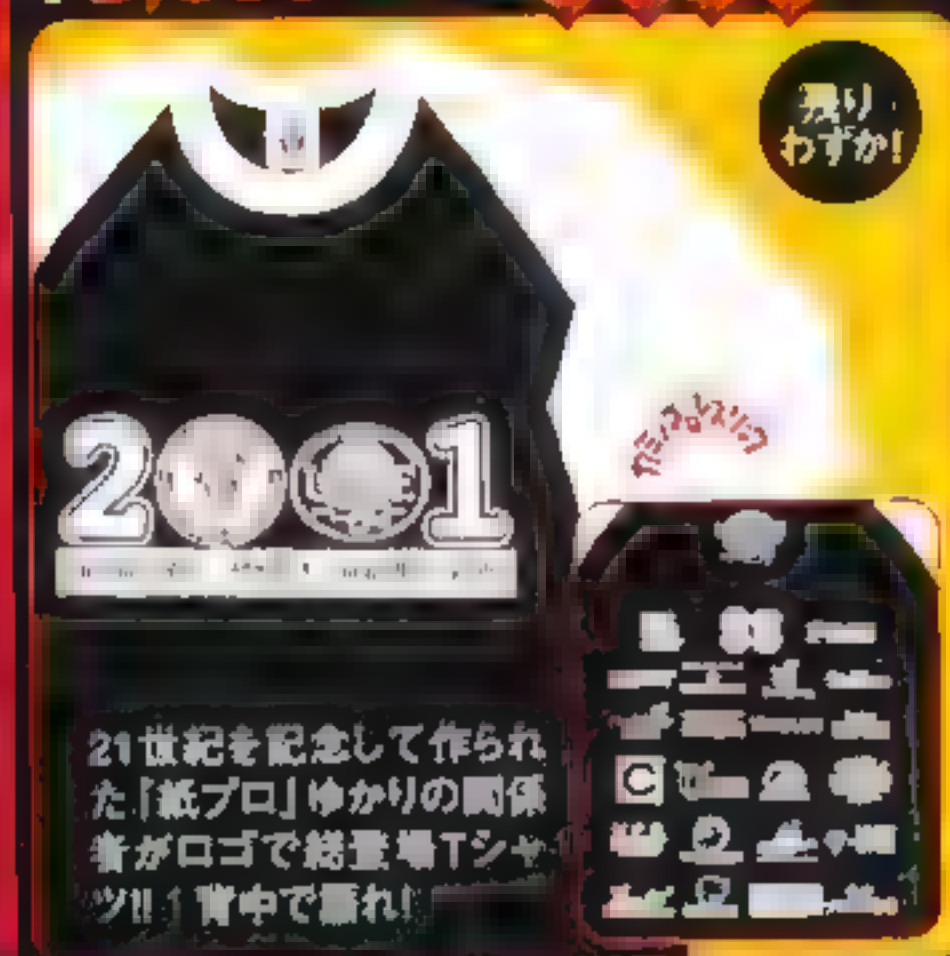
SS Tシャツ半ソデ（赤）
¥3,500 S or M or L

熱いヤツには赤のSS Tシャツがよく似合う! それでは皆さん、KING OF MAGAJINEを背負いますかーッ

SS Tシャツ半ソデ（紺）
¥3,500 S or M or L

Tシャツの売り上げなんて勘定してんしゃねえよ! それほど売れてる、おなじみSS Tシャツだ!

紙プロネックピース
¥1,200 → 大特価¥600

大特価で人気集中! ネックピースを掛けた俺のクビをカッ切ってみろッ、この野郎!

リングおじさんパーカー（黒）
¥6,000 M or L

リングおじさんパーカーは永遠に不滅です!」復刻しても大人気のこのパーカーで冬を乗り切れ!

リングおじさんパーカー（黒×白）
¥6,000 M or L

クラス全員がこのパーカーを着て登校しているという噂も続出! バックのロゴが決め手だ!

通販方法

希望商品の代金＋送料￥500（何枚でも可・ネックピースだけなら￥300）を郵便振替か現金書留で下記の住所まで送るんだ! 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーを明記）を必ず表記してください! 記入しないと商品が発送できません。隣のページのTシャツお申込みもOK!

■郵便振替の宛先
00130-3-769154

■現金書留
(株)ダブルクロス
〒151-0051
東京都渋谷区
千駄ケ谷3-11-3-702

【「紙プロ」ウェア常備ショップ】★チャンピオン東京（TEL.03-3221-6237)★チャンピオン大阪（TEL.06-6645-5186）★岐阜・バンザイ商会（TEL.0584-75-4966）★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160）★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551）★グレート・アントニオ（TEL.03-3219-9550）★大阪・バディスラム（TEL.06-6645-1378）

INDEX

全日本プロレス ➡03-3403-7344
〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12

プロレスリング・ノア ➡03-3527-5311
〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25

新日本プロレス ➡03-5468-3111
〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11

FMW ➡03-5496-0671
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-15　タウィンチ下目黒6F

リングス ➡03-3461-0257
〒150-0036 東京都渋谷区南平台13-1　サトウヒル202

WAR ➡03-5477-0461
〒154-0015 東京都世田谷区桜新町1-14-23　萬豊ビル2F

みちのくプロレス ➡019-626-1333
〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8

SPWF ➡03-3814-6371
〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4　クロサキビル

パンクラス ➡03-5792-0815
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25

IWAジャパン ➡03-3352-3366
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1　四谷サンハイツ401

大日本プロレス ➡045-937-0811
〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347

バトラーツ ➡0489-63-0005
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43

DDT ➡03-3356-8493
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-18 オリエンタル千駄ヶ谷102プリントオフィス内

髙田道場 ➡03-5749-5030
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6　ワールドパレス武蔵小山1F-B1

UFO ➡03-5447-2121
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5　OK白金台ビル7F

大阪プロレス ➡06-6243-5131
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3-1-7　日宝東心斎橋ビル301

闘龍門JAPAN ➡078-333-9797
〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8　TOWA元町ビル901

ダイプロデュース(大仁田興行) ➡03-5496-4900
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3　大北ビル3F

ZERO-ONE ➡03-5730-3401
〒105-0014 東京都港区芝2-30-11

掣圏道 ➡03-5456-7333
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14　恵比寿スカイハイツ607

レッスル夢ファクトリー ➡03-5828-8494
〒165-0032 東京都中野区鷺宮5-15-11

キングダム・エルガイツ ➡0423-31-2797
〒206-0822東京都稲城市坂浜2305

キャプチャー ➡044-959-3333
〒215-0011神奈川県川崎市麻生区百合丘2-2-1　横山ビルB1

国際プロレス ➡0467-86-0197
〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14

高山堂 ➡03-3386-3324
〒161-0032 東京都新宿区中落合2-12-23-602

つぼプロモーション ➡03-3498-4710
〒107-0062 東京都港区南青山6-15-1　アパルトマン青山2F-E

華☆激 ➡092-522-1901
〒810-0022 福岡市中央区薬院4-8-29　エステートピア薬院302

喧嘩プロレス二瓶組 ➡044-588-2438
〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2　二瓶ビル

ZIPANG ➡03-3312-0328
〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21　ハイネス梅里201

T.A.M.A ➡042-572-6795
〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5

CMLL・JAPAN ➡075-601-7816
〒612-8221 京都府京都市伏見区禅正町151

UNW ➡03-3362-3014
〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-5-311

栗栖ジム ➡06-6790-8896
〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7

ドリームステージエンターテインメント ➡03-5775-5700
〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4　ルーメリ赤坂103

K－1事務局 ➡03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14

修斗コミッション ➡03-5725-7338
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-2-10　エビスユニオンビル202サステイン

GCM COMUNICATION (和術慧舟會, A'GYM, RJW, ➡03-3538-5801
〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10　松楠ビル9F

DEEP 2001事務局 ➡052-339-0303
〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F

怪獣王国 ➡03-5952-1177
〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F

コロシアム事務局 ➡03-5473-3148
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12　テレビ東京事業部内

全日本女子プロレス ➡03-3493-6541
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17

JWP ➡03-3839-4161
〒110-0005 東京都台東区上野1-15-10　大秀ビル502

LLPW ➡03-3945-7926
〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4　ピクセル文京105

GAEA JAPAN ➡03-3795-2555
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂5-15-3　COVAMOC BUILDING 2F

Jd' ➡03-5561-0522
〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4　ランディック赤坂ビル4F

アルシオン ➡03-5720-5217
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-7-1　代官山島田ビル3F

NEO ➡044-422-8344
〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102

エヌ・イー・オー ➡03-3796-7461
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-19-13　ドミシール平野503

武藤がBATTなら

俺は……

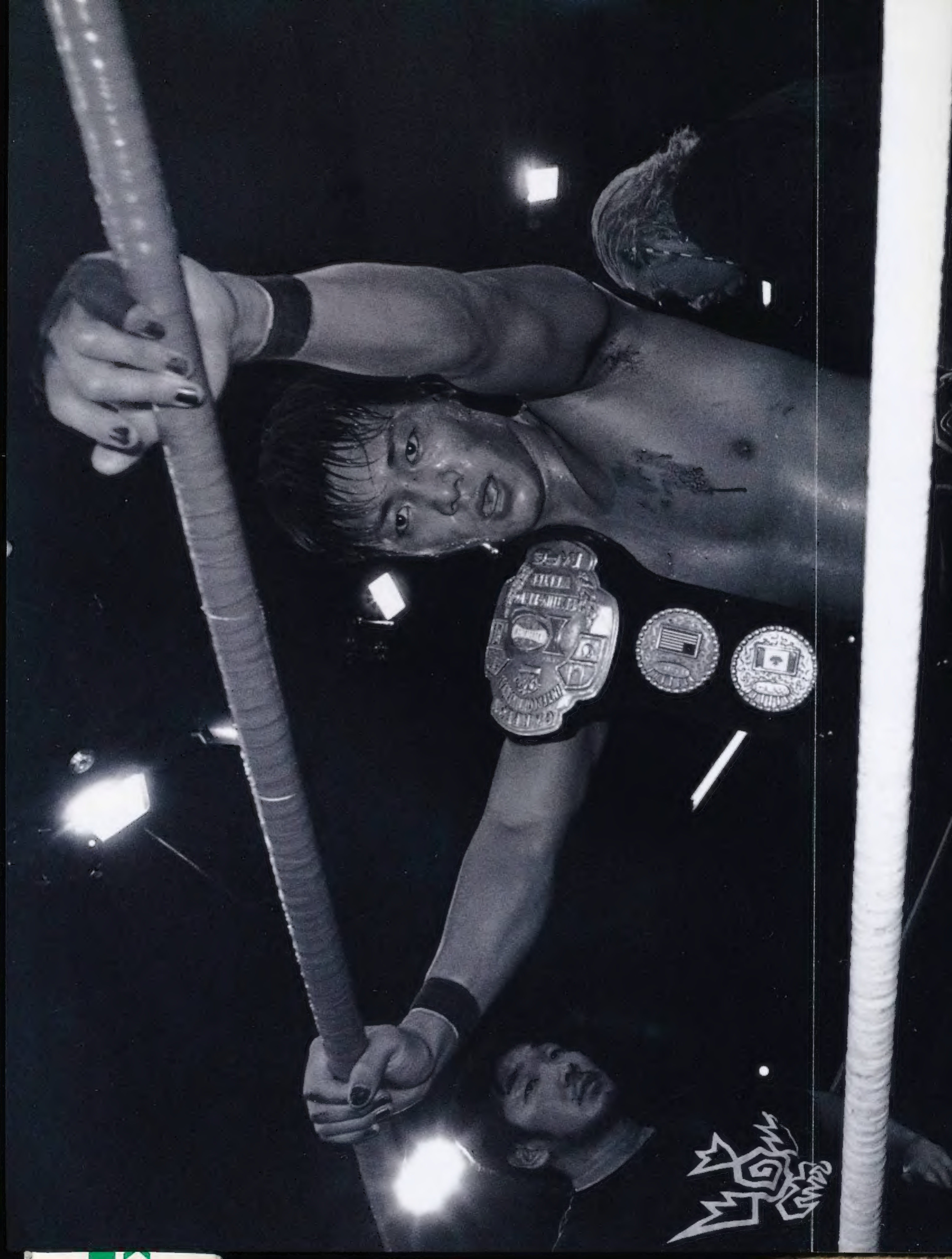
バットマンや！

CIMA "NOBUNAGA" IN MEXICO

闘龍門突然大特集記念ピンナップ 次号、CIMAが帰って来るでござる(?)

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇　♠ 松澤チョロ記者
◆ ガンツ堀江　◎ クレ斉藤

mber

新日本■広島・広島サンプラザ(18:30)
アルシオン■神奈川・平塚市総合体育館(18:30)

8 SAT.

K−1■東京・東京ドーム(17:00)
LLPW■佐賀・諸富町ハートフル(18:30)
GAEA■宮城・Zepp Sendai(18:00)
新日本■徳島市立体育館(18:30)
アルシオン■東京・後楽園ホール(18:30)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(18:00)
Jd'■大阪・大阪NGKホール(18:00)
闘龍門■愛知・豊橋市総合体育館サブアリーナ(18:30)

9 SUN.

ノア■東京・有明コロシアム(15:30)
GAEA■新潟・新潟フェイズ(17:00)
新日本■愛媛・テクノポート今治(15:00)
JWP■東京・ディファ有明(18:30)
アルシオン■埼玉・越谷市桂スタジオ(16:00)
FMW■東京・後楽園ホール(13:00)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(14:00)
大日本■神奈川・新川崎小倉陸橋下大会(13:00)
「真撃」■大阪・大阪城ホール(16:00)◎

10 WED.

闘龍門■東京・駒沢オリンピック公園屋内運動場(18:30)◆

11 TUE.

新日本■大阪・大阪府立体育館(18:00)

14 FRI.

IWA■東京・後楽園ホール(18:30)
GCM/THE CONTENDERS■東京・Zepp Tokyo(19:00)♠

15 SAT.

GAEA■神奈川・川崎市体育館(17:00)
アルシオン■愛知・愛知県体育館第2競技場(18:30)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(18:00)
闘龍門■広島・広島県立びんご運動公園(18:30)

16 SUN.

修斗■千葉・東京ベイNKホール(16:00)
LLPW■東京・後楽園ホール(12:30)
全女■神奈川・川崎市体育館(16:00)
大阪■東京・後楽園ホール(19:00)
アルシオン■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
みちのく■徳島・池田町総合体育館(16:00)
闘龍門■京都・KBSホール(18:00)

17 MON.

アルシオン■高知・高松市総合体育館(18:30)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(19:00)

18 TUE.

アルシオン■福岡・アクシオン福岡(18:30)
みちのく■愛知・東海市民体育館(18:30)

19 WED.

アルシオン■熊本・グランメッセ熊本(18:30)
みちのく■静岡・アクトシティ浜松展示イベントホール(19:00)

21 FRI.

FMW■東京・後楽園ホール(19:00)◆
リングス■神奈川・横浜文化体育館(19:00)☆
みちのく■新潟・新潟フェイズ(19:00)

22 SAT.

大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(18:00)
Jd'■宮城・メイファアプラザ仙台ワッセ(18:30)
みちのく■東京・後楽園ホール(18:30)
闘龍門■山口・海峡メッセ下関(18:30)

23 SUN.

全女■東京・全女事務所ガレージ(12:00)
DEEP■東京・ディファ有明(16:00)♠
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
DSE「PRIDE.18」■福岡・福岡マリンメッセ(16:00)★
アルシオン■東京・後楽園ホール(12:00)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(14:00)
みちのく■埼玉・桂スタジオ(14:00)
SGP■愛知・名古屋市中スポーツセンター第2競技場(17:30)
Jd'■東京・国際フォーラムB2F展示場ホール(11:15)
闘龍門■広島・広島市佐伯区スポーツセンター(16:00)

24 MON.

全女■東京・後楽園ホール(12:30)
GAEA■東京・後楽園ホール(18:30)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(14:00)
ノア■東京・ディファ有明(16:00)
闘龍門■和歌山・和歌山県立体育館(17:30)

31 MON.

猪木ボンバイエ■埼玉・さいたまスパーアリーナ(18:00)★

1 January

4 FRI.

新日本■東京・東京ドーム(16:00)

5 SAT.

LLPW■東京・後楽園ホール(12:30)
ノア■東京・ディファ有明(15:00)
FMW■大阪・大阪府立体育館第2競技場(16:00)

6 SUN.

アルシオン■東京・ディファ有明(18:30)
ノア■東京・ディファ有明(12:30)
FMW■東京・後楽園ホール(12:30)

7 MON.

JWP■東京・東京キネマ倶楽部(19:00)

8 TUE.

ノア■高知・高知県民体育館(18:30)

9 WED.

ノア■広島・広島市東区スポーツセンター(18:00)

10 THU.

ノア■福岡・博多スターレーン(18:30)

11 FRI.

NEO■東京・北沢タウンホール(19:00)

RADICAL CALENDAR

11 November

22 THU.

ノア■岡山・岡山武道館(18:30)
DDT■東京・渋谷ATOM(19:00)

23 FRI.

FMW■神奈川・横浜文化体育館(18:30)
Jd'■東京・ディファ有明(12:30)
ノア■福岡・西日本総合展示場(15:00)
闘龍門■埼玉・越谷桂スタジオ(18:00)
LLPW■東京・後楽園ホール(12:30)
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
全女■長野・上田市民体育館(18:30)

24 SAT.

闘龍門■千葉・船橋アリーナ(18:00)
新日本■神奈川・藤沢市秋葉台文化体育館(18:30)
全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
全女■千葉・光町民体育館(18:30)

25 SUN.

アルシオン■千葉・東京ベイNKホール(16:00)
修斗■東京・ディファ有明(16:00)
ノア■愛知・愛知県体育館(16:00)
Jd'■愛知・名古屋市千種スポーツセンター(13:00)
大日本■東京・後楽園ホール(12:00)
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
FMW■岐阜・高山マウントエース(16:00)
みちのく■大分・三重勤労者センター(16:00)
全日本■三重・メッセウイングみえ(17:00)
闘龍門■静岡・ツインメッセ静岡(16:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
LLPW■群馬・伊勢崎オートレース場(12:20)

26 MON.

修斗■東京・北沢タウンホール(18:00)
新日本■埼玉・富士見市立市民総合体育館(18:30)
全日本■岐阜・岐阜産業会館(18:30)
みちのく■大分・大分県営荷揚町体育館(18:30)

27 TUE.

ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
TEAM KURISU■大阪・大阪府立体育館第2競技場(18:00)
みちのく■大分・日出市総合体育館(18:30)
全女■長野・長野運動公園体育館サブアリーナ(18:30)
大日本■静岡・メッセぬまづ(18:30)

28 WED.

全日本■兵庫・神戸ワールド記念ホール(18:30)
みちのく■熊本・八代市総合体育館(18:30)
大日本■長野・諏訪湖スポーツセンター(18:30)

29 THU.

全日本■香川・高松市民文化センター(18:30)
みちのく■福岡・小倉北体育館(18:30)
大日本■神奈川・小田原サブアリーナ(18:30)
全女■茨城・鹿島市立緑地体育館(18:30)

30 FRI.

ノア■北海道・北海道立総合体育センター(18:30)
LLPW■福岡・サザンクス築紫(18:30)
新日本■京都・京都市体育館(18:00)
みちのく■宮崎・宮崎県武道館(18:30)
全女■千葉・飯岡町民体育館(18:30)
DDT■東京・北沢タウンホール(19:00)
アルシオン■京都・三段池公園総合体育館(18:30)

12 November

1 SAT.

ノア■北海道・千歳市スポーツセンター(18:00)
パンクラス■神奈川・横浜文化体育館(18:30)
全日本■新潟・長岡市厚生会館(18:00)
新日本■兵庫・高砂市総合体育館(18:30)
みちのく■岡山・倉敷体育館(19:00)
全女■静岡・富士川町総合体育館(18:30)
アルシオン■静岡・アクトシティ浜松(18:30)
バトラーツ■埼玉・戸田競艇場()
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(18:00)

2 SUN.

大日本■神奈川・横浜アリーナ(15:00)◎
大仁田興行■金沢・石川県産業展示館3号館(16:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)
全日本■東京・メッセ昭島(15:00)
新日本■愛知・愛知県体育館(16:00)
みちのく■広島・ビックローズ福山(16:00)
バトラーツ■静岡・浜名湖競艇場(時間未定)
大阪■大阪・デルフィン・アリーナ(14:00)
GAEA■大阪・梅田ステラホール(16:00)
YMBプロ■奈良・ACTセンター(16:30)

3 MON.

ノア■北海道・函館市民体育館(18:00)
LLPW■宮崎・西都市市民体育館(18:30)
全日本■宮城・石巻市総合体育館(18:30)
新日本■福井・福井市体育館(18:00)
バトラーツ■徳島・鳴門競艇場(時間未定)
Jd'■山口・下関競艇場(10:10)

4 TUE.

LLPW■福岡・久留米百年公園リサーチパーク(18:30)

5 WED.

ノア■新潟・新潟市体育館(18:30)
全日本■宮城・仙台市泉体育館(18:30)

6 THU.

ノア■福島・白河市国体記念体育館(18:30)
LLPW■福岡・宗像ユリックス(18:30)

7 FRI.

NEO■東京・後楽園ホール(19:00)
ノア■宮城・宮城県スポーツセンター(18:30)
全日本■東京・日本武道館(18:00)
LLPW■福岡・北九州市小倉北体育館(18:30)
新日本■広島・広島サン
アルシオン■神奈川・平

8 SAT.

K−1■東京・東京ドーム
LLPW■佐賀・諸富町
GAEA■宮城・Zepp Se
新日本■徳島市立体育
アルシオン■東京・後楽
大阪■大阪・デルフィン・
Jd'■大阪・大阪NGKホ
闘龍門■愛知・豊橋市総

9 SUN.

ノア■東京・有明コロシ
GAEA■新潟・新潟フェ
新日本■愛媛・テクノポ
JWP■東京・ディファ有
アルシオン■埼玉・越谷
FMW■東京・後楽園ホ
大阪■大阪・デルフィン・
大日本■神奈川・新川崎
「真撃」■大阪・大阪城ホ

10 WED.

闘龍門■東京・駒沢オリン

11 TUE.

新日本■大阪・大阪府立

14 FRI.

IWA■東京・後楽園ホー
GCM/THE CONTENDE

15 SAT.

GAEA■神奈川・川崎市
アルシオン■愛知・愛知県
大阪■大阪・デルフィン・
闘龍門■広島・広島県立

16 SUN.

修斗■千葉・東京ベイNK
LLPW■東京・後楽園ホ
全女■神奈川・川崎市体
大阪■東京・後楽園ホー
アルシオン■大阪・デルフ
みちのく■徳島・池田町総
闘龍門■京都・KBSホー

17 MON.

アルシオン■高知・高松市
大阪■大阪・デルフィン・

18 TUE.

アルシオン■福岡・アクシ
みちのく■愛知・東海市民

19 WED.

アルシオン■熊本・グラン
みちのく■静岡・アクトシ

21 FRI.

FMW■東京・後楽園ホー
リングス■神奈川・横浜文
みちのく■新潟・新潟フェ